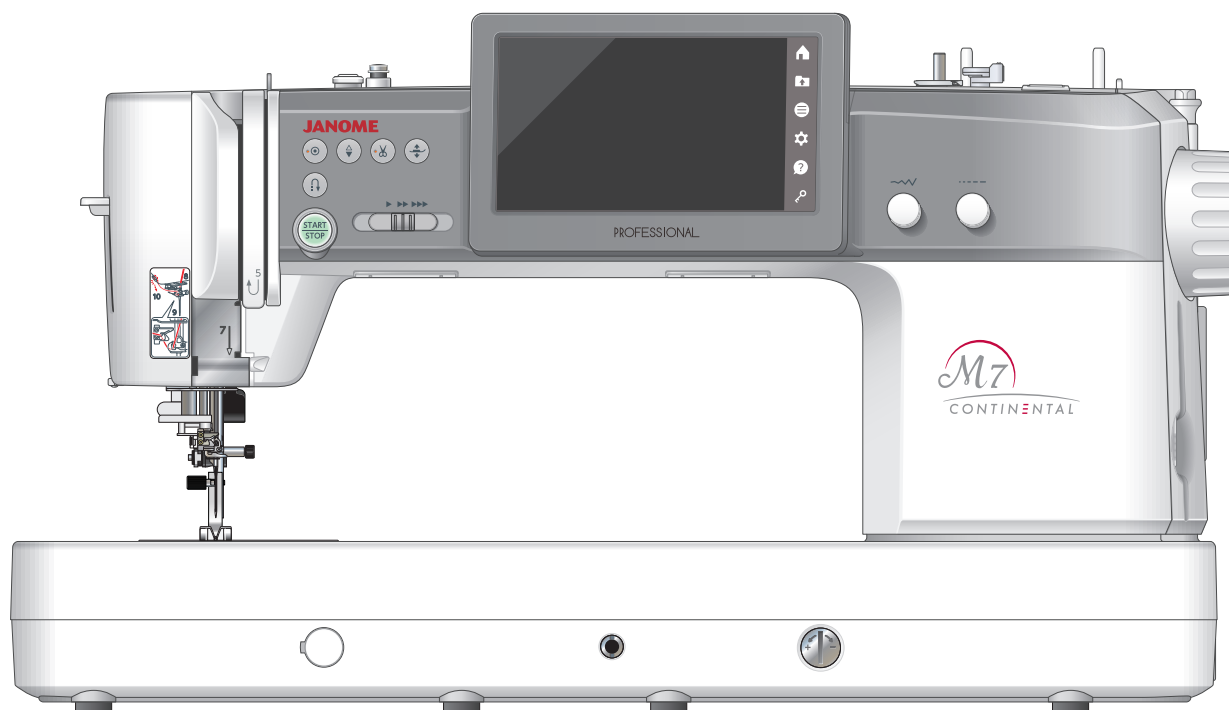







# Continental M7 Professional 使い方ガイドブック















# 安全上のご注意














- ◆ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ◆ここに示した注意事項は、ミシンを安全に正しくお使いいただき、お使いになる人やほかの人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。
- ◆お読みになったあとは、お使いになる人がいつでも見られるところに保管してください。
- ◆このミシンは、日本国内向け家庭用です。 FOR USE IN JAPAN ONLY.

危害・損害の程度を表わす表示	 <b>警告</b> この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。	 <b>注意</b> この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。
----------------	---	---

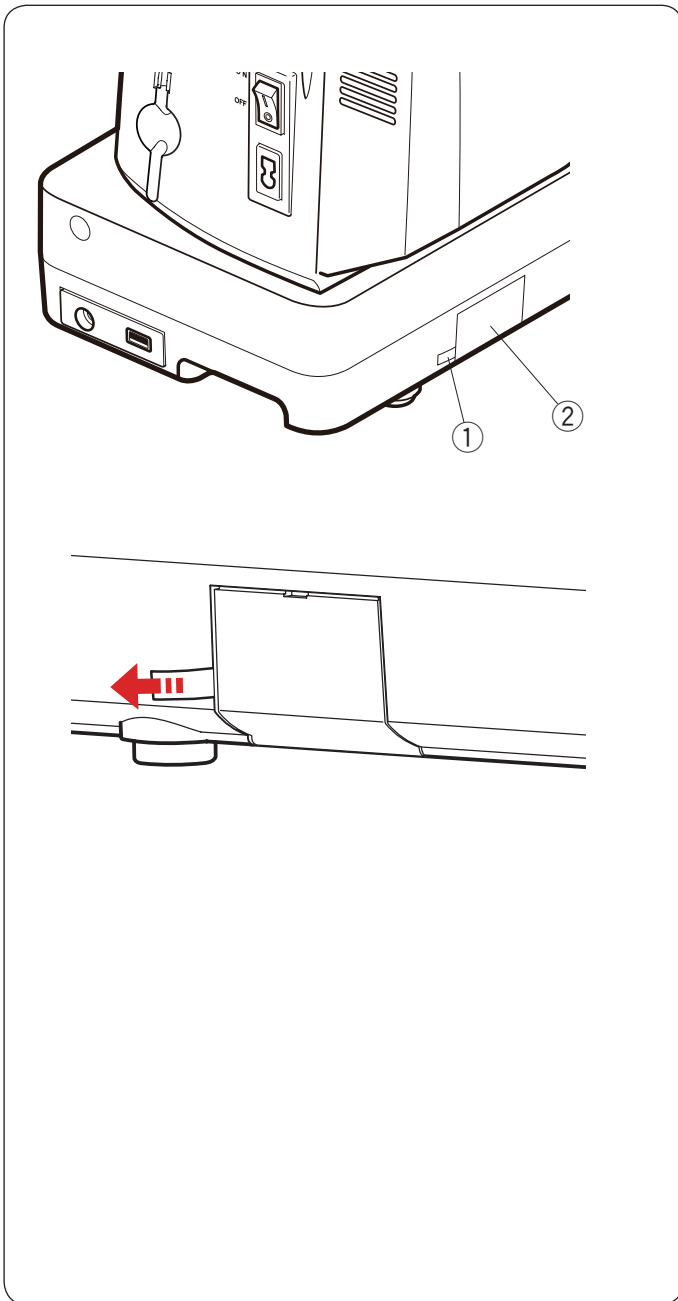
本文中の図記号の意味	 <b>△</b> 記号は、気を付けていただきたい「注意」の内容です。図の中には具体的な注意内容を表示しています。(左図の場合は一般的な注意)
	 <b>○</b> 記号は、行ってはいけない「禁止」の内容です。図の中には具体的な禁止内容を表示しています。(左図の場合は分解禁止)
	 <b>●</b> 記号は、必ず実行していただく「強制」の内容です。図の中には具体的な指示内容を表示しています。(左図の場合は一般的な強制)

 <b>警告</b> 感電・火災の原因となります。
 <b>禁止</b> ストープ、アイロンの近くなど温度の高いところでは使用しないでください。ミシンの使用温度は 5℃～35℃です。
 <b>禁止</b> スプレー製品などを使用した部屋や、引火しやすい物の近くでは使用しないでください。
 <b>禁止</b> 電源コードやフットコントローラーのコードについて、以下の行為は行わないでください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 傷つける</li> <li>・ 加工する</li> <li>・ はさみ込む</li> <li>・ たばねる</li> <li>・ 引っ張る</li> <li>・ 無理に曲げたり、ねじったりする</li> <li>・ 重い物をのせる</li> <li>・ 高温部に近づける</li> </ul> 電源コード、フットコントローラーのコードおよびプラグが破損した場合は、使用しないでください。
 <b>必ず実行</b> 一般家庭用、交流電源 100 V でご使用ください。
 <b>必ず実行</b> 電源プラグは定期的に乾いた布でふき、ほこりなどを取り除いてください。
 <b>必ず電源プラグを抜く</b> 以下のようなときは、電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ミシンのそばを離れるとき</li> <li>・ ミシンを使用したあと</li> <li>・ ミシン使用中に停電したとき</li> </ul>

 <b>注意</b> 感電・火災・けがの原因となります。
 <b>分解禁止</b> 分解はしないでください。
 <b>接触禁止</b> ミシンの操作中は、針から目を離さないようにし、針・はずみ車・天びんなどすべての動いている部分に手を近づけないでください。
 <b>禁止</b> 曲がった針や先のつぶれた針は、ご使用にならないでください。
 <b>禁止</b> ミシンの通風口はふさがらないでください。

 <b>注意</b> 感電・火災・けがの原因となります。
 <b>禁止</b> めい途中に布を無理に引っ張ったり、押したりしないでください。
 <b>禁止</b> このミシンを使用するときは、付属の専用電源コードを使用してください。付属の専用電源コードは、このミシン以外の電気製品には使用しないでください。
 <b>禁止</b> フットコントローラーの上に物をのせないでください。また、ご使用の際は、周辺に糸くずやほこりがないことを確認してください。
 <b>注意</b> お子様でご使用になるときや、お子様の近くでご使用されるときは、特に安全に注意してください。
 <b>注意</b> 直線めい用針板が取り付けられている場合、および取り付けられている押さえの種類によっては、電源スイッチを切った状態でははずみ車をまわすと、針が針板や押さえに当たる場合がありますので、注意してください。
 <b>必ず実行</b> ミシンを持ち運ぶときは、必ずミシン下部のハンドルを両手で持ってください。手さげハンドル（上部）を持ってミシンを持ち運ばないでください。
 <b>必ず実行</b> プラグ受けに、糸くずやほこりがたまらないようにしてください。
 <b>必ず実行</b> 針および押さえは、確実に固定してください。また、押さえは、めいに合ったものをご使用ください。
 <b>必ず実行</b> 電源プラグを抜くときは、コードを引っ張らず電源プラグを持って抜いてください。
 <b>必ず実行</b> 以下のことを行うときは、ロックキーを押してミシンをロック状態にしてください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 押さえ、アタッチメントを交換するとき</li> <li>・ 上糸、下糸をセットするとき</li> <li>・ 針、針板を交換するとき</li> </ul>
 <b>必ず電源プラグを抜く</b> ミシンのお手入れを行うときは、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
 <b>必ず電源プラグを抜く</b> ミシンに以下の異常があるときは速やかに使用を停止し、まず電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店にて点検・修理・調整をお受けください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 正常に作動しないとき</li> <li>・ 水にぬれたとき</li> <li>・ 落下などにより破損したとき</li> <li>・ 異常な臭い・音がするとき</li> <li>・ 電源コード・プラグ類が破損、劣化したとき</li> </ul>

## ミシンをご使用前に



### 警告

#### 電池についての注意

- 極性表示 ⊕ と ⊖ をまちがえて入れないでください。

- 長期間使わないときは電池を取り出してください。

液もれにより火災やけが、周囲の汚れの原因となります。液がもれた場合、よく拭き取ってください。万一もれた液が身体に着いたときは、水でよく洗い流してください。



必ず実行

- 電池はお子様手の届かないところに保管してください。誤って飲み込むと危険です。万一飲み込んだ場合、ただちに医師に相談してください。

- 使用後の電池は、お住まいの自治体の取り決めにしたがって適切に廃棄してください。

- 加熱・充電・分解したり火に入れたりしないでください。

液もれや破れつによって火災やけがの原因となります。



禁止

- ぬれた手で電池交換をしないでください。液もれや破れつによって火災やけがの原因となります。

初めて使用するときは、ミシンのうしろ側にある電池カバーからテープを取り外します。

- ① テープ
- ② 電池カバー

電池カバーのテープを取り外したあと、時間を合わせます。(126 ページ参照)

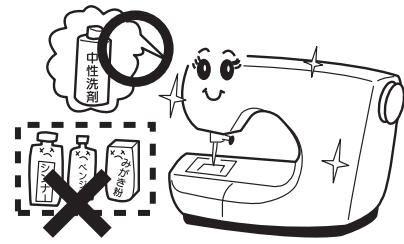
# 目次

◎ お取り扱いについてのお願い.....	3	★ピボットぬい設定キー.....	48
◎ 主な部品.....	4	★お好みステッチ調整.....	49
●各部のなまえ.....	4	●そのほかのじつようぬい.....	51
●標準付属品.....	5	◎ ボタンホール.....	53
●フットコントローラーと糸切りフットスイッチ.....	7	●ボタンホールの種類.....	53
●糸切りフットスイッチの取り付け位置.....	7	●ボタンホール 1: スクエアボタンホール.....	54
●補助テーブル.....	9	●ボタンホール安定板の使い方.....	58
●ミシンの持ち方.....	9	●ボタンホール 2: メモリーボタンホール (スクエアボタンホール).....	59
◎ 操作方法.....	10	●そのほかのボタンホール.....	61
●電源のつなぎ方.....	10	●ボタンホール 13: たまぶちボタンホール.....	62
★フットコントローラーを使用する場合.....	11	●芯入りボタンホール.....	64
●糸切りフットスイッチのつなぎ方.....	12	●特殊ぬい.....	64
★糸切りフットスイッチの準備.....	12	●ボタンホール 14: ボタン付け.....	64
●速さの調整.....	13	●ボタンホール 15: つくろいぬい (ダーニング).....	65
●フットコントローラー.....	13	●ボタンホール 17: フライステッチ (かんぬきどめ) ..	66
●操作ボタン.....	14	●ボタンホール 18 ~ 22: アイレット.....	66
●下糸巻きボタンと調整ダイヤル.....	16	◎ かざりぬい.....	67
●画面 (タッチパネル) キー.....	17	●かざりぬいの画面.....	67
●オンスクリーンヘルプ.....	18	●キルトグループ.....	74
●AcuSpark (モバイルアプリケーション).....	18	★キルトイングガイドの使い方.....	74
●押さえのあげさげ.....	19	★キルト模様 1 ~ 3 パッチワーク (地ぬい).....	74
●ニーリフト.....	19	★針板角度目盛りの使い方.....	74
●押さえの交換.....	20	★キルトブロックアドバイザー.....	75
●押さえホルダーの取り付け、取り外し.....	21	★キルト模様 73 ~ 78: 手ぬい風キルトステッチ.....	77
●上送り押さえ AD (標準) またはプロフェッショナル 上送り押さえ HP2 の取り付け.....	22	●サテングループ.....	77
●ルーラーワーク押さえ QR.....	22	★模様の長さ調整機能 (エロンゲーション).....	77
●プロフェッショナル押さえ HP の取り付け方.....	22	●ユーザー作成模様 (Created Stitch).....	78
●フリーキルト押さえ PD-H またはフリーキルト押さえ PD-H (前あき) の取り付け方.....	23	●2本針ぬい.....	79
●針の交換.....	23	◎ 模様組み合わせモード.....	81
●布に適した糸や針を選ぶ目安.....	24	●反転模様.....	81
●下糸の準備.....	25	●つなぎもよう: Bridge (BR).....	81
●ボビンのセット.....	28	●組み合わせ模様の編集.....	82
●上糸かけ.....	29	★模様の削除.....	82
●糸通し.....	31	★模様の挿入.....	82
●下糸の引きあげ方.....	32	●模様頭出しキーの使い方.....	83
●針板の交換.....	33	●組み合わせ模様の長さの確認.....	84
◎ じつようぬい.....	34	●テーパリング.....	85
●模様グループ選択タブ.....	34	◎ 文字ぬい.....	91
●設定キー.....	36	●機能キー (ファンクションキー).....	91
●直線ぬい.....	38	●文字ぬい時の糸調子調整.....	92
★厚手の布端のぬい始め.....	38	★文字ごとに糸調子調整を行う.....	92
★ぬい方向の変更.....	38	★全ての文字に同じ糸調子の値を適応する (統一糸調子調整).....	92
★コーナーリングガイド.....	38	●スペース.....	92
★ほつれ止め.....	39	●文字高さの縮小.....	92
★糸切り.....	39	●文字ぬいの入力.....	93
●針板ガイド.....	39	●組み合わせ模様の保存.....	95
●直線ぬいの種類.....	40	●模様データの呼び出し.....	96
●上送り押さえを使用したぬい.....	41	◎ 手ぬい風ステッチ.....	97
●プロフェッショナル上送り押さえ HP2 の使い方.....	42	●手ぬい風ステッチ.....	97
●プロフェッショナル直線押さえ HP の使い方.....	43	◎ 用途ぬい.....	98
●ジグザグぬい.....	44	●用途ぬいの種類.....	98
●ふちかがりぬいの種類.....	45		
●ぬいの手動調整.....	46		
★糸調子を合わせる.....	48		
★押さえ圧調整.....	48		
★止めぬいのステッチ数.....	48		

● 用途ぬい (ソーイング) .....	99
★ Seaming Woven: 地ぬい (伸びない布地) .....	99
★ Seaming Stretch/Knit: 地ぬい (伸びる布地) .....	99
★ Curve: 円弧ぬい .....	99
★ Topstitching: トップステッチ .....	99
★ Rolled Hem: 三つ巻き .....	100
★ Overedge Woven: ふちかがり (伸びない布地) ..	101
★ Overedge Stretch/Knit: ふちかがり (伸びる布地) .....	101
★ Overedge Heavy: ふちかがり (厚布) .....	101
★ Blind Hem: まつりぬい .....	102
★ Shell Tuck: シェルタック .....	104
★ Lapped zipper: ファスナー付け .....	104
★ Concealed zipper: コンシール® ファスナー付け ..	107
★ Pouch zipper: ファスナー付け (小物) .....	109
★ Gathering: ギャザー .....	110
★ Easestitching: いせ込み .....	110
★ Basting: しつけ .....	111
★ Buttonhole: ボタンホール .....	111
★ Button: ボタン付け .....	112
★ Tacking: かんぬき .....	113
★ Eyelet: アイレット .....	114
★ Smocking: スモッキング .....	114
★ Fagoting: ファゴティング .....	115
● 用途ぬい (キルト) .....	115
★ Patchwork Piecing: パッチワークピースング .....	115
★ Free Motion: フリーモーション .....	116
★ Ruler Work: ルーラーワーク .....	117
★ Variable ZZ: バリアブル ZZ (可変ジグザグ) .....	118
★ Applique: アププリケ .....	119
★ Straight Stitch: 直線ぬい (上送り押さえ使用) ....	120
★ Decorative Quilt Stitch: キルトかざりステッチ ...	120
★ Clasp Stitch: とじぬい .....	120
★ Sashiko: 刺し子風ステッチ .....	121
★ Hand-Look QU: 手ぬい風キルトステッチ .....	121
◎ 情報とミシンの設定 .....	122
● ファンクションメニュー .....	122
★ Quick Stitch Select (クイック模様選択) .....	122
★ Quilt Block Advisor (キルトブロック アドバイザー) .....	122
★ Manual Dual Feed Setting (手動上送り設定) .....	123
★ Machine information (ミシン情報) .....	124
● ミシンの設定 .....	125
★ Machine Settings (ミシン設定モード) .....	126
★ Sewing Settings (通常ぬい設定モード) .....	128
★ Language Setting (言語設定モード) .....	130
◎ ミシンのお手入れ .....	131
● かまと送り歯、糸切り部の掃除 .....	131
● 模様の形の整え方 .....	132
● 内蔵時計用ボタン電池の交換方法 .....	133
● 針板交換方法 (非常用) .....	134
● メッセージ画面一覧 .....	135
● ミシンの調子が悪いときの直し方 .....	136
● USB メモリをフォーマットする .....	140
● 早見表 .....	142
● 早見表 (文字ぬい) .....	144

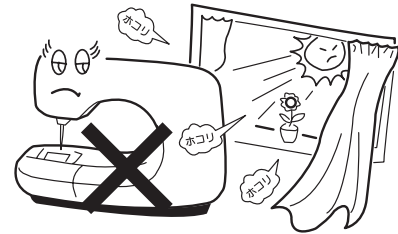
## ◎ お取り扱いについてのお願い

### ◇ ご使用の前に

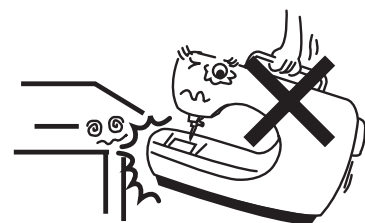


- (1) めう布を汚さないようにするため、針板付近の油やほこりなどの汚れを、乾いたやわらかい布で十分にふき取ってください。  
試しぬいをして、布が汚れないことを確認してから使用してください。
- (2) シンナー・ベンジン・ミガキ粉は絶対に使用しないでください。

### ◇ いつまでもご愛用いただくために



- (1) 長時間日光に当てないでください。
- (2) 湿気やほこりの多いところは避けてください。



- (3) 落としたり、ぶついたりするなど衝撃を与えないでください。  
ミシンを持ち運ぶときは、必ずミシン下部のハンドルを両手で持ってください。手さげハンドル(上部)を持ってミシンを持ち運ばないでください。

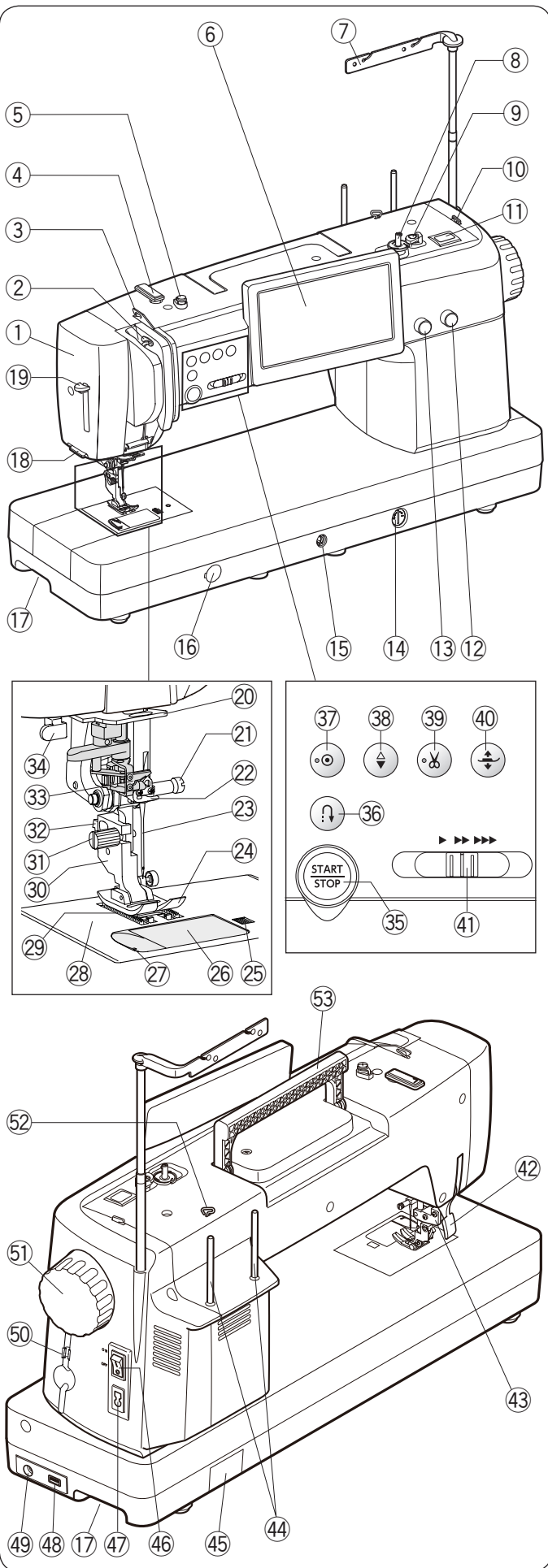
### ◇ 修理・調整についてのご案内

万一不調になったり故障が生じたりしたときは、「ミシンの調子が悪いときの直し方」(136～139ページ)によって、点検・調整を行ってください。

## ◎ 主な部品

### ● 各部のなまえ

- ① 面板
- ② 天びん
- ③ 糸案内 (左)
- ④ 糸案内カバー
- ⑤ 糸巻き糸案内
- ⑥ 画面 (タッチパネル)
- ⑦ 収納式糸かけスタンド
- ⑧ 糸巻き軸
- ⑨ ボビン押さえ
- ⑩ 糸切り (下糸巻き用)
- ⑪ 糸巻きボタン
- ⑫ めい目のあらし調整ダイヤル
- ⑬ めい目の幅調整ダイヤル
- ⑭ 送り調整ねじ
- ⑮ ニーリフト取り付け穴
- ⑯ 針板着脱操作ダイヤルキャップ
- ⑰ ハンドル (下部)
- ⑱ 糸切り (面板)
- ⑲ 糸通しレバー
- ⑳ アーム糸案内
- ㉑ 針止めねじ
- ㉒ 針棒糸かけ
- ㉓ 針 (14番)
- ㉔ 基本押さえ A
- ㉕ 角板開放ボタン
- ㉖ 角板
- ㉗ 糸切り (下糸切り用)
- ㉘ 針板
- ㉙ 送り歯
- ㉚ 押さえホルダー
- ㉛ 押さえホルダー止めねじ
- ㉜ レバー
- ㉝ 糸保持板
- ㉞ ボタンホール切りかえレバー
- ㉟ スタート/ストップボタン
- ㊱ 返しめいボタン
- ㊲ 止めめいボタン
- ㊳ 上下停針ボタン
- ㊴ 糸切りボタン
- ㊵ 押さえ上下移動ボタン
- ㊶ スピードコントロールつまみ
- ㊷ 押さえ上げ
- ㊸ 上送り装置
- ㊹ 糸立て棒
- ㊺ バッテリーカバー
- ㊻ 電源スイッチ
- ㊼ プラグ受け
- ㊽ USB 差し込み口
- ㊾ フットコントローラープラグ受け
- ㊿ タッチペンホルダー
- 1 はずみ車
- 2 糸案内 (右)
- 3 手さげハンドル (上部)

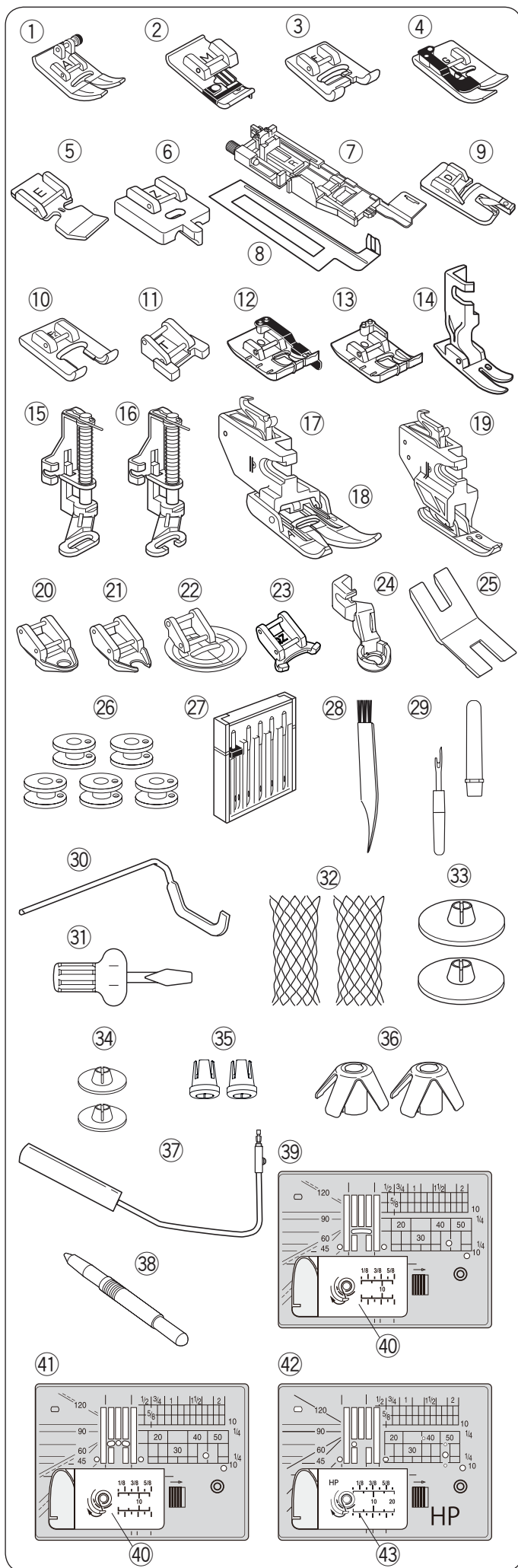


#### メモ:

仕様や形状を予告なく変更する場合があります。

#### メモ:

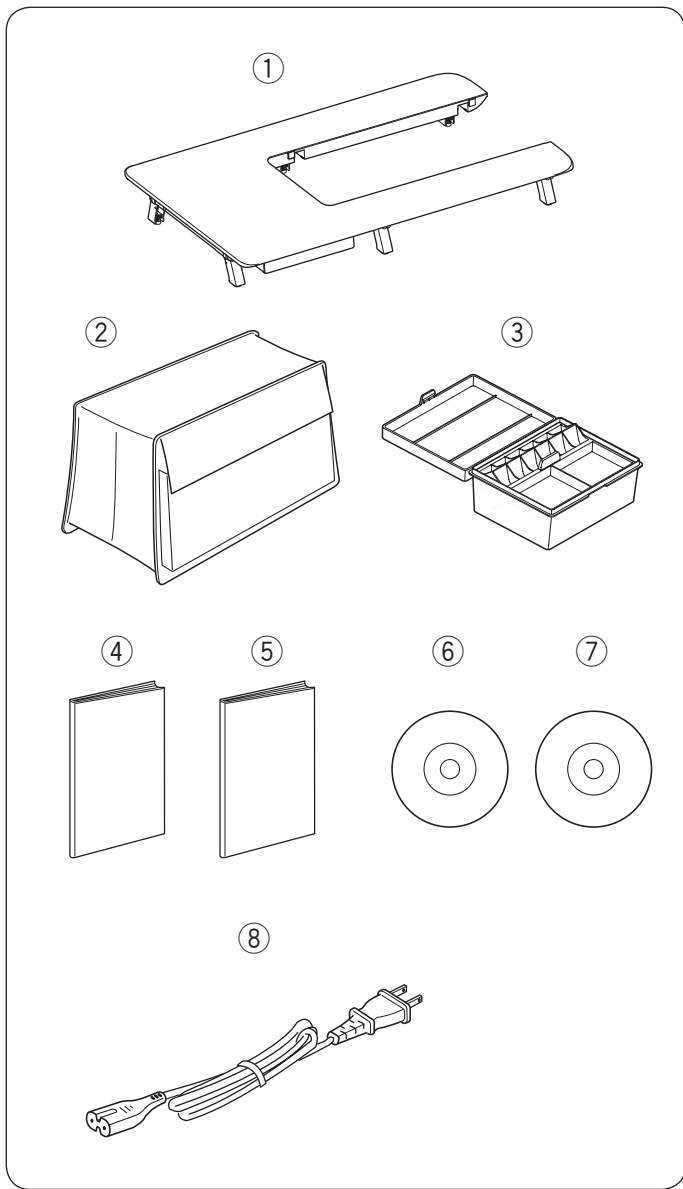
ミシンの持ち運びかたについては、9ページをご覧ください。



● 標準付属品

No.	品名	品番
1	基本押さえ A (ミシンに付いています)	859802006
2	ふちかがり押さえ M	859810007
3	サテン押さえ F	859806011
4	まつりぬい押さえ G	859807001
5	ファスナー押さえ E	859805009
6	コンシール® ファスナー押さえ Z ※	859815002
7	ボタンホール押さえ R	862822013
8	ボタンホール安定板	859832016
9	三つ巻き押さえ D	859804008
10	クラフト押さえ F2	859813000
11	ボタン付け押さえ T	859811008
12	パッチワーク押さえ O	859814012
13	パッチワーク押さえ O (ガイドなし)	202313104
14	プロフェッショナル直線押さえ HP	865803006
15	フリーキルト押さえ PD-H	859839002
16	フリーキルト押さえ PD-H (前あき)	859839013
17	上送り押さえホルダー (標準)	859817015
18	上送り押さえ AD (標準)	859819109
19	プロフェッショナル上送り押さえ HP2	865522008
20	フリーキルト押さえ QC (丸穴)	859836009
21	フリーキルト押さえ QO (前あき)	859837000
22	フリーキルト押さえ QV (透明)	859812009
23	パリアブルジグザグ押さえ QZ (前あき)	862895006
24	ルーラーワーク押さえ QR	862896007
25	ボタン付けプレート	832820007
26	ボビン x 5 個 ※ ※ (1つはミシンに付いています)	102261103
27	針ケース	859856005
28	ミシンブラシ	802424004
29	シームリッパー	647808009
30	キルティングガイド	755802001
31	ドライバー	820832005
32	糸こまネット x 2 個 ※ ※	624806006
33	糸こま押さえ (大) x 2 個 ※ ※	822020503
34	糸こま押さえ (小) x 2 個 ※ ※	822019509
35	糸こま押さえ (特殊) x 2 個 ※ ※	862408008
36	糸こま保持体 x 2 個 ※ ※	770850001
37	ニーリフト	846417011
38	タッチペン	860194002
39	針板 (ミシンに付いています)	867642001
40	角板	809136100
41	直線ぬい用針板	867802001
42	プロフェッショナル直線ぬい用針板 (左 針位置専用)	867803002
43	角板 (HP)	809136A01

※ コンシールは YKK 株式会社の登録商標です。  
 ※ ※ 単品品番です。セット品番ではありません。



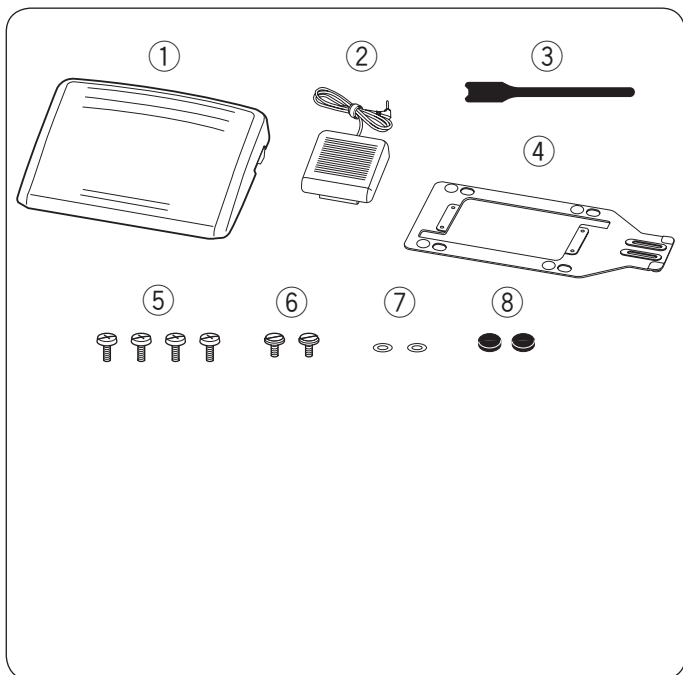
No.	品名	品番
1	補助テーブル	867806005
2	ミシンカバー	867801000
3	アクセサリケース	866801007
4	Instruction Book (英語版)	867800009
5	使い方ガイドブック (日本語版)	
6	説明 DVD (英語版) ※	867805004
7	PC アプリケーションパック (CD-ROM)	867820005
8	電源ケーブル	806513003

※ 付属の説明 DVD は英語版です。(日本語字幕なし)  
日本語字幕付きの動画は、以下の QR コードもしくは URL からご覧いただけます。



説明動画 (日本語字幕付き)

[https://www.youtube.com/playlist?list=PLs7aOpMYh2Zef\\_0g0k02h9XDlKhllnzqz](https://www.youtube.com/playlist?list=PLs7aOpMYh2Zef_0g0k02h9XDlKhllnzqz)

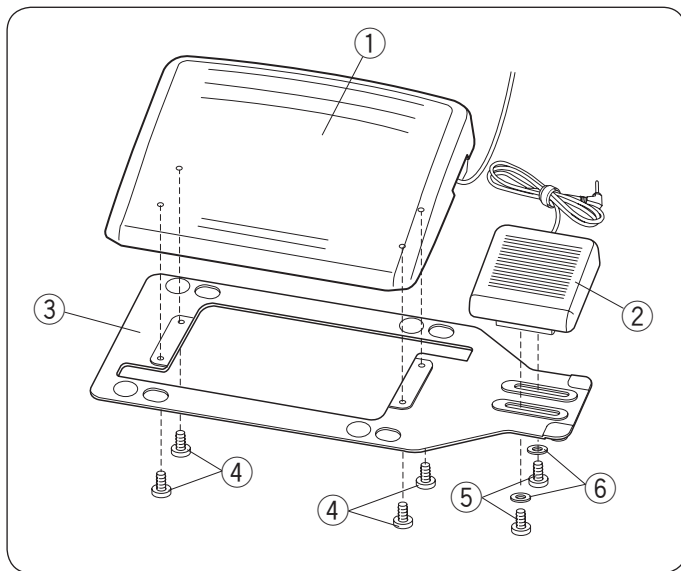


【フットコントローラー / 糸切りフットスイッチセット】

No.	品名	品番
1	フットコントローラー	043770207
2	糸切りフットスイッチ	867811003
3	ケーブルバンド	767849306
4	ベース	767849100
	ゴム座 x 6 個※※ (ゴム座 x 6 個はベースの裏側に付いています)	525010005
5	フットコントローラー取り付けねじ x 4 個※※	000081005
6	糸切りフットスイッチ取り付けねじ x 2 個※※	865045002
7	ワッシャー x 2 個※※	000072508
8	ゴム座 x 2 個※※	525010005

※※ 単品品番です。セット品番ではありません。



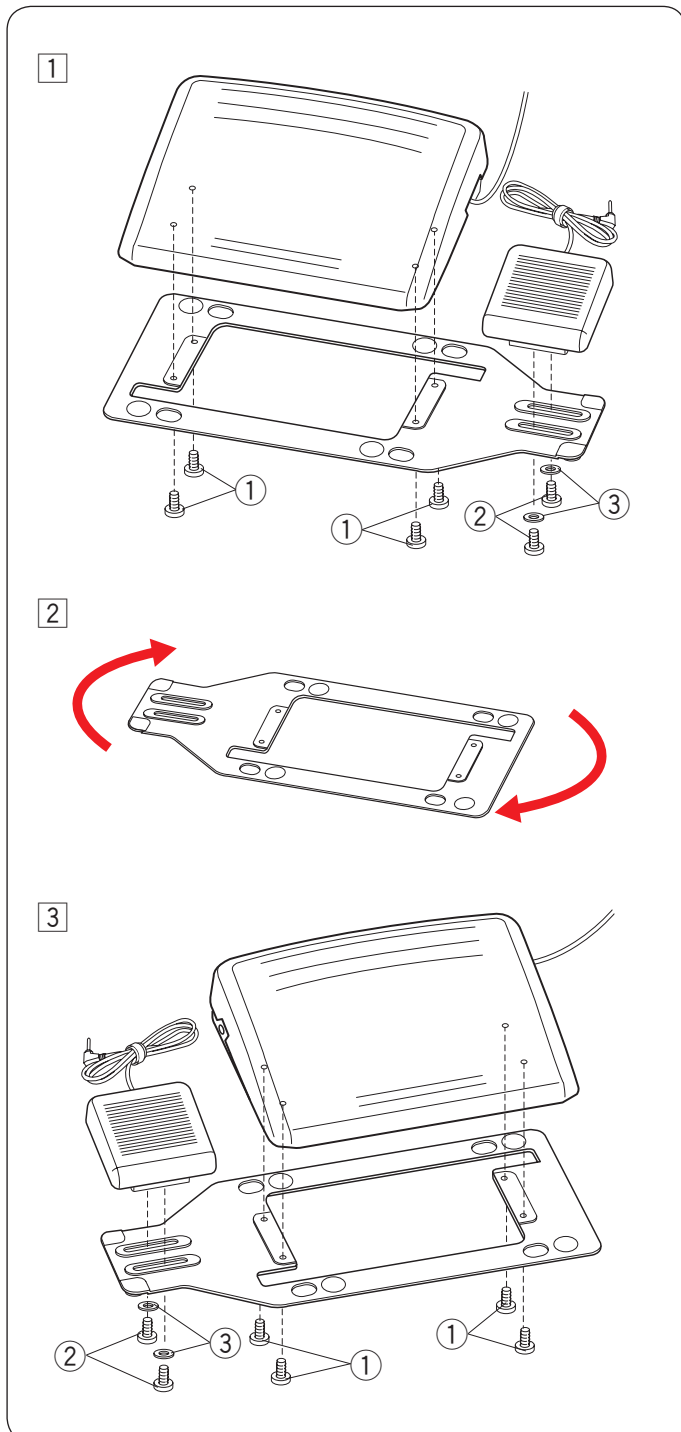


### ● フットコントローラーと糸切りフットスイッチ

フットコントローラーの取り付けには、付属のドライバーを使用します。

図のように、フットコントローラー①と糸切りフットスイッチ②をフットコントローラー取り付けねじ(4個)④、糸切りフットスイッチ取り付けねじ(2個)⑤とワッシャー⑥を使ってベース③へ取り付けます。

- ① フットコントローラー
- ② 糸切りフットスイッチ
- ③ ベース
- ④ フットコントローラー取り付けねじ(4個)
- ⑤ 糸切りフットスイッチ取り付けねじ(2個)
- ⑥ ワッシャー



### ● 糸切りフットスイッチの取り付け位置

#### 糸切りフットスイッチを左側に取り付ける方法

お好みに合わせて糸切りフットスイッチの位置を変更できます。

糸切りフットスイッチをフットコントローラーの左側に取り付けたい場合は、以下の方法で取り付けてください。

- ① ドライバーを使ってフットコントローラー取り付けねじ(4個)①、糸切りフットスイッチ取り付けねじ(2個)②、ワッシャー③を取り外します。

- ① フットコントローラー取り付けねじ(4個)
- ② 糸切りフットスイッチ取り付けねじ(2個)
- ③ ワッシャー

- ② ベースを 180° 回転させます。

- ③ フットコントローラーと糸切りフットスイッチをねじとワッシャー③で止めます。

フットコントローラー取り付けねじ(4個)①と糸切りフットスイッチ取り付けねじ(2個)②をドライバーでしめます。

ケーブルがフットコントローラーとベースのあいだにはさまっていないか確認してください。

## 糸切りフットスイッチの位置調整

### 水平位置の調整

① 糸切りフットスイッチ取り付けねじ (2 個) ① をゆるめます。

- ① 糸切りフットスイッチ取り付けねじ (2 個)
- ② ワッシャー

② 糸切りフットスイッチをお好みの位置に移動させ、糸切りフットスイッチ取り付けねじ (2 個) ① をドライバーで締め、希望の位置に固定します。

### 縦方向の調整

① 糸切りフットスイッチ取り付けねじ (2 個) ① とワッシャー ② を取り外します。

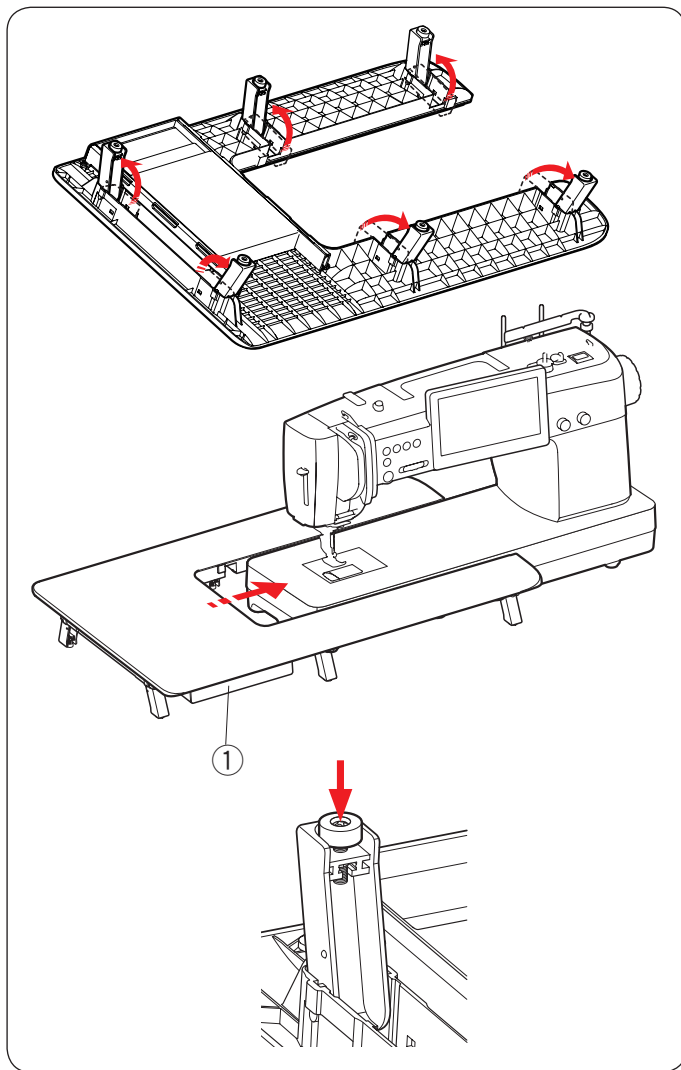
② 糸切りフットスイッチを前後に動かし、フットスイッチ取り付け板のねじ穴 (2 か所) ③ をお好みの位置で糸切りフットスイッチ取り付けねじ (2 個) ① とワッシャー ② を使用して取り付けます。

### メモ:

糸切りフットスイッチを最も手前 (下) の位置に取り付けたい場合、ベースの下側の取り付け穴 ④ とフットスイッチ取り付け板の取り付け穴 ⑤ を使って取り付けます。

ねじはしっかりしめてください。

糸切りフットスイッチの図の位置にゴム座 ⑥ を貼ってください。



## ● 補助テーブル

### 補助テーブルの取り付け方

補助テーブルの脚をひろげます。

補助テーブルを両手で持ち、右にスライドさせます。

#### ⚠ 注意：

補助テーブルを壁に立てかけるときは、引き出しに付属品が入っていないことを確認してください。付属品が入っていると、付属品が補助テーブルと引き出しのあいだにつまったり、引き出しが補助テーブルから外れて落ちたりすることがあります。

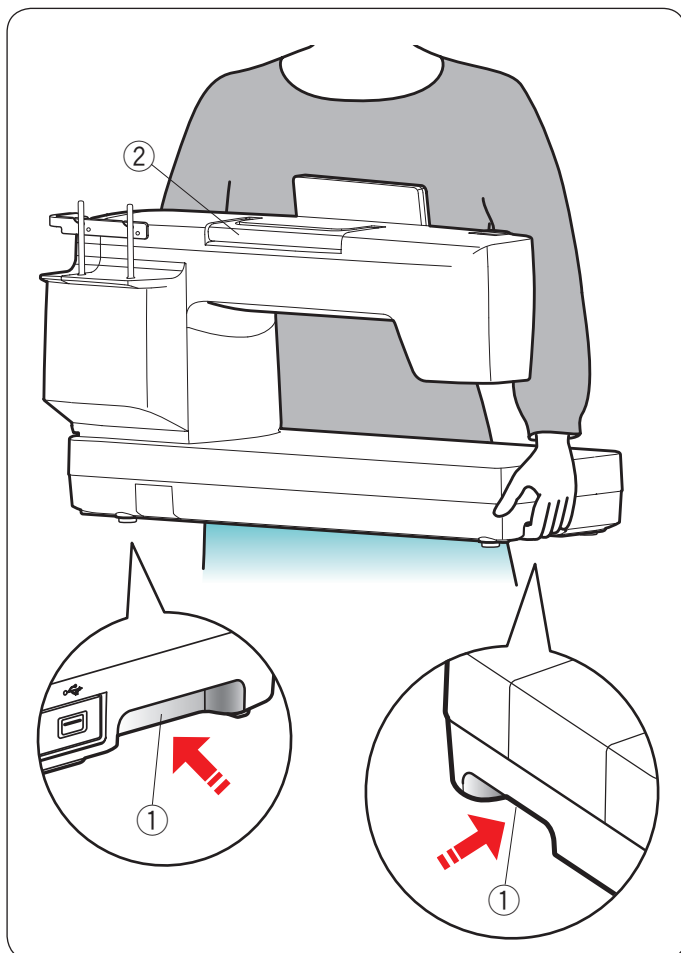
① 引き出し

### 補助テーブル高さの調整

補助テーブルの脚のねじをドライバーでまわします。

#### メモ：

補助テーブルの高さを調整するには、+ドライバー（フィリップスドライバー）が必要です。



## ● ミシンの持ち方

ミシン下部のハンドルを両手で持ちます。

そのとき、身体で画面（タッチパネル）を押すなど負荷をかけないようにしてください。

① ハンドル（下部）

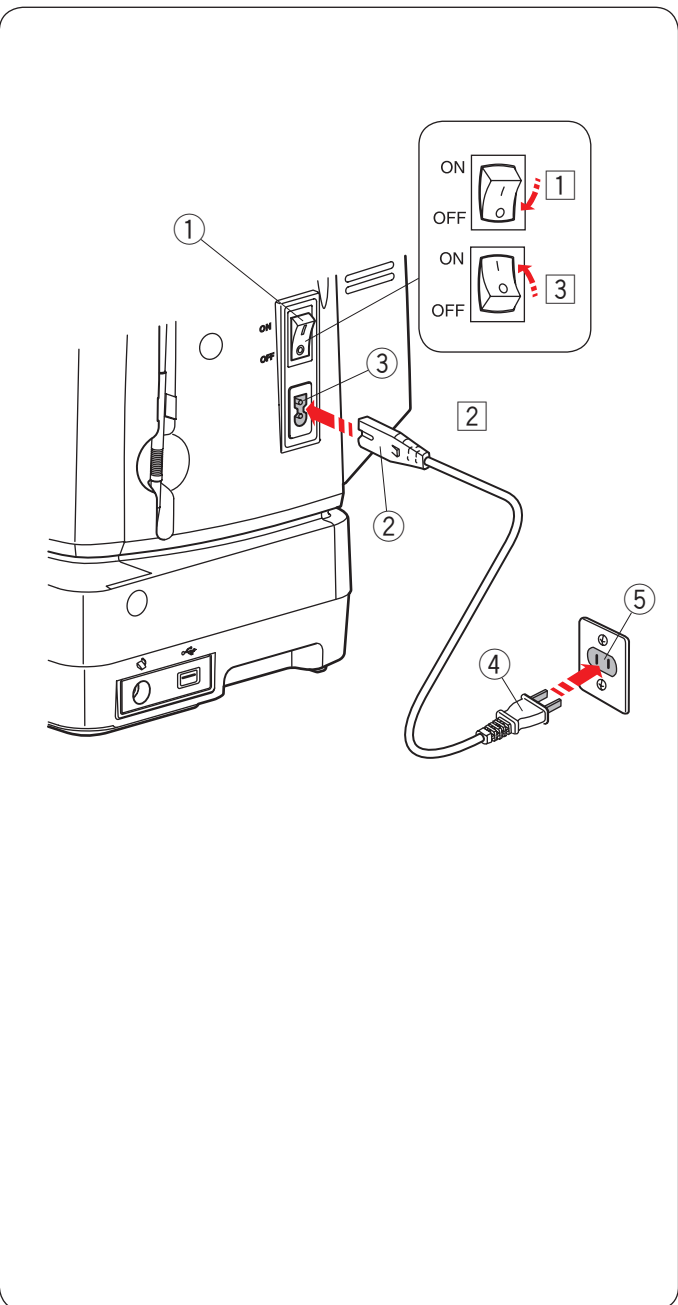
#### メモ：

手さげハンドル（上部）は補助的な使い方をします。手さげハンドル（上部）を持ってミシンを持ち運ばないでください。

② 手さげハンドル（上部）

## ◎操作方法

### ●電源のつなぎ方



### ⚠警告

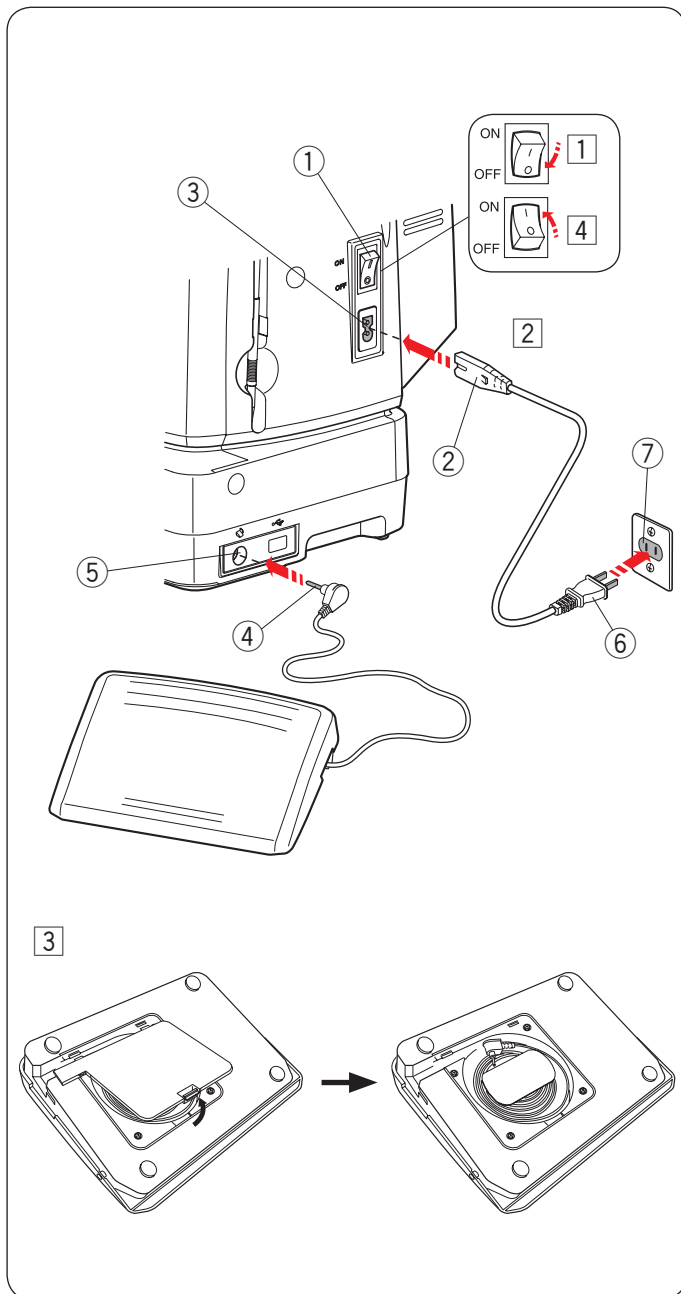
- 電源は、一般家庭用交流電源 100 V で使用してください。  
ミシンを使わないときは、必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。  
感電・火災の原因となります。
- 電源プラグは定期的に乾いた布でふき、ほこりなどを取り除いてください。  
ほこりなどが付着していると湿気などによって絶縁不良となり火災の原因となります。

- ① 電源スイッチ ① が「OFF」(切)であることを確認します。
- ② 電源コードのプラグ ② をプラグ受け ③ に差し込みます。
- ③ 電源プラグ ④ をコンセント ⑤ に差し込みます。  
電源スイッチ ① を「ON」(入)にします。

- ① 電源スイッチ
- ② プラグ
- ③ プラグ受け
- ④ 電源プラグ
- ⑤ コンセント

### メモ：

- 電源スイッチを入れると、ミシンの準備のための初期設定が数秒間行われます。初期設定中は針などが動きますので、ミシンに触れないでください。
- 必ず付属の電源コードを使用してください。
- 電源スイッチの「ON」(入)、「OFF」(切)の操作は5秒以上間かくをあげてください。



### ★ フットコントローラーを使用する場合

フットコントローラーを使用するときは、フットコントローラーからコードを引き出し、フットコントローラープラグをミシンのフットコントローラープラグ受けに差し込みます。

- ① 電源スイッチ ① が「OFF」(切)であることを確認します。
- ② 電源コードのプラグ ② をプラグ受け ③ に差し込みます。
- ③ フットコントローラーからコードを引き出し、フットコントローラープラグ ④ をフットコントローラープラグ受け ⑤ に差し込みます。
- ④ 電源プラグ ⑥ をコンセント ⑦ に差し込み、電源スイッチを ① 「ON」(入) にします。

- ① 電源スイッチ
- ② プラグ
- ③ プラグ受け
- ④ フットコントローラープラグ
- ⑤ フットコントローラープラグ受け
- ⑥ 電源プラグ
- ⑦ コンセント

#### メモ：

- フットコントローラーのコードの取り出し方と収納方法は 13 ページをご覧ください。
- フットコントローラーを接続している場合、スタート/ストップボタンは使用できません。
- フットコントローラーは、モデルによってオプションになります。

## ● 糸切りフットスイッチのつなぎ方

糸切りフットスイッチを使用するときは、フットコントローラーからコードを引き出し、フットコントローラープラグをミシンのフットコントローラープラグ受けに差し込んでください。

### ⚠ 注意

糸切りフットスイッチのプラグを糸切りフットスイッチ端子に差し込むときには、必ず電源スイッチを「OFF」(切) にしてから、プラグを差し込んでください。けがの原因となります。

## ★ 糸切りフットスイッチの準備

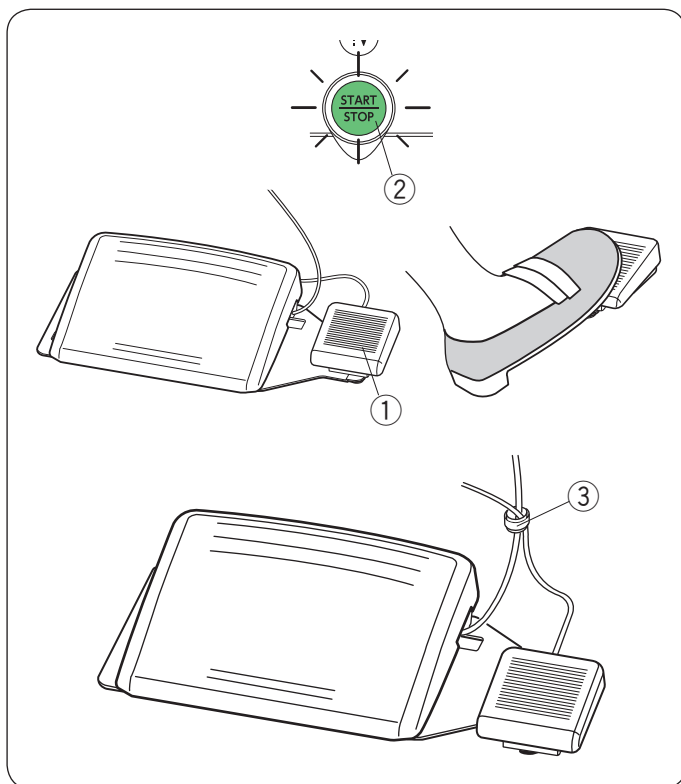
① ケーブルバンド①をケーブルから外します。

② 糸切りフットスイッチを使用するときは、フットコントローラーを接続する必要があります。

糸切りフットスイッチのピンコネクター②をフットコントローラーのプラグ受け③に差し込んでください。

③ フットコントローラーをひっくり返します。  
フットコントローラーのカバーを開けます。

④ フットコントローラーからコードを出します。



ぬい終わったあとに、フットコントローラーの右側の糸切りフットスイッチ①をふむと、上糸と下糸を自動的に切ります。

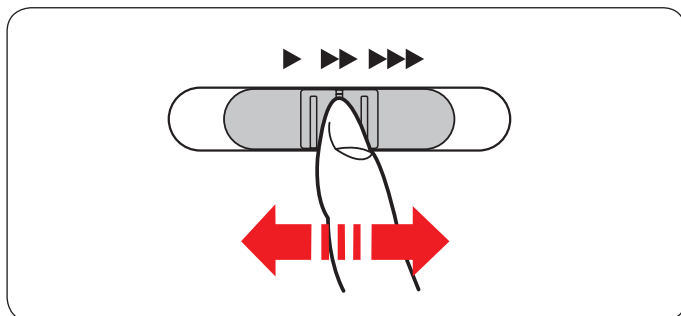
スタート/ストップボタンが緑色②に変わる前に糸切りフットスイッチをふまないでください。

① 糸切りフットスイッチ

**メモ：**

- 糸切りフットスイッチを 0.5 秒以上ふみ込んだときに糸を切ります。
- フットコントローラーを最初にふまないと、糸切りフットスイッチは作動しません。
- 必要に応じてケーブルバンドをケーブルから外してください。

③ ケーブルバンド



**● 速さの調整**

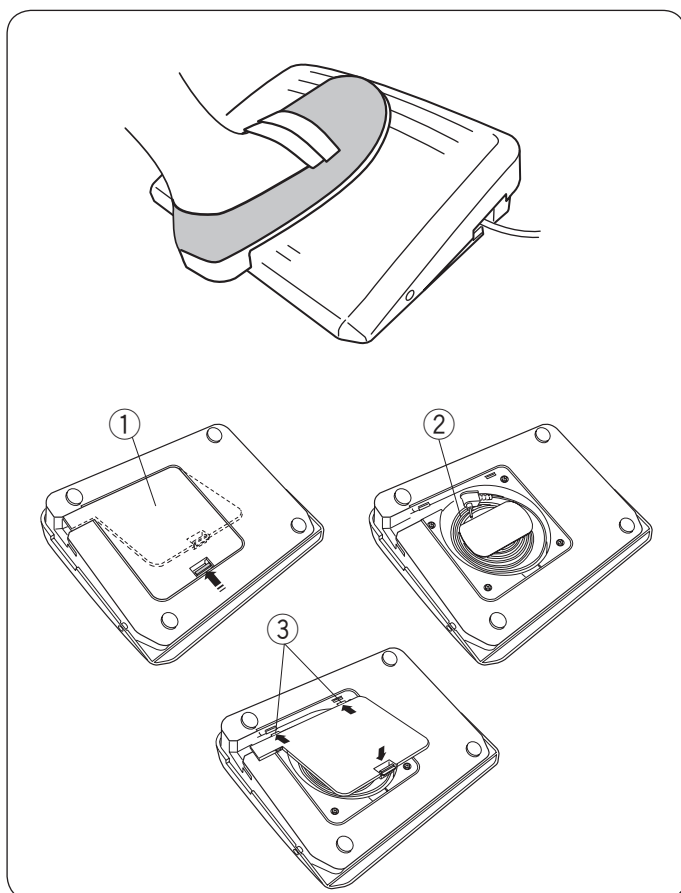
**スピードコントロールつまみ**

ミシンのぬい速度（最高速度）をスピードコントロールつまみで調整できます。

ぬい速度をあげるには、つまみを右に動かしてください。

ぬい速度をさげるには、つまみを左に動かしてください。

ぬいの途中でも、ぬい速度を調整できます。



**● フットコントローラー**

フットコントローラーをふんで、ミシンの速さを調整します。

フットコントローラーを深くふむほど、ぬいの速度が速くなります。

**メモ：**

- フットコントローラーをいちばん深くふみこんだときのミシンの最高速度は、スピードコントロールつまみで調整できます。
- ぬい始めの速度を、遅い / 普通 / 速いから選択できます。（129 ページ参照）
- ミシンに大きな負荷がかかった場合、安全装置が働いて自動的に停止するしくみになっています。画面（タッチパネル）表示されるメッセージにしてください。

**コード収納場所**

フットコントローラーのコードは、底面カバーの下のコード入れに収納できます。

- ① 底面カバー
- ② コード
- ③ フック

## ● 操作ボタン

### ① スタート/ストップボタン

スタート/ストップボタンを押して、ミシンをスタート/ストップさせます。

ミシンは最初の数針はゆっくり動き始めてから、スピードコントロールつまみでセットした速さになります。ボタンを押し続けているあいだは低速で動きます。

ボタンのランプの色がミシン停止中は緑に、運転中は赤になります。

ぬいの途中でこのボタンを長押しするとミシンは低速で動き、ボタンを離すと止まります。

#### メモ：

- フットコントローラーを接続しているときは、スタート/ストップボタンは使用できません。
- ぬい始めの速度を、遅い / 普通 / 速いから選択できます。(129 ページ参照)

### ② 返しぬいボタン

- 以下の模様が選択されている場合：

通常模様 (Utility)	アップリケ	キルト	つなぎ模様 (Bridge)
1 4 9 10 11 12	10	1 2 3	1 2 3 4 5 6

返しぬいボタンを押しているあいだは返しぬいをしボタンを離すと前進します。

フットコントローラーがミシンに接続されておらず、なおかつミシンが停止状態のときは、返しぬいボタンを押しているあいだは低速で返しぬいをします。

ボタンから指をはなすとミシンは停止します。

- 以下の模様が選択されている場合：

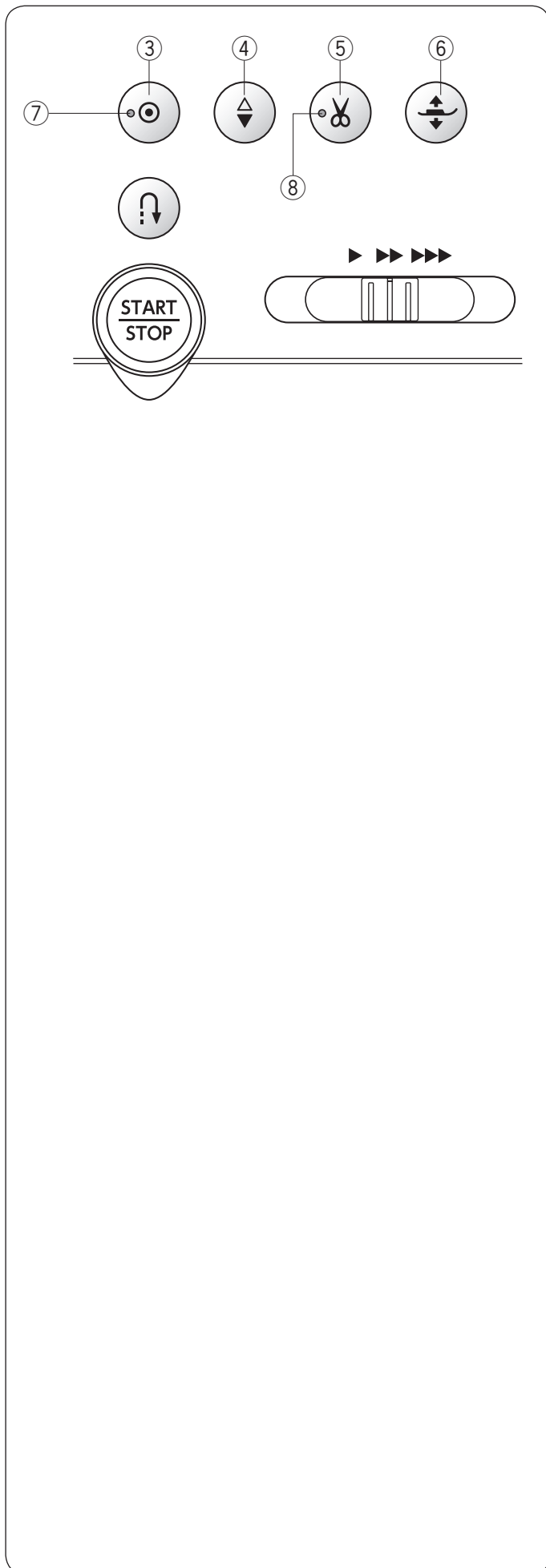
通常模様 (Utility)	ボタンホール
2 3	2 15 16

上記の模様が選択されているときは、返しぬいキーは特殊な使い方になります。(40、59-60、65、113 各ページを参照)

- そのほかの模様が選択されている場合：

そのほかの模様が選択されている場合、返しぬいボタンを押すとその位置でほつれ止めの止めぬいをしてミシンは自動的に止まります。





### ③ 止めぬいボタン

• 以下の模様が選択されている場合：

通常模様 (Utility)	アップリケ	キルト	つなぎ模様 (Bridge)

止めぬいボタンを押すと、その位置でほつれ止めの止めぬいをして、ミシンは自動的に止まります。

ミシンが停止しているときに押すと、LED⑦が点滅し、自動止めぬい機能がONになります。ミシンを再スタートさせると、その場で止めぬいをして、ミシンは自動的に止まります。

• そのほかの模様が選択されている場合：

模様を完成させたあと、止めぬいをします。自動的にミシンが停止します。

ミシンが停止しているときに押すと、LED⑦が点滅して自動止めぬい機能がONになります。ミシンを再スタートさせると、模様を完成させたあと止めぬいをして、ミシンは自動的に止まります。

自動糸切り機能をオンにすると、ほつれ止めの止めぬいをしたあと、自動的に糸を切ります。

(128 ページ参照)

### ④ 上下停針ボタン

上下停針ボタンを押して、針をあげさげします。

ミシンを停止したときの針位置は下位置ですが、停止位置を設定モードで変更できます。(128 ページ参照)

### ⑤ 糸切りボタン

ぬい終わったあとボタンを押すと、上糸と下糸を自動的に切ります。

糸を切ったあと、針は自動的に上の位置に移動します。(39 ページ参照)

糸切り中は、糸切りランプ⑧が点滅します。

自動糸切りやボビンを内がまにセットしたあとは、下糸を引き出さずにぬい始めることができます。

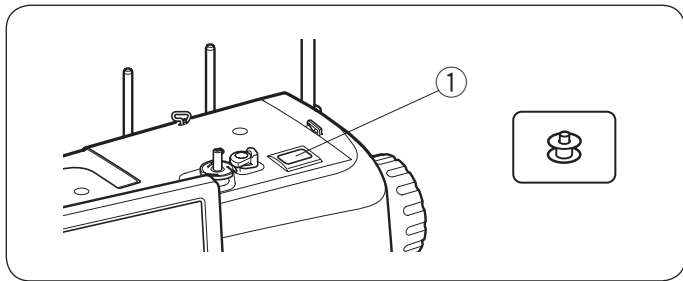
#### メモ：

- 以下の条件では糸切りボタンは使用できません。
  - 電源を付けた直後。
  - 押さえを押さえ上げであげたとき。
  - 糸切りボタンを3回連続で押したとき。
- 30番および30番より太い糸を切る場合、ミシンの面板に付いている糸切りを使用してください。(39 ページ参照)

### ⑥ 押さえ上下移動ボタン

ボタンを押すと、押さえをあげたりさげたりします。

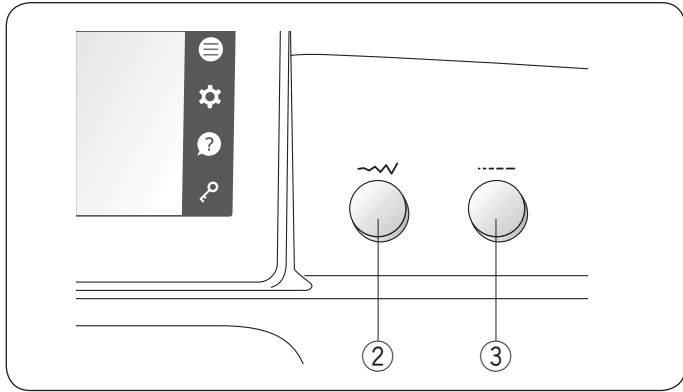
押さえ上げやニーリフトで、押さえをあげさげすることもできます。(19 ページ参照)



## ● 下糸巻きボタンと調整ダイヤル

### ① 下糸巻きボタン (27 ページ参照)

このボタンを押すとボビンに糸を巻きます。



### ② めい目の幅調整ダイヤル (46、47、57、65-66 など参照)

このジョグダイヤルをまわすと、選択した模様のめい目の幅もしくは針落ち位置が変化します。

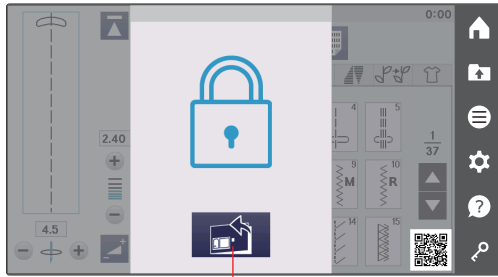
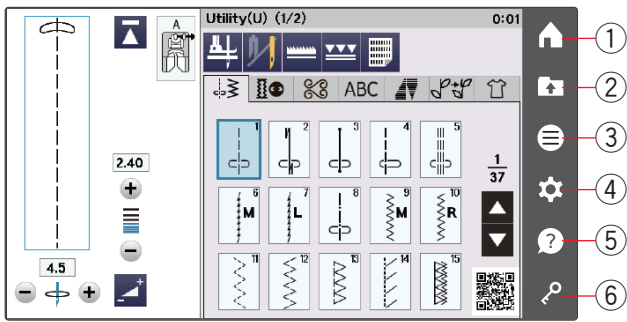
### ③ めい目のあかさ調整ダイヤル (46、47、57 など参照)

このジョグダイヤルをまわすと、選択した模様のめい目のあさが変化します。

## ● 画面（タッチパネル）キー

### ⚠ 注意：

画面や操作キーを鉛筆やドライバーなどの硬いものや先の尖ったもので押さないでください。付属のタッチペンを使用してください。



### ① ホームキー

このキーを押すと、じつようぬい (Utility) の最初の選択画面にもどります。

### ② ファイルオープンキー (96 ページ参照)

ファイルオープンキーを押すと、ファイルオープン画面が開きます。

ミシン本体や USB メモリーに保存した組み合わせ模様や文字のデータを呼び出します。

### ③ ファンクションメニューキー (122 ページ参照)

ファンクションメニューキーを押すと、ファンクションメニューが開きます。

ファンクションメニューから以下の機能を選択できます。

- クイック模様選択 (Quick Stitch Select)
- キルトブロックアドバイザー (Quilt Block Advisor)
- 手動上送り設定 (Manual Dual Feed Setting)
- ミシン情報 (Machine Information)

### ④ 設定モードキー (125 ページ参照)

設定モードキーを押して設定モードに入ります。

設定モードではミシンの設定を変更できます。

設定モードは、ミシン設定 (Machine Settings)、ぬい設定 (Sewing Settings)、言語設定 (Language Setting) があります。

### ⑤ ヘルプキー (18 ページ参照)

ミシン基本操作の画像説明ガイドを表示します。

### ⑥ ロックキー

部品を交換したり、糸を通すときにはロックキーを押してミシンをロックします。

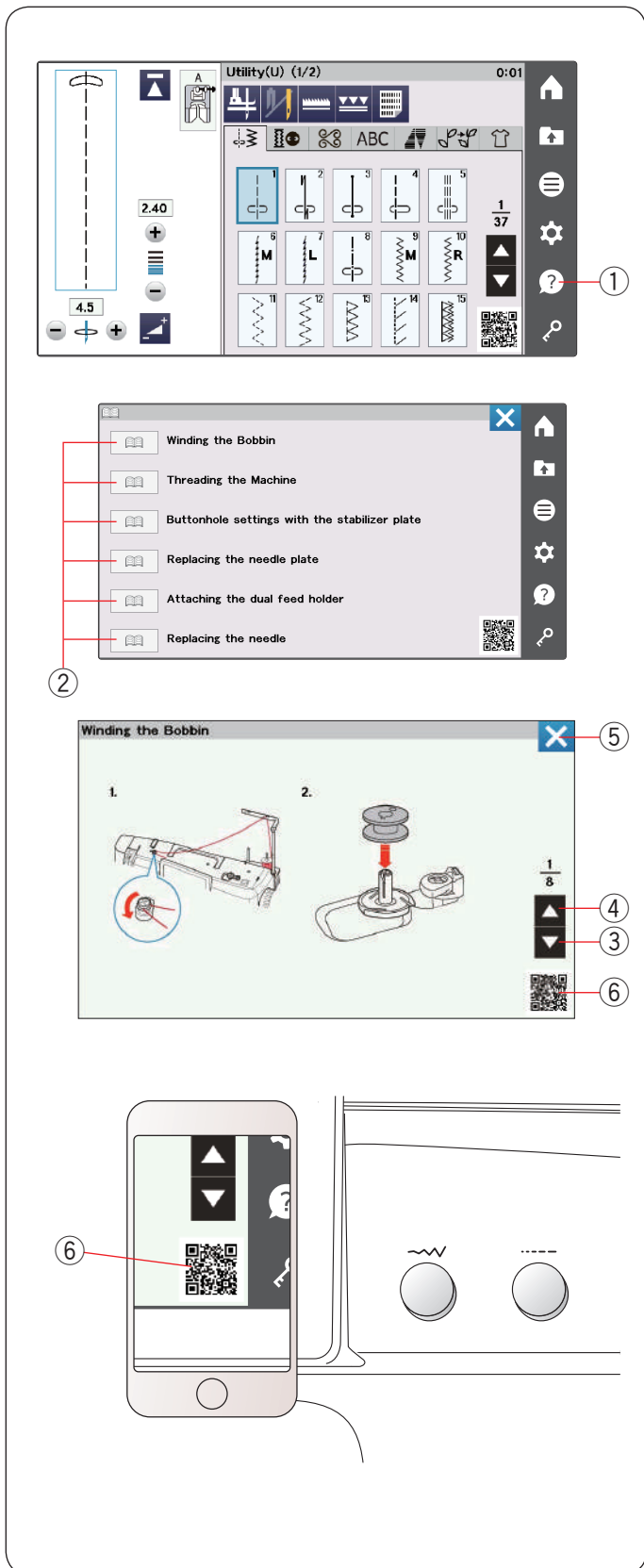
安全のため、ロックキー、針板開放キー ⑦ と押さえ上下移動ボタン以外の全てのボタンがロックされます。

ロックを解除するにはもう一度ロックキーを押します。

## ● オンスクリーンヘルプ

ヘルプキーを押すと、ヘルプメニューが開きます。  
ミシンの基本的な6つの操作説明を見ることができます。  
ブックアイコンを押して操作説明を見ます。

- ① ヘルプキー
- ② ブックアイコン



次のページを見るには次ページキーを押します。  
前のページを見るには前ページキーを押します。  
閉じるキーを押して今開いているウインドウを閉じます。

- ③ 次ページキー
- ④ 前ページキー
- ⑤ 閉じるキー

## ● AcuSpark (モバイルアプリケーション)

画面 (タッチパネル) に表示されている QR コード ⑥ を読み取ると、ミシンの状態 (模様と設定) から、お客様の知りたいミシンに関する情報を予測して表示します。

⑥ QR コード

※ AcuSpark は日本語には対応していません。

### 必要なもの :

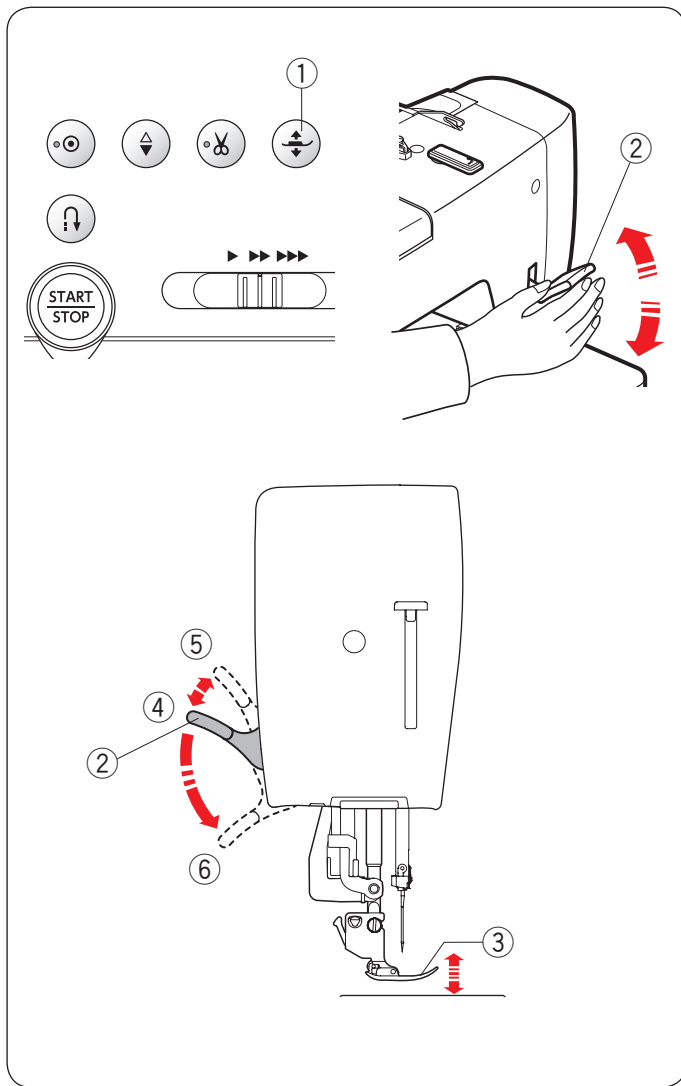
- タブレット (iOS、Android™)、もしくはスマートフォン (iOS、Android™)

下記のサイトからアプリをダウンロードできます。

<https://www7.janome.co.jp/global/softupdate/acuspark/>

- QR コードを読み取るアプリは、App Store や Google Play ストアなどからダウンロードできます。
- 使用しているデバイスで右の QR コードを読み取って AcuSpark をダウンロードしてください。
- アプリケーションのダウンロードは別途通信料がかかり、お客様の負担となります。
- iOS は、Apple Inc. の OS 名称です。
- IOS は、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の国における登録商標または商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- Android および Google Play は Google LLC の商標です。
- QR コードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- iTunes Store および App Store は、米国およびその他の国における Apple Inc. の登録商標です。
- AcuSpark は株式会社ジャノメの登録商標です。





## ● 押さえのあげさげ

### ⚠ 注意：

押さえをさらに高くあげた状態ではずみ車をまわしたり、上下停針ボタンを押したりしないでください。押さえを傷つける原因となります。

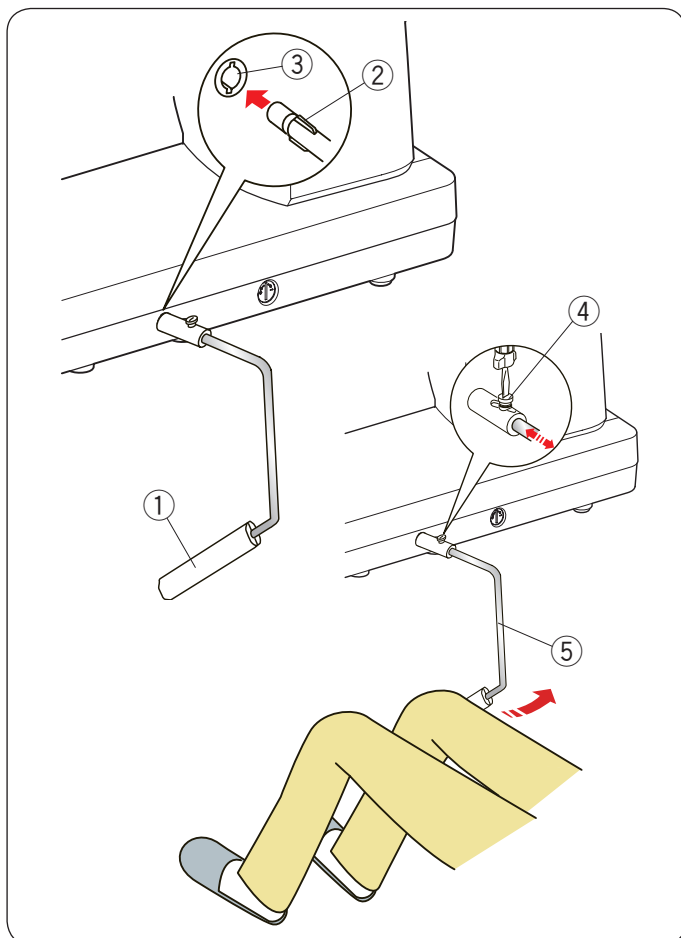
押さえ上下移動ボタン、押さえ上げ、もしくはニーリフトで、押さえのあげさげを行います。

押さえ上げ、もしくはニーリフトにさらに圧力を加えると、押さえ上げを普通にあげた位置より約 6 mm 高くあげることができます。厚い布を入れるときや針板の交換時に便利です。

- ① 押さえ上下移動ボタン
- ② 押さえ上げ
- ③ 押さえ
- ④ あげた位置
- ⑤ さらにあげた位置
- ⑥ さげた位置

### メモ：

- 押さえ上下移動ボタンで押さえをあげた場合、押さえ上げで押さえをさげることはできません。一度、押さえ上下移動ボタンを押して押さえをさげると、押さえ上げで押さえを上下できるようになります。
- 通常、押さえのあげさげには、押さえ上下移動ボタンを使用します。押さえ上げを使用すると、ミシンがスタートしなかったり、自動糸切りができなかったりする場合があります。



## ● ニーリフト

ニーリフトを取り付けると、ひざで押さえをあげさげできるため、パッチワークやキルトをぬうときにとっても便利です。

### ニーリフトの取り付け

ニーリフトの凸部をニーリフト取り付け穴の凹部に合わせて差し込みます。

- ① ニーリフト
- ② 凸部
- ③ ニーリフト取り付け穴の凹部

### ニーリフトの角度調整

ニーリフトの角度を調整できます。

ねじをゆるめて、角度棒を出し入れしてニーリフトの角度を調整します。

ねじをしめて角度棒を固定してください。

- ④ ねじ
- ⑤ 角度棒

### ニーリフトの使い方

ニーリフトをひざで右側に押すと押さえが上がり（２段階）、もどすと押さえがさがります。

※ ぬっている途中、ニーリフトには触れないよう注意してください。

## ● 押さえの交換

### ⚠ 注意：

- 押さえを交換する場合、必ずロックキーを押してミシンをロックしてください。けがの原因となります。
- 押さえは模様にあったものを使用してください。押さえが合っていない場合は針折れの原因となります。

① 電源スイッチを入れた状態で、上下停針ボタンを押して針をあげます。

ロックキーを押してミシンをロックします。

- ① 上下停針ボタン
- ② ロックキー

② 押さえ上げをあげます。

- ③ 押さえ上げ

※ 押さえ上下移動ボタンで押さえをあげると、このあと押さえ上げで押さえをさげることができません。

③ 押さえホルダーのレバーをうしろ側から押し、押さえを外します。

- ④ レバー

### ⚠ 注意：

レバーを上から押さないでください。  
レバーが壊れる原因となります。

④ 交換する押さへのピンが、押さえホルダーのみぞに合うように真下に置きます。

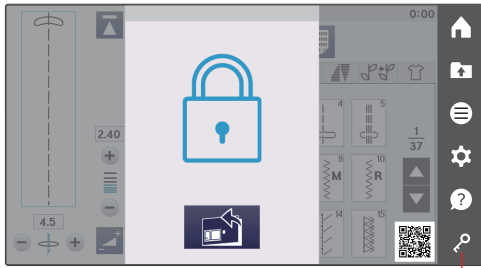
押さえ上げをゆっくりさげ、押さえを取り付けます。

- ⑤ ピン
- ⑥ みぞ

押さえには押さえ記号が付いています。

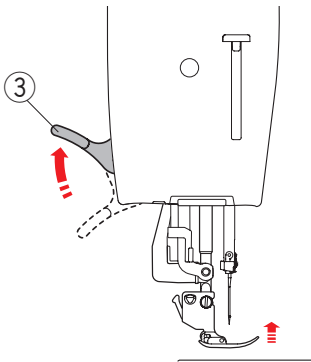
- ⑦ 押さえ記号

1

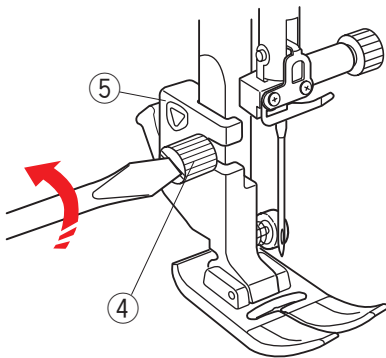


2

2

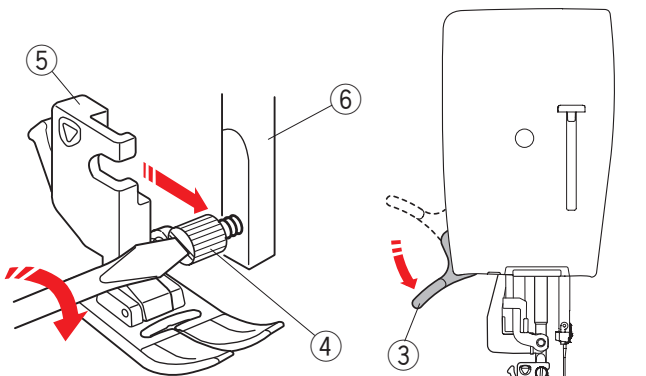


3



1 3

2



## ● 押さえホルダーの取り付け、取り外し

プロフェッショナル押さえ HP、ルーラーワーク押さえ QR、フリーキルト押さえ PD-H、上送り押さえ AD（標準）などを使用するときは、押さえホルダーを外します。

### ⚠ 注意：

押さえホルダーの取り付け、取り外しを行うときには必ずロックキーを押して、ミシンをロックしてください。けがの原因となります。

### 押さえホルダーの外し方

- ① 電源スイッチを入れた状態で、上下停針ボタンを押して針をあげます。  
ロックキーを押してミシンをロックします。
- ② 押さえ上げをあげます。
  - ① 上下停針ボタン
  - ② ロックキー
  - ③ 押さえ上げ
- ③ ドライバーで押さえホルダー止めねじをゆるめ、押さえホルダーを外します。
  - ④ 押さえホルダー止めねじ
  - ⑤ 押さえホルダー

### 押さえホルダーの付け方

※ 押さえホルダーは、押さえが付いた状態で取り付けてください。押さえが付いていないと正常な取り付けができません。

電源スイッチを入れた状態で、上下停針ボタンを押して針をあげます。

ロックキーを押してミシンをロックし、押さえ上げをあげます。

※ 押さえ上下移動ボタンで押さえをあげると、このあと押さえ上げで押さえをさげることができません。

- ① 押さえホルダーのみぞを、うしろ側から押さえホルダー止めねじに合わせ、押さえホルダーを仮止めします。
- ② 押さえ上げをゆっくりさげます。はずみ車を手前にまわし、針をいちばん下までさげます。
- ③ 押さえホルダー止めねじを一度少しゆるめてから、押さえが針板に押し付けられた状態で押さえホルダー止めねじを右にまわしてドライバーでしっかりしめます。
  - ④ 押さえホルダー止めねじ
  - ⑤ 押さえホルダー
  - ⑥ 押さえ棒

● 上送り押さえ AD (標準) またはプロフェッショナル上送り押さえ HP2 の取り付け

① 上送りホルダーを押さえ棒に取り付けます。

① 上送りホルダー

② 押さえホルダー止めねじを指でしめます。

上送り押さえホルダーのフックを上送り取り付けピンに取り付けます。

② フック

③ 上送り取り付けピン

③ 押さえ上げを下げます。

はずみ車をまわして、針をいちばん下まで下げます。

④ 押さえホルダー止めねじをドライバーでしっかりとしめます。

● ルーラーワーク押さえ QR

ルーラーワーク押さえ QR を押さえ棒のうしろ側から取り付けます。

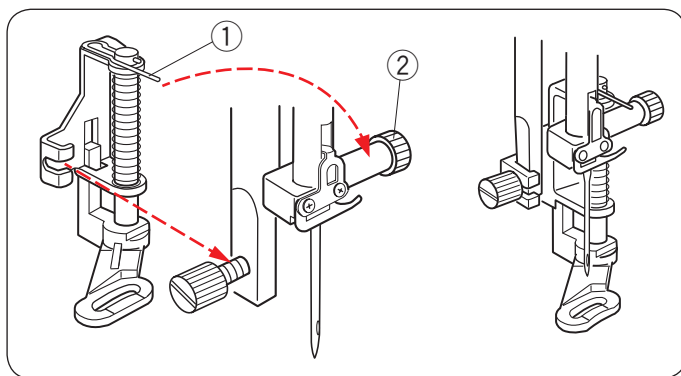
押さえホルダー止めねじをドライバーでまわし、しっかりとしめます。

● プロフェッショナル押さえ HP の取り付け方

押さえ棒にプロフェッショナル押さえ HP を取り付けます。

押さえホルダー止めねじをドライバーでまわし、しっかりとしめます。



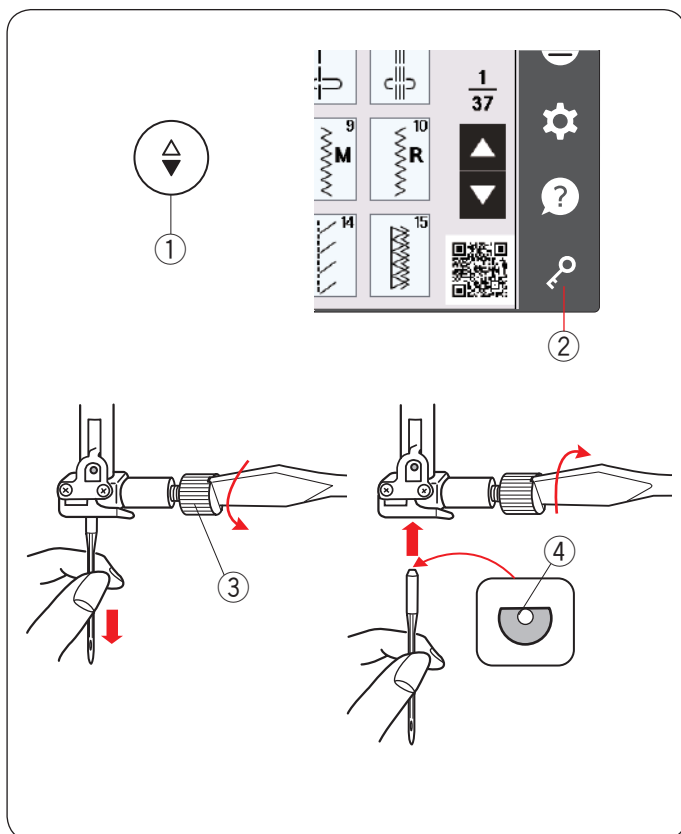


## ● フリーキルト押さえ PD-H またはフリーキルト押さえ PD-H (前あき) の取り付け方

フリーキルト押さえ PD-H、またはフリーキルト押さえ PD-H (前あき) のピンを針止めねじの上へのせ、押さえを押し棒に取り付けます。

- ① ピン
- ② 針止めねじ

押さえホルダー止めねじをドライバーでまわし、しっかりとしめます。



## ● 針の交換

### ⚠ 注意:

針を交換する場合、必ずロックキーを押してミシンをロックしてください。けがの原因となります。

上下停針ボタンを押して針をあげます。

ロックキーを押します。

- ① 上下停針ボタン
- ② ロックキー

針止めねじを反時計回りにまわしてゆるめます。

針を針止めから外します。

- ③ 針止めねじ

交換する針の平らな面を裏側に向け、針止めに差し込みます。

- ④ 平らな面

差し込むとき、針を停止ピンに当たるまで押しあげます。針止めねじをドライバーでまわし、針をしっかりと止めます。

※ 正しく針が付けられていないと、糸通しができないだけでなく、針がゆるんで針折れして危険です。

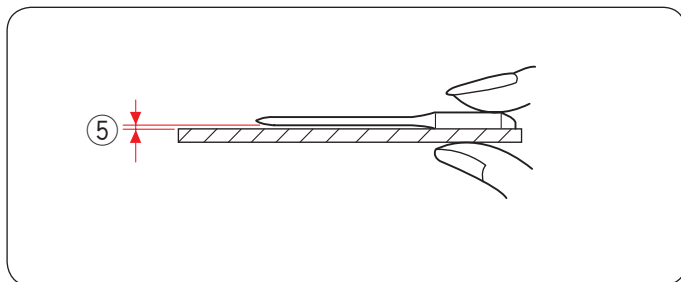
## 【針の調べ方】

針の状態を見るには、針の平らな面を針板やガラスなどの平らなものに乗せます。

針と平らな面のすきまが針先まで均等に見えるのがよい針です。

- ⑤ すきま

曲がった針やつぶれた針は使用しないでください。



## ● 布に適した糸や針を選ぶ目安

※ 針は必ず、家庭用ミシン針（HA × 1）を使用してください。

布の種類		糸	針
うすい布	ローン ジョーゼット トリコット	ポリエステル 90 番	9 番～ 11 番 または ブルー針
普通の布	シーチング ジャージー 一般ウール地	綿糸 60 番、 ポリエステル、ナイロン 50 番～ 90 番	11 番～ 14 番 または ブルー針、レッド針、パープル針
		綿糸 50 番	14 番 または レッド針、パープル針
厚い布	デニム ツイード コート地	綿糸 40 番～ 50 番 ポリエステル 40 番～ 50 番	14 番～ 16 番 または レッド針、パープル針
		ポリエステル 30 番、綿糸 30 番	16 番

※ ブルー針〔11 番〕、レッド針〔14 番〕、パープル針〔14 番〕は、標準付属品の針ケースに入っています。

※ 一般的に、うすい布には細い糸と細い針を、厚い布には太い糸と太い針を使用します。この表を目安に糸と針を選び、試しぬいをしてください。

※ 通常は、上糸と下糸は同じものを使用してください。

※ ブルー針（柄の部分が青色の針）およびパープル針（柄の部分がむらさき色の針）は、目とび防止の効果があります。

## ● 下糸の準備

### ボビンの取り出し

角板開放ボタンを右へずらして角板を外します。

- ① 角板開放ボタン
- ② 角板

ボビンを取り出します。

- ③ ボビン

### メモ：

- ボビンは当社専用のプラスチックボビンを使用してください。お買い上げの販売店へご相談ください。
- ナイロン透明糸およびメタリック糸を、下糸に使用しないでください。
- 金属ボビンは使用しないでください。かまにマグネットが使用されているため、糸調子の不具合や、故障の原因となります。

### 糸こまのセット

糸こまから糸を図のように引き出して、糸こまを糸立て棒に入れます。

糸こま押さえ（大）を糸こまにしっかりと押し付けて糸こまを押さえます。

- ① 糸こま
- ② 糸立て棒
- ③ 糸こま押さえ（大）

通常の糸こまには糸こま押さえ（大）を使用します。小さい、もしくは細い糸こまには、糸こま押さえ（小）を使用します。

- ④ 糸こま（小）
- ⑤ 糸こま押さえ（小）

### メモ：

糸が少なくなると糸こまから糸がほどけにくくなるため、紙芯の糸こまの使用は避けてください。自動糸切りを使用したときに糸のもつれやスベリの原因となります。

### 糸こま（コーン巻き）のセット

コーン巻きの糸こまには、糸こま保持体と糸こまネットを使用します。

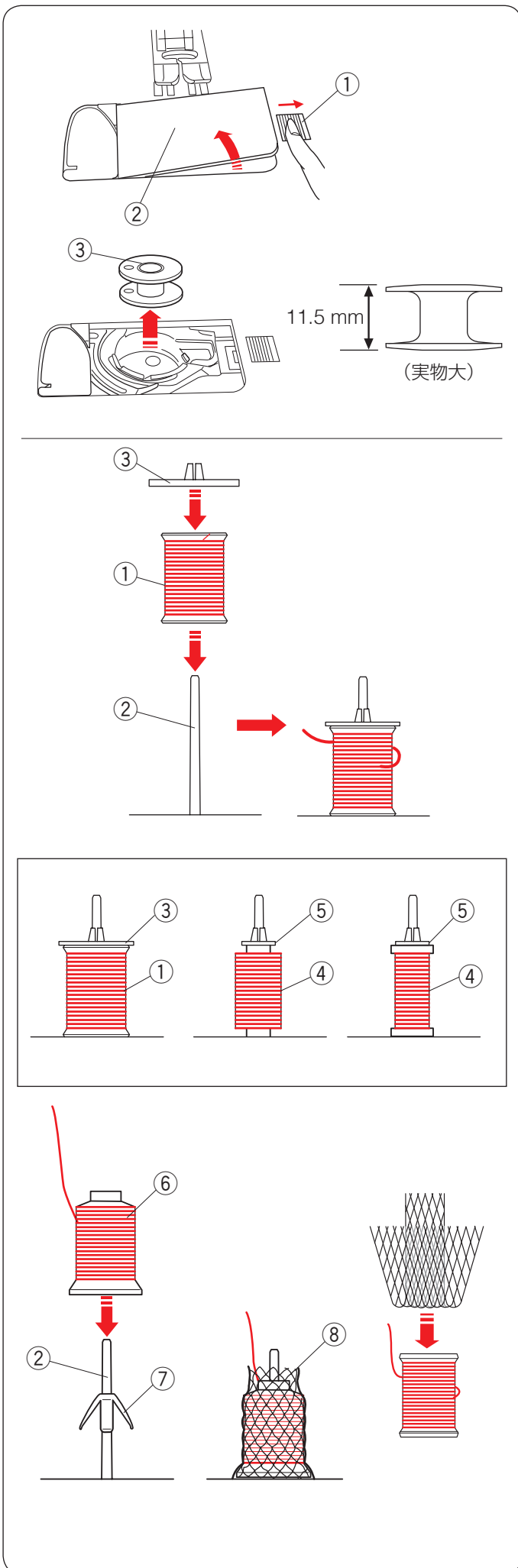
糸こま保持体を糸立て棒に取り付けます。

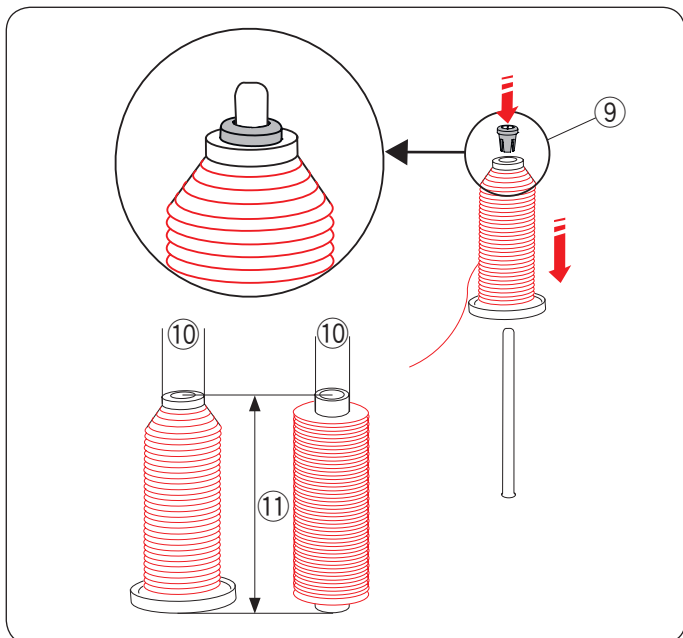
コーン巻きの糸こまを糸立て棒にに入れます。

ぬいのときにコーン巻き糸こまがガタつく場合は、糸こまネットをコーン巻き糸こまにかぶせます。

糸こまネットが糸こまに対して長過ぎる場合は折って糸こまにかぶせます。

- ② 糸立て棒
- ⑥ コーン巻き糸こま
- ⑦ 糸こま保持体
- ⑧ 糸こまネット





### 特殊サイズ糸こまの取り付け

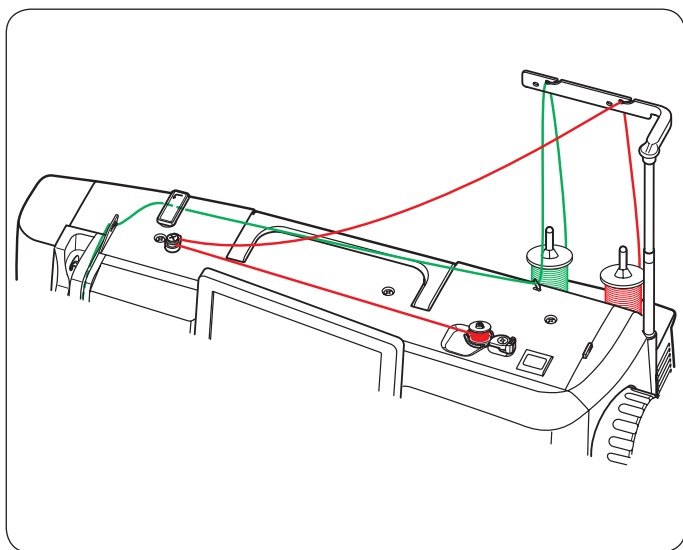
下記の長さの糸こまを固定する場合、特殊糸こま押さえを使用します。

サイズは以下のとおりです。:

糸こまの芯の直径が 9.5 mm ~ 10.5 mm で、糸こまの長さが 70 mm ~ 75 mm。

- ⑨ 糸こま押さえ (特殊)
- ⑩ 糸こまの芯の直径 (9.5 mm ~ 10.5 mm)
- ⑪ 糸こまの長さ (70 mm ~ 75 mm)

糸こまの芯の穴の中に特殊糸こま押さえを図のようにしっかりと入れ、糸こまを押さえます。



### ぬい中の下糸巻き

糸立て棒は 2 本あります。

ぬいの途中で、糸をほどかずに下糸巻きを行いたい場合、もう一つの糸立て棒を使用します。

糸を糸こまから図のように引き出して、糸こまを糸立て棒に入れます。

#### メモ:

2 本針ぬいをするときにも両方の糸立て棒を使用します。(79 ページ参照)

## 下糸巻き

### メモ:

- 糸巻きの速度をかえることができます。(126 ページ参照)
- ナイロン透明糸およびメタリック糸を、下糸に使用しないでください。

- ① 収納式糸かけスタンドを引きあげます。  
糸こまから糸を引き出し、糸を収納式糸かけスタンドのうしろから通します。

① 収納式糸かけスタンド

- ② 糸を糸巻き糸案内の下に通します。

② 糸巻き糸案内

- ※ 糸を皿の下に確実にに入れてください。糸が皿の下に確実に入っていないと、均等に巻くことができません。

- ③ ボビンのみぞと糸巻き軸のばねを合わせて、ボビンを糸巻き軸に差し込みます。

③ ボビン

④ みぞ

⑤ 糸巻き軸

⑥ ばね

- ④ 両手で糸を持ち、糸の端を右手でボビンのみぞに時計回りに4～5回巻きます。

- ⑤ ボビンに巻いた糸を、糸切りホルダーのみぞに入れ、右側に引いて糸を切ります。みぞは3カ所あり、中にカッターが内蔵されています。

⑦ 糸切りホルダー

⑧ みぞ

- ⑥ ボビン押さえをボビンの方向に押し付けます。

⑨ ボビン押さえ

- ※ ボビン押さえのねじはさわらないでください。部品が外れることがあります。

- ⑦ 糸巻きボタンを押します。画面に糸巻きサインが表示されます。

⑩ 糸巻きボタン

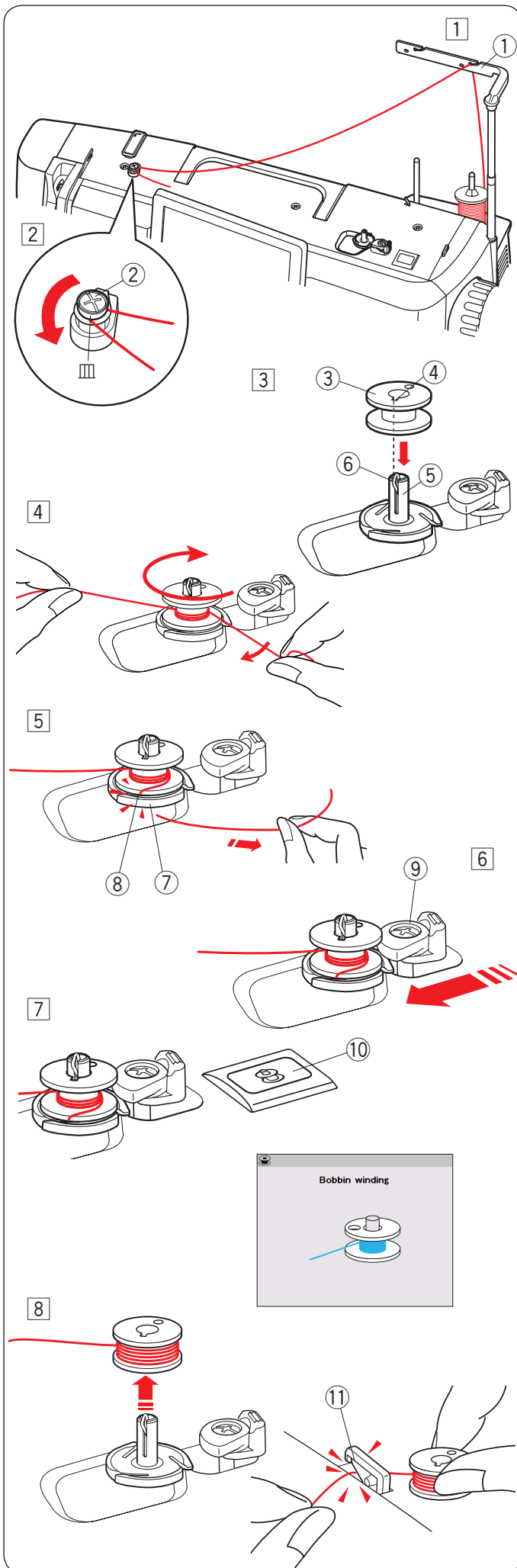
下糸が巻き終わると回転が止まり、自動的にボビン押さえがもとの位置にもどります。

### メモ:

- 下糸巻き中に糸切りホルダーの下に糸がからまってしまった場合、ミシンを停止して糸をほどいてください。(139 ページ参照)
- 安全のため、ミシンは下糸巻きが始まってから約1分30秒後に自動的に止まります。

- ⑧ ボビンを糸巻き軸から外します。  
糸を糸切り（下糸巻き用）で切ります。

⑪ 下糸切り



## ● ボビンのセット

### ⚠ 注意：

ボビンを内がまにセットする場合は、必ずロックキーを押して、ミシンをロックしてください。けがの原因となります。

① 電源スイッチを入れた状態でロックキーを押し、ミシンをロックします。

ボビンから出る糸の端が反時計回りになるようにして、図のようにボビンを内がまに入れます。

- ① ロックキー
- ② 糸の端
- ③ 内がま
- ④ 角板

② ボビンを回転しないように、右手で押さえます。

糸の端を左手で持ち、内がまの手前のみぞにかけ、さらに手前のつもの下をくぐらせます。

- ⑤ 手前のみぞ
- ⑥ つの

※ 糸を各部に確実にかけるため、手順④が終わるまで右手でボビンを押さえておきます。

③ つもの下をくぐらせた糸を矢印1の方向に引きあげて矢印1のみぞに入れます。

- ⑦ 矢印1のみぞ
- ⑧ 内がまの左側のみぞ

※ 糸が内がまの左側のみぞから出ているのを確認してください。

※ 手順②で、内がまの手前のみぞ⑤に糸がかかっていないと、内がまの左側のみぞ⑧に糸が入らず、矢印1のみぞ⑦にボビンから直接通ってしまいます。(左図、【B】参照)

その場合は手順②からかけ直し、左図【A】の状態になるようにしてください。

※ 糸が正しくかけられていないと、ぬい不良の原因となります。

④ みぞに沿って矢印2の方向に糸を通し、糸切り(下糸切り用)にかけて右に水平に引いて糸を切ります。

- ⑨ 矢印2のみぞ
- ⑩ 糸切り(下糸切り用)

⑤ 角板を左側から合わせ、下へ押してミシンに取り付けます。

### メモ：

- 通常は下糸を引き出さずにぬい始めることができます。
- 下糸を針板の上に引き出す必要がある場合は32ページをご覧ください。

## ● 上糸かけ



### 注意：

糸をかける場合、必ずロックキーを押してミシンをロックしてください。けがの原因となります。

- ※ 糸を各部に確実にかけるために、常に右手で糸こま側の糸を押さえながら、左手で強めに引いてかけてください。
- ※ 糸こまのセット方法は、25 ページ「糸こまのセット」をご覧ください。
- ※ 糸こまが外れるのを防ぐため、必ず糸こま押さえを使用してください。

- ① 上下停針ボタンを押して天びんを上にあげます。  
ロックキーを押してミシンをロックします。

- ① 上下停針ボタン
- ② 天びん
- ③ ロックキー

- ② 収納式糸かけスタンドを引きあげます。  
糸こまから糸を引き出し、収納式糸かけスタンドにうしろからかけます。

- ④ 収納式糸かけスタンド

- ③ 糸案内（右）に糸を通します。

- ⑤ 糸案内（右）

- ④ 糸こまからの糸を両手で持ち、下に押し込むようにして糸案内カバーのあいだに通します。

- ⑥ 糸案内カバー

- ⑤ 糸案内（左）に糸をかけ、みぞに沿って手前に糸を引き出します。

- ⑦ 糸案内（左）

- ⑧ みぞ

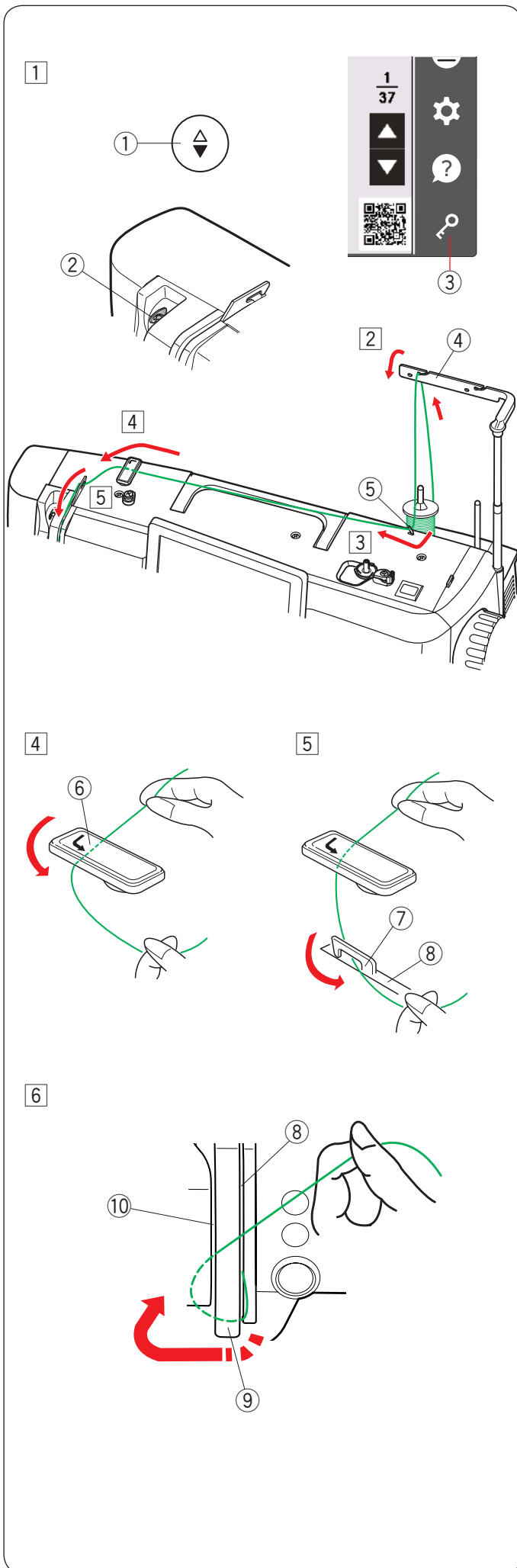
- ⑥ 糸を下へ引き、糸を右みぞから糸案内板の下部をくぐらせます。

糸を引き上げて左みぞに通します。

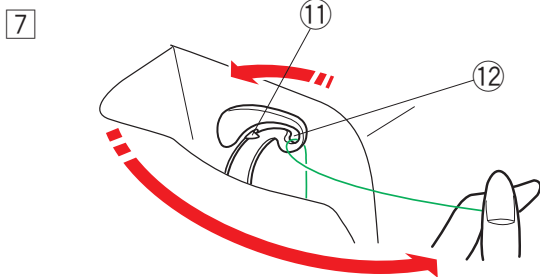
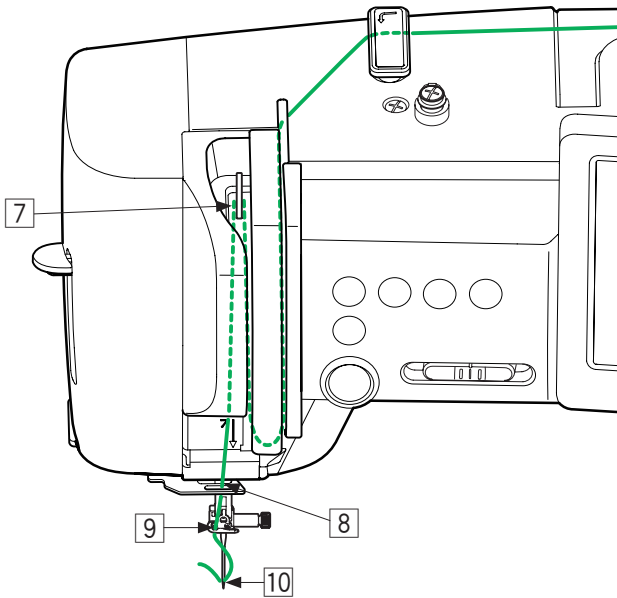
- ⑧ 右みぞ

- ⑨ 糸案内板

- ⑩ 左みぞ



## 上糸かけ (続き)

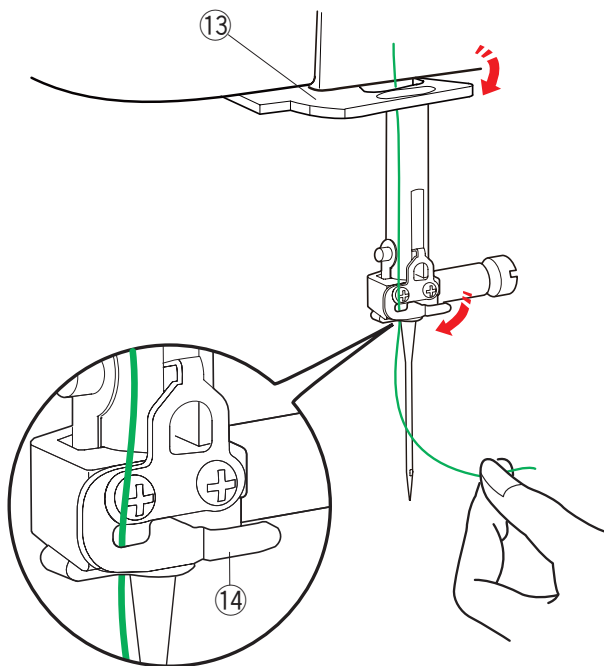


7 糸こま側の糸を押さえながら、天びんの右からうしろへまわして手前に引き、ばねを通過させて糸穴に入れ、まっすぐ下へおろします。

※ 糸がばねを通過し、天びんの糸穴まで入っていることを確認してください。

- ⑪ ばね
- ⑫ 天びんの糸穴

8 9 10



8 糸を左みぞの下に向かって引き、アーム糸案内に右からかけます。

- ⑬ アーム糸案内

9 針棒糸かけに右から糸を通します。

図のように糸を針棒糸かけの端までしっかり入れてください。

- ⑭ 針棒糸かけ

10 糸通しを使って針に糸を通します。  
(次ページ参照)



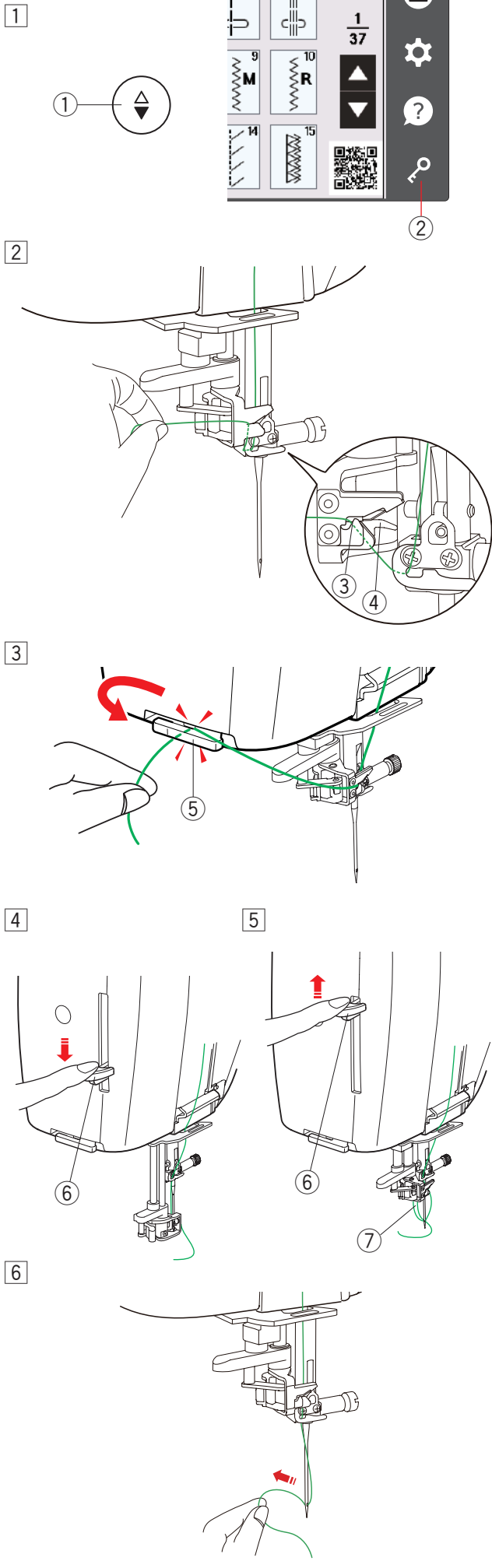
## ● 糸通し

### ⚠ 注意:

糸通しを使う場合は、必ずロックキーを押してミシンをロックしてください。けがの原因となります。

### メモ:

- 糸通しに使用する針は、家庭用ミシン針 (HA × 1) の 11 番～ 16 番、糸の太さは 50 番～ 90 番を使用してください。
- 30 番より太い糸は使用しないでください。
- 2 本針の場合、糸通しは使用できません。



① 上下停針ボタンを押して針をあげます。

ロックキーを押してミシンをロックします。

- ① 上下停針ボタン
- ② ロックキー

② 糸を糸通しのみぞに通します。糸はフックの下を通ります。

- ③ みぞ
- ④ フック

③ 糸を面板についている糸切りに手前側から向こう側にかけて切ります。

- ⑤ 糸切り

④ 糸通しレバーを止まるまでさげます。

- ⑥ 糸通しレバー

⑤ 糸通しレバーを静かにもどすと、糸の輪が引きあげられます。

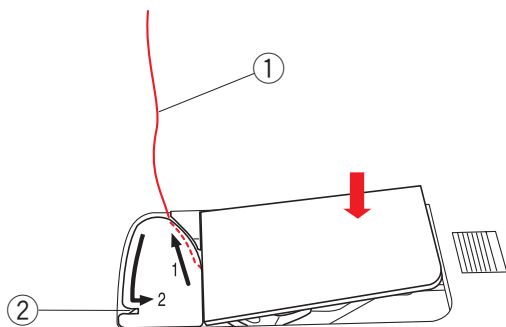
- ⑥ 糸通しレバー
- ⑦ 糸の輪

⑥ 糸の輪を糸通しから外し、糸の輪を向こう側に引いて、針穴から糸の輪を引き出します。

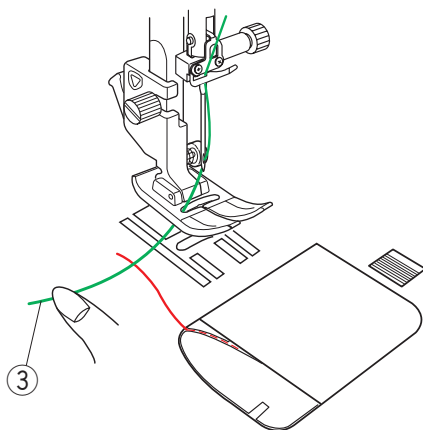
### メモ:

糸の輪ができず、フックに引っかかってしまう場合は、そのまま糸をうしろに引き出してください。

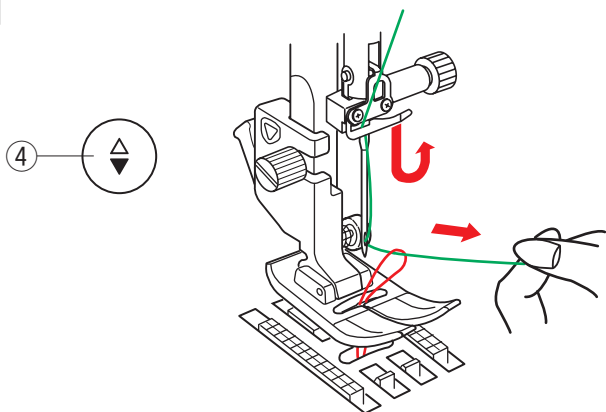
1



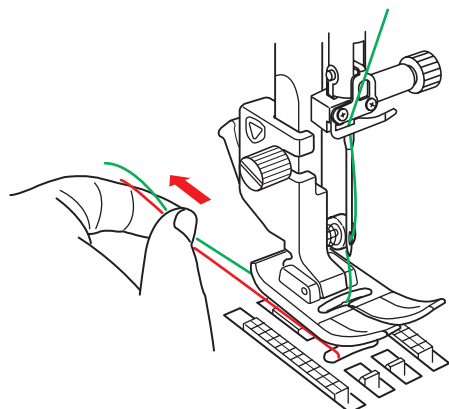
2



3



4



## ● 下糸の引きあげ方

自動糸切り後やボビンを内がまにセットしたあとは、下糸を引きあげずにぬい始めることができます。ただし、ギャザーやスモッキングなど、ぬい始めの下糸を長くする必要があるときは、下記手順で下糸を針板の上に引き出します。

① 上下停針ボタンを押して針をあげます。

ロッキーを押してミシンをロックします。  
ボビンを取り出します。

ボビンをもう一度内がまに入れ、28ページの説明にしたがって糸を通します。そのときに図のように下糸を10 cm引き出しておき、角板を取り付けます。

① 下糸

### メモ：

下糸を糸切り（下糸切り用）で切らないでください。

② 糸切り（下糸切り用）

② 押さえをあげ、上糸を左手で軽く押さえます。

③ 上糸

③ 上下停針ボタンを2回押して針を上下させ、下糸を引きあげます。

④ 上下停針ボタン

④ 上糸と下糸を押さえの下にして、約10 cm うしろにそろえて引き出します。

## ● 針板の交換

### ⚠ 注意：

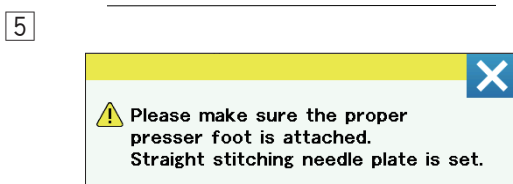
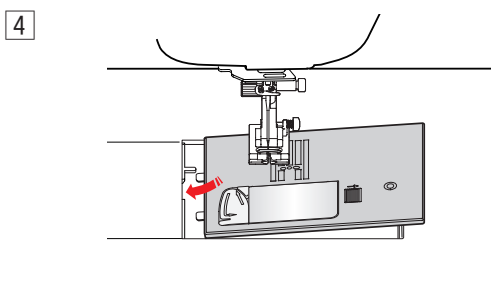
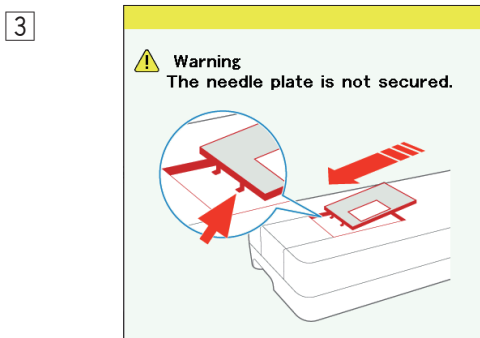
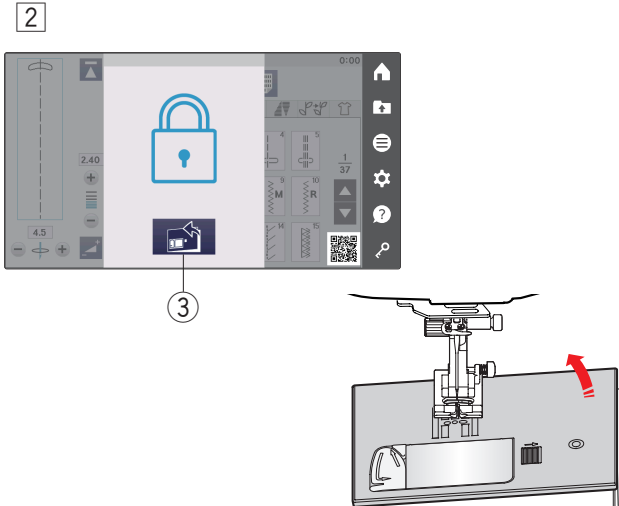
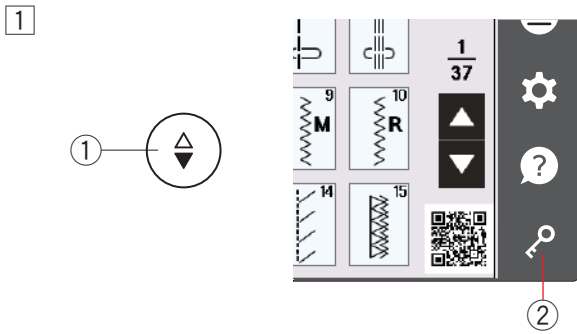
- 針板を交換する前にはロックキーを押して、ミシンをロックしてください。
- ミシンの運転中、針板着脱操作ダイヤルは絶対に回さないでください。

上送り押さえを使用するときには、直線ぬい用針板を使用してください。直線ぬい用針板は直線ぬいの左針位置、中針位置、右針位置で使用できます。

プロフェッショナル直線ぬい用針板（左針位置専用）を使用するときには、プロフェッショナル直線押さえ HP を使用してください。プロフェッショナル直線ぬい用針板（左針位置専用）を使用する場合は、直線ぬいの左針位置を使用してください。

### メモ：

直線ぬい用針板およびプロフェッショナル直線ぬい用針板（左針位置専用）を取り付けると、各針板でぬえない模様は選択できなくなります。



- 1 上下停針ボタンを押して針をあげます。ロックキーを押します。

- ① 上下停針ボタン
- ② ロックキー

- 2 針板開放キーを押すと、針板が持ちあがります。

- ③ 針板開放キー

- 3 警告メッセージが表示されます。針板を右に引いて取り外します。

### メモ：

- 一定の時間（針板持ちあげ時間）が経過すると、針板は自動的に元の位置へもどります。
- 針板を持ち上げておく時間は変更できます。（127ページを参照）

- 4 直線ぬい用針板を取り付けます。左端のガイドに針板を差し込んで取り付けます。

- 5 警告メッセージが消えて、直線ぬい用針板が取り付けられたメッセージが表示されます。適切な押さえをミシンに取り付けてください。

X キーを押します。

はずみ車をゆっくりとまわして、針が針板にぶつからないことを確認してください。

ロックキーを再度押し、ロックを解除します。

## ◎ じつようぬい

### ● 模様グループ選択タブ

通常ぬいモードは7つの模様グループに分かれています。

- ① じつようぬい (U)
- ② ボタンホールと特殊模様 (B)
- ③ かざりぬいとキルト模様
- ④ 文字ぬい
- ⑤ テーパリング
- ⑥ 手ぬい風ステッチ
- ⑦ 用途ぬい

タブを押して模様グループを選択します。

#### メモ：

この使い方ガイドブックでは、模様番号に模様グループのイニシャルを引用しています。

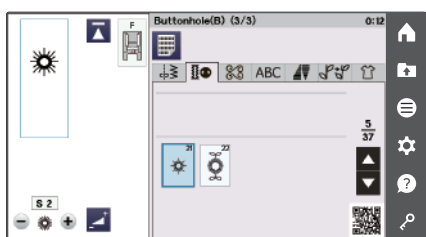
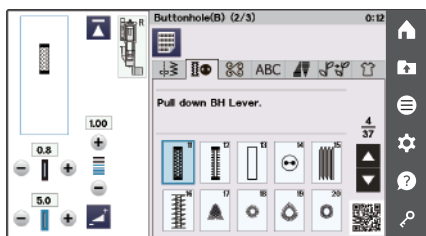
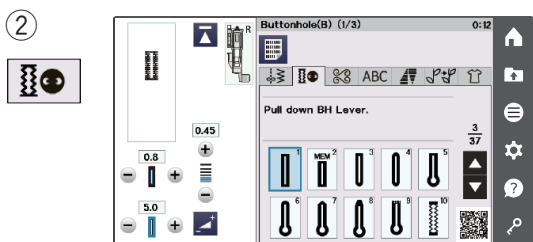
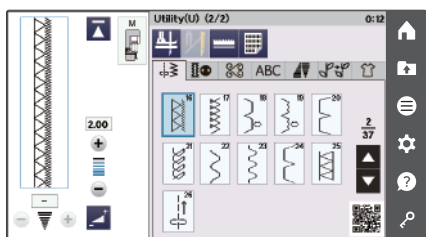
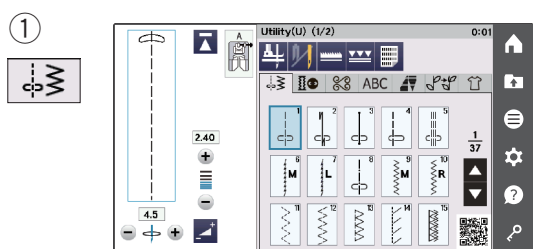
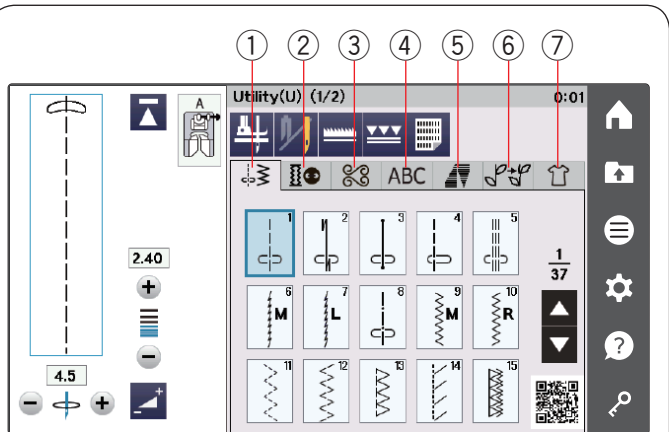
例えばボタンホールグループの模様番号 15 番は B15 (ボタンホールの B) と表します。

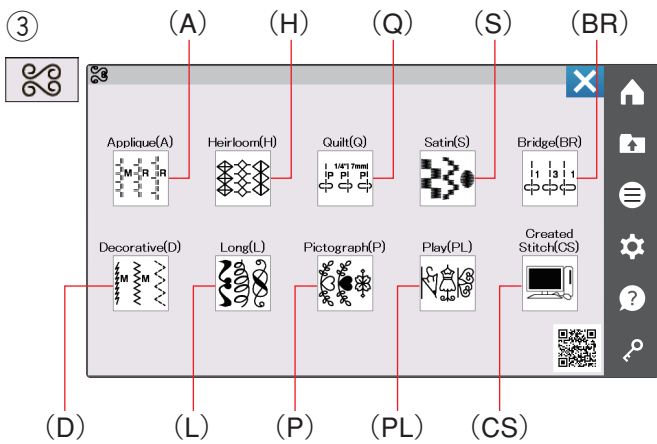
### ① じつようぬい (U)

ぬい合わせ、かがりぬい、まつりぬい、しつけぬい、シエルタックなどのじつようぬいを選択できます。

### ② ボタンホールぬいと特殊模様 (B)

数種類のボタンホール、ボタン付け、つくろいぬい、かんぬき止め、フライステッチ、アイレットなどの特殊模様を選択できます。

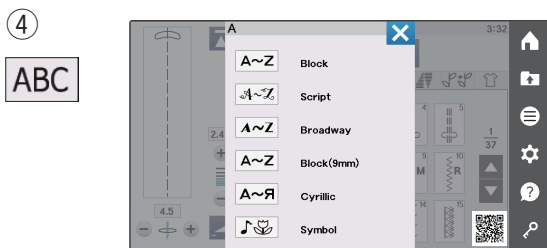




### ③ かざりぬいとキルト模様

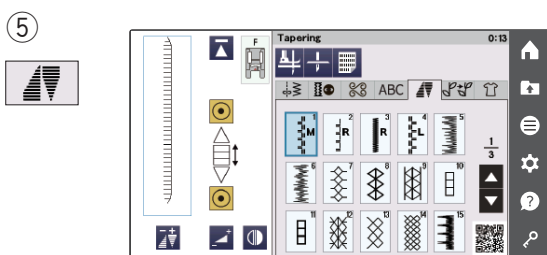
かざりぬいの模様グループには、以下の 10 個のグループがあります。

- Applique (A): アププリケ
- Heirloom (H): かざりもよう 1
- Quilt (Q): キルト
- Satin (S): サテン
- Bridge (BR): つなぎもよう
- Decorative (D): かざりもよう 2
- Long (L): ロングステッチ
- Pictograph (P): ワンポイント
- Play (PL): プレイ
- Created Stitch (CS): ユーザー作成模様



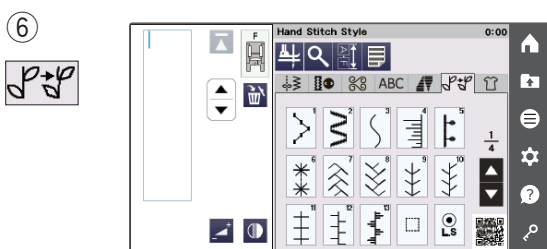
### ④ 文字ぬい

文字やアルファベットを組み合わせてぬうことができます。



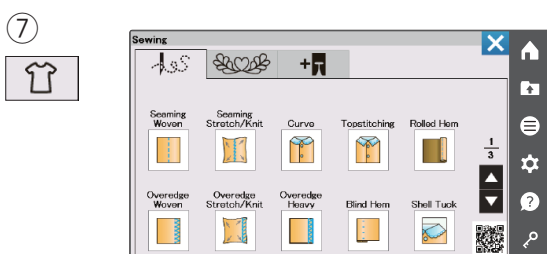
### ⑤ テーパーリング

かざりぬい模様の最初と最後を先細りにする機能です。模様先端やコーナーを細くすることができます。



### ⑥ 手ぬい風ステッチ

キルト模様やかざりぬいに、素朴な手ぬい風の効果を加えることができます。模様の形状が無作為に少しだけ変化し、模様到手ぬい風の効果を出すことができます。



### ⑦ 用途ぬい

様々なぬい用途や布の種類に適したぬい模様を選ぶことができます。

## ● 設定キー

### ① ピボットぬい設定キー

ピボットぬいを行う場合に押します。(48 ページ参照)  
ピボットぬい設定をオンにすると、ミシンを止めたときに、針が下位置でとまり、自動的に押さえが上がります。

### ② 2本針ぬい切りかえキー

付属の2本針を使用してぬう場合に押します。(79 ~ 80 ページ参照)

### ③ 送り歯ドロップキー

送り歯のあげさげを行う場合に押します。  
送り歯ドロップキーはじつようぬいと、一部の用途ぬいを選択したときのみ使用できます。

### ④ 上送りぬい切りかえキー

付属の上送り押さえを使用して上送りぬいを行う場合に押し、上送りぬいに設定します。(41 ~ 42 ページ参照)

### ⑤ 早見表キー

模様一覧表を見ることができます。

### ⑥ 模様頭出しキー

模様をぬっている途中でミシンを止めた場合、ぬいを再開する前に押すと、その模様の最初からぬうことができます。

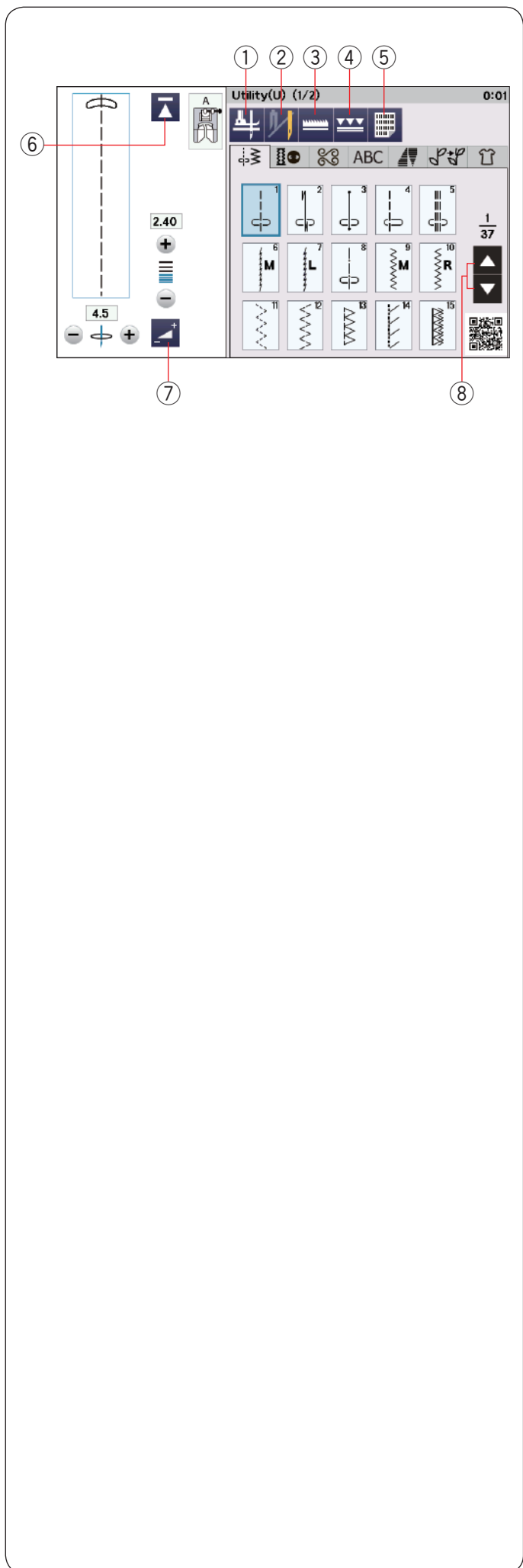
模様頭出しキーを一度押すと現在ぬいかけの模様を最初からぬい直します。模様頭出しキーを二度押すと現在ぬっている組み合わせ模様の先頭の模様からぬい直します。(83 ページ参照)

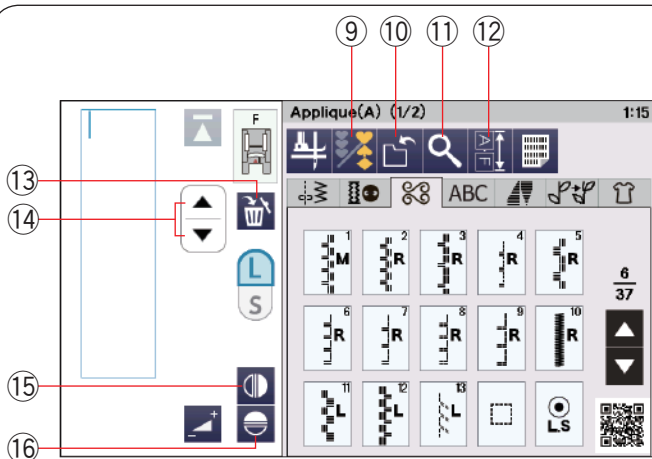
### ⑦ 調整キー

調整キーを押すと、調整画面が全体表示されます。(46 ページ参照)

### ⑧ ページキー

ページキーを押して前のページや次のページを表示します。ページキーを押しっぱなしにするとページを連続でめくります。





### ⑨ 模様組み合わせキー

模様組み合わせキーを押すと好みの模様を組み合わせることができます。

模様組み合わせキーを押すと、保存キー、プレビューキー、組み合わせ模様長さキー、削除キー、カーソル移動キー、上下反転キー、文字高さキー、が表示されます。

### ⑩ 保存キー

組み合わせた模様をミシンや USB メモリに保存することができます。

### ⑪ プレビューキー

組み合わせた模様のぬいイメージの全体が確認（プレビュー）できます。

### ⑫ 組み合わせ模様長さキー

組み合わせ模様の長さを確認することができます。

### ⑬ 削除キー

カーソルの付いている模様を削除します。  
カーソルはカーソル移動キー ⑭で移動させます。

### ⑭ カーソル移動キー

カーソル移動キーを押してカーソルを上下させます。

### ⑮ 左右反転キー

選んだ模様の形を左右反転させます。(81 ページ参照)

### ⑯ 上下反転キー

選んだ模様の形を上下反転させます。上下反転できない模様のキーはグレーになり、選択できなくなります。(81 ページ参照)

### ⑰ 文字高さ選択キー

文字の高さを L と S から選びます。

### ⑱ 大文字・小文字選択キー

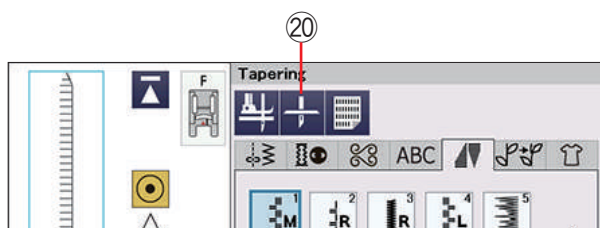
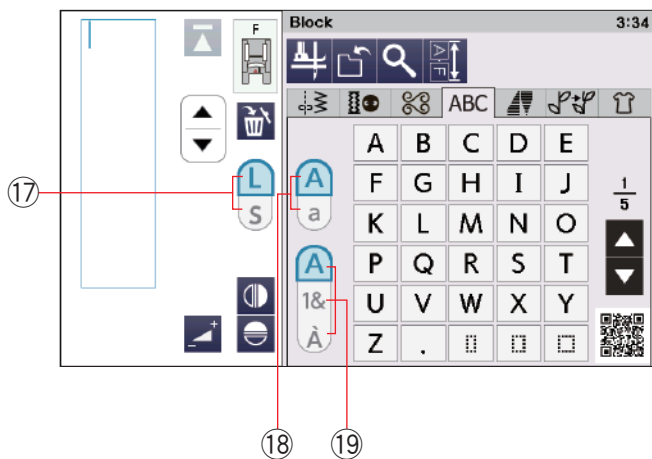
アルファベットの 大文字か小文字かを選択します。

### ⑲ 文字種選択キー

アルファベット、数字、シンボル、ヨーロッパ文字を選択します。

### ⑳ 針停止位置切りかえキー

針停止位置を上か下かを切りかえます。



## ● 直線ぬい

じつようぬいの模様 1～5 は直線ぬいです。  
模様選択キーを押してお好みの模様を選びます。

### ぬい始め

押さえをあげ、布を針板のガイドラインに合わせます。  
ぬい始めの位置に針をさします。

糸をうしろに引いて、押さえ上げをさげます。

#### ぬい始めの糸の引き出し方

サテン押さえ F、クラフト F 押さえ F2 やボタンホール押さえ R などのように、押さえの向こう側（うしろ側）の底があがっていて、糸を押さえる部分がない押さえの場合、ぬい始めの上糸は横方向に引き出して押さえてください。

スタート/ストップボタンを押すかフットコントローラーをふんで、ぬい始めます。  
布が針板のガイドラインに沿って進むように、ガイドしてぬってください。

① スタート/ストップボタン

#### ★ 厚手の布端のぬい始め

基本押さえ A の黒ボタンを押した状態で押さえをさげると押さえが水平に固定されます。段差のある布をぬうときや、布の折り返しをぬうときに便利です。

ぬい始めの位置に針をさします。

黒ボタンを押したまま、押さえ上げをさげます。押さえが水平に固定され、段差をスムーズにぬい始めることができます。

※ ぬい始めると黒ボタンがもどり、押さえはもとの自由に動く状態になります。

② 黒ボタン

#### ★ ぬい方向の変更

ミシンを止め、押さえ上下移動ボタンを押して押さえをあげます。

ぬいたい方向に布を回転させて、ぬい方向をかえます。

ミシンをスタートさせます。

#### メモ：

ピボットぬい設定を使用すると、ミシンを止めたときに自動的に押さえが上がります。（48 ページ参照）

#### ★ コーナーリングガイド

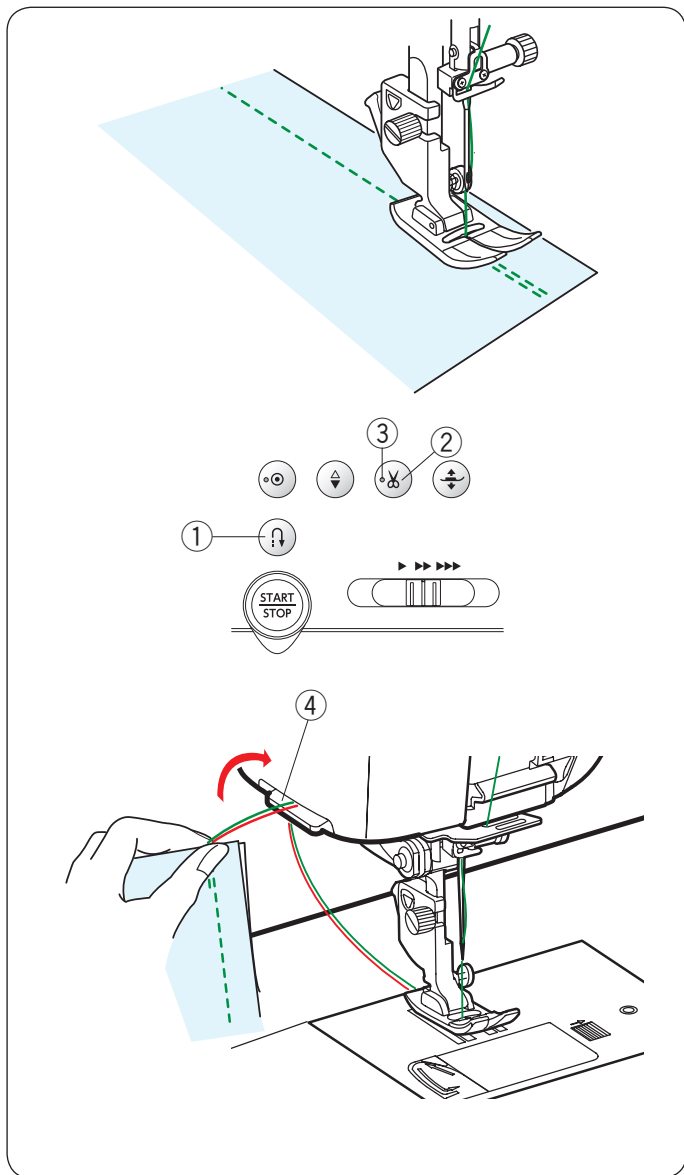
布端から 1.6 cm (5/8 インチ) のところで直角にぬい方向をかえるときに利用します。ぬい方向をかえたあと布端から 1.6 cm (5/8 インチ) の位置をぬうことができます。

布端がコーナーリングガイドのところきたらミシンを止めます。押さえ上下移動ボタンを押して押さえをあげ、布を反時計回りに 90 度回転させます。

ミシンをスタートさせます。

③ コーナーリングガイド





### ★ ほつれ止め

ほつれ止めをするには、返しぬいボタンを押して数針返しぬいをしてください。

返しぬいボタンを押し続けているあいだ、ミシンは返しぬいをします。

#### ① 返しぬいボタン

自動返しぬい模様 (U2)、自動止めぬい模様 (U3) でぬっている場合は、ぬい終わりの位置で返しぬいボタンを一度だけ押します。

ミシンは返しぬいまたは止めぬいをして自動で止まります。

### ★ 糸切り

ぬい終わったあと、糸を切るには糸切りボタンを押します。糸を切り終わったあと、針棒と押さえは自動的に上に戻ります。

#### ② 糸切りボタン

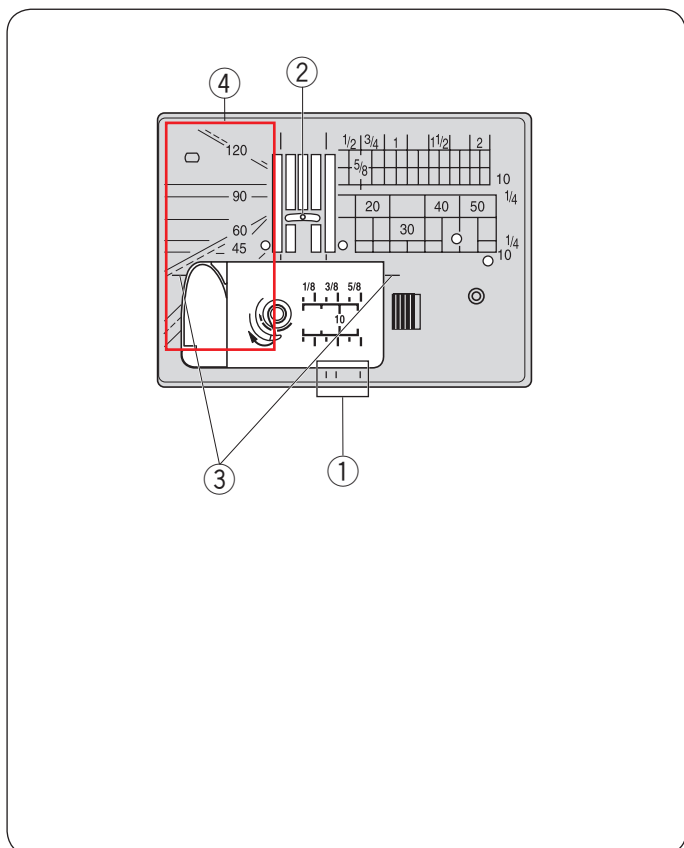
#### メモ：

LED ③ が点灯していない、または押さえ上げで押さえがあがっている場合、糸切りボタンは機能しません。糸切りボタンが機能しない場合や、#30 より太い糸や特殊な糸を切る場合には面板の糸切りを使用してください。

#### ③ LED

面板の糸切りを使用する場合、針と押さえ上げをあげ、布を向こう側に引き出してから手前に返すようにして糸を切ります。

#### ④ 糸切り



### ● 針板ガイド

針板および角板にはぬい位置を決めるために便利なガイドラインがついています。布端をガイドラインに合わせると、布端から正確な位置をぬうことができます。

針板手前にはそれぞれ 0.65 cm (1/4 インチ)、0.95 cm (3/8 インチ)、1.6 cm (5/8 インチ) のところにガイドラインがあります。

#### ① ガイドライン

ガイドラインの数字は、ぬい位置 (針穴の中央) からガイドラインまでの距離を「インチ」と「ミリメートル」で表示しています。

#### ② 針穴中央

コーナリングガイドは布を直角に回転させるのに大変便利です。

#### ③ コーナリングガイド

角度目盛りはパッチワークをするときに便利です。(74 ページ参照)

#### ④ 角度目盛り

## ● 直線ぬいの種類

### U1 直線ぬい（中針位置）

ぬい合わせや三巻きぬいに使用します。

### U2 自動返しぬい

ぬい始めとぬい終わりにしっかりしたほつれ止め（返しぬい）を自動的に行うときに使います。

ぬい終わりにきたら返しぬいボタンを一度押します。  
数針返しぬいをして自動的にとまります。

### U3 自動止めぬい

ぬい始めとぬい終わりに目立たないほつれ止め（止めぬい）を自動的に行うときに使います。

ぬい始めに何回か自動止めぬいをしたあと、直線ぬいをします。

ぬい終わりにきて、返しぬいボタンを押すと、その場で何針か止めぬいをして自動的にとまります。

### U4 直線ぬい（左針位置）

端ぬいや、うす物ぬいに使います。

### U5 三重ぬい

伸縮性と強さの両方を合わせもつ丈夫なぬい目です。  
厚い布や袋物、ズボンなどしっかりとぬい合わせたい場所に使います。

### U6、U7 伸縮ぬい（ニットステッチ）

布が伸びても糸が切れにくい伸縮性のあるぬい目で、ニット地のぬい合わせなどに使います。

布のぬい縮みやひきつれを防ぐことができます。

ぬいしろをきれいに割りたい場合にも使用できます。

模様 U7 は伸縮性のある布地や、うすい布地をぬい合わせるのに使用します。

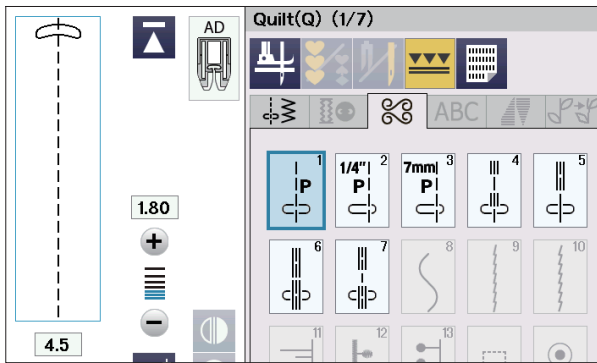
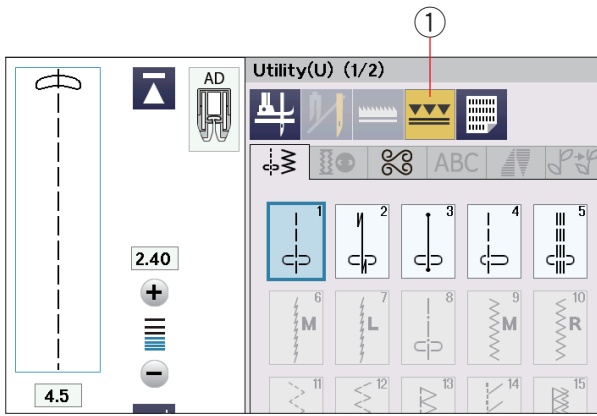
## ● 上送り押さえを使用したいぬい

じつようぬい模様 U1 ~ U5、およびキルト模様 Q1 ~ Q7 は上送り押さえでぬうことができます。

ポリ塩化ビニールなどでコーティングしてある素材など、上布と下布ですれやすい布地や革製品など送りにくい布地をぬう場合、上送り押さえを使用するときれいにぬうことができます。

また重ね合わせた布地がずれるのを防ぎます。

上送り押さえの取り付けは、22 ページをご覧ください。上送りぬい切りかえキー ① を押しお好みの模様を選択します。

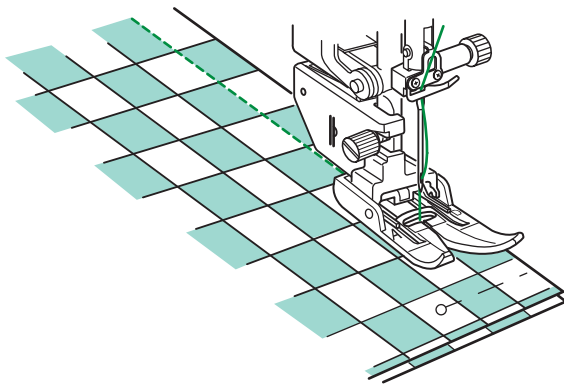


### メモ：

上送り押さえに適さない模様は選択できません。また、上送り押さえに適さない模様を選択している場合、上送りぬい切りかえキーは押せません。

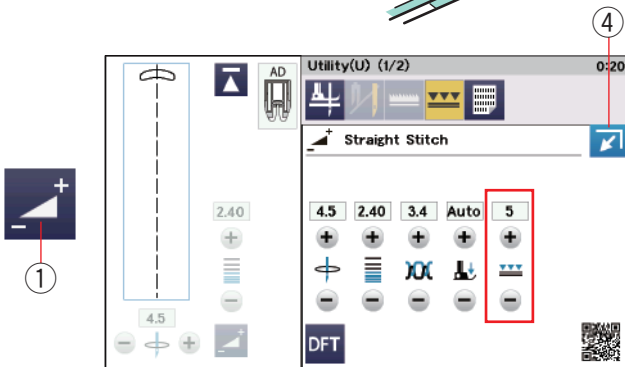
### メモ：

**OD** キルト模様 Q2 もしくは Q3 を選択すると画面に上送り押さえ OD が表示されます。上送り押さえ OD は別売り（オプション）です。



布を押さえの下にしき、針をぬい始めの位置にさします。中速度でぬいを始めます。

しま模様や格子じまの布をぬい合わせるときは、布の上下の格子模様をピンで止めて合わせてください。ぬっている途中でピンを外します。



## 上送りバランスの調整

上送りバランスの調整値は「5」が基準ですが、布の種類によって変更が必要な場合があります。

使用する布の切れ端を使用して、上送りバランスを確認してください。

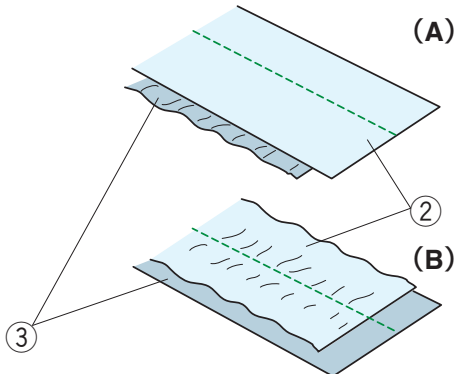
調整キー ① を押し調整画面を開きます。

(A) : 下布にしわがよる場合には、「+」キーを押して調整してください。

(B) : 上布にしわがよる場合には、「-」キーを押して調整してください。

- ② 上布
- ③ 下布

閉じるキー ④ を押し調整画面を閉じます。



## ● プロフェッショナル上送り押さえ HP2 の使い方

押さえの歯とミシンの送り歯が連動して、しっかりと布地を送ります。押さえの幅が細いので小回りに優れ、曲線ぬいやトップステッチぬいに適しています。

※ プロフェッショナル上送り押さえ HP2 は、必ず付属のプロフェッショナル直線ぬい用針板（左針位置専用）と一緒に使用してください。

※ 押さえの取り付けは、22 ページをご覧ください。

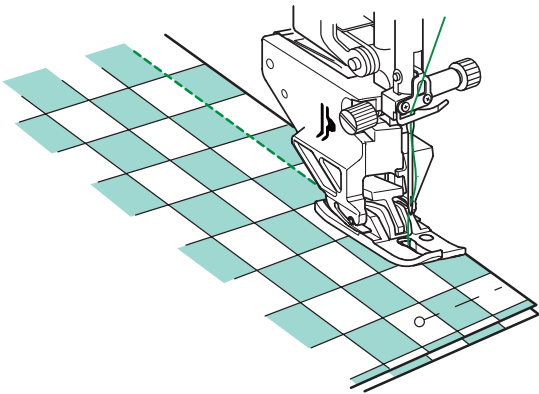
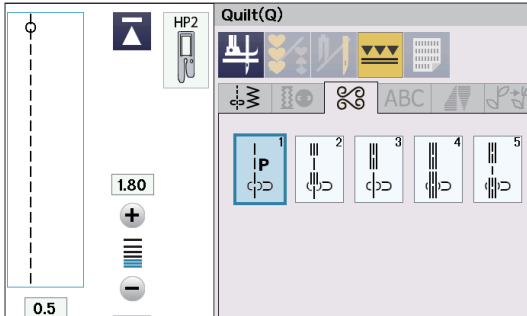
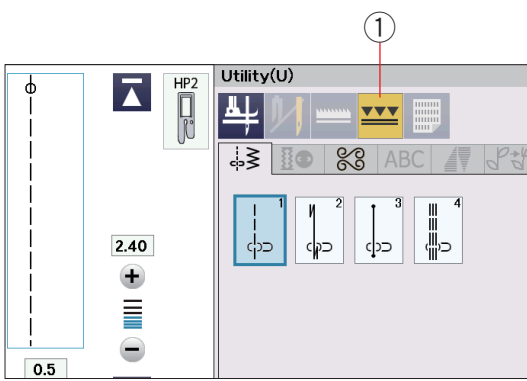
※ プロフェッショナル直線ぬい用針板（左針位置専用）の取り付けは、33 ページをご覧ください。

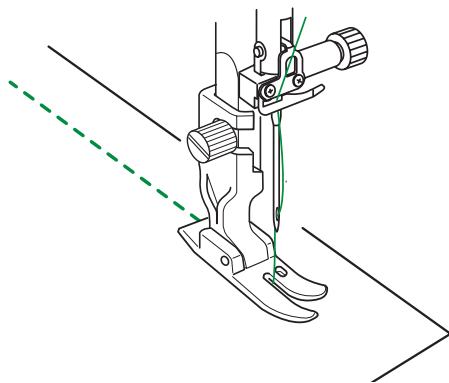
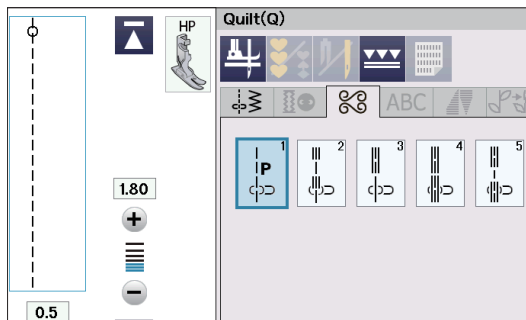
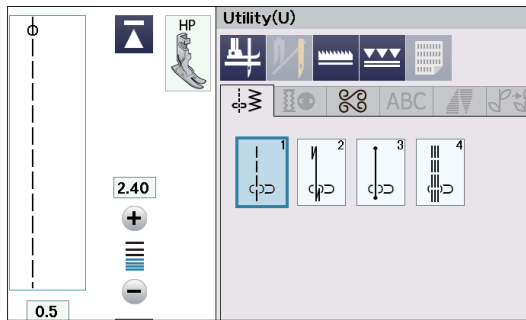
上送りぬい切りかえキー ① を押してお好みの模様を選択します。

ぬい方は 41 ページをご覧ください。

### メモ：

プロフェッショナル上送り押さえ HP2 に適さない模様は表示されません。





## ● プロフェッショナル直線押さえ HP の使い方

プロフェッショナル直線押さえ HP を使うと針が布にささるときのばたつきが押さえられ、ぬい目が美しく仕上がります。

じつようぬい模様 U1 ~ U4、およびキルト模様 Q1 ~ Q5 はプロフェッショナル直線押さえ HP でぬうことができます。

プロフェッショナル直線ぬい用針板（左針位置専用）と、プロフェッショナル直線押さえ HP を取り付けて、模様を選択します。

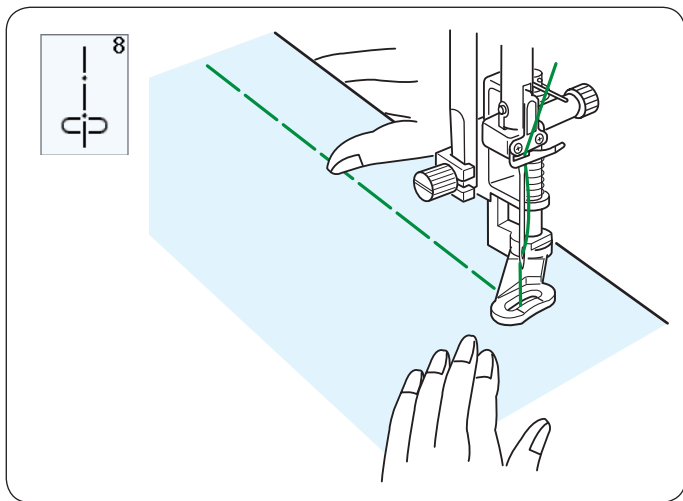
※ プロフェッショナル直線押さえ HP の取り付けは、22 ページをご覧ください。

※ プロフェッショナル直線押さえ HP を使用するときには、針板をプロフェッショナル直線ぬい用針板（左針位置専用）と交換します。針板の交換の仕方は 33 ページをご覧ください。

### メモ：

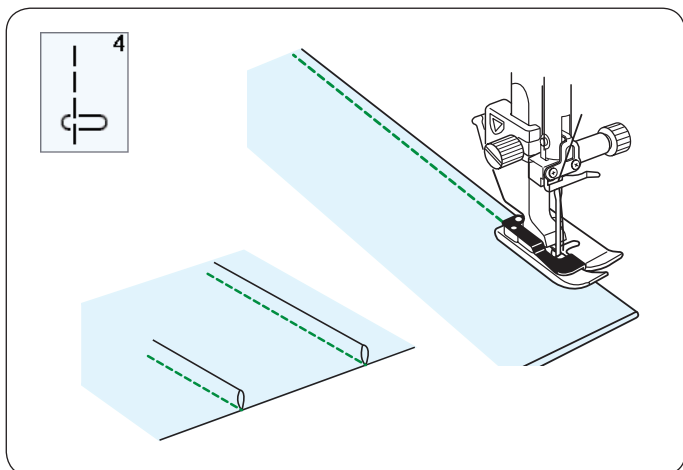
プロフェッショナル直線押さえ HP に適さない模様は表示されません。

布を押さえの下にしき、針をぬい始めの位置にさします。中速度でぬいを始めます。



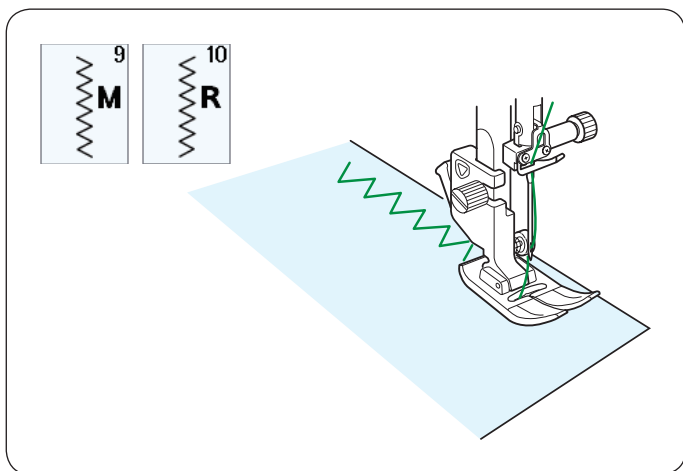
### U8 しつけぬい

ぬい方は 111 ページをご覧ください。



### U4 ピンタック

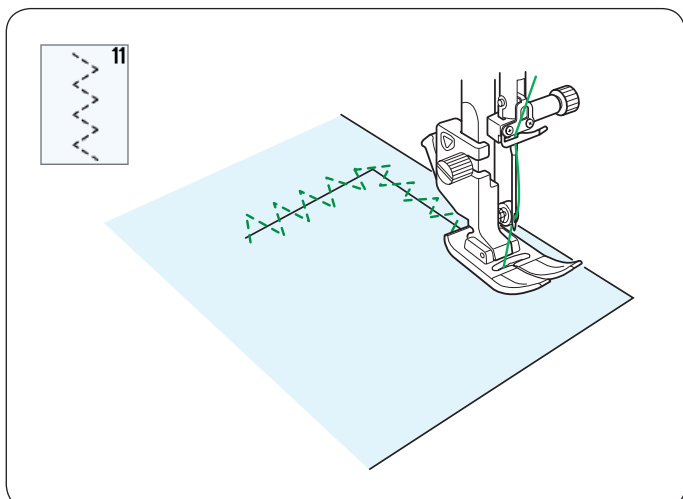
まつりぬい押さえ G を取り付けます。  
 ぬのの裏側を合わせて外表にして折ります。  
 折った布をまつりぬい押さえ G の下にしきます。  
 折った布の端をまつりぬい押さえ G のガイドに合わせ、  
 押さえをさげます。  
 布の端にガイドを当ててぬいます。  
 ぬい終わったら片返しにして、アイロンで整えます。  
 ※ 必要であれば、針位置を 0.5 ～ 1.5 に調整してください。



### ● ジグザグぬい

#### U9、U10 ジグザグぬい

たち目かがりなど、多目的に使えます。  
 ほとんどの布に使用できます。  
 ぬい目を細かくすればアップリケなどに使用できます。



### U11 つくろいぬい

破れや、ほつれている部分をつくろうのに使用します。

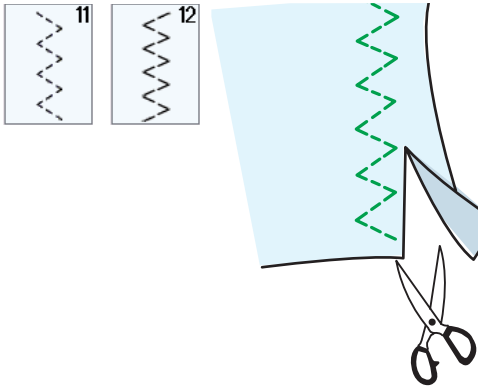
## ● ふちかがりぬいの種類

### U11、U12 トリコットぬい：基本押さえ A

合成素材や、布のぬい縮みやひきつれがおきやすい伸縮性のある布の裁ち端の仕上げに使用します。

ぬいしろを少し余分にとってぬいます。

ぬい終わったあとは、余分なところをぬい目の近くで切り落とします。

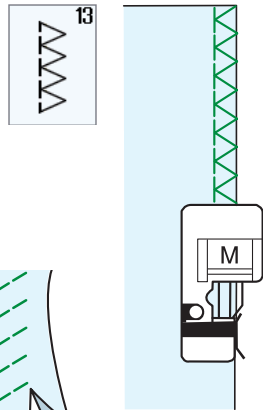


### U13 ふちかがりぬい：ふちかがり押さえ M

地ぬいをかねたかがりぬいで、たち目のほつれ止めに使用します。

ぬいしろを割る必要がない場合に使用してください。

布端を押さえのガイドに当ててぬいます。

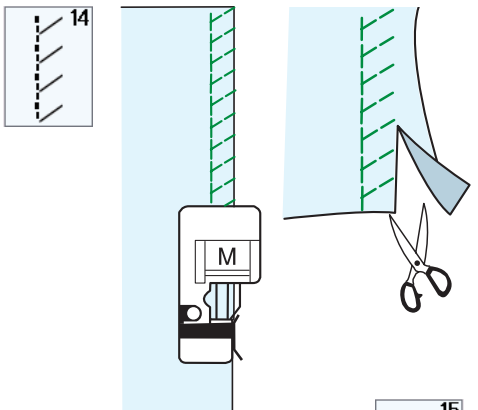


### U14 ニットステッチ：ふちかがり押さえ M

ジャージー、ニット、トリコットなど伸びる布地の端をかがるのに使用します。

布端を押さえのガイドに当ててぬいます。

基本押さえ A を使用する場合、ぬいしろを少し多めにとってぬい、余分なところをぬい目近くで切り落とします。

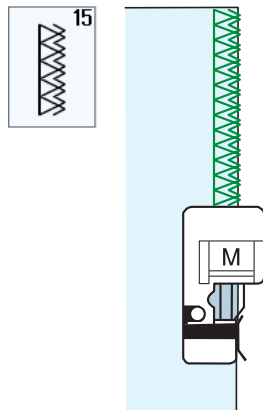


### U15 厚物かがりぬい：ふちかがり押さえ M

リネンやギャバジンなどの普通の布や厚い布および、布端がほつれやすい布のたち目のほつれ止めに使用します。

ほつれを防ぐため、二重に布端をかがります。

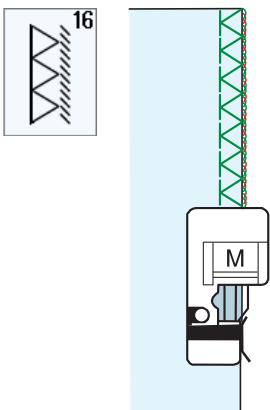
布端を押さえのガイドに当ててぬいます。



### U16 オーバーロックぬい：ふちかがり押さえ M

オーバーロックミシンで仕上げたようなぬい目です。

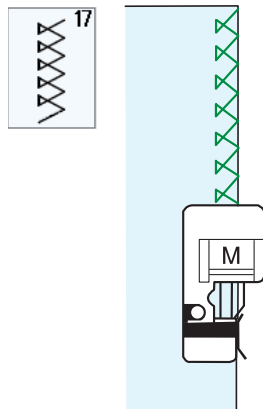
布端を押さえのガイドに当ててぬいます。

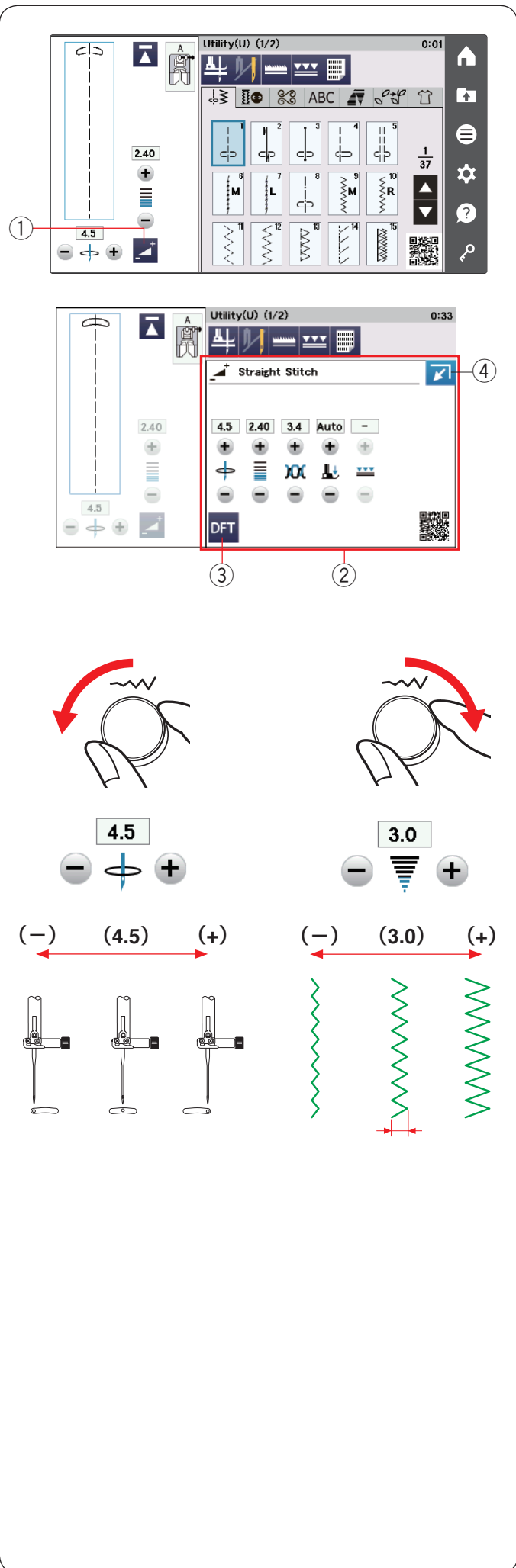


### U17 オーバーロックぬい 2：ふちかがり押さえ M

ニットや伸縮性のある布をかがるのに使用します。

布端を押さえのガイドに当ててぬいます。





## ● めいの手動調整

模様めいの幅（直線めいでは針落ち点）や、めい目のあらさを変更することができます。

めい目の幅調整ダイヤル、もしくはめい目のあらさ調整ダイヤルをまわすか、変更したい項目の「+」もしくは「-」キーを押してます。初期化キー③を押すと初期の設定値にもどります。

調整キー①を押すと調整画面②が開きます。

調整画面では、糸調子、押さえ圧値などを変更することができます。

右上の閉じるキー④を押すと調整画面が小さくなります。

- ① 調整キー
- ② 調整画面
- ③ 初期化キー
- ④ 閉じるキー

### 針落ち点の調整（直線めい）

めい目の幅調整ダイヤルを時計回りにまわすと針位置が右に移動します。

めい目の幅調整ダイヤルを反時計回りにまわすと針位置が左に移動します。

「+」もしくは「-」キーを押して設定を変更することもできます。

「+」キーを押して針位置を右に移動します。

「-」キーを押して針位置を左に移動します。

### めい目の幅の調整

めい目の幅調整ダイヤルを時計回りにまわすとめい目のあらがあらかくなります。

めい目の幅調整ダイヤルを反時計回りにまわすとめい目のあらさががこまかくなります。

「+」もしくは「-」キーを押して設定を変更することもできます。

「+」キーを押すとめい目の幅が広くなります。

「-」キーを押すとめい目の幅がせまくなります。

#### メモ：

じつようめい模様 U6、U7、U9～U12 の調整可能値は 0.0～7.0 です。



## ぬい目のあらかさの調整

ぬい目のあらかさ調整ダイヤルを時計回りにまわすとぬい目のあらかさがあらかくなります。

ぬい目のあらかさ調整ダイヤルを反時計回りにまわすとぬい目のあらかさが細かくなります。

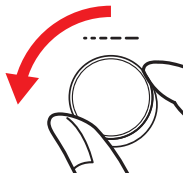
「+」もしくは「-」キーを押して設定を変更することもできます。

「+」キーを押すとぬい目があらかくなります。

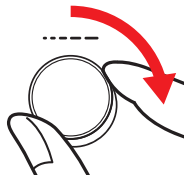
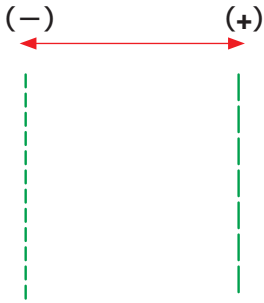
「-」キーを押すとぬい目が細かくなります。

メモ：

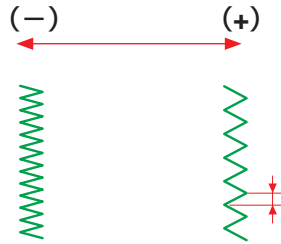
じつようぬい模様 U7 の調整可能値は 1.0 ～ 5.0 です。

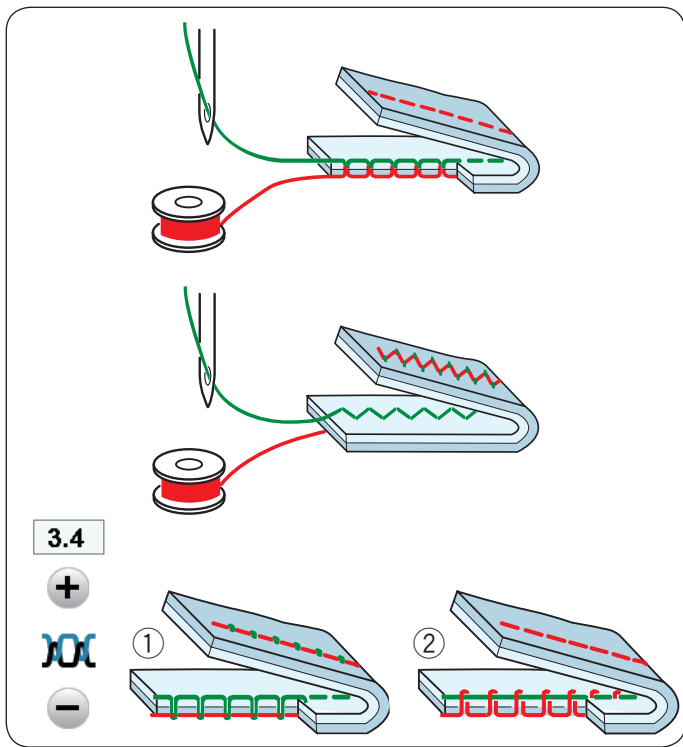


2.40



1.50





### ★ 糸調子を合わせる

糸調子は選択した模様に合わせて、上糸と下糸がバランスよくぬえるよう自動的に設定されています。

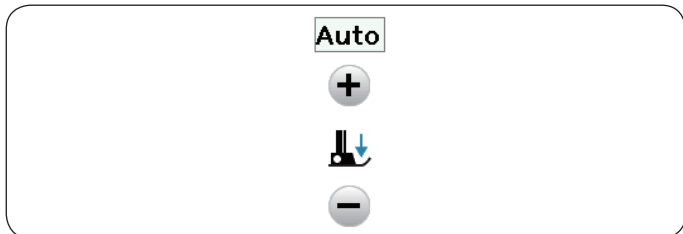
#### 糸調子の調整

**直線ぬい**：バランスのとれた直線ぬいは、図のように2つの布の中央で、上糸と下糸が交わります。

**ジグザグぬい**：バランスのとれたジグザグぬいは、下糸が布の上に現れず、上糸が布の裏側に少し出ます。

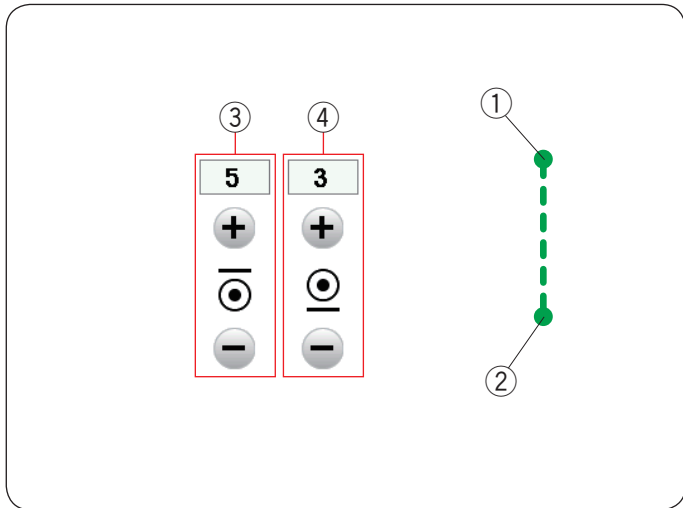
糸や布の種類、ぬい方などによって自動設定のままでは糸調子のバランスがとれない場合、糸調子調整キーで調整します。

- ① 糸調子がゆるい場合には、「+」キーを押します。
- ② 糸調子がきつすぎる場合には、「-」キーを押します。



### ★ 押さえ圧調整

押さえ圧は選択した模様に合わせて自動的に調整されます。布送りがスムーズでないときや、特殊なぬい方や布地の厚さによっては、「+」か「-」キーで押さえ圧を調整してください。



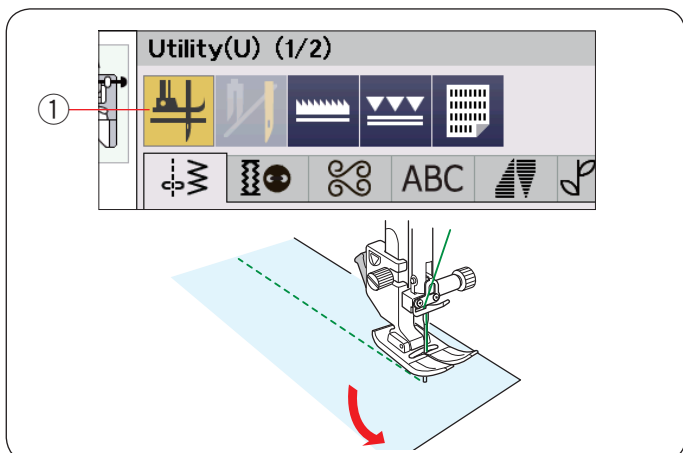
### ★ 止めぬいのステッチ数

自動止めぬい模様では、ぬい始めに5針、ぬい終わりに3針の止めぬいを行います。ぬい始め①とぬい終わり②の止めぬいの数を変更できます。

しっかりした止めぬいをしたい場合は数を増やし、ぬい目を目立たなくしたい場合、止めぬいの数をへらしてください。

- ぬい始めの止めぬいの数を変更したい場合、③の「+」もしくは「-」キーを押します。
- ぬい終わりの止めぬいの数を変更したい場合、④の「+」もしくは「-」キーを押します。

※ これらの項目は自動止めぬい模様U3、もしくは止めぬいが必要な用途ぬいでのみ表示されます。



### ★ ピボットぬい設定キー

ピボットぬい設定キーをオンにすると、ミシンが止まったときに押さえが自動的にあがります。

ぬいの方向をかえるときに大変便利です。

ピボットぬい設定キーで、ピボットぬい設定のオン/オフを行います。

- ① ピボットぬい設定キー

#### メモ：

通常ぬい設定モードで、ピボットぬい設定時の押さえの高さを調整することができます。(129ページ参照)

## ★ お好みステッチ調整

調整した設定内容（ぬい目のあらかさ、ぬい目の幅・針位置、糸調子、押さえ圧など、選択した模様による）をお好みのステッチ調整値（FS）として保存することができます。「Favorite Stitch Adjustment」を「ON」①（129 ページ参照）にすると、模様を選択したときに、最後に調整した設定内容が自動的に適用されます。

### メモ：

お好みステッチ調整は、ユーザー作成模様（CS）に適用することはできません。  
お好みステッチ調整は、文字ぬいモード時は使用できません。

**例：**じつようぬい模様 U1 の針位置を 4.5 から 5.0 に変更する。

「Favorite Stitch Adjustment」を「ON」（129 ページ参照）に設定します。

模様 U1 を選択します。

調整キーを押します。調整画面が開きます。

お好みステッチ調整キー（FS）② が調整画面に表示されます。

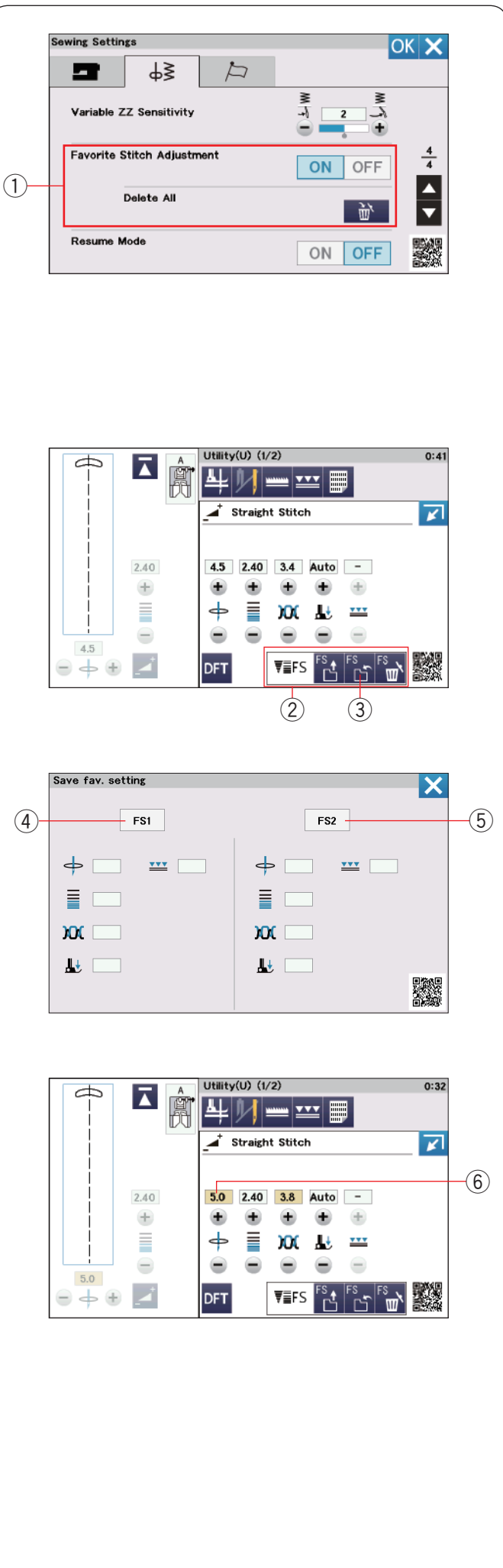
ぬい目の幅調整ダイヤルをまわすか、「+」キーを押して、針位置を「4.5」から「5.0」に変更します。

お好みステッチ保存キー③を押します。

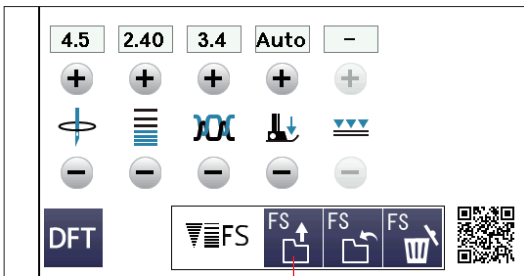
「Save fav. setting」画面が開きます。

お好みステッチ調整の設定を 2 つ（「FS1」か「FS2」）保存できます。FS1④か FS2⑤を押してお好みステッチ調整の設定を登録します。

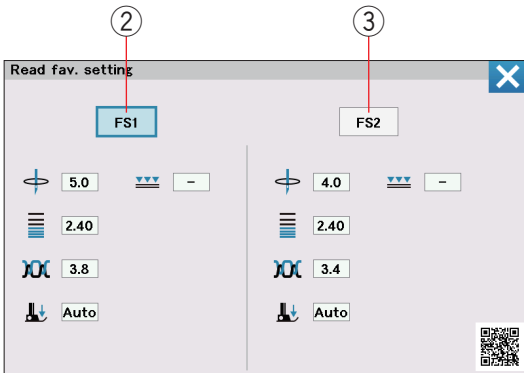
お好みステッチ調整で登録した設定値は、クリーム色⑥で表示されます。



お好みステッチ調整で登録した設定を選択するには、お好み設定読み出しキー ① を押します。

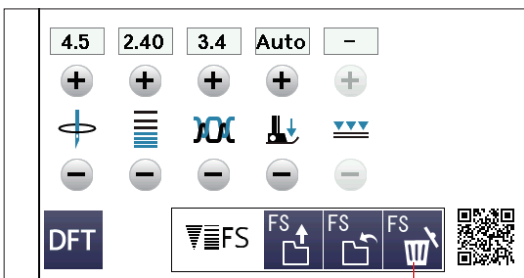


①



選択されたお好みステッチ調整の設定は青色 ② で表示されます。

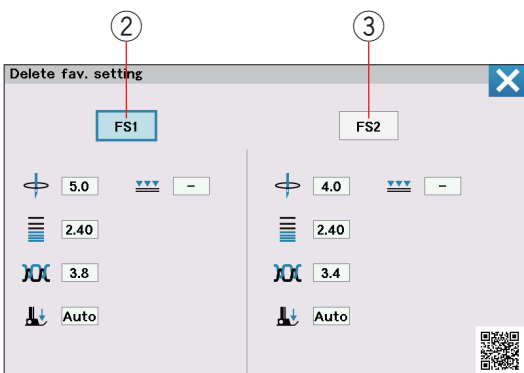
FS1②かFS2③を押してお好みステッチ調整の設定を選択します。

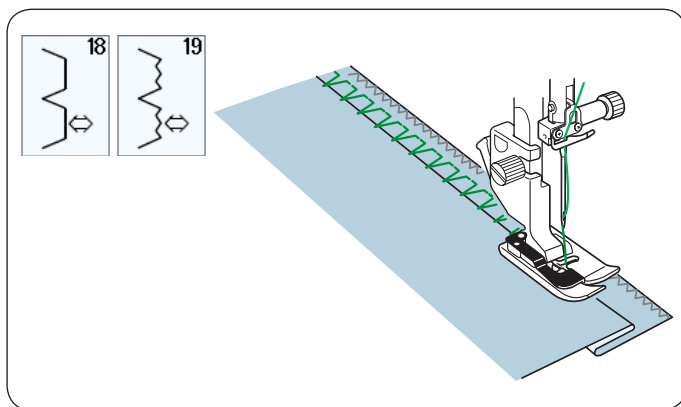


④

お好みステッチ調整で登録した設定を削除するには、削除キー ④ を押します。

FS1②かFS2③を押して登録されているお好みステッチの設定を削除します。

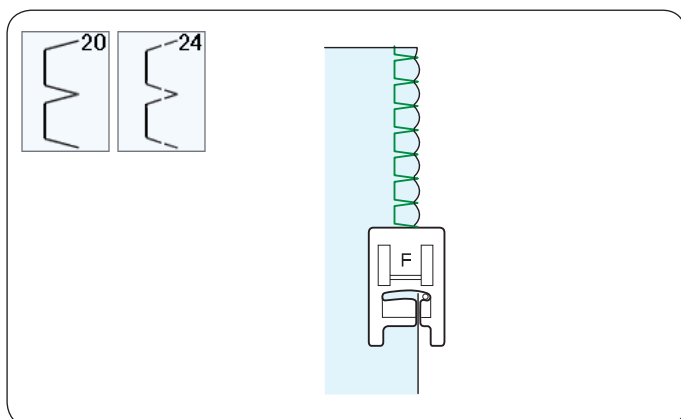




● そのほかのじつようぬい

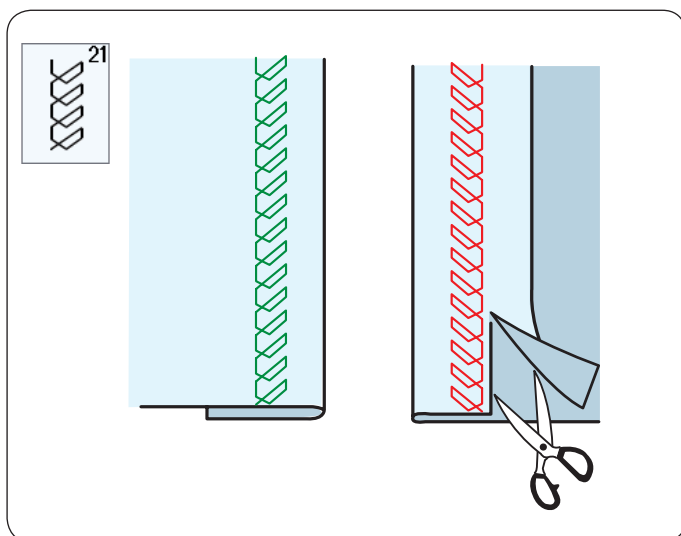
**U18、U19 まつりぬい**

ぬい方は 102-103 ページをご覧ください。



**U20、U24 シェルタック**

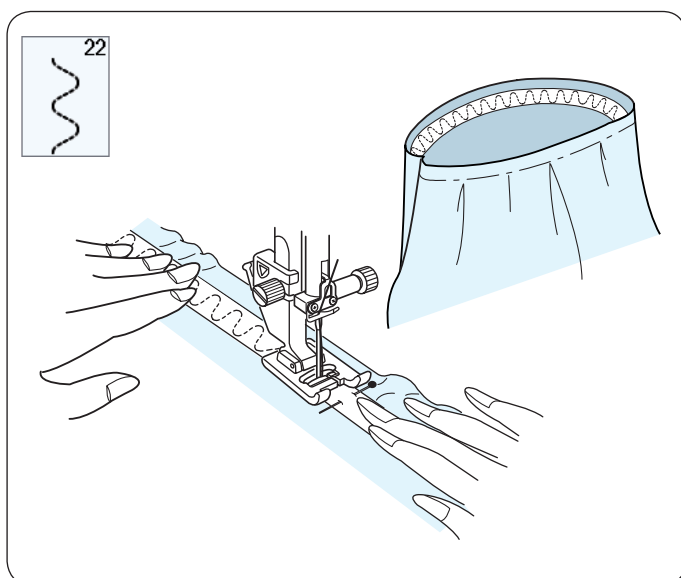
ぬい方は 104 ページをご覧ください。



**U21 ニットステッチ**

模様 U21 を選択します。

布を 1 回折り、布の表が上になるように布を置きます。  
折り目にそって好みの距離でぬいます。  
布の裏側の余った布を切ってそろえます。

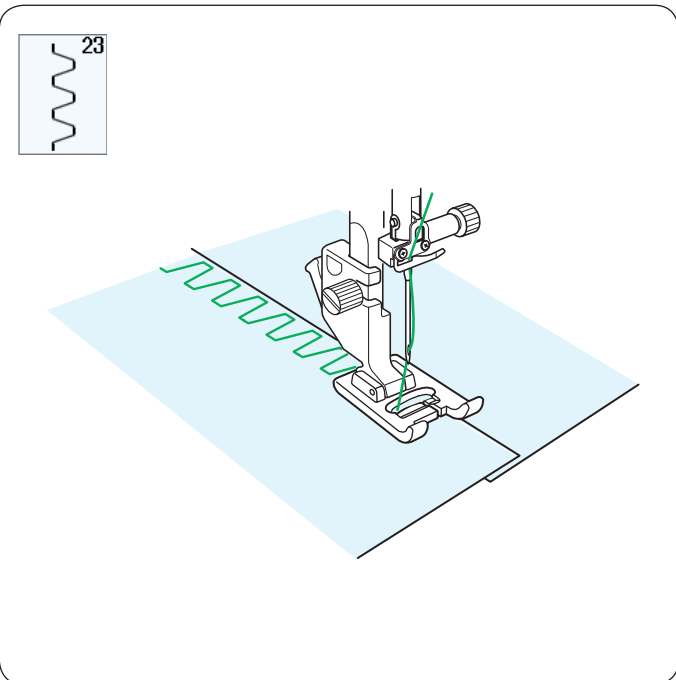


**U22 ゴム付け**

模様 U22 を選択します。

ゴムを 4 等分するように印を付けます。前とうしろの中央および、両脇のぬい目をそれぞれ印に合わせてゴムをまち針で止めます。

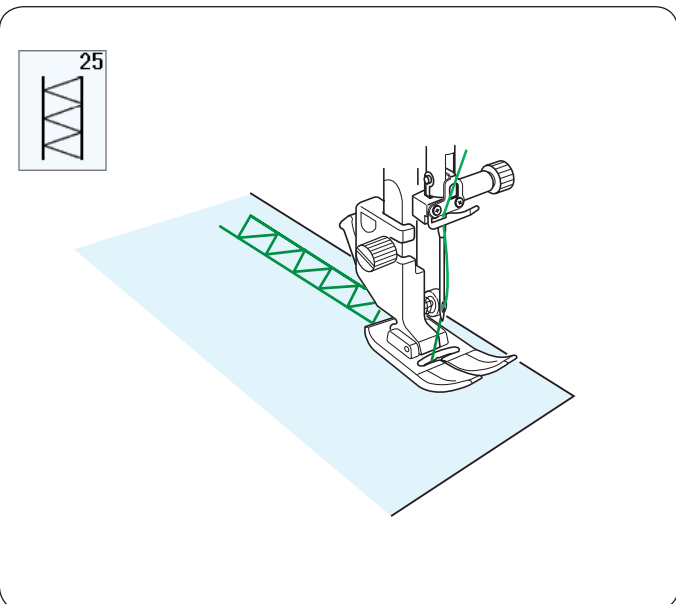
ゴムを押さえたの下にしき、ゴムを均等にのばして布にぬい付けます。



### U23 ボックスステッチ

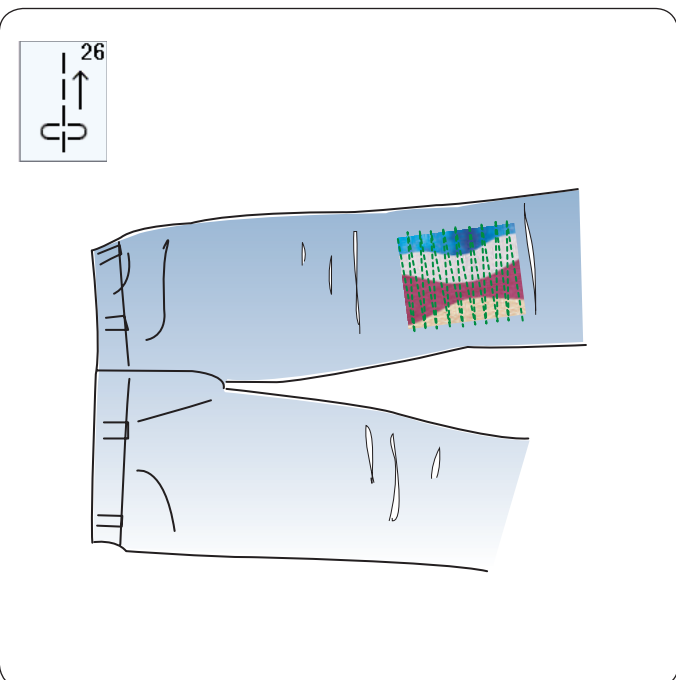
2つのピースの間かくをあけて厚い生地をつなぎ合わせるぬい方です。

2つの布端を重ね、ぬい合わせます。



### U25 ヘムステッチ

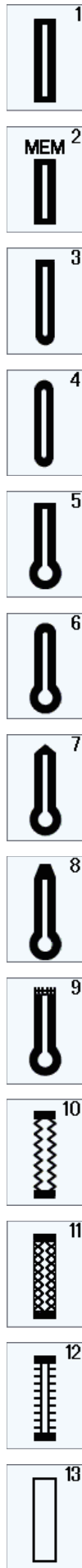
ファゴティングやかざりぬいに使用します。



### U26 バック直線ぬい

返しぬいボタンを押しながら布を送りづらい場合はこのステッチを選択します。

返しぬいボタンを押さなくても、返しぬいできますので、両手で布を送ることができます。



## ◎ ボタンホール

### ● ボタンホールの種類

#### B1 スクエアボタンホール

普通の布から厚い布まで広く使われているボタンホールです。ボタンホールの長さは、使用するボタンをボタンホール押さえ R のボタン受け台にはさみ込むと自動的に決まります。

#### B2 メモリーボタンホール（スクエア）

スクエアボタンホール（B1）と同じ形のボタンホールですが、ボタンホールのサイズを手動でミシンに記憶させてぬいます。

#### B3 片ラウンドボタンホール

子供の服やブラウスなどの、うすい布から普通の布に使います。

#### B4 両ラウンドボタンホール

シルクのようなうすい布につかいます。

#### B5 キーホールボタンホール

普通の布から厚い布まで広く使われているボタンホールです。大きくて厚めのボタンに使います。

#### B6 ラウンドキーホールボタンホール

普通の布で厚めのボタンを使用するときに使います。

#### B7 キーホールボタンホール（テーラーメイド）

厚い布地で厚めのボタンを使用するときに使います。

#### B8 キーホールボタンホール（端をテーパーで補強）

伸縮性のある布に使います。飾りボタンホールとしても使います。

#### B9 キーホールボタンホール（端をしっかり補強）

伸縮性のある布、特に男性用のジャケットに使います。飾りボタンホールとしても使います。

#### B10 ストレッチボタンホール

伸縮性のある布に使います。飾りボタンホールとしても使います。

#### B11 ニットボタンホール

伸縮性のある布に使います。飾りボタンホールとしても使います。

#### B12 アンティークボタンホール

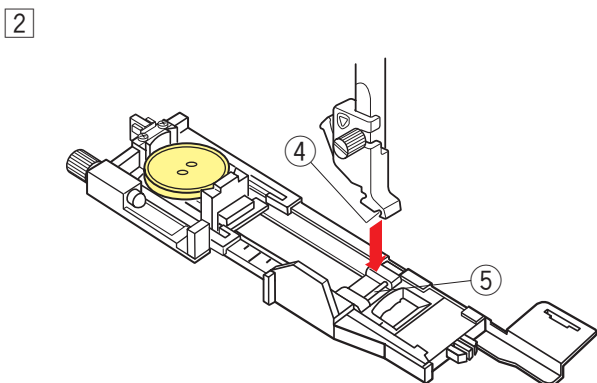
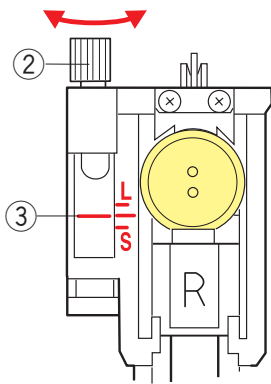
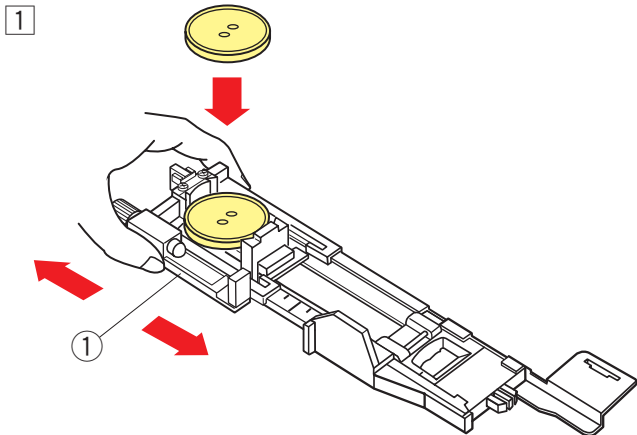
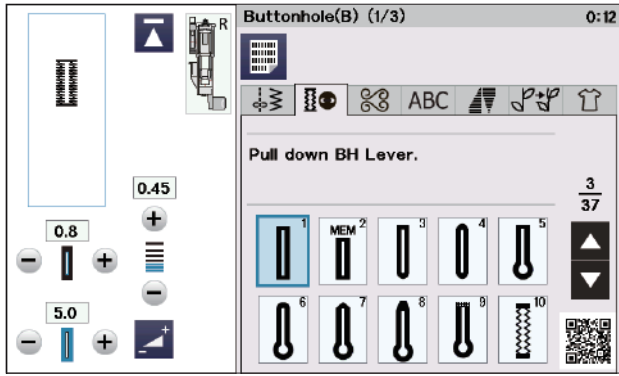
ヘアルーム模様のようなボタンホールです。手ぬいのような外観なので、飾りボタンホールとして最適です。

#### B13 たまぶちボタンホール

たまぶちボタンホールを作る最初の工程になります。

#### メモ：

ボタンホール模様 B3 ～ B13 のぬいかたは B1 と同様です。



## ● ボタンホール 1 : スクエアボタンホール

ボタンホールの長さは、使用するボタンをボタンホール押さえ R のボタン受け台にはさみ込むと自動的に決まります。

ボタンの直径が 1 cm ~ 2.5 cm までのボタンホールをぬうことができます。

ボタンホールを選択すると、ボタンホール切りかえレバーをおろすよう画面にメッセージが表示されます。

### メモ：

- 厚い布、特定の布や糸を使用してボタンホールをぬうときなど、ボタンホールのサイズをかえる必要がある場合があります。使用する布の切れ端などで試しぬいをして、正しくぬえることを確認してください。
- 自動的に設定されるボタンホールの幅の値は一般的なボタン用です。
- 伸縮性のある布は、伸びないように裏に芯地を貼ってください。

### ボタンホールのぬい方

- ① ボタンホール押さえ R のボタン受け台をうしろに引き、ボタンをのせます。  
ボタン受け台とボタンを押して、受け台にボタンをきつくはさみ込みます。

① ボタン受け台

### メモ：

ボタンの長さを測り、必要であればボタンホールの長さを調整してください。

- ボタンホールの長さを長くするには、調整ねじをまわして指示線を L の方に合わせます。
- ボタンホールの長さを短くするには、調整ねじをまわして指示線を S の方に合わせます。

② 調整ねじ

③ 指示線

- ② 上下停針ボタンを押して針をあげます。

□ ロックキーを押します。

押さえのピンを押さえホルダーのみぞに入れて、ボタンホール押さえ R を取り付けます。

ボタンホール押さえ R を取り付けるときに、押さえ上げを高くあげた位置まで持ちあげると便利です。

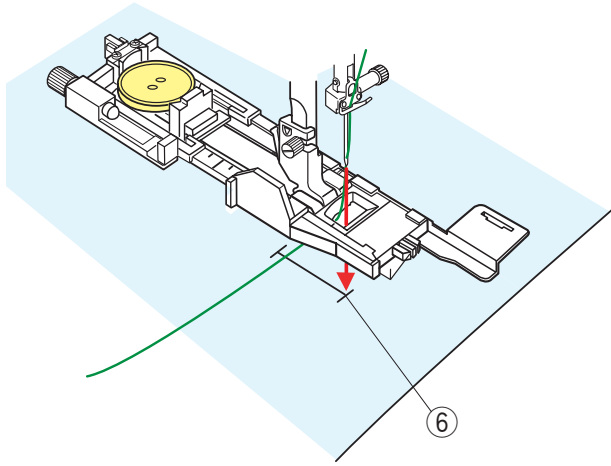
□ ロックキーを押してロックを解除します。

④ みぞ

⑤ ピン



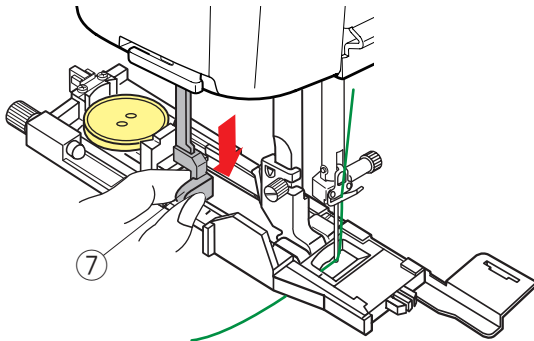
3



- ③ 上糸を押さえ穴から下に通し、左に引き出します。  
上糸を横に引き出した状態で布を入れ、布に付けた  
マークのぬい始めの位置に針をさします。

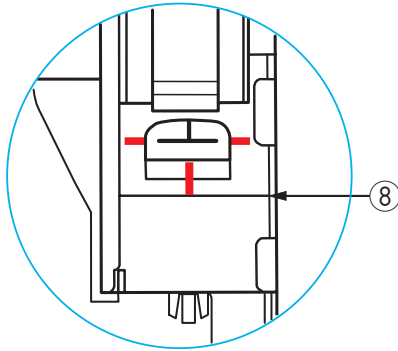
⑥ ぬい始めの位置

4



- ④ 押さえをさげて、ボタンホール切りかえレバーを止ま  
るまでいっぱいにはげます。

⑦ ボタンホール切りかえレバー



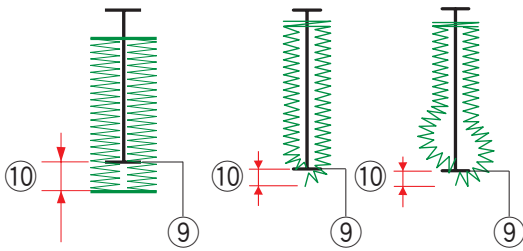
**メモ：**

スライダーとストッパーのあいだにすきまがないこと  
を確認してください。すきまがあるとぬい終わったと  
きに位置ずれがおこることがあります。

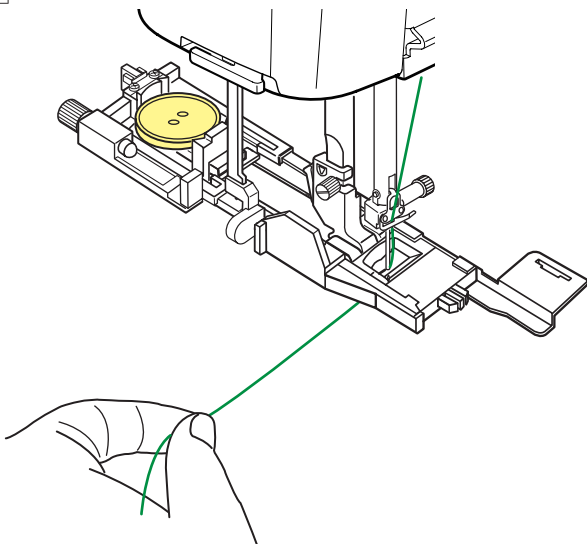
⑧ すきま無し

⑨ ぬい始めの位置

⑩ 位置ずれ



5

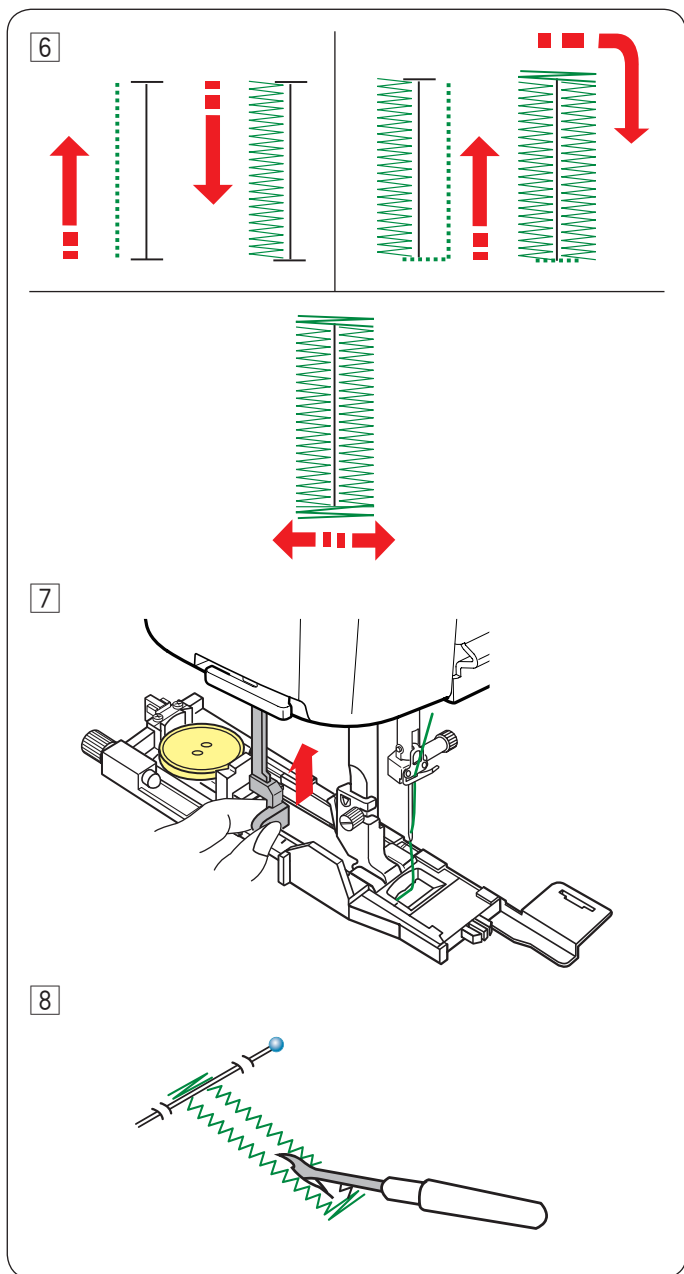


- ⑤ 上糸を左に軽く引いて持ち、ミシンをスタートさせま  
す。ぬい始めから数針ぬったあとは、糸から手をはな  
してぬい続けてください。

**メモ：**

ボタンホール切りかえレバーをさげないでミシンをス  
タートさせると、何針かぬったのちミシンは停止し、  
画面にボタンホール切りかえレバーをさげるように  
メッセージが表示されます。

ボタンホール切りかえレバーをさげてミシンを再ス  
タートさせてください。



- ⑥ ボタンホールは図の順番でぬいます。  
 ボタンホールがぬい終わると、自動的に針が上の位置で停止します。糸切りボタンを押してミシンから布を外してください。
- ※ ボタンホールの重ねぬいをする場合、そのままミシンをスタートさせぬいます。  
 重ねぬいをしない場合、押さえ上下移動ボタンを押して押さえをあげます。  
 (下記「ボタンホールの重ねぬい」参照)

- ⑦ ボタンホールがぬい終わったら、ボタンホール切りかえレバーをぬいっばい上に押しあげます。

- ⑧ かんぬきの内側にまち針をわたし、シームリッパーで左右のラインタックの糸を切らないよう、ボタン穴を開けます。  
 キーホールを開けるときは、ポンチ(市販品)を使用します。

### ボタンホールの重ねぬい

ボタンホールを重ねぬいすると、より頑丈なボタンホールができます。

ボタンホールをぬい終わったら、メッセージが表示されますが、押さえをあげたり、ボタンホール切りかえレバーをあげたりせず、再度ミシンをスタートさせます。

ボタンホールの重ねぬいができます。

※ 模様を再選択しないでください。

**Completed  
 Raise Presser Foot.**

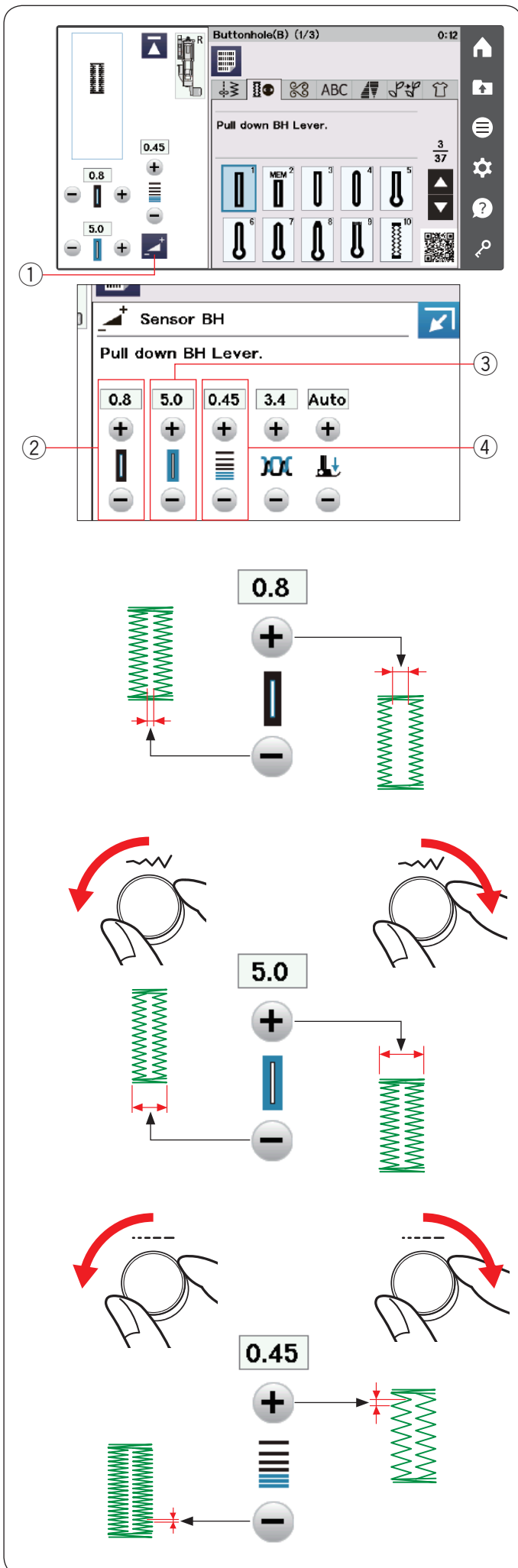
### メモ:

通常ぬい設定モードの「Thread Cut after Auto-Lock」を「ON」にすると、糸切り後に押さえがあがってしまい重ねぬいはできません。(128 ページ参照)

## ボタンホールの調整画面

調整キーを押して、調整画面を開きます。

- ① 調整キー



- ② ボタン穴の幅をかえる

「+」を押すとボタン穴の幅が広がります。

「-」を押すとボタン穴の幅がせまく（細く）なります。

- ③ ボタンホールの幅をかえる

ぬい目の幅調整ダイヤルを時計回りにまわすと、ボタンホールの幅が広がります。

ぬい目の幅調整ダイヤルを反時計回りにまわすと、ボタンホールの幅がせまく（細く）なります。

または、「+」を押すとボタンホール幅が広がります。

「-」を押すとボタンホール幅がせまくなります。

- ④ ボタンホールのあらかさ（ぬい密度）をかえる

ぬい目のあらかさ調整ダイヤルを時計回りにまわすと、ボタンホールのぬい目があらかくなります。

ぬい目のあらかさ調整ダイヤルを反時計回りにまわすと、ボタンホールのぬい目が細くなります。

または、「+」を押すとボタンホールのぬい目があらかくなります。

または、「-」を押すとボタンホールのぬい目が細くなります。

### メモ：

ボタン穴のサイズは 0.2 ～ 2.0 まで変更可能です。  
ボタンホールの幅は 2.6 ～ 9.0 まで変更可能です。  
ボタンホールのあらかさは 0.20 ～ 1.00 まで変更可能です。

## ● ボタンホール安定板の使い方

厚い布の段差や安定して布送りできない布などをぬう場合、ボタンホール安定板を使用すると、布をスムーズに送ることができます。

- 1 ボタンホール安定板のガイド①をボタンホール押さえ R の安定板取り付け穴②に差し込みます。

- ① ガイド
- ② 安定板取り付け穴

- 2 ボタンをボタン受け台にのせます。

ボタンホール安定板を組み付けたボタンホール押さえ R を、ミシンに取り付けます。

押さえをあげ、上糸を押さえの穴から下へ通し、ボタンホール押さえとボタンホール安定板のあいだから横に引き出します。

- 3 上糸を横に引き出した状態でボタンホール押さえとボタンホール安定板のあいだに布を入れます。

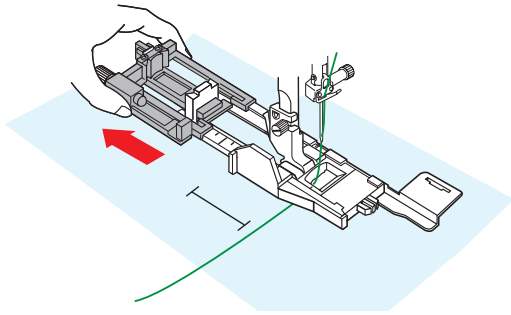
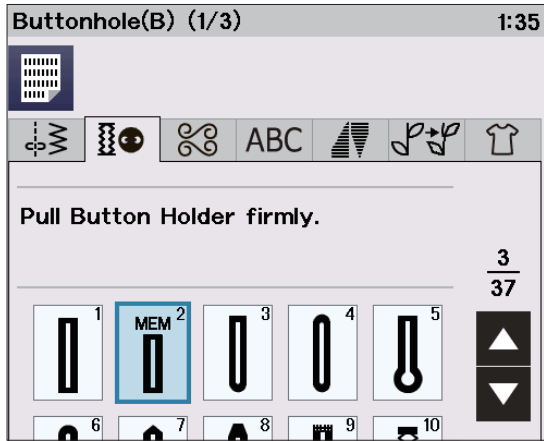
はずみ車をまわし、ぬい始めの位置に針をおろします。押さえとボタンホール切りかえレバーを下げます。

上糸を左に軽く引いて持ち、ミシンをスタートさせます。

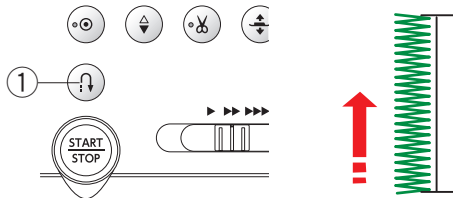
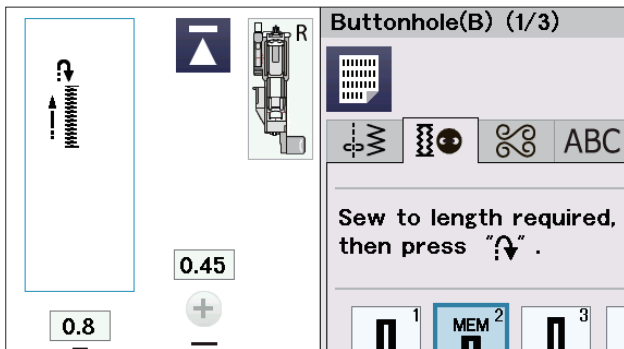
ぬい始めから数針ぬったあとは、糸から手をはなしてぬい続けてください。

### メモ：

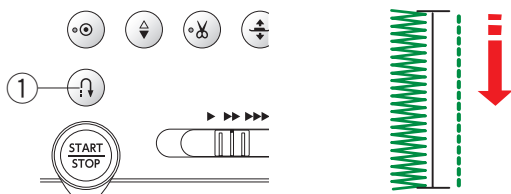
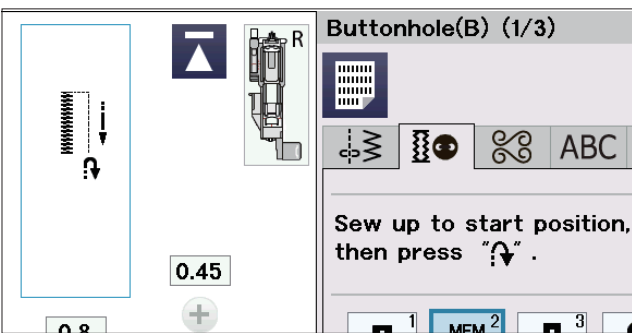
ぬいの手順はボタンホール模様 B1 スクエアボタンホールと同じです。



1



2



## ● ボタンホール 2: メモリーボタンホール (スクエアボタンホール)

ボタン受け台をめいっばいというしろに引き出します。

ボタンホールをぬう位置にマークを付けます。

布を押さえの下に置き、針をぬい始めの位置にさします。

押さえをさげて上糸を軽く左に引き出しながら、ミシンをスタートさせます。ぬい始めから数針ぬったあとは、糸から手をはなしてぬい続けてください。

### メモ:

- ボタンホール切りかえレバーをさげる必要はありません。
- ボタンホール押さえ R でぬえるボタンホールの長さより、長いボタンホールをぬいたい場合、サテン押さえ F を使用してください。

### メモ:

- ボタン穴のサイズは 0.2 ~ 2.0 まで変更可能です。
- ボタンホールの幅は 2.6 ~ 9.0 まで変更可能です。
- ボタンホールのあらかは 0.20 ~ 1.00 まで変更可能です。

① 左側のラインタックを必要な長さまでぬったらミシンを止めます。

返しぬいボタン ① を押します。

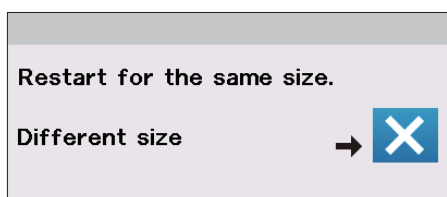
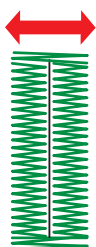
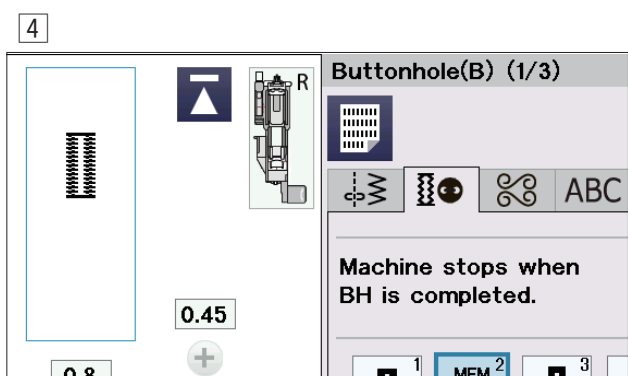
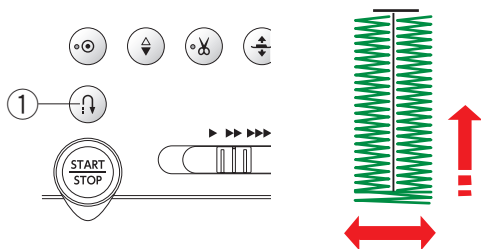
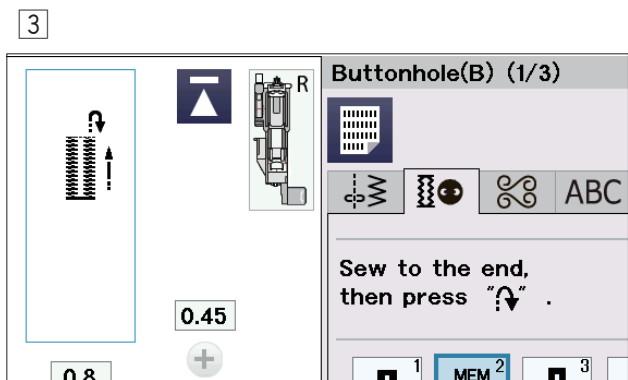
② ミシンを再スタートさせると、直線でうしろ向きに下ぬいをします。

ぬい始めの位置にもどったらミシンを止め、返しぬいボタン ① を押します。

③ ミシンを再スタートさせると、かんぬきと右側のラインタックがぬわれます。

ぬい終わりの位置まで行ったら、ミシンを止めます。

返しぬいボタン①を押します。



④ ミシンを再スタートさせると、かんぬきをぬい、止めぬいをして針が上停止の位置で自動的にとまります。

ボタンホールぬいが終わると、画面にメッセージが表示されます。

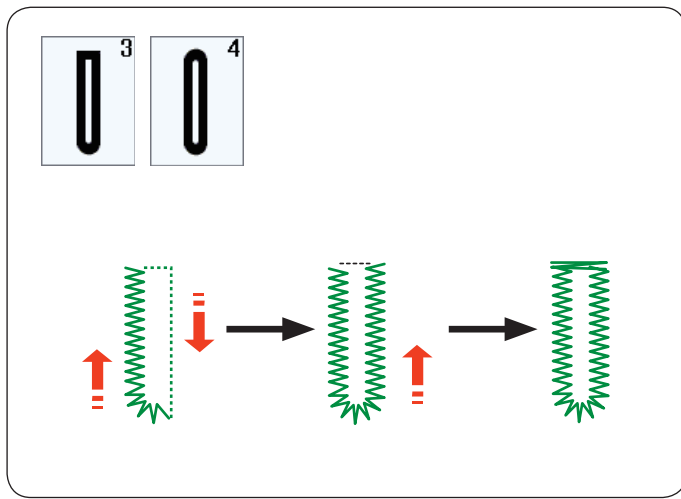
次のボタンホールをぬうには、位置をかえてミシンを再スタートさせます。

画面上のメッセージが消えて、最初にぬったボタンホールと同じサイズのボタンホールが自動的にぬわれてミシンが止まります。

ちがうサイズのボタンホールをぬうには、メッセージ画面の X キーを押してください。

#### メモ：

- ボタンホールの穴の開け方は 56 ページをご覧ください。
- ボタンホールが完成する前に押さえ上げをあげたり、模様頭出しキーを押したりすると、記憶しているボタンホールサイズは取り消されます。



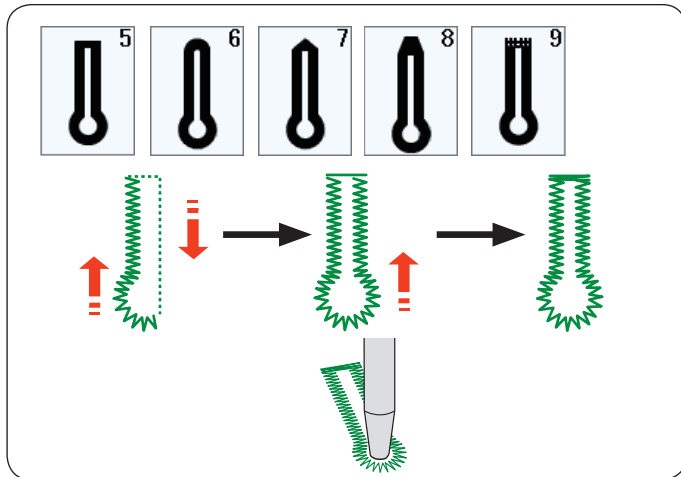
### ● そのほかのボタンホール

#### ボタンホール 3、4: 片ラウンド、両ラウンドボタンホール

ぬい方はスクエアボタンホール B1 と同じです (54 ~ 56 ページ参照)。

#### メモ:

- ボタン穴のサイズは 0.2 ~ 2.0 まで変更可能です。
- ボタンホールの幅は 2.6 ~ 9.0 まで変更可能です。
- ボタンホールのあらかさは 0.20 ~ 1.00 まで変更可能です。



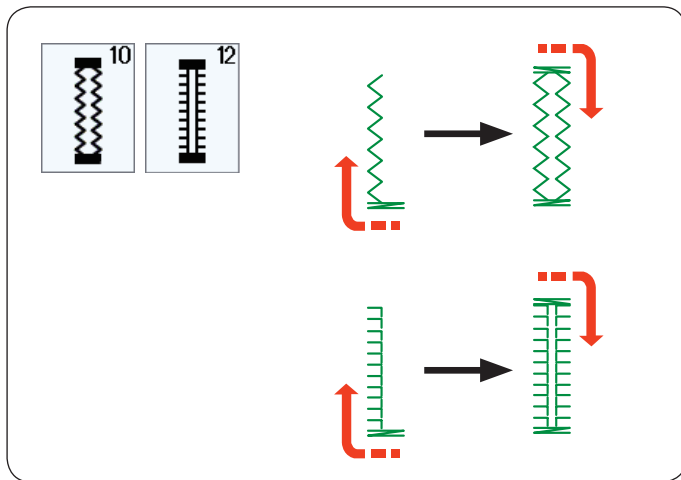
#### ボタンホール 5 ~ 9: キーホールボタンホール

ぬい方はスクエアボタンホール B1 と同じです (54 ~ 56 ページ参照)。

キーホールボタンホールの穴は、ポンチ (市販品) で丸穴を開けてからシームリッパーで切り開いてください。

#### メモ:

- ボタン穴のサイズは 0.2 ~ 2.0 まで変更可能です。
- ボタンホールの幅は 5.6 ~ 9.0 まで変更可能です。
- ボタンホールのあらかさは 0.20 ~ 1.00 まで変更可能です。



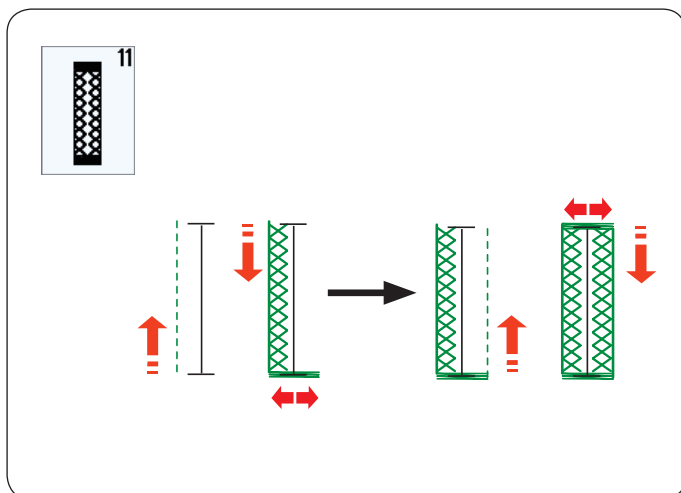
#### ボタンホール 10、12: ストレッチ、アンティークボタンホール

ぬい方はスクエアボタンホール B1 と同じです (54 ~ 56 ページ参照)。

ぬいの手順は図のとおりです。

#### メモ:

- ボタン穴のサイズは 0.2 ~ 2.0 まで変更可能です。
- ボタンホールの幅は 2.6 ~ 9.0 まで変更可能です。
- ボタンホールのあらかさは模様 B10 が 0.50 ~ 1.00、模様 B12 が 0.50 ~ 2.50 まで変更可能です。



#### ボタンホール 11: ニットボタンホール

ぬい方はスクエアボタンホール B1 と同じです (54 ~ 56 ページ参照)。

#### メモ:

- ボタン穴のサイズは 0.2 ~ 2.0 まで変更可能です。
- ボタンホールの幅は 2.6 ~ 9.0 まで変更可能です。
- ボタンホールのあらかさは 0.70 ~ 1.20 まで変更可能です。

## ● ボタンホール 13: たまぶちボタンホール

たまぶち布をぬい付けて、たまぶちボタンホールを作ります。

仕立ての衣服などに最適ですが、たまぶち布や重ね合わせの部分が透けてしまうよううすくて繊細な布には向きません。

① バイアス地のたまぶち布の表側と、衣服の布の表側を合わせ、しつけぬいで止めます。

- ① たまぶち布の裏
- ② 衣服の布の表

② ボタンホール模様 B13 を選択します。

たまぶち布と衣服の布を一緒にぬいます。

図のようにボタンホール穴の切り込みをいれ、たまぶち布を裏側に出します。

- ① たまぶち布の裏
- ② 衣服の布の表
- ③ たまぶち布の表

③ 衣服の布の裏側にたまぶち布の表側全体が見えるまでたまぶち布を引き出します。

アイロンの先で角を整えます。

- ③ たまぶち布の表
- ④ 衣服の布の裏

④ たまぶち布の両側を折り返して、ボタンホールの「くちびる」を作ります。

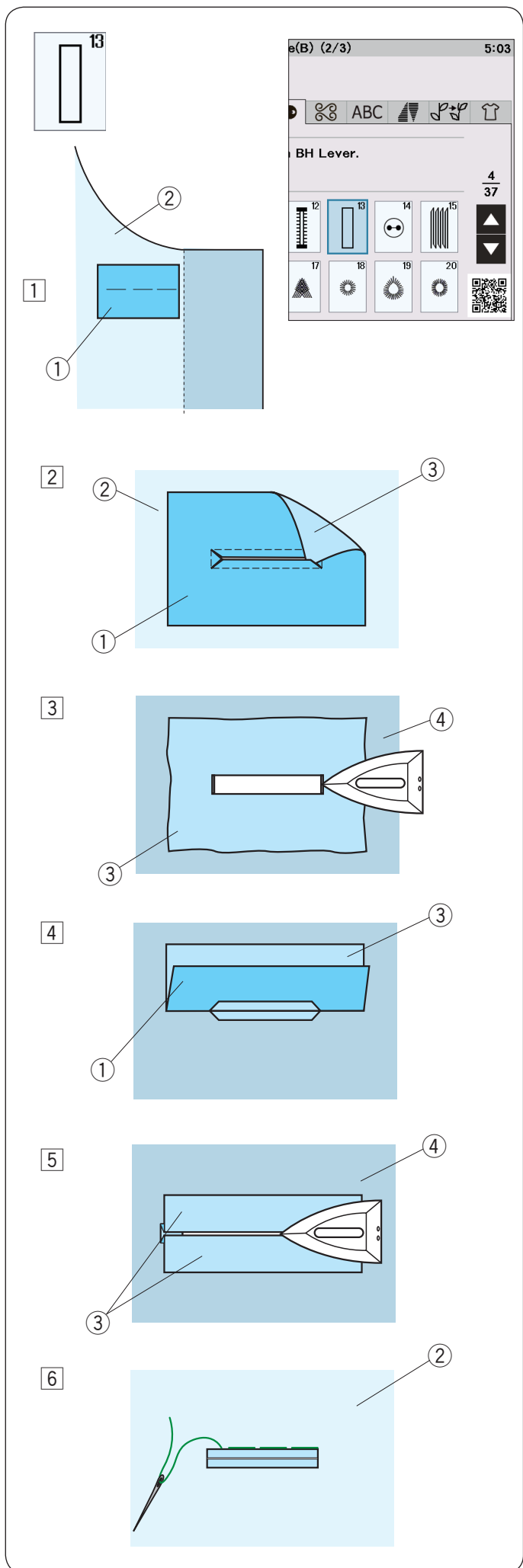
- ① たまぶち布の裏
- ③ たまぶち布の表

⑤ 折り返しにアイロンを当てます。

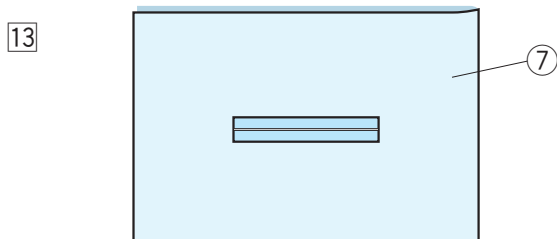
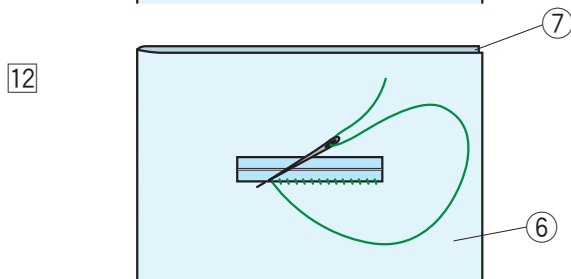
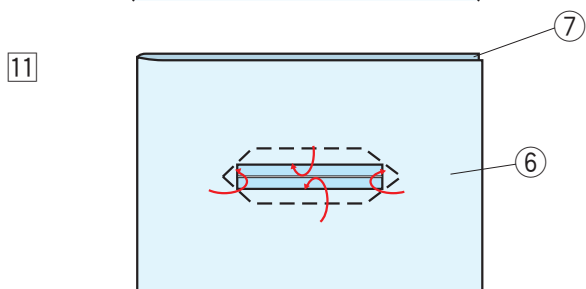
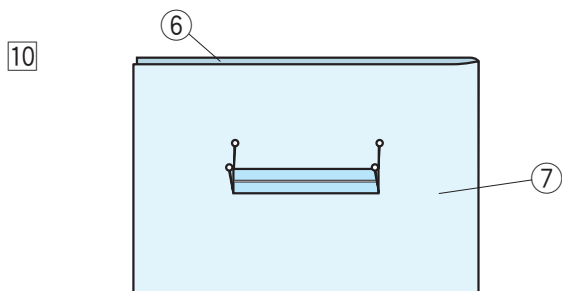
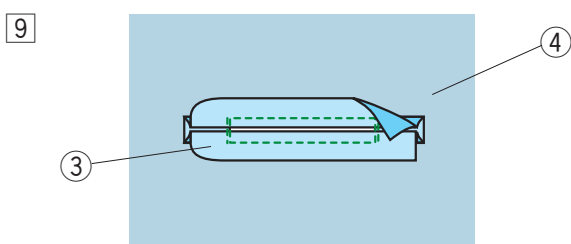
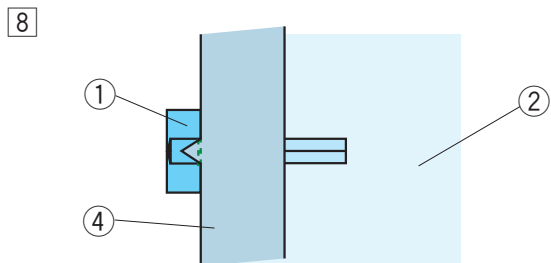
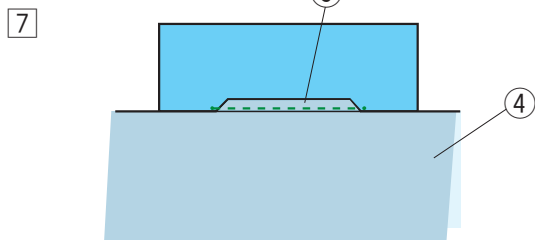
- ③ たまぶち布の表
- ④ 衣服の布の裏

⑥ 針と糸で手作業でぬい目の両端にしつけぬいをします。

- ② 衣服の布の表







7 衣服の布の長辺を折り返し、ぬい合わせた布のきわ(衣服の布とたまぶち布の境)をしっかりとぬい付けます。

④ 衣服の布の裏

⑤ 前後にぬう

8 衣服の布の短辺を折り返し、ぬい合わせた三角形の布のきわ(衣服の布とたまぶち布の境)を三重にぬいます。

① たまぶち布の裏

② 衣服の布の表

④ 衣服の布の裏

9 ボタンホールの穴から 1 cm ~ 1.5 cm のところでたまぶち布を切ります。図のようにたまぶち布の角を丸くたち落とします。

③ たまぶち布の表

④ 衣服の布の裏

10 衣服の布の裏側に見返しを当てます。ボタンホールの4つの角に図のようにピンで印を付けます。

⑥ 見返し

⑦ 衣服の布

11 衣服の布を裏返し、見返しに手順 [2] と同じように Y 字型に切り込みを入れて、できあがりの幅に折ります。ピンの印が、見返しのボタンホールの4つの角の位置になります。切り込まれた布を折り返して衣服の布の表とたまぶち布のあいだに折り込みます。

⑥ 見返し

⑦ 衣服の布

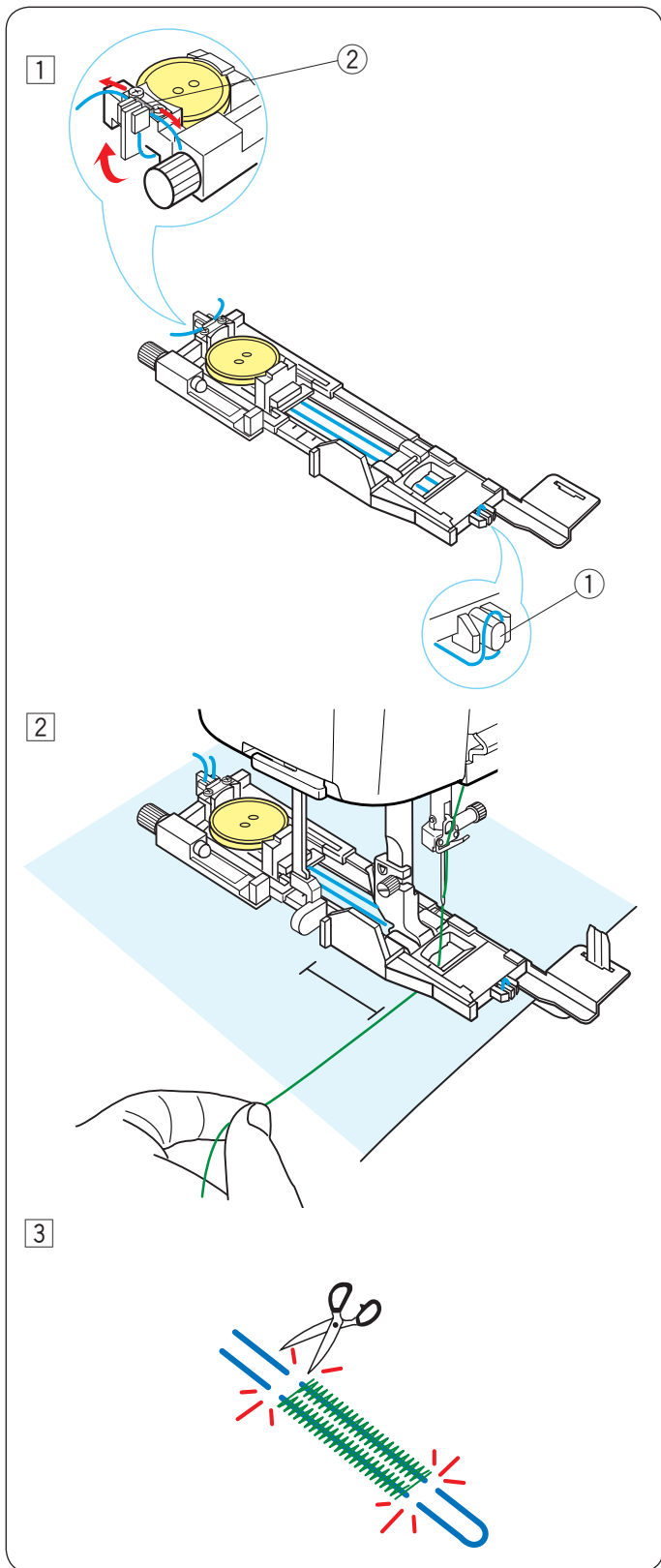
12 あきぐちのまわりを図のように細かくまつります。

⑥ 見返し

⑦ 衣服の布

13 たまぶちボタンホールの完成です。

⑦ 衣服の布



## ● 芯入りボタンホール

ぬい方はスクエアボタンホール B1 と同じです。

模様 B1 を選択します。

① ボタンホール押さえ R のボタン受け台にボタンをはさみ込みます。

ボタンホール押さえ R をあげ、芯糸を押さえの前側にあるつものかけます。

芯糸の両端をうしろに向かってボタンホール押さえ R の下から通します。

ボタンホール押さえ R うしろ側にある左右の突起のあいだに芯糸をそれぞれ通します。

芯糸を横に引いて、突起と金属の板のあいだにはさみ込んで固定します。

① つもの

② 金属の板

※ 芯糸は、たるみのないように強く張ってください。

※ 必要であれば安定板を取り付けたボタンホール押さえ R をミシンに取り付けてください。

② ボタンホールをぬきたいところに針をおろし、押さえをさげます。

ボタンホール切りかえレバーをさげ、糸を左に軽く引き出します。

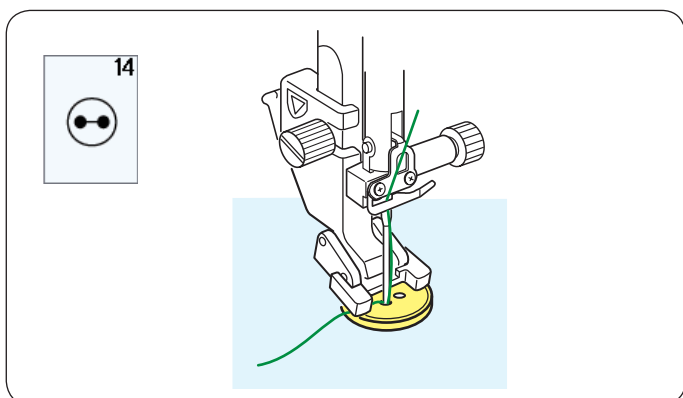
ミシンをスタートさせ、ボタンホールをぬきます。

ボタンホールをぬい終わると、ミシンが自動的にとまります。ミシンから布を外して、上糸と下糸のみ切ってください。

③ 芯糸の両端を切ります。

### メモ：

- ボタンホール穴のサイズを 0.8 以上に設定しないでください。
- ボタンホールの幅は芯糸の厚さに合わせて調整してください。
- ボタンホールの穴の開け方は 56 ページをご覧ください。



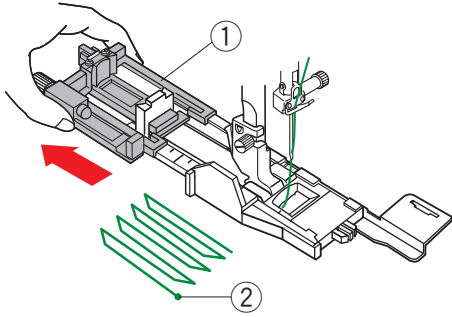
## ● 特殊ぬい

### ● ボタンホール 14: ボタン付け

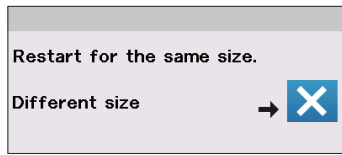
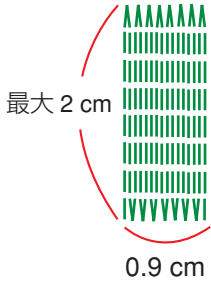
ぬい方は 112 ページをご覧ください。



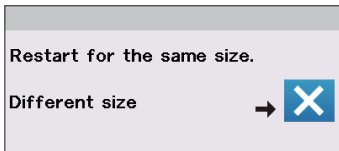
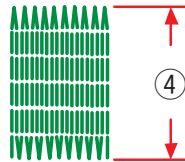
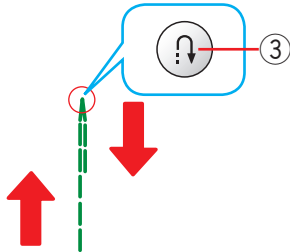
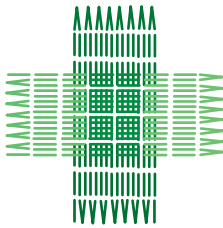
1



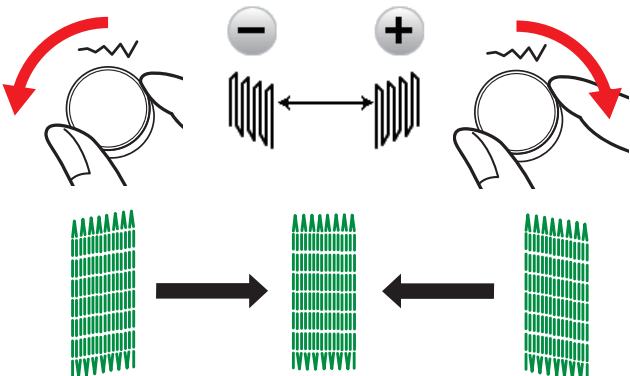
2



3



5.0



## ● ボタンホール 15: つくろいぬい (ダーニング)

① ミシンにボタンホール押さえ R を取り付け、ボタン受け台をいっぱい引き出します。  
布を押さえの下に置き、針をぬい始めの位置にさします。押さえをおろします。

- ① ボタン受け台
- ② ぬい始めの位置

② ミシンをスタートさせます。

ミシンが自動的に止まるまでぬいます。  
ぬい終わると、確認メッセージが表示されます。

### メモ:

- 自動的に停止するまでぬうと、最大約 2 cm の長さ、幅は固定で約 0.9 cm をぬうことができます。
- 2 cm より短い長さでぬう場合、下記「2 cm より短い長さでぬう場合」をご覧ください。

③ 布の向きを 90 度かえ、重ねてぬいます。

### 2 cm より短い長さでぬう場合

最初に必要な長さまでぬい、ミシンを止めます。  
返しぬいボタンを押してミシンを再スタートさせます。  
押した位置から折り返しますので、自動的にミシンが停止するまでぬいます。

- ③ 返しぬいボタン
- ④ 必要な長さ

### 同じサイズでぬう場合

ぬい終わると、確認メッセージが表示されます。

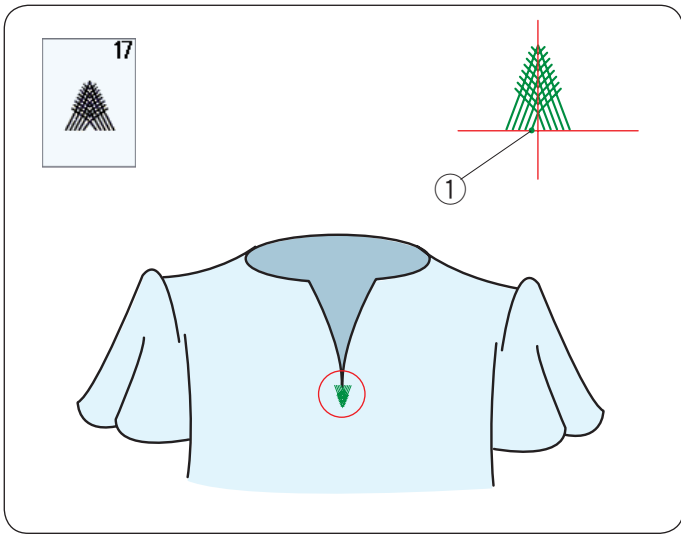
そのままミシンを再スタートさせれば、前回と同じサイズでダーニングをぬいます。

異なるサイズでぬう場合は、X キーを押してください。

### 形の整え方

つくろいぬい (ダーニング) のぬい始め (左側) とぬい終わり (右側) の高さがそろわない場合、ぬい目の幅調整ダイヤルをまわすか、「-」キーか「+」キーを押して、ダーニングの高さをそろえることができます。

- 左側が右側より低い場合には、ぬい目の幅調整ダイヤルを反時計回りにまわすか、「-」キーを押します。
- 右側が左側より低い場合には、ぬい目の幅調整ダイヤルを時計回りにまわすか、「+」キーを押します。



### ● ボタンホール17: フライステッチ(かんぬきどめ)

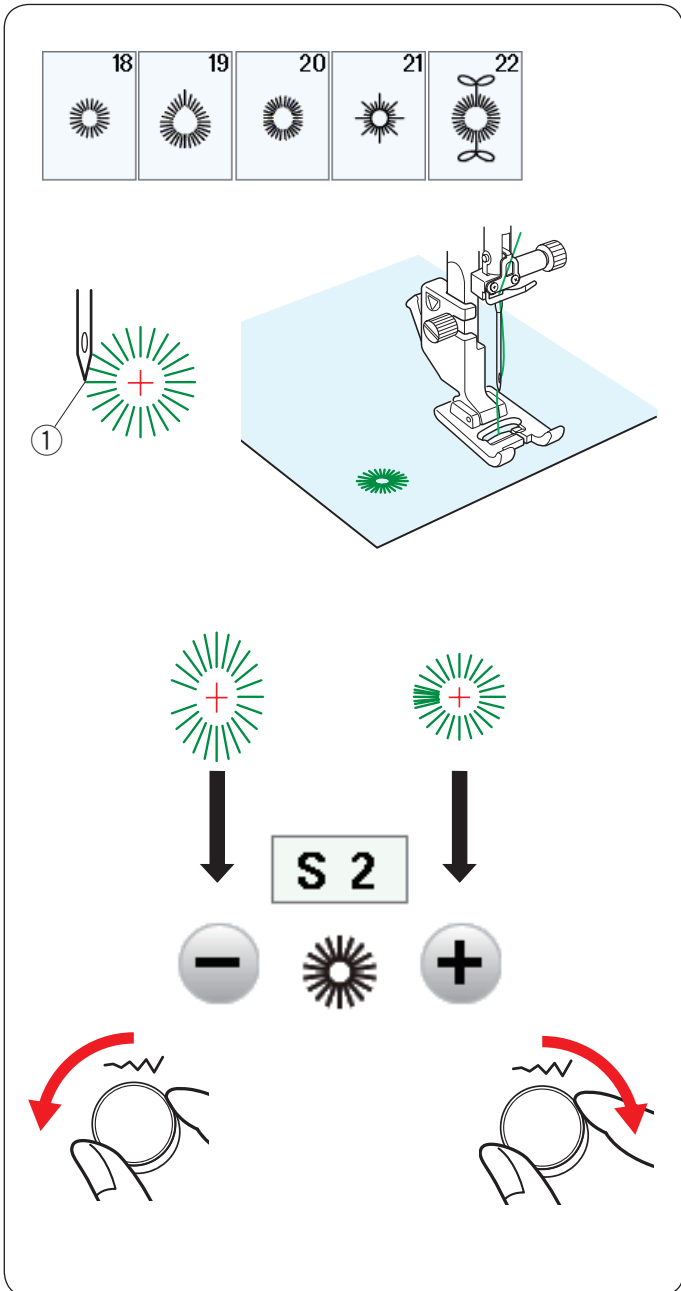
三角形の形をしたかんぬきどめです。あき止まりや、ポケット口の飾りをかねた補強ぬいに使用します。

サテン押さえ F を取り付けます。

#### ぬい方:

布を押さえの下に置き、針をぬい始めの位置にさします。ミシンが自動的に止まるまでぬいます。

- ① ぬい始めの位置



### ● ボタンホール 18～22: アイレット

アイレットはベルトの穴などに使用します。

サテン押さえ F を取り付けます。

#### ぬい方:

布を押さえの下に置き、ぬい始めの位置に針をさします。ミシンが自動的に止まるまでぬいます。

- ① ぬい始めの位置

※ ぬい目の内側は、ポンチ(市販品)などで穴を開けます。

#### 形の整え方

ぬい目にすきまがある場合、ぬい目の幅調整ダイヤルを反時計回りにまわすか、「-」キーを押してアイレットの形を均一にします。

ぬい目が重なっている場合、ぬい目の幅調整ダイヤルを時計回りにまわすか、「+」キーを押してアイレットの形を均一にします。

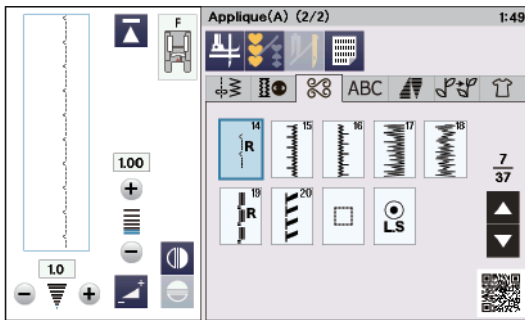
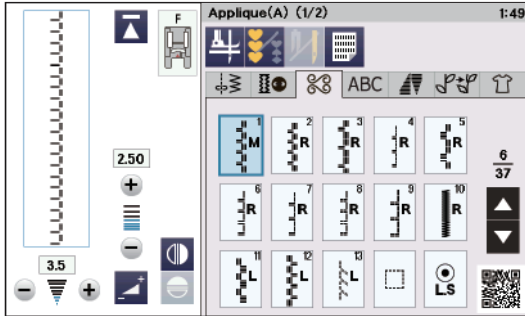
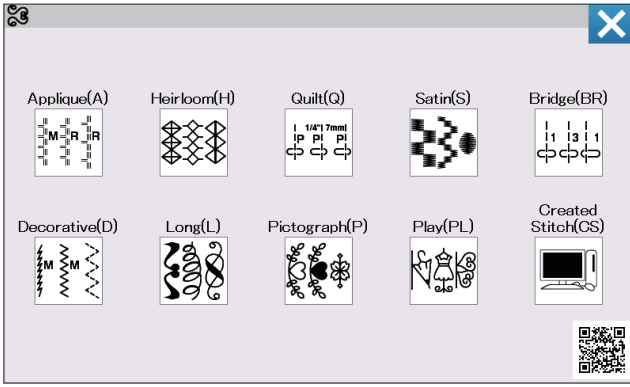
#### メモ:

アイレットの形は S1 ～ S3 の範囲で変更できます。  
(初期値は S2 です)

## ◎ かざりぬい

### ● かざりぬいの画面

かざりぬいは 10 のグループに分類されています。これらの模様で、組み合わせ模様をつくることができます。

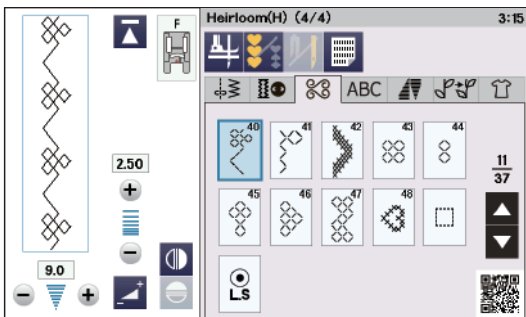
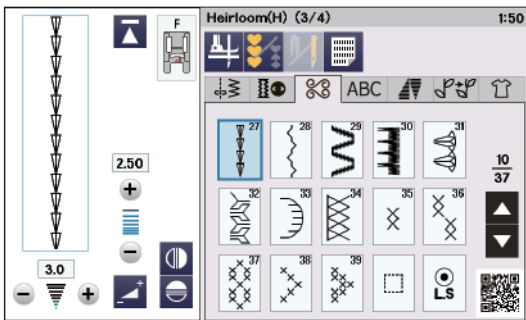
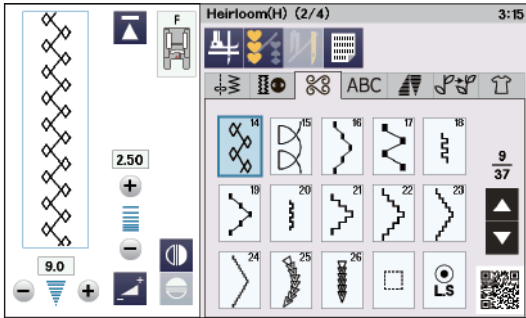
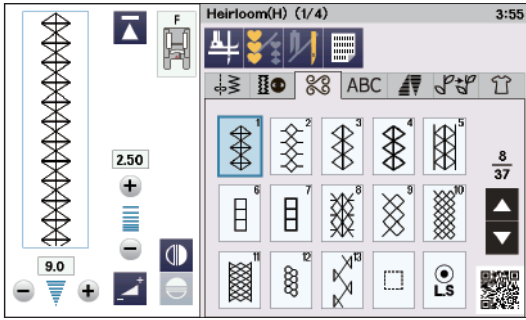


### Applique (A):2 画面

アップリケなどに使用する模様のグループです。  
(119 ページ参照)

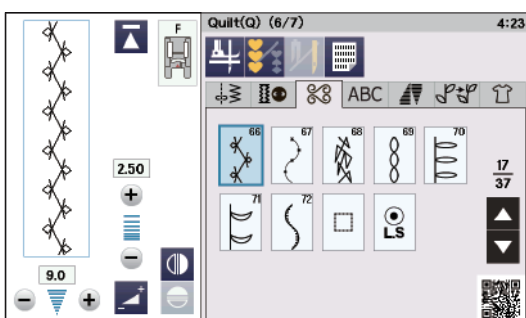
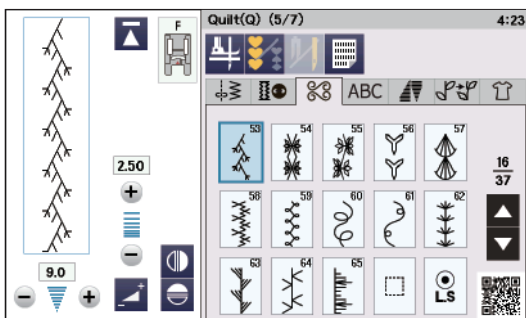
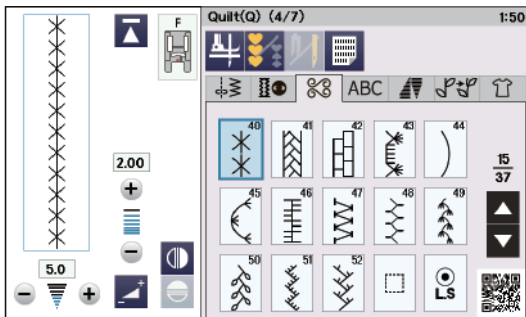
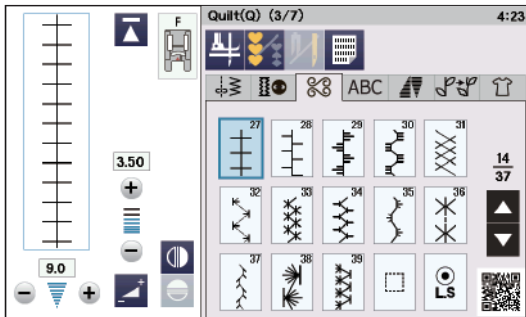
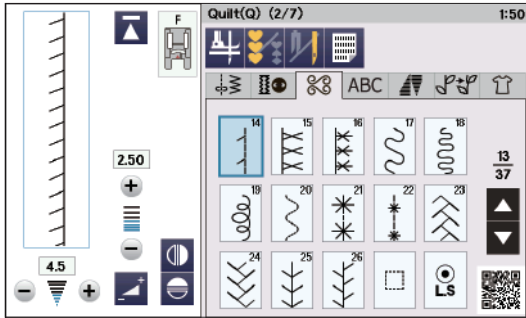
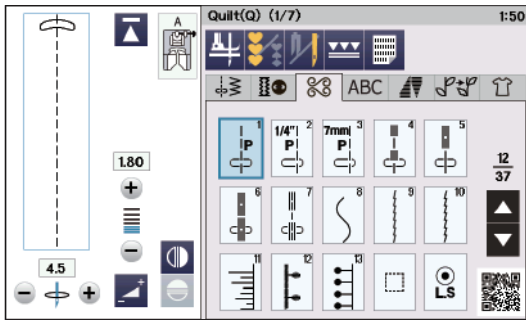
## Heirloom (H):4 画面

このグループのヘアルームおよびクロスステッチは、クラフトソーイングやホームデコに用いることができます。

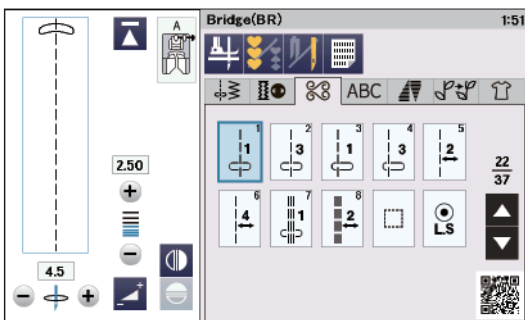
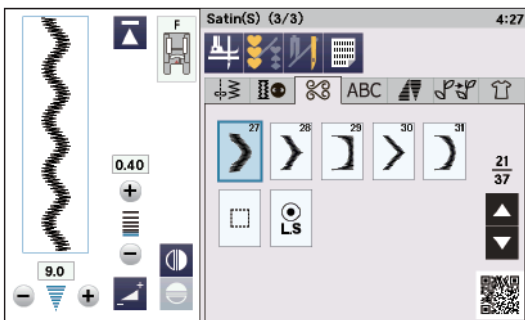
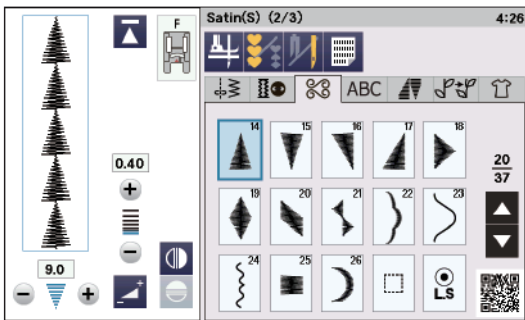
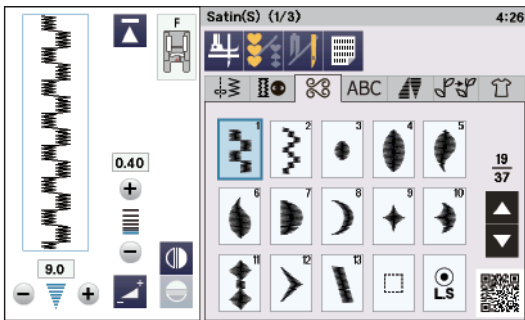
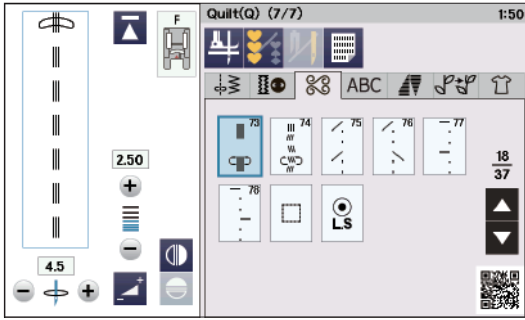


## Quilt (Q):7 画面

パッチワークやキルトなどに使用する模様のグループです。(74 ~ 77、115 ~ 121 ページ参照)



## Quilt (Q): (前ページからのつづき)



## Satin (S):3 画面

このグループの様子はエロンゲーション機能を使うと、ぬいのあらかはそのままで元のサイズの5倍までのぼすことができます。(77 ページ参照)

## Bridge (BR):1 画面

模様と模様を直線ぬいでつなぐ（間かくをあける）ためのぬいグループです。

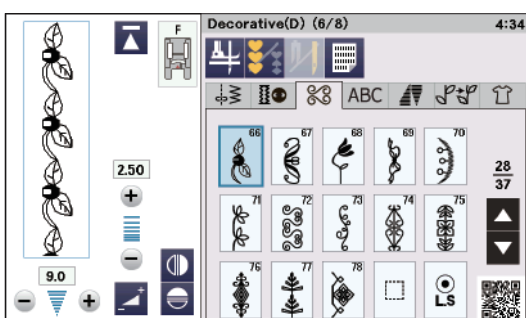
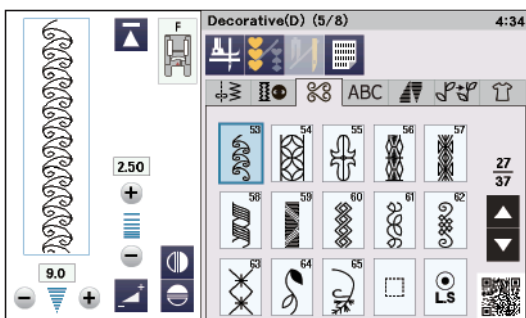
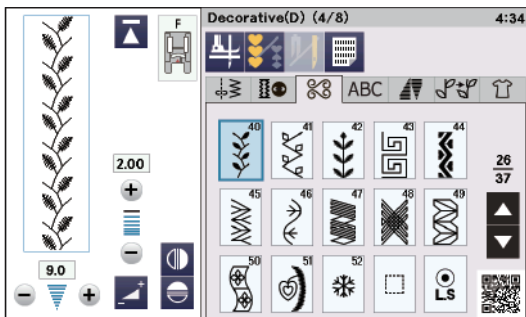
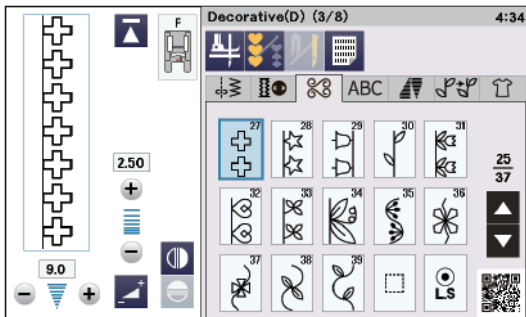
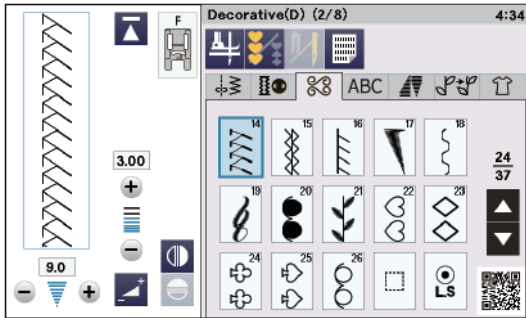
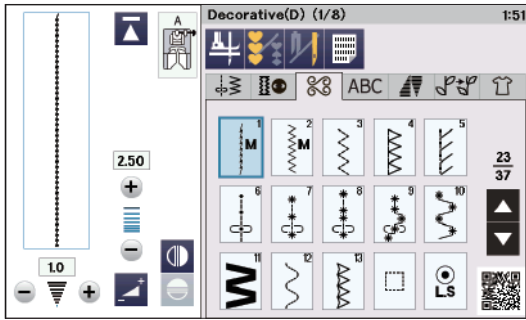
模様のとりにある数字は、模様と模様をつなぐ直線ぬいの数です。

つなぎもよう BR5、BR6、BR8 は組み合わせ模様のあるとき、前に入力した模様の基線とぬい目のあらかを引き継ぎます。(81 ページ参照)

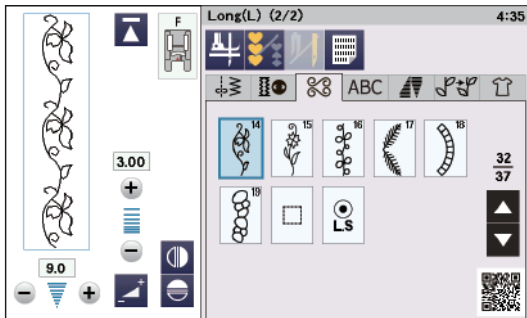
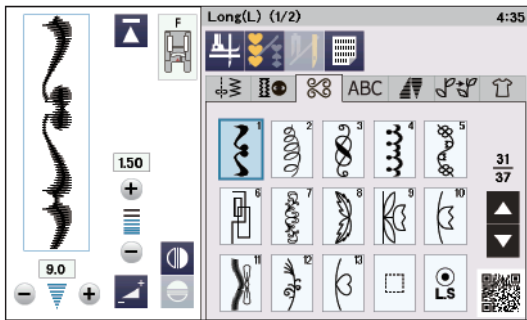
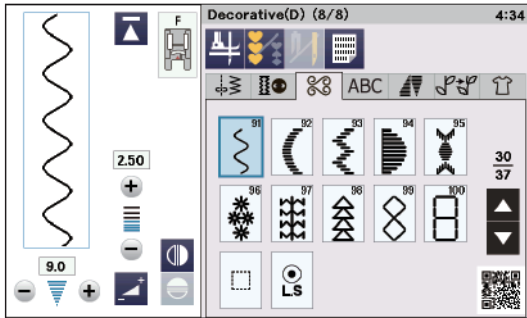
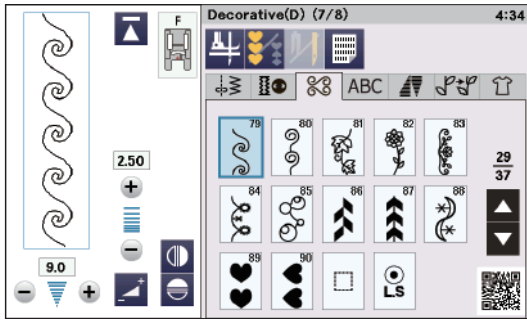


## Decorative (D):8 画面

装飾的なかざりもよりのグループです。

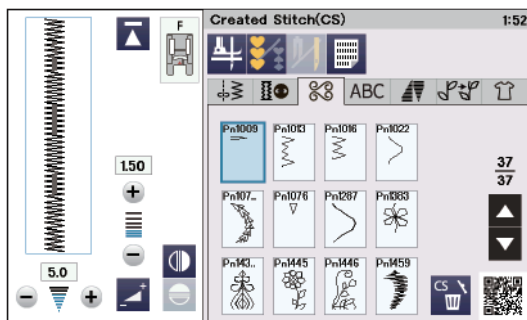
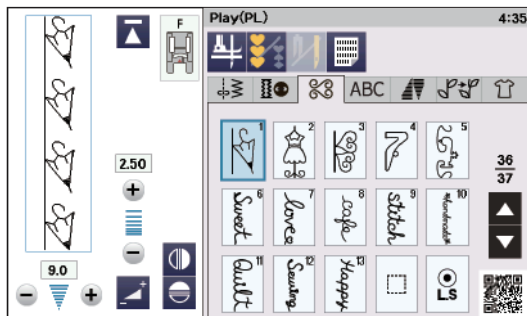
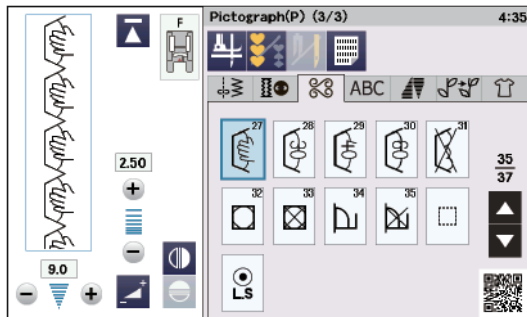
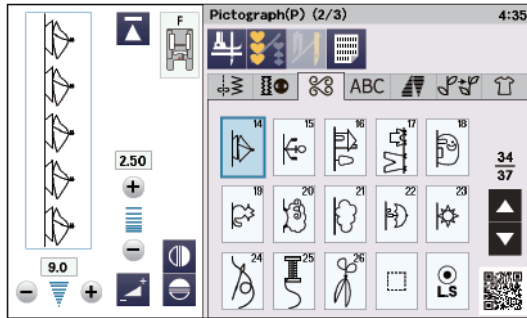
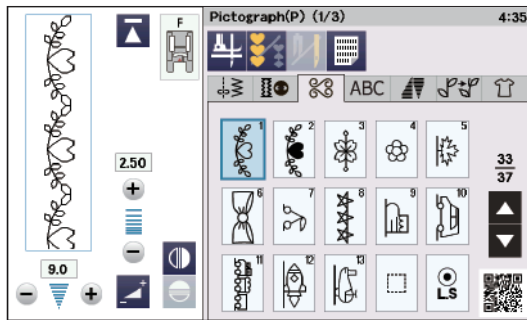


## Decorative (D): (前ページからのつづき)



## Long (L):2 画面

1つの模様の長さが長い装飾模様のグループです。  
衣服の飾りやボーダー飾りに最適です。



### Pictograph (P):3 画面

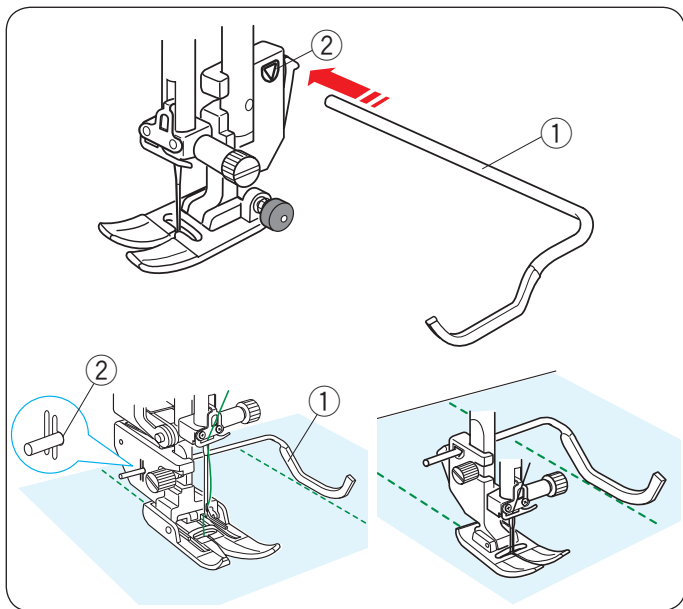
具象的な飾り（形がはっきりした）模様ของกลุ่มです。

### Play (PL):1 画面

かわいらしい模様やファンシーなモチーフ、カリグラフィアーなどが満載です。

### Created Stitch (CS)

ステッチコンポーザーで作成した模様を選択できます。データの読み込みに関しては 78 ページをご覧ください。  
 ※「ステッチコンポーザー」の使い方は、「ステッチコンポーザー」の画面にあるヘルプをご覧ください



## ● キルトグループ

### ★ キルティングガイドの使い方

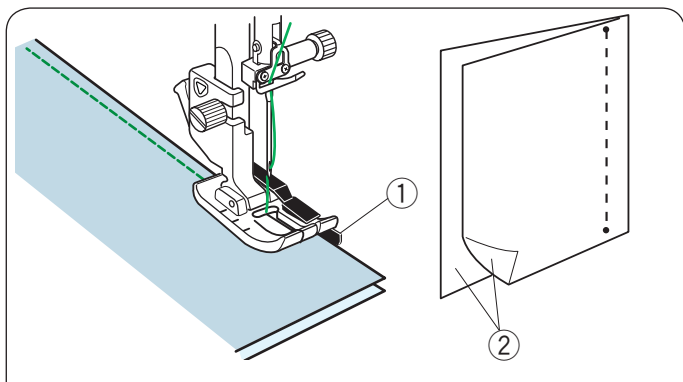
キルティングガイドを使うと、前にぬったぬい目と平行に等間かくでぬうことができます。

押さえホルダーのうしろの取り付け穴にキルティングガイドを差し込みます。

キルティングガイドをスライドさせて、お好みの距離に調整してください。

- ① キルティングガイド
- ② 穴

すでにあるぬい目にキルティングガイドに沿わせて平行な直線をぬいます。

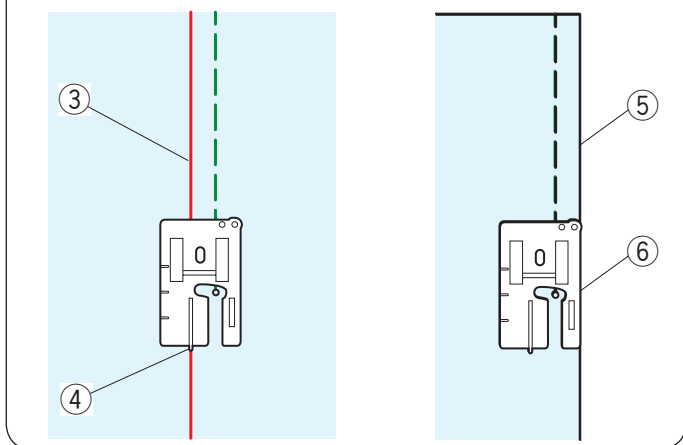


### ★ キルト模様 1～3 パッチワーク（地ぬい）

模様 Q1～Q3 はパッチワークの地ぬいに使用します。

模様 Q2 と Q3 はそれぞれパッチワーク押さえ O を使用すると、1/4 インチ、7 mm のぬいしろが正確にぬえます。パッチワークに使用する布を中表に合わせ、布端をガイドに合わせてぬいます。

- ① ガイド
- ② 布の表側



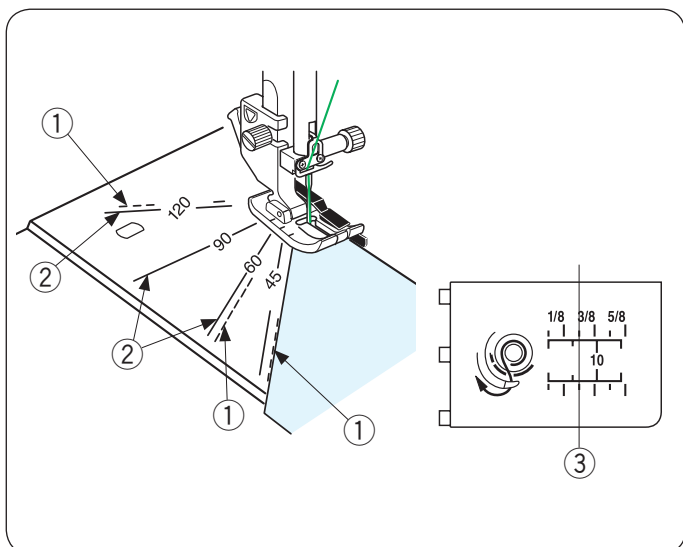
図のように、パッチワーク押さえ O（ガイドなし）を使用すると、ガイドラインから 1/4 インチの位置を正確にぬうことができます。

ガイドラインとパッチワーク押さえ O（ガイドなし）の 1/4 インチガイドを合わせてぬいます。

- ③ ガイドライン
- ④ 1/4 インチガイド

布の右端から 1/4 インチの位置ぬうには、押さえ O の右端を布の右端に合わせてぬいます。

- ⑤ 布の右端
- ⑥ 押さえ O の右端



### ★ 針板角度目盛りの使い方

針板の角度目盛りを使うと、布に印を付けずに好きな角度で簡単にぬえます。

針板の角度目盛りには、45、60、90、120 度の目盛りがついています。

パッチワーク押さえ O を使用する場合は、図のように点線の角度目盛りに合わせてください。

- ① 点線

#### メモ：

基本押さえ A を使用する場合は、実線の角度目盛りに合わせます。布端を針板の 1/4 インチガイドに合わせます。

- ② 実線
- ③ 1/4 インチガイド

## ★ キルトブロックアドバイザー

各布のサイズと枚数を、自動で計算できます。

6種類のキルトパターンから選びます。

ファンクションメニューキーを押して、ファンクションメニューを開きます。「Quilt Block Advisor」の **➤** キーを押してキルトパターンを選択します。

- ① ファンクションメニューキー
- ② キルトブロックアドバイザー

以下のようなキルト模様を選択できます。

お好みのキルトアイコンキーを押してデザインを選択してください。

- Nine Patch (ナインパッチ)
- Mosaic (モザイク)
- Lemon Star (レモンスター)
- Log Cabin (ログキャビン)
- Grandma Garden (グランマガーデン)
- Baby Blocks (ベビーブロックス)

### 例：ナインパッチのサイズを計算する

Nine Patch キーを押して選択します。

「+」もしくは「-」キーを押して作品のサイズ（幅と高さ）③をセンチメートルで設定します。

「+」もしくは「-」キーを押して列数④を設定します。

- ③ 作品のサイズ（幅と高さ）
- ④ 列数

1枚のサイズ（ぬいしろ0.7cmを含む）⑤と必要な布の枚数⑥が画面の左側に表示されます。

9つのパッチワークキルト（3列、15cm x 15cm）を作るには、4個のA1（6.4cm x 6.4cm）と5個のA2（6.4cm x 6.4cm）が必要であると表示されます。

- ⑤ 布のサイズ（ぬいしろ0.7cmを含む）
- ⑥ 必要な布の枚数

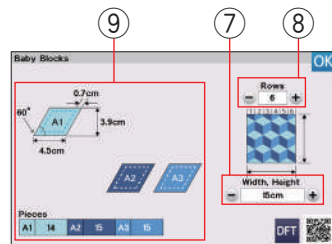
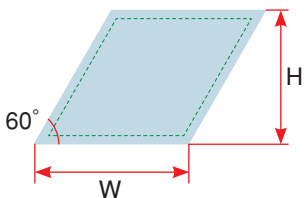
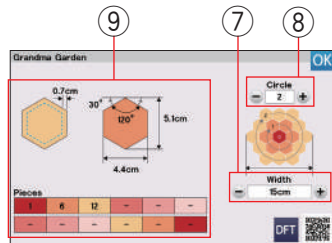
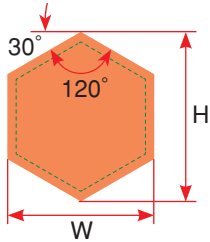
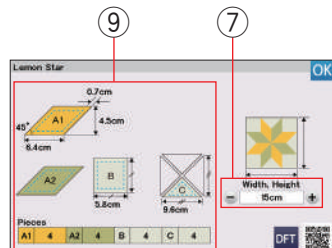
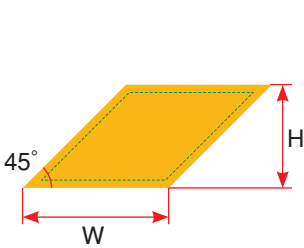
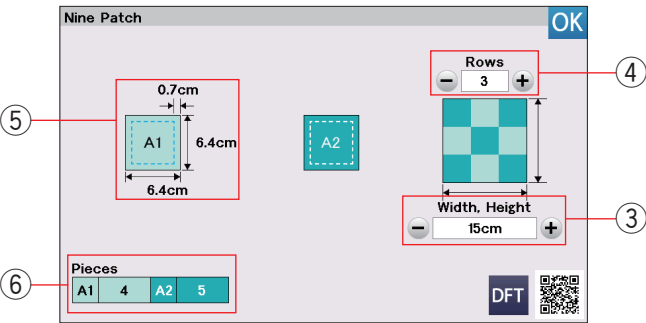
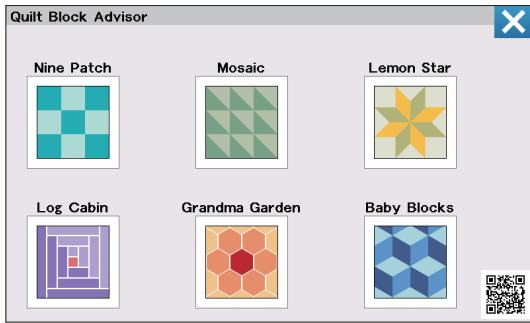
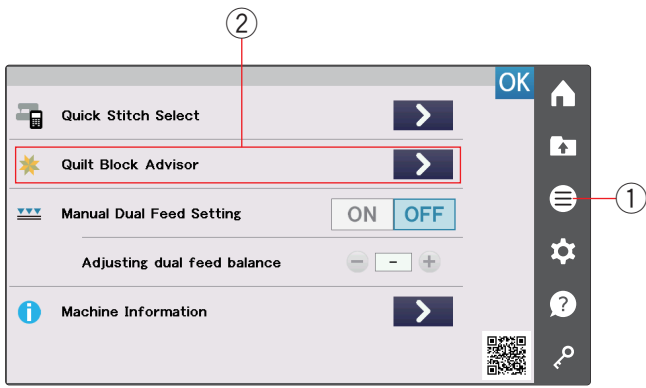
### その他のキルトデザイン

キルトアイコンキーを押してお好みのデザインを選択します。

「+」もしくは「-」キーを押して作品のサイズ⑦を設定します。

必要な場合は、「+」もしくは「-」キーを押して列やサークルの数⑧を設定します。

ピースのサイズと必要な布の枚数が画面の左側⑨に表示されます。

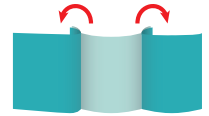


## 例：ナインパッチキルト

- ① 異なる色の2枚の布（A1とA2）を用意します。  
布帯をA1、A2から3本ずつ切り出します。すべての布帯が同じサイズになるようにします。  
A1とA2の布帯を交互に並べます。  
① ぬいしろを含めたナインパッチピースの幅  
② 長さはキルトのサイズにより異なります。
- ② パッチワーク押さえOを取り付けます。  
布帯を中表に合わせて③の図のようにぬい付け、布帯のセットAとセットBを作ります。

### メモ：

布帯にアイロンをかけるときれいに仕上がります。  
ぬいしろを暗い色の布のほうへ折ります。



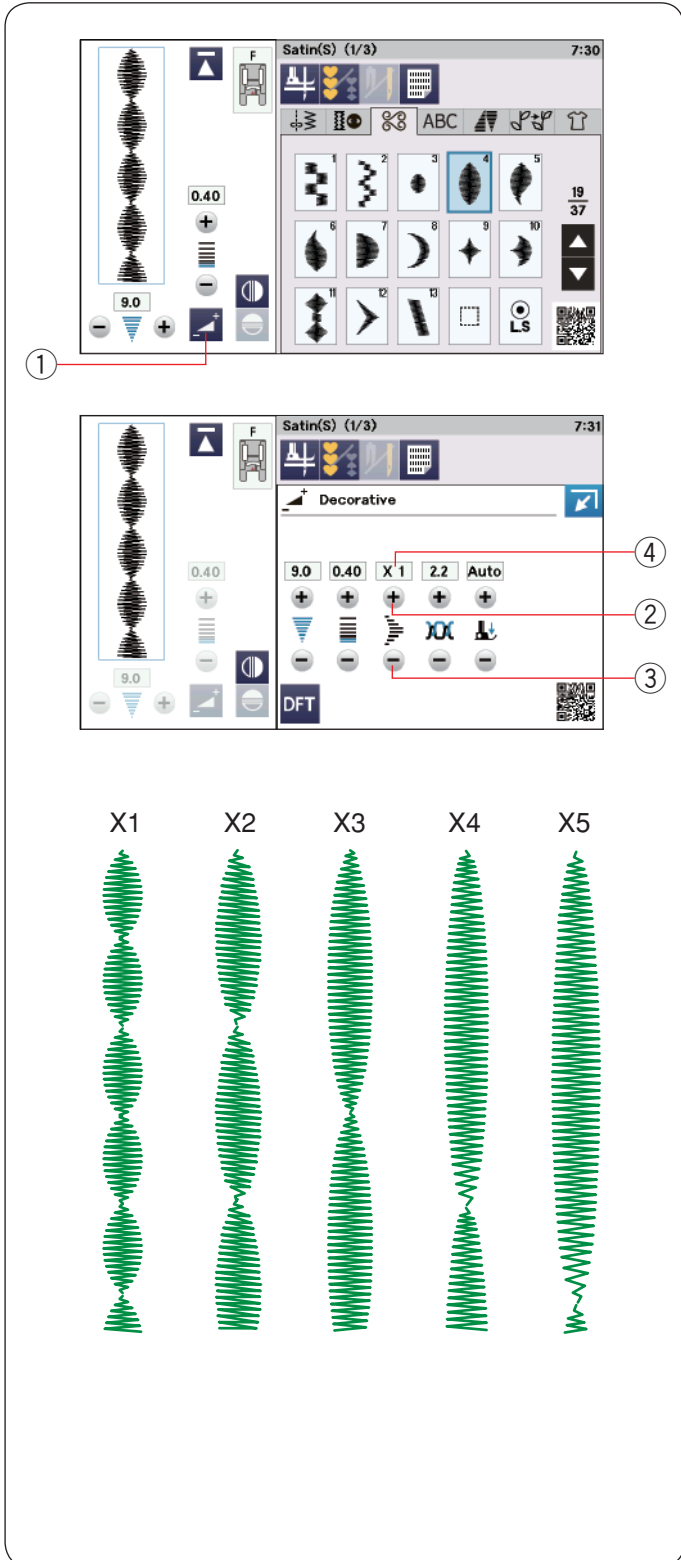
- ③ セットAとセットBの布帯をぬいしろを含めたナインパッチピースの幅で切ります。  
① ぬいしろを含めたナインパッチピースの幅
- ④ セットAとセットBの布を交互に並べ、ナインパッチキルトのブロックを作ります。
- ⑤ セットAのピースとセットBのピースをぬい付けます。
- ⑥ ナインパッチピースをお好みに並べ、台布へぬい付けます。



★ キルト模様 73～78: 手ぬい風キルトステッチ

キルト模様 73～78 は手ぬい風のキルト模様です。

上糸に透明なナイロン糸、下糸に通常の糸を使用します。  
下糸が布の表に引き出され、手ぬい風のステッチになります。



● サテングループ

★ 模様の長さ調整機能 (エロンゲーション)

サテン模様 1～31 の模様はエロンゲーション機能を使うと、ぬい目のあらかさをかえずに模様の長さを 2～5 倍にかえることができます。

調整キーを押して調整画面を開きます。

① 調整キー

「+」キーを押して、模様の長さを長くします。

② 「+」キー

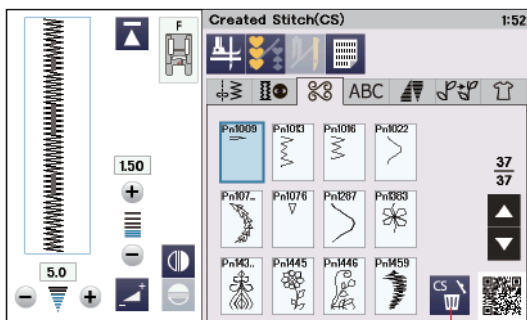
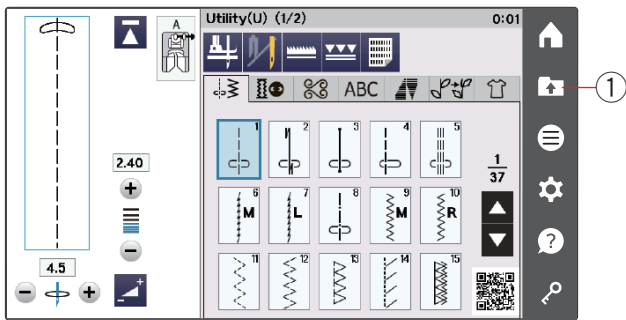
「-」キーを押して、模様の長さを短くします。

③ 「-」キー

模様の長さは元の長さの 5 倍までのばすことができます。  
長さの倍率が表示されます。

④ 長さの倍率

模様のぬい目の幅やぬい目のあらかさを変更することもできます。



## ● ユーザー作成模様 (Created Stitch)

「ステッチコンポーザー」で作成した模様データをミシン本体に読み込むと、ユーザー作成模様グループ (Created Stitch (CS)) に保存されます。

ユーザー作成模様を保存した USB メモリを USB ポートに差し込んで、ファイルオープンキーを押します。

① ファイルオープンキー

※ ステッチコンポーザーは PC アプリケーションパック (CD-ROM) に含まれています。

USB アイコンを選択すると、接続した USB メモリのフォルダのリストが表示されます。

開きたいフォルダを選択すると、ファイルのリストが表示されます。

お好みのファイル(ユーザー作成模様)を選択すると、ユーザー作成模様が保存され、模様選択キーが作成されます。ほかの内蔵模様と同様に、組み合わせ模様に組み込んだりめったりできます。

### メモ：

- 本機で使用できる USB メモリのファイルシステムは FAT16 および FAT32 のみです。USB メモリが読み込めない場合は、ファイルシステムを確認してください。(140 ~ 141 ページ参照)
- USB カードリーダー、および USB ハブは使用しないでください。

ユーザー作成模様を削除する場合、削除キーを押して、削除する模様を選びます。

確認メッセージが表示されます。OK を押して模様を削除します。

② 削除キー

### メモ：

- ユーザー作成模様は 60 個まで保存できます。
- ユーザー作成模様は、2 本針ぬいには対応していません。



## ● 2本針ぬい

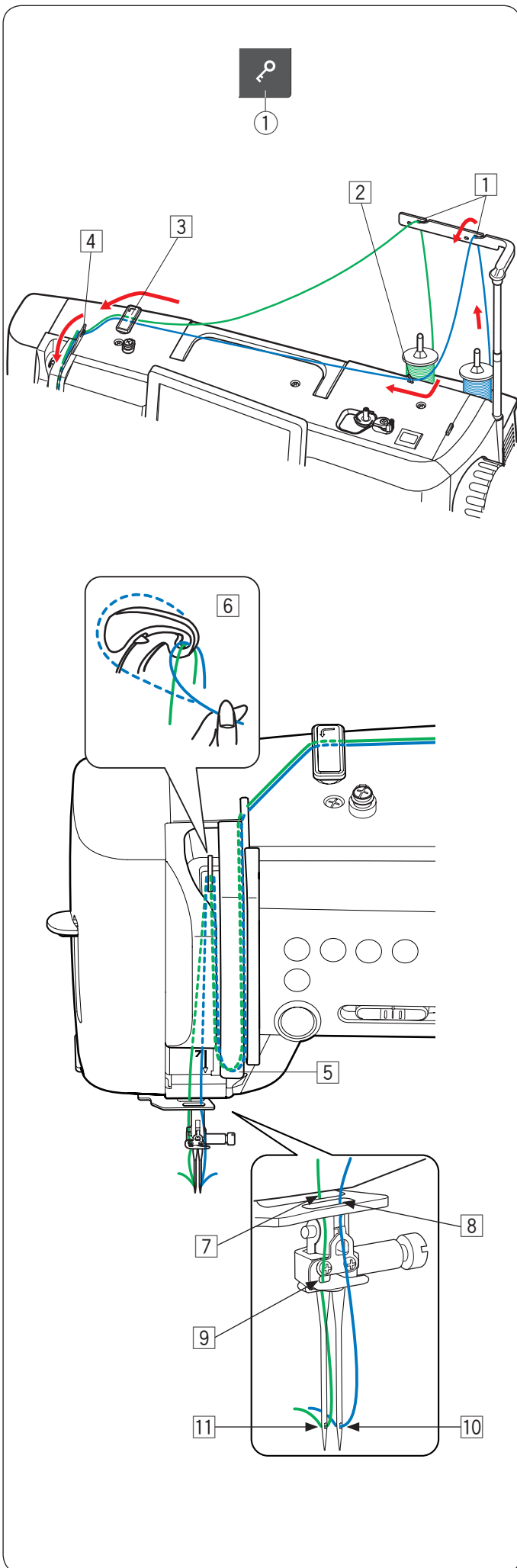
付属の2本針を使用して2本針ぬいを行うと、きれいなかざりぬいができます。

一部のじつようぬいとかざりぬいは、2本針でぬうことができます。

### ⚠ 注意：

- 針を交換する場合、必ずロックキーを押してミシンをロックしてください。けがの原因となります。
- 付属の2本針以外は使わないでください。故障の原因となります。

① ロックキー



糸立て棒に2つの糸こまをセットします。

左の糸こまの糸をかけるには、左の糸こまから、①にかけ、次に③～⑥の順にかけます。

アーム糸案内の穴のうしろ側⑦にかけ、⑨、⑪へ図のようにかけます。

右の糸こまの糸をかけるには、右の糸こまから、①～⑥の順にかけます。

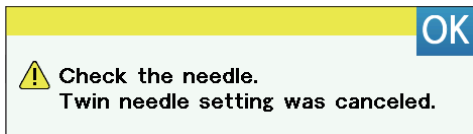
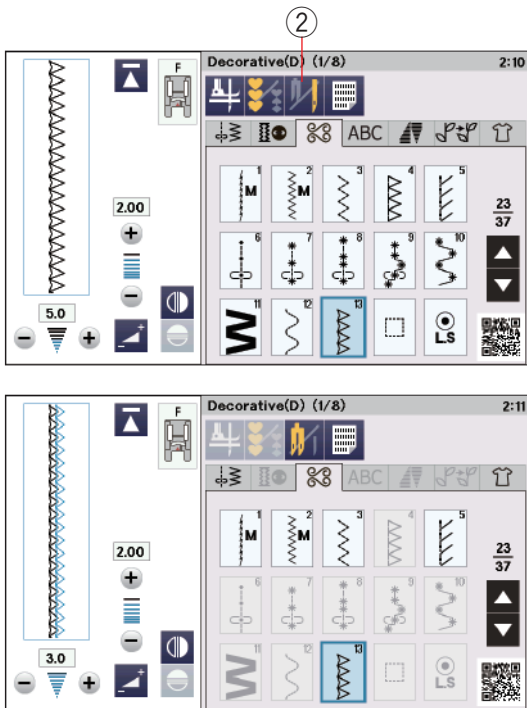
アーム糸案内の穴⑧に入れ、⑩へ図のようにかけます。

※ 右の糸こまからの糸は、針棒糸かけにはかけません。

※ 2本の糸がからまないように注意してください。

### メモ：

- 糸のかけ方は、通常の上糸かけと同じように③から⑥へかけます。(29～30ページ参照)
- 2本針に糸通しは使用できません。



2本針ぬい切りかえキーを押してお好みの模様を選択します。

② 2本針ぬい切りかえキー

※ 2本針ぬいに適さない模様のキーはグレーになり選択できません。

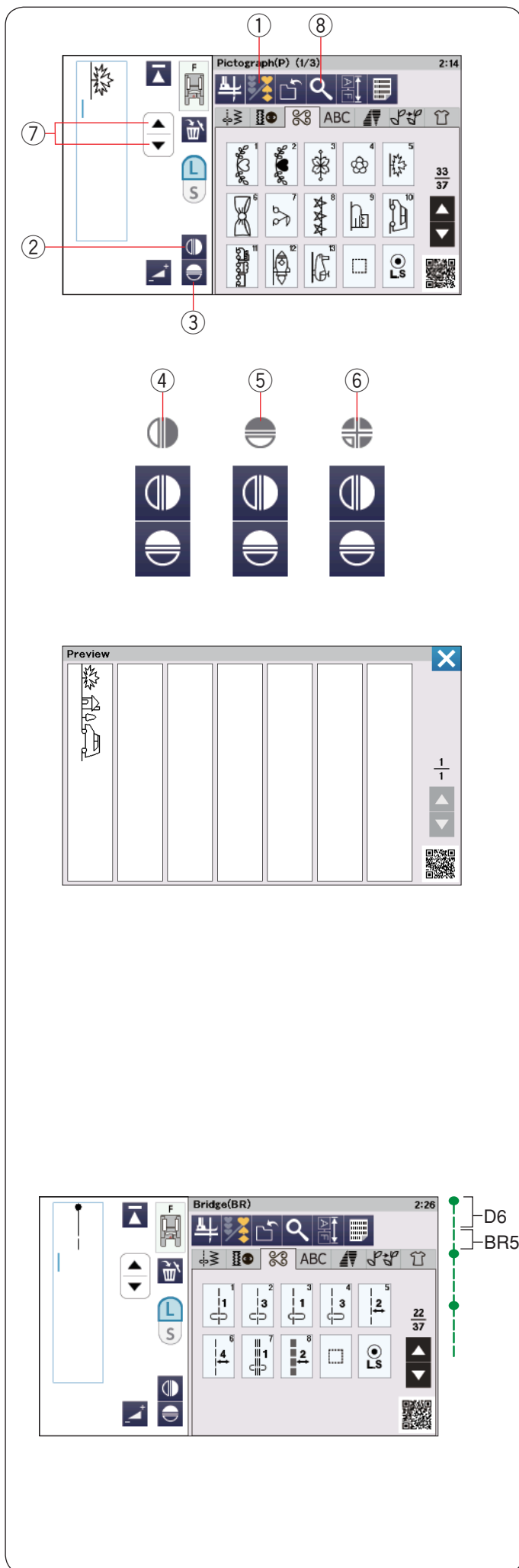
※ ボタンホール、特殊模様、文字ぬいは選択できません。

**メモ：**

- 2本針ぬいは試しぬいをして確認をしてください。
- 基本押さえ A もしくはサテン押さえ F を使用してください。
- 60番以下の細い糸を使用してください。
- ぬい方向をかえる場合は、布から針をぬき、押さえをあげてから布をまわしてください。
- 糸を切るときは面板の糸切りを使用してください。

ぬいが終わったら、2本針ぬい切りかえキーを押します。警告メッセージが表示されます。

OK キーを押して2本針を1本針に交換します。



## ◎ 模様組み合わせモード

かざりぬいと文字ぬいの模様グループは模様を組み合わせてぬうことができます。

模様組み合わせキーを押して、選択したい模様を選んでください。

最大 100 個まで模様を組み合わせることができます。

組み合わせた模様は、画面の左に表示されます。

- ① 模様組み合わせキー

## ● 反転模様

反転模様をぬうには、左右反転キーか、上下反転キーを押します。反転アイコンが画面に表示され、反転模様機能がオンになります。

好きな模様を選んで、反転模様を作成します。

反転をキャンセルする場合、左右反転キーか、上下反転キーをもう一度押します。

- ② 左右反転キー
- ③ 上下反転キー
- ④ 左右反転アイコン
- ⑤ 上下反転アイコン
- ⑥ 左右・上下反転アイコン

### メモ：

- 上下反転できるのは、一部の模様のみです。早見表で、グレーで塗られている模様が上下反転可能な模様です。(142 ~ 143 ページ参照)
- 反転できない模様を選んだ場合、反転キーはグレーになり選択できません。

組み合わせた模様のぬいイメージの全体を見るには、カーソル移動キーを押して組み合わせ模様をスクロールさせるか、プレビューキーを押して全体像を表示させます。

- ⑦ カーソル移動キー
- ⑧ プレビューキー

### メモ：

押さえ圧は組み合わせ模様のそれぞれの模様別に適用することはできません。別々の押さえ圧をかけると、最後に設定した押さえ圧の数値が組み合わせ模様全体にかかります。

## ● つなぎもよう : Bridge (BR)

つなぎもようグループの模様は、模様と模様の間かくを直線ぬいを使ってあけるときに使います。

例えばフレンチノットの模様 (D6) のあいだにもっとスペースが欲しい場合、フレンチノット (D6) 模様のうしろにつなぎ模様の模様 (BR5) を組み合わせます。

フレンチノット模様 (D6) のうしろに直線ぬいが 2 つ追加されます。

### メモ：

つなぎもようの模様 BR5、BR6 と BR8 は組み合わせモードのときに、1 つ前の模様の針位置とぬい目のあらしを引き継ぎます。

## ● 組み合わせ模様の編集

模様組み合わせモードで編集機能を使うと、模様を組み合わせたあとでも、ぬったあとでも、組み合わせた模様の一部を削除したり、別の模様を追加したり、模様の形を反転させたり、模様のぬい目の幅やあかさなどの設定値を変更したりすることができます。

### ★ 模様の削除

カーソルの前の模様と、選択され青くなっている模様は削除キーを押して削除することができます。

- ① カーソル
- ② 削除キー

組み合わせ模様の途中の模様を削除したい場合、カーソル移動キーを押して、削除したい模様を選びます。選択された模様は青色に変わります。削除キーを押して選択した模様を削除します。

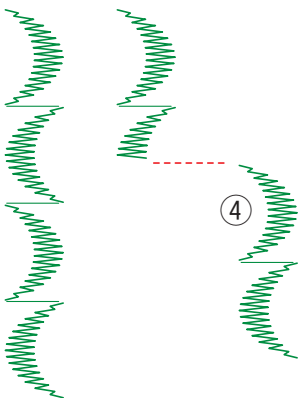
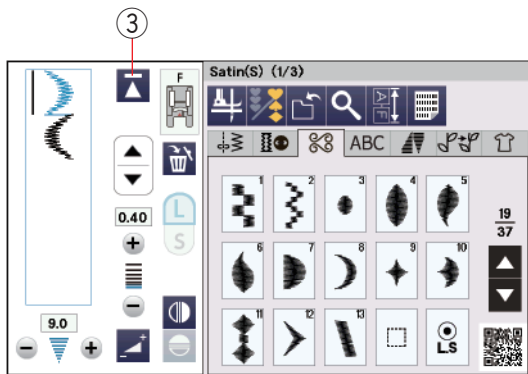
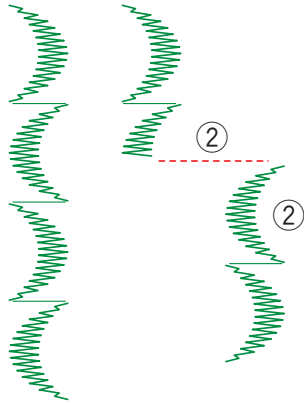
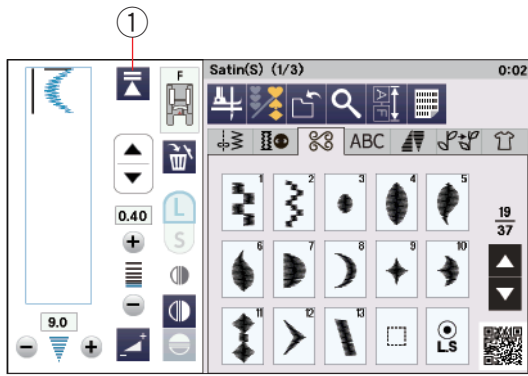
- ③ カーソル移動キー
- ④ 選択された模様

### ★ 模様の挿入

カーソル移動キーを押して、模様を挿入したい場所の模様を選択します。

挿入したい模様を入力すると、選択された模様の前に入力した模様が挿入されます。

- ⑤ 挿入された模様



## ● 模様頭出しキーの使い方

模様頭出しキーには組み合わせ模様を最初からぬう 2 種類の機能があります。

組み合わせ模様をぬっている場合、ぬいを途中で止めたときに、模様頭出しキーを使うことができます。

### ぬいかけの模様の頭出し

組み合わせ模様のうち、現在ぬっている模様をぬい直したい場合は、模様頭出しキーを一度だけ押してミシンをスタートさせます。模様頭出しキーを押すと、模様頭出しキーのアイコンが変化し、三角形の上のバーが 2 本になります。これで組み合わせ模様のうち、現在ぬいかけの模様の最初からぬうことができます。

- ① 模様頭出しキー（現在ぬっている模様）
- ② 現在ぬっている模様

#### メモ：

組み合わせ模様のいちばん最初の模様をぬっているときにぬいを中断し、模様頭出しキーを押してもいちばん最初の模様からぬわれるため三角形の上のバーの数は変わりません。

### 組み合わせ模様の最初の頭出し

三角形の上のバーが 1 本の場合、組み合わせ模様のいちばん最初の模様からぬうことができます。

組み合わせ模様の最初の模様からぬい直したい場合は、模様頭出しキーを二度押してミシンをスタートさせます。

- ③ 模様頭出しキー（組み合わせ模様の最初の模様）
- ④ 組み合わせ模様の最初の模様

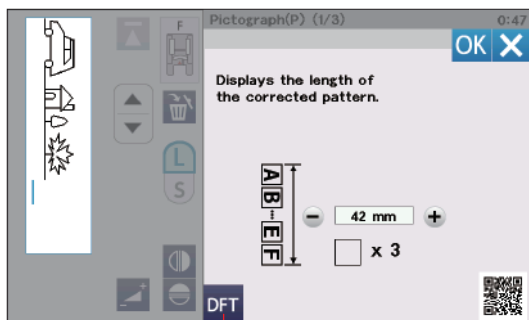
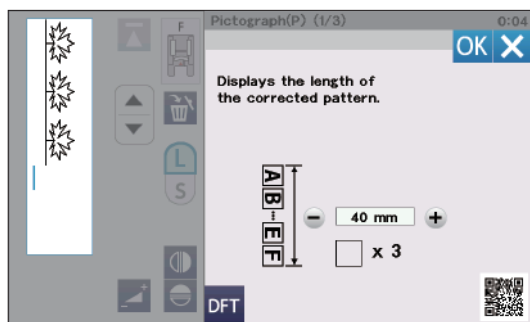
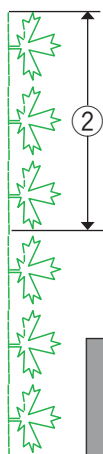
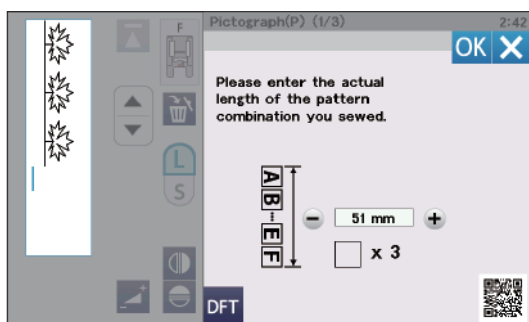
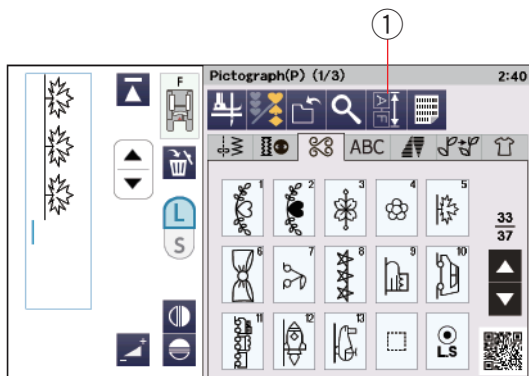
#### メモ：

自動糸切りをすると、ミシンは組み合わせ模様の最初の模様からぬい直します。

## ● 組み合わせ模様の長さの確認

組み合わせ長さキーを押すと、組み合わせ模様の全長を確認することができます。

### ① 組み合わせ模様長さキー



模様をぬったときの全長は、布の種類や厚さ、ぬいの速さ、および模様の種類などのぬい条件で変わります。

例えば、模様 P5 を 3 つ組み合わせます。

実際にぬってみた模様の長さ、画面に表示される理論値がかなりちがっていた場合、実際に測定した長さを「+」、「-」キーを押してを入力します。

この例では、理論値は 51 mm です。

しかし、実際の長さ ② は 40 mm のため、「-」キーを押して 40 mm と入力します。

「OK」を押して登録します。

### ② 実際の長さ

次回からは、同じ模様の場合でも、別の組み合わせ模様の場合でも、模様の全長表示画面を表示させると、実際のぬいにより近い全長（目安）が表示されます。

※ 画面には「Displays the length of the corrected pattern.」（補正した模様長さを表示します）と表示され、すでに調整された長さであることを表します。

例えば、P10、P16、P5 の模様を組み合わせます。

元々の理論値は 53 mm ですが、入力した実際の長さを基に調整された長さとなるため、「42 mm」と表示されます。

初期化キーを押すと、補正前の値にもどります。

### ③ 初期化キー

## ● テーパリング

かざりぬい模様の最初と最後を先細りにして、模様先端やコーナーにテーパラーをかけることができます。テーパリングのタブを押してテーパリングモードに入ります。(35 ページ参照)

### ① テーパリングタブ

#### メモ：

- テーパリングの長さは選択した模様や、テーパリングの形状により異なります。余った布などで試しぬいをしてください。
- ぬいの途中でミシンを止め、ぬい目の幅、針位置、ぬいのあさを変更した場合、模様の最初からぬい直しとなります。

### テーパリング早見表

早見表キーを押すと、テーパリング早見表が表示されます。

- ② 早見表キー
- ③ テーパリング早見表
- ④ ページ番号

### プレビュー

テーパリング調整キーを押すと、選択したテーパリング模様のプレビューが表示されます。左の欄はテーパリング模様のぬい始めの部分⑥、中央の欄はテーパリング模様本体⑦、右の欄はテーパリング模様のぬい終わりの部分⑧を表します。

- ⑤ テーパリング調整キー
- ⑥ 模様のぬい始め部分
- ⑦ 模様本体
- ⑧ 模様のぬい終わり部分

テーパリング模様の長さを設定した場合、中央の欄の上に本体の模様数が表示されます。(87 ページ参照)

- ⑨ 本体の模様数

### テーパリングぬいの例 1

例：テーパリング模様 10 のぬい

模様 10 を選びます。

ミシンをスタートさせます。ミシンがテーパリング模様のぬい始めの部分と模様本体をぬいます。

必要な長さをぬい、止めぬいボタンを押します。ミシンがぬい終わりの部分をぬい、自動的に止まります。

- ⑩ 止めぬいボタン
- ⑪ 必要な長さ
- ⑫ 模様のぬい始め部分
- ⑬ 模様のぬい終わり部分

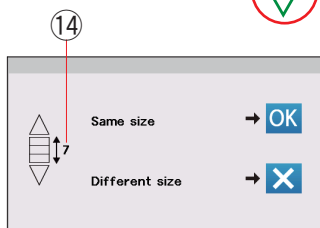
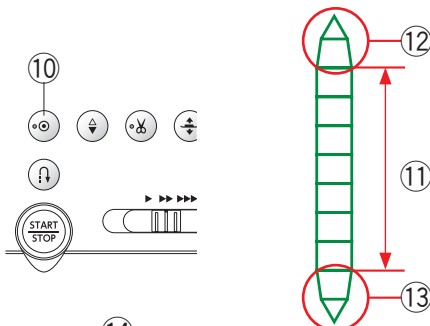
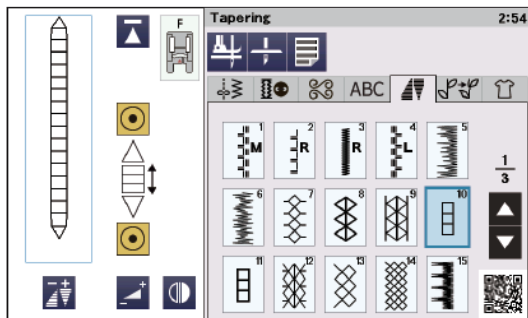
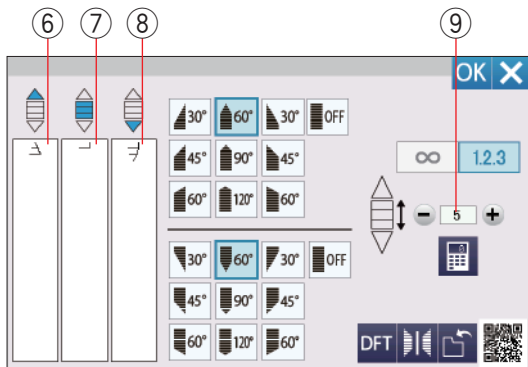
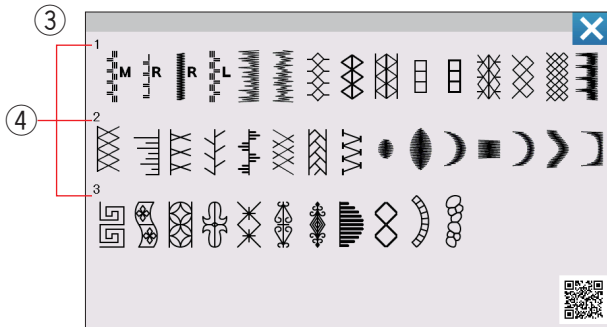
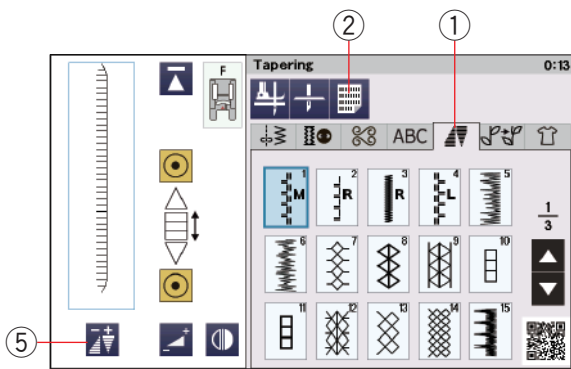
### 同じ長さのテーパリング模様をぬう場合

模様をぬい終わると、確認メッセージが表示されます。数字は模様本体の数をあらわしています。

- ⑭ 模様本体の数

OK キーを押し、ミシンをスタートさせると、同じサイズのテーパリング模様がぬえます。

同じ模様でちがうサイズのテーパリング模様をぬう場合は、X キーを押してください。

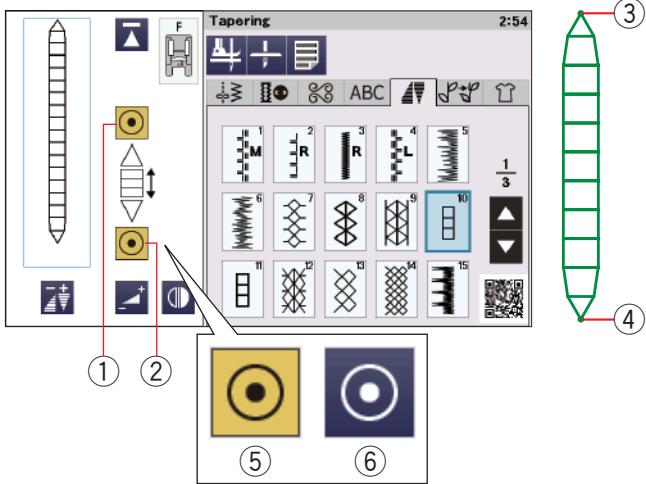


### 自動止めぬい機能

テーパリングのぬい始めとぬい終わりには、自動的に止めぬいが入るよう設定されます。

画面の止めぬいキー（ぬい始め・ぬい終わり）を押すと、止めぬい機能をオンまたはオフにすることができます。

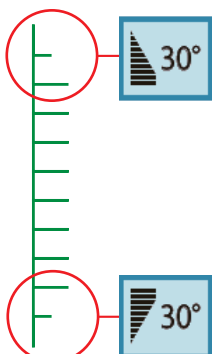
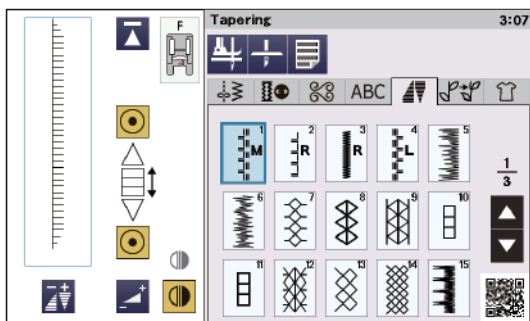
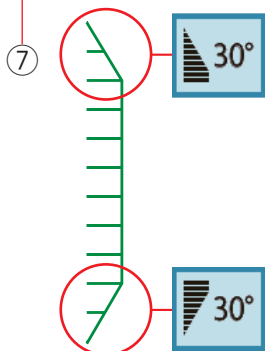
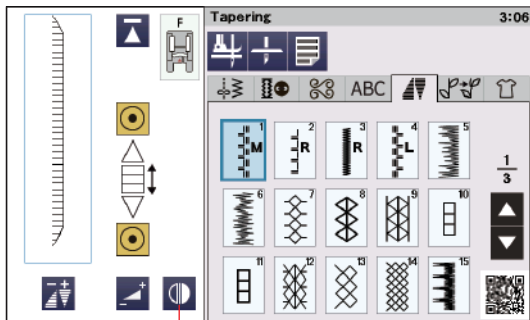
- ① 止めぬいキー（ぬい始め）
- ② 止めぬいキー（ぬい終わり）
- ③ 止めぬい（ぬい始め）
- ④ 止めぬい（ぬい終わり）
- ⑤ 止めぬいキー（オン状態）
- ⑥ 止めぬいキー（オフ状態）



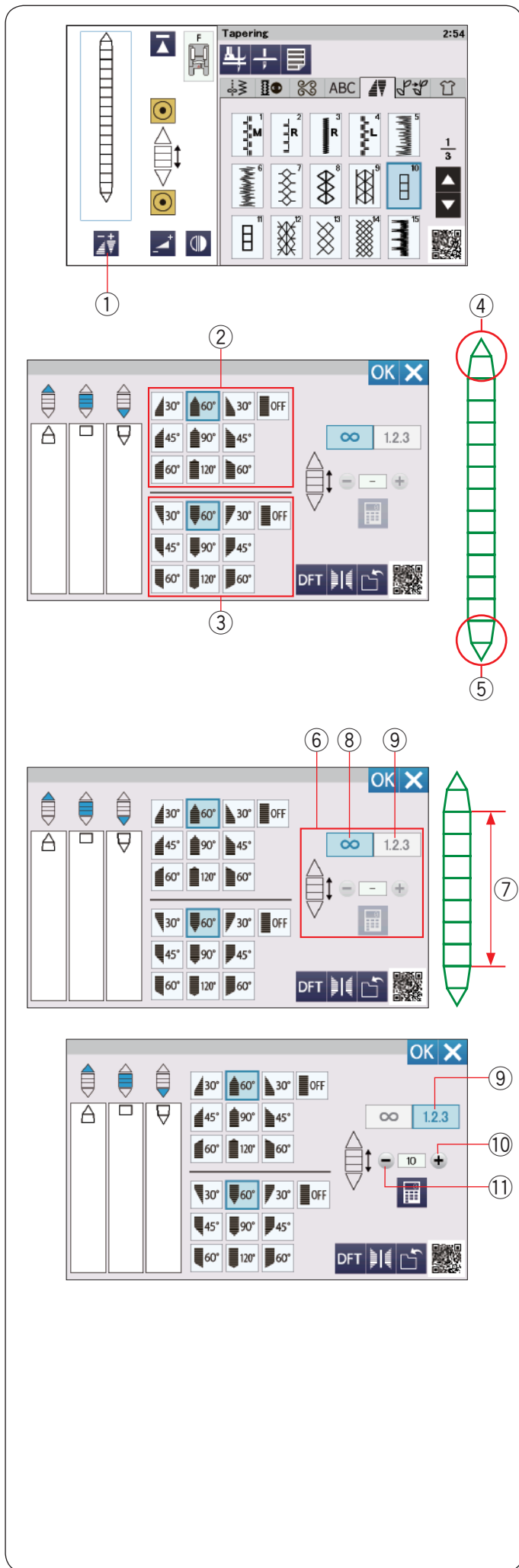
### テーパリング模様の反転 1

テーパリング左右反転キーを押すと、テーパリング模様のぬい始めとぬい終わりの角度（形）をかえずに模様を左右反転します。

- ⑦ テーパリング左右反転キー







## テーパリング模様の調整

テーパリング模様の形状を変更できます。  
 テーパリング調整キーを押します。  
 テーパリング調整画面が開きます。

- ① テーパリング調整キー

## テーパリング模様の形状

テーパリング形状キー②、③を押して、テーパリング模様のぬい始めとぬい終わりの形状を選べます。

画面上半分にあるキー②は、模様のぬい始めのテーパリングの形状④です。

画面下半分にあるキー③は、模様のぬい終わりのテーパリングの形状⑤です。

- ② テーパリング形状キー（ぬい始め）
- ③ テーパリング形状キー（ぬい終わり）

テーパリング形状キーの数字は、テーパリングの角度をあらわします。テーパリングの基線を左、中央、右またはオフから選ぶことができます。模様のぬい始めとぬい終わりに別々の形状のテーパリングをかけることができます。

## 模様本体の長さ

画面右側のキー⑥で、模様本体の長さ（模様の数）⑦を設定します。

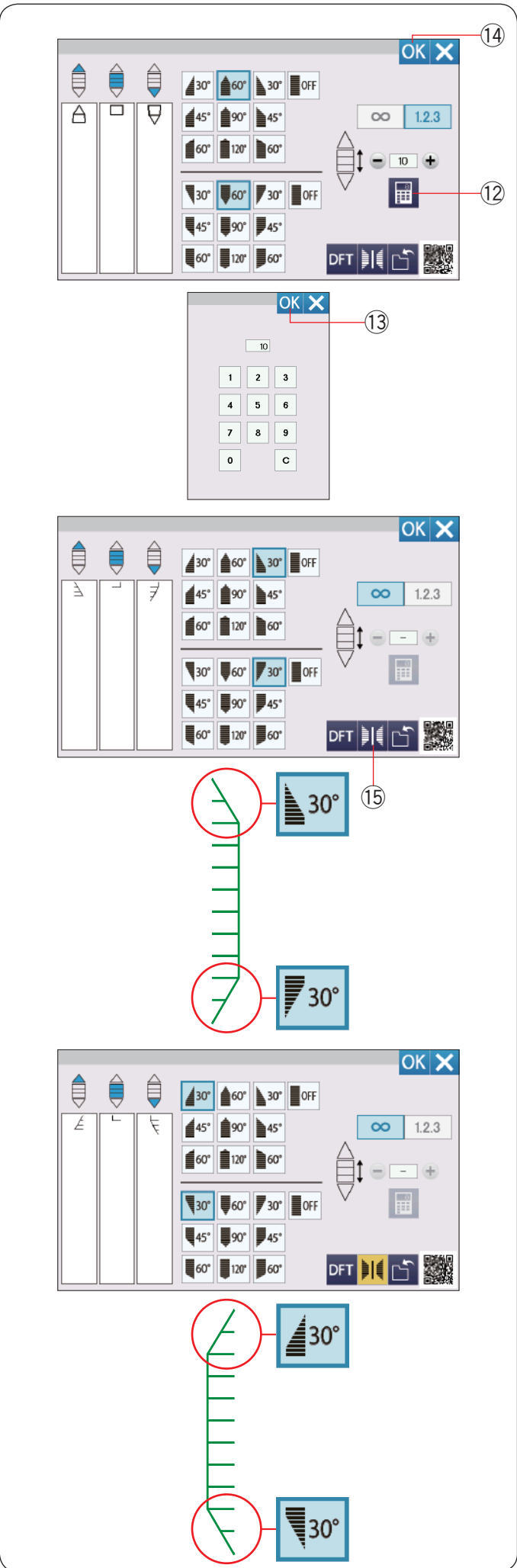
長さ自由設定キー⑧がオンになっている場合、止めぬいキーを押すまで模様がぬわれます。

模様の長さ設定キー⑨を押すと模様本体の長さ（模様の数）を設定できます。

- ⑦ 模様本体の長さ
- ⑧ 長さ自由設定キー
- ⑨ 模様の長さ設定キー

模様の長さ設定キーを押します。「+」⑩、「-」⑪キーを押して模様を繰り返す数を設定します。

- ⑨ 模様の長さ設定キー



模様を繰り返す数をテンキーで入力することもできます。テンキー表示キーを押すとテンキーが表示されます。模様を繰り返す数を入力し、OK キーを押します。

⑫ テンキー表示キー

⑬ OK キー

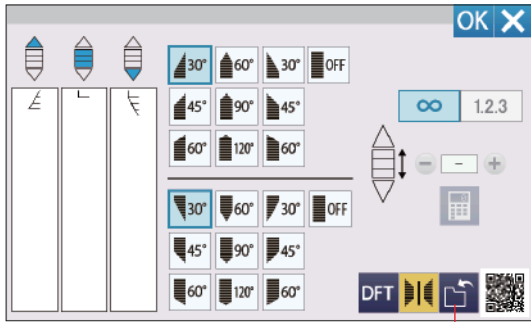
テーパリングの形状を選択したら、テーパリング調整画面の OK キーを押してテーパリング模様の形状を適用します。

⑭ OK キー

### テーパリング模様の反転 2

模様反転キーを押すと、テーパリング模様のぬい始めとぬい終わりの角度を含めて、模様が左右反転します。

⑮ 模様反転キー



⑩

## テーパリング模様の保存

カスタマイズしたテーパリング模様を、マシン本体や USB メモリに保存できます。

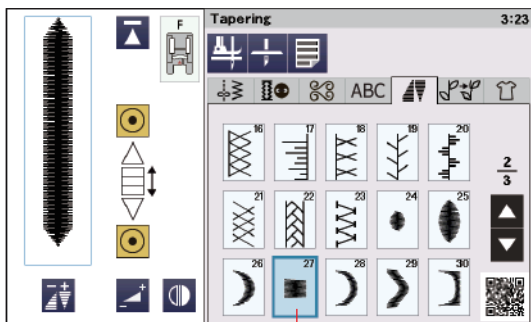
テーパリング模様をカスタマイズしたあと、保存キーを押します。

テーパリング模様は \*.JCS ファイルで保存されます。

ファイルの開き方、保存の方法は 95-96 ページをご覧ください。

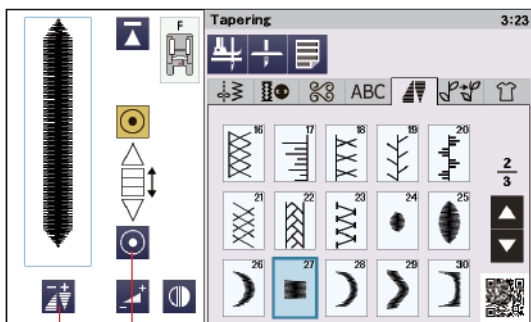
⑩ 保存キー

①



①

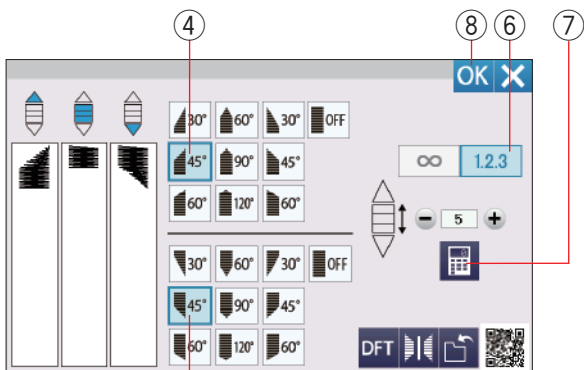
② ③



③

②

④



④

⑧

⑥

⑦

⑤

## テーパリングぬいの例 2

例：テーパリング模様 27 を使ってフレームの角を作成する。

① 模様 27 ① を選択します。

② 止めぬいキー（ぬい終わり）② を押して、ぬい終わりの止めぬいをオフにします。

③ テーパリング調整キー ③ を押します。

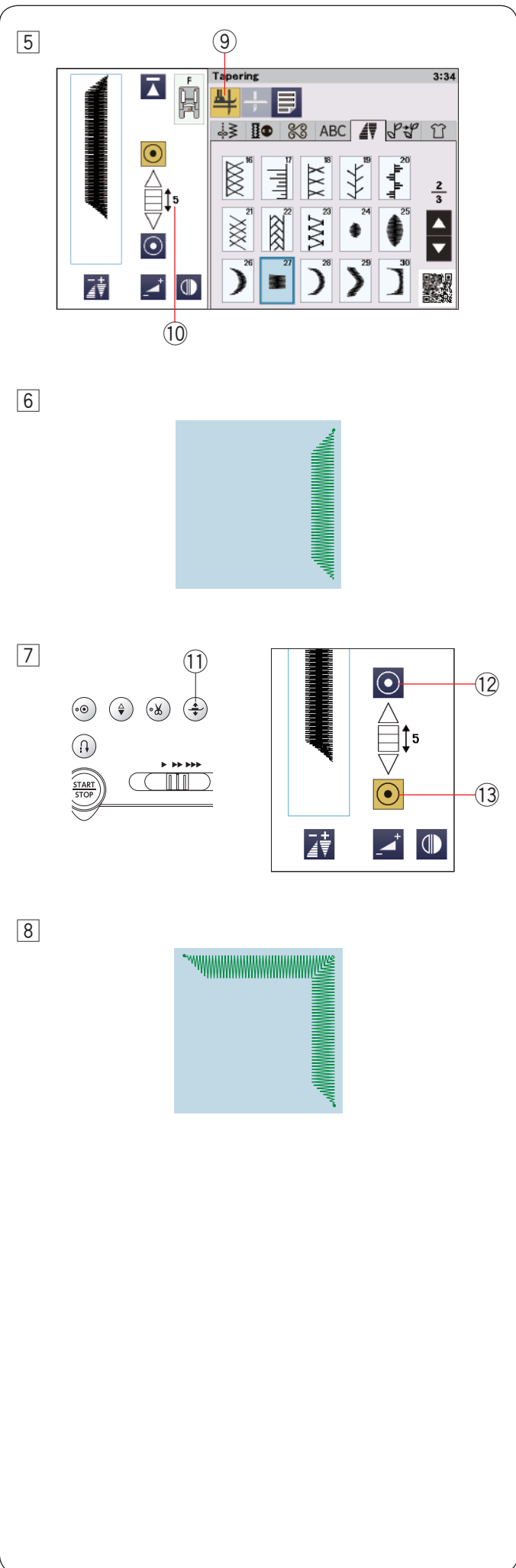
④ テーパリング形状キー（ぬい始め）④ を押し、選びます。

テーパリング形状キー（ぬい終わり）⑤ を押し、選びます。

模様の長さ設定キー ⑥ を押します。

「+」キーを 4 回押すか、テンキー表示キー ⑦ を押してテンキーで「5」と入力して OK キーを押します。

テーパリング調整画面の OK キー ⑧ を押します。



⑤ ピボットぬい設定キー⑨を押します。  
画面上で模様本体の数を確認できます。

⑩ 模様本体の数

⑥ ぬい始めの位置に針をさします。

ぬい始めます。ミシンが止まるまでぬいます。

ミシンが止まると、自動的に押さえがあがります。

⑦ 布を90度回転させます。

押さえ上下移動ボタン⑪を押して押さをさげます。  
止めぬいキー（ぬい始め）⑫と止めぬいキー（ぬい  
終わり）⑬を押します。

止めぬいキー（ぬい始め）⑫がオフ、止めぬいキー（ぬ  
い終わり）⑬がオンになっていることを確認してく  
ださい。

ミシンをスタートさせます。

⑧ ミシンがフレームの角で止めぬいをして止まります。

## ◎文字ぬい

文字ぬいでは、文字、アルファベットや記号を組み合わせることができます。

文字ぬいタブを押して書体選択画面を開きます。

① 文字ぬいタブ

6種類の書体が選択可能です。

以下の書体キーを押してお好みの書体を選びます。

- ② ブロックキー
- ③ スクリプトキー
- ④ ブロードウェイキー
- ⑤ ブロック (9 mm) キー
- ⑥ キリル文字キー
- ⑦ ワンポイントキー

文字ぬいモード画面が開きます。

### メモ：

ブロック体 (9 mm) の高さはおおよその高さです。

## ●機能キー (ファンクションキー)

⑧ 保存キー

組み合わせ文字を保存します。

⑨ プレビューキー

組み合わせた文字を全体表示します。

⑩ 組み合わせ模様長さキー

組み合わせた文字の全体の長さを確認できます。

⑪ 削除キー

選択した文字やワンポイントを削除します。

⑫ カーソル移動キー

カーソルを上下に動かします。

⑬ 文字高さ選択キー

文字高さ選択キーで、文字の高さをLとSから選びます。

⑭ 大文字・小文字選択キー

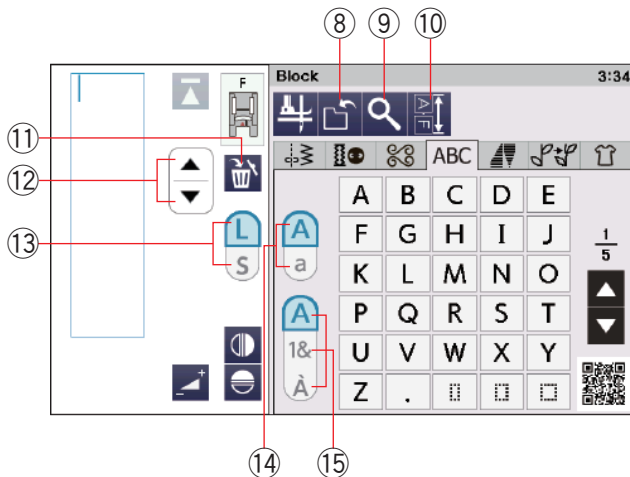
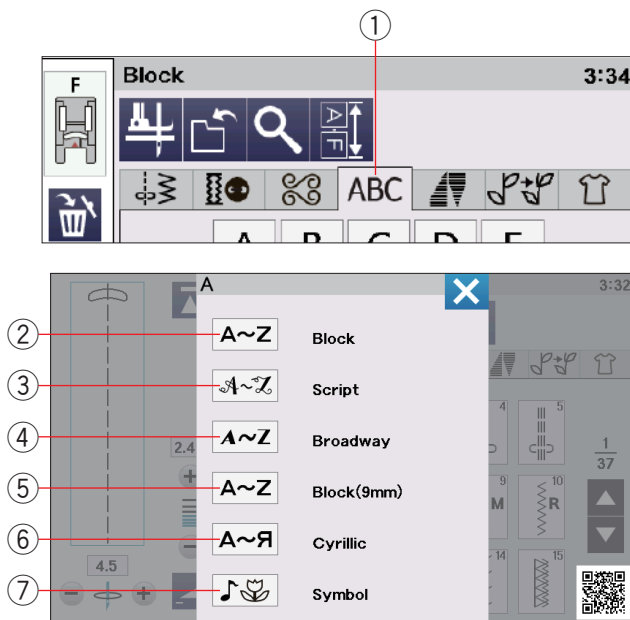
大文字・小文字選択キーで、(アルファベットの) 大文字か小文字かを選択します。

⑮ 文字種選択キー

文字種選択キーで、アルファベット、数字、シンボル、ヨーロッパ文字を選択します。

### メモ：

数字、シンボル、ヨーロッパ文字は 2/5 ~ 5/5 ページにあります。



## ● 文字ぬい時の糸調子調整

糸調子は自動で調整されますが、ぬい条件によっては、手動で糸調子の調整をする必要がある場合があります。

糸調子を調整するには、調整キー  を押します。

## ★ 文字ごとに糸調子調整を行う

それぞれの文字の糸調子を個別にかえたい場合、糸調子をかえたい文字をカーソルで選択します。

糸調子調整の「+」もしくは「-」キーを押し、選択した文字の糸調子を調整します。調整した糸調子値が選択した文字に適用されます。

① 糸調子調整

## ★ 全ての文字に同じ糸調子の値を適用する (統一糸調子調整)

一括して統一した糸調子に設定したい場合、個別に文字を選択する必要はありません。

統一糸調子キー ② を押します。

「+」もしくは「-」キーを押して文字の糸調子を調整します。

調整した糸調子値が、入力した全ての文字に適用されます。統一糸調子値が適用されているときには、統一糸調子キーが黄色で表示されます。

※ 統一糸調子キーをもう一度押すと解除されます。

### メモ：

統一糸調子の値はワンポイントの書体やかざりぬいには適用できません。

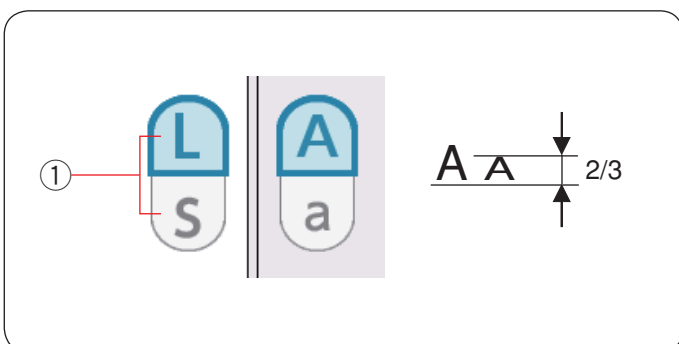
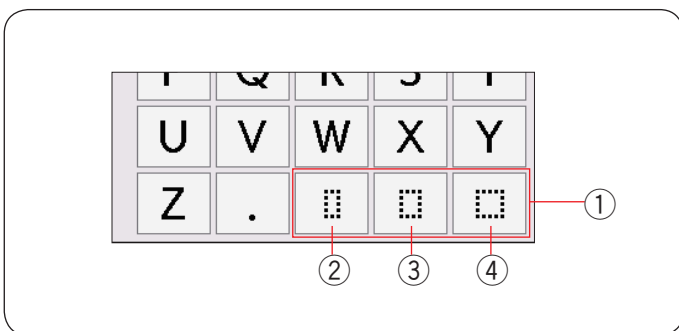
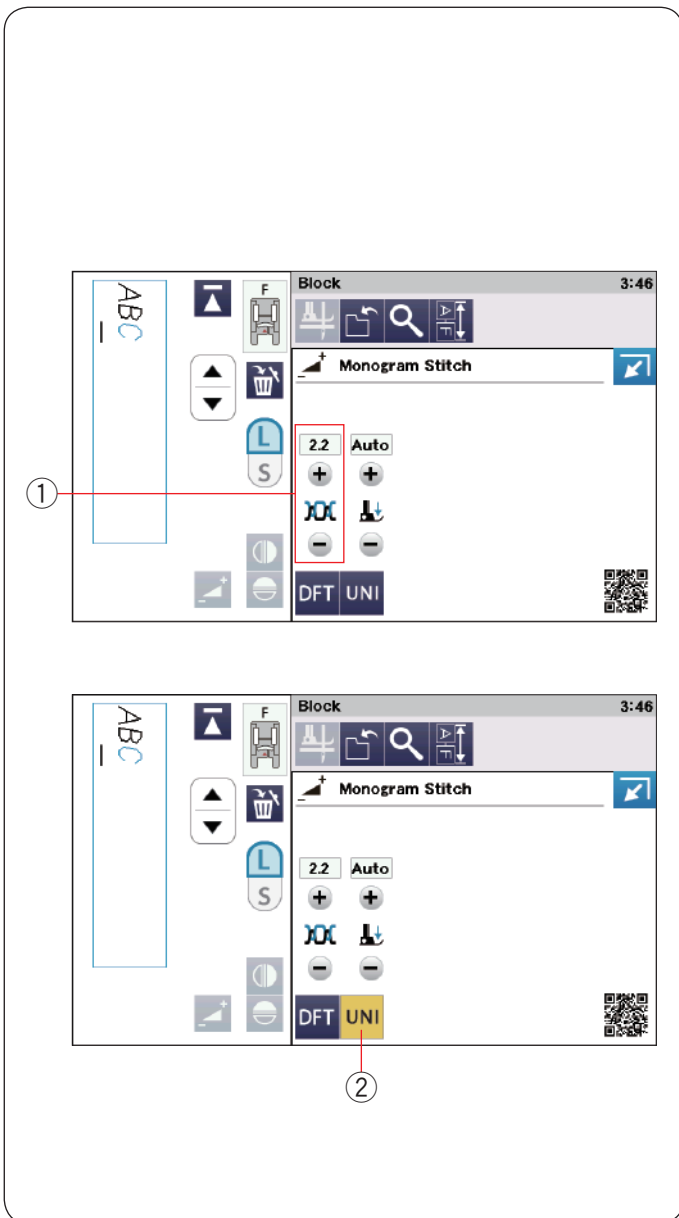
## ● スペース

文字ぬいでスペースを入力するには、模様選択画面にある 3 種類のスペースから選びます。

- ① スペースキー
- ② 小サイズスペース
- ③ 中サイズスペース
- ④ 大サイズスペース

## ● 文字高さの縮小

文字の高さを小さくする（元サイズの約 2/3 のサイズ）には、文字を選択して文字高さ選択キー ① の「S」を押します。



## ● 文字ぬいの入力

入力したい文字のキーを押して、文字を入力します。

### メモ：

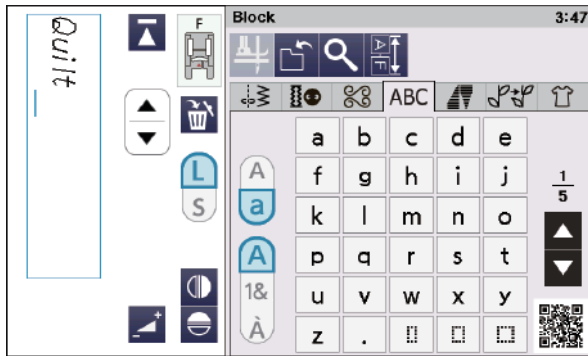
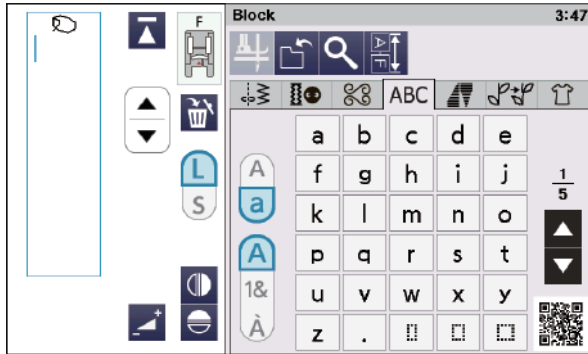
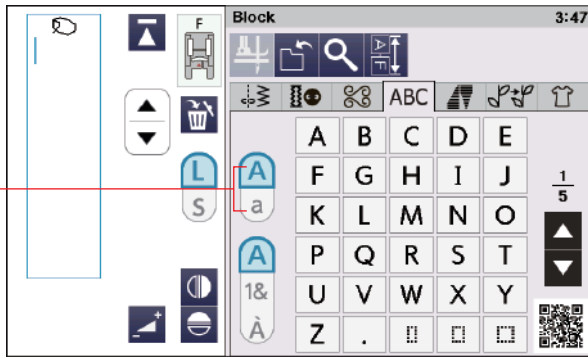
- 文字ぬいには付属のブルー針を使用してください。
- 伸縮性の布には芯地を当ててください。
- 必ず同じ布地で試しぬいをしてください。

### 例 1: 「Quilt」のブロック書体

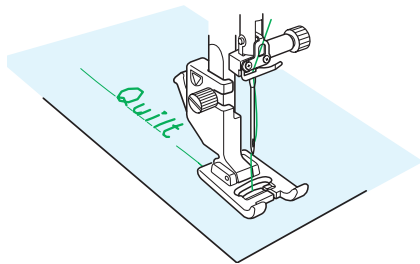
ブロック体を選択します。「Q」を入力します。

大文字・小文字選択キーの、小文字 (a) を押します。

① 大文字・小文字選択キー



「u」「i」「l」「t」と続けて入力します。



ぬい始めます。

ミシンが止まるまでぬいます。

## 例 2: 「♥ Café」のブロードウェイ書体

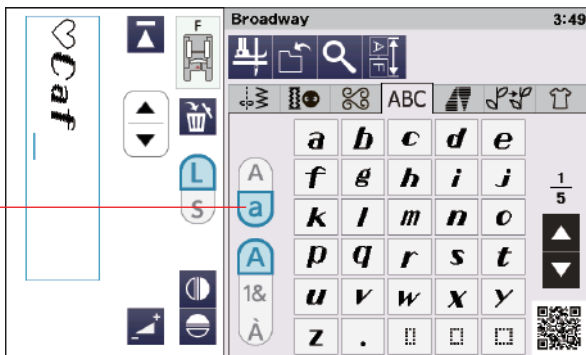
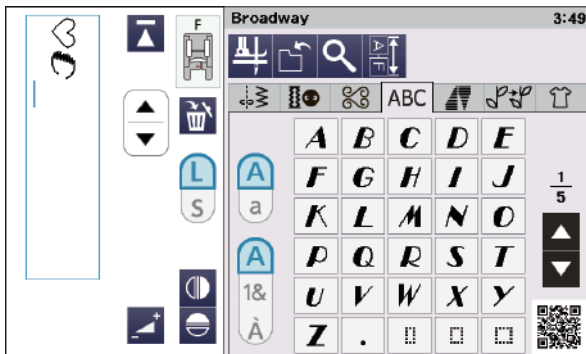
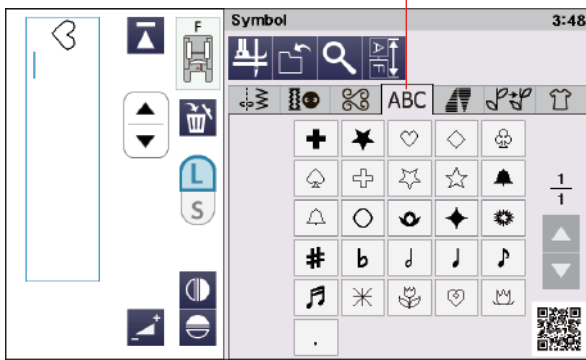
文字ぬいタブを押し、ワンポイントを選択します。

「♥」を入力します。

文字ぬいタブを押し、ブロードウェイを選択します。

「C」を入力します。

① 文字ぬいタブ



大文字・小文字選択キーを押し、小文字を選択します。  
続けて「a」「f」と入力します。

② 大文字・小文字選択キー



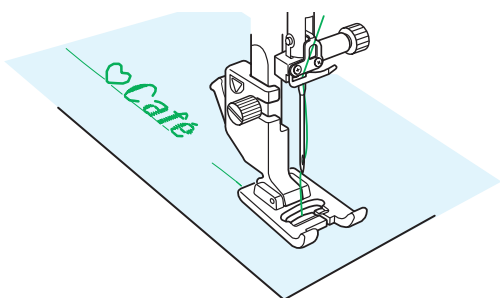
文字種選択キーを押して、4/5 ページに移動します。

「é」を入力します。

③ 文字種選択キー

ぬい始めます。

ミシンが止まるまでぬいます。





## ● 組み合わせ模様の保存

組み合わせ模様や文字はミシンの内蔵メモリか USB メモリに保存できます。

ミシンには USB メモリの差し込み口があります。

組み合わせ模様を入力したあとに、保存キーを押すと、ファイル保存 (Save File) 画面が表示されます。

### ① 保存キー

ファイルを保存したい場所を選択します。

「Ordf」フォルダーが表示され、ファイル名が自動的に割り当てられます。(ファイル名は C\_001 ~ から順番に割り当てられます。)

「Ordf」フォルダーを選択します。

OK キーを押してファイルを割り当てられた名前で保存します。

### ② ファイル名

自分で名前を付けたい場合は、名称変更キーを押すと新規名称 (New Name) 画面が開きます。

### ③ 名称変更キー

パソコンのキーボードレイアウトを使用したい場合、キーボードタブを押します。

### ④ ABC タブ

### ⑤ キーボードタブ

新しい名前を入力し、OK キーを押してファイル名を変更します。

OK キーを押すと新しいファイル名でファイルが保存されます。

### メモ:

- ファイルとフォルダーは別のページに表示されます。
- 本機で使用できる USB メモリのファイルシステムは FAT16 および FAT32 のみです。USB メモリが読み込めない場合は、ファイルシステムを確認してください。(140 ~ 141 ページ参照)
- USB カードリーダー、および USB ハブは使用しないでください。

### 新規フォルダーの作成

新しく作成するフォルダーの場所 (階層) を選択し、新規フォルダーキーを押します。新規名称 (New Name) 画面が開きます。新しいフォルダー名を入力して OK キーを押すと、新しいフォルダーが作成されます。

### ⑥ 新規フォルダーキー

### ファイル、フォルダーの削除

削除キーを押し、削除したいファイルかフォルダーを選択します。確認メッセージが表示されます。

OK キーを押して、選択したファイルかフォルダーを削除します。

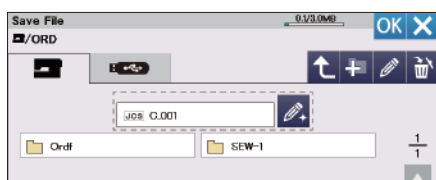
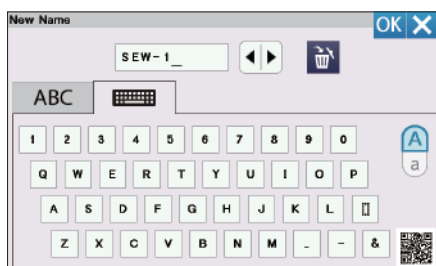
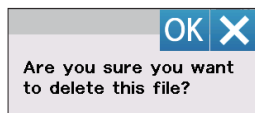
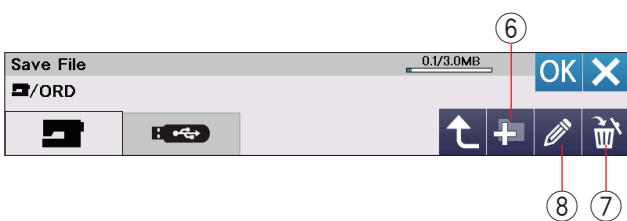
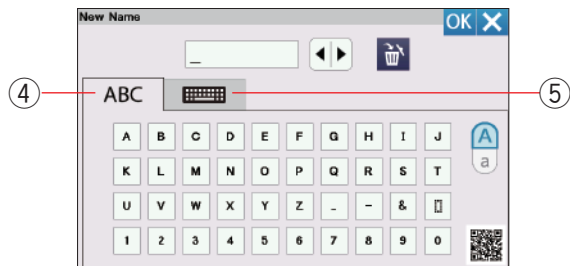
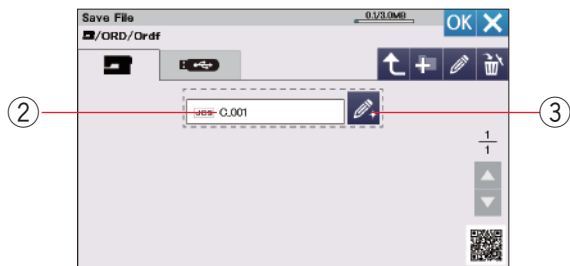
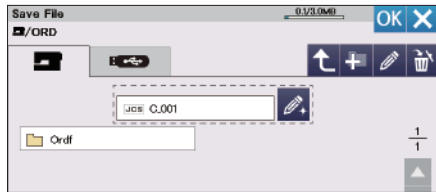
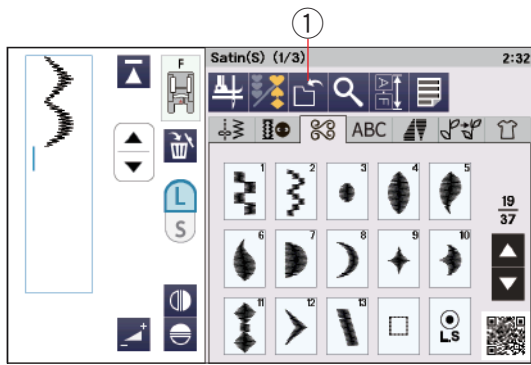
### ⑦ 削除キー

### ファイル名・フォルダー名の変更

名称変更キーを押して、名前を変更したいフォルダーかファイルを選択します。新規名称 (New Name) 画面が開きます。新しい名前を入力して OK キーを押します。

新しいファイル名、もしくはフォルダー名に変更されます。

### ⑧ 名称変更キー



## ● 模様データの呼び出し

ミシンの内蔵メモリや USB メモリに保存した組み合わせ模様、文字やテーパリング模様を呼び出すことができます。

ファイルオープンキーを押すと、ファイルを開く (Open File) 画面が開きます。

① ファイルオープンキー

ファイルの保存場所 (USB かミシン) を選択します。「Ordf」フォルダーが表示されます。

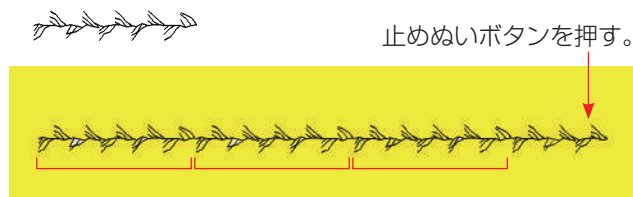
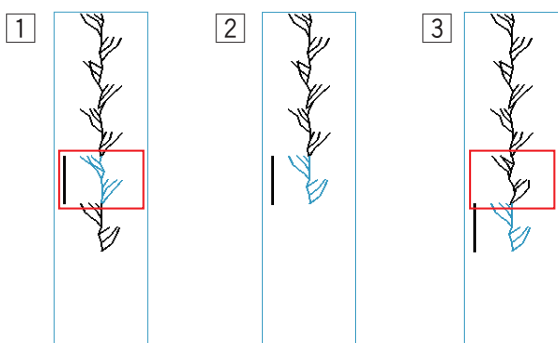
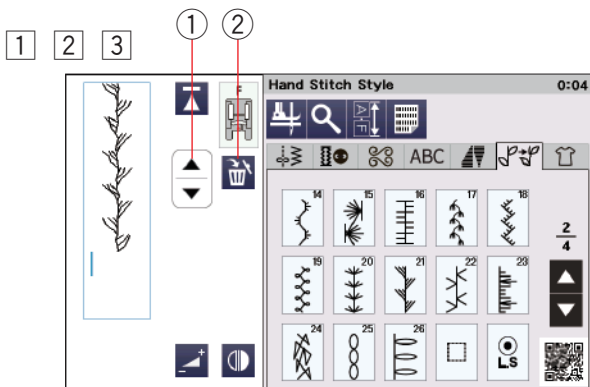
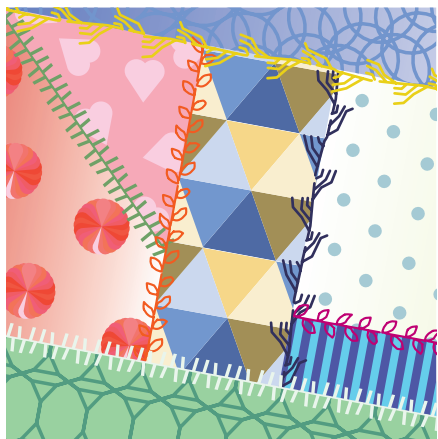
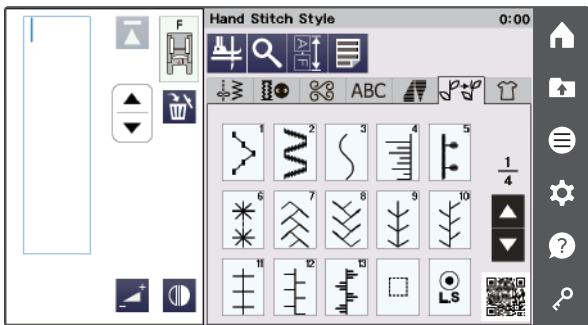
### メモ:

- そのほかのフォルダーを作成していた場合は、そのフォルダーも表示されます。
- 探しているファイルが見つからない場合は、ページキー②を押してファイルを表示してください。

フォルダーを選択するとファイルのリストが表示されます。

開きたいファイルを選択してください。

通常ぬい画面にもどり、保存してある組み合わせ模様が表示されます。



## ◎手ぬい風ステッチ

### ●手ぬい風ステッチ

キルト模様やかざりぬいに、素朴な手ぬい風の効果を加えることができます。ぬい方を微妙にかえることで、手ぬいのような心地よさや温かさを感じられるぬい目を作ることができます。

クレイジーキルトのほか、子供服や小物の飾り模様としても利用できます。

お好みで太めの糸（30番）を使うと、より風合いを楽しめます。

手ぬい風ステッチを選択すると、自動的に組み合わせモードになります。

模様をかえるたびに、ステッチの変化を楽しめます。

変化を与えた模様を組み合わせることで、通常の規則的な模様とは異なる風合いの模様をぬうことができます。

布の種類、厚さ、ぬいの速度などによっては模様の形がくずれる場合があります。

ぬう前に必ず試しぬいをしてください。

### 例：

- ① 模様 21 を 5 回押します。  
無作為に少しかだけ変化した 5 つの模様が入力されます。
- ② ぬいイメージを確認後、試しぬいをします。
- ③ 入力された模様は 1 つずつ削除や変更できます。

### 模様の変更：4番目の模様を変更したい場合

- ① カーソル移動キー ① を 2 回押して、ぬいイメージの 4 番目の模様 にカーソルを合わせます。  
カーソルの付いた模様が青色にかかります。
- ② 削除キー ② を押します。
- ③ 模様 21 を 1 回押すと、少しかだけ変化した模様が 1 つ 入力されます（4 番目）。

ぬい始めます。

入力された模様が繰り返しぬわれます。

ぬい途中で止めぬいボタンを押すと、ボタンを押したときの模様を完成させたあと、ほつれ止めの止めぬいを行って自動的にミシンが停止します。

## ◎ 用途ぬい

### ● 用途ぬいの種類

ぬいの用途に適した模様が直接選べます。

用途ぬいタブを押すと、用途ぬいメニュー画面が開きます。(34 ページ参照)

タブを押して模様グループを選択します。

① ソーイングタブ

② キルトタブ

オプション押さえタブ③を押すと、オプション押さえを使用したぬい方を選択できます。詳しくはオプション押さえの説明書をご覧ください。

③ オプション押さえタブ

### ソーイング

ソーイングの模様グループでは 22 種類の用途ぬいから選択することができます。

22 種類の用途ぬいは以下となります。

- ① Seaming Woven: 地ぬい (伸びない布地)
- ② Seaming Stretch/Knit: 地ぬい (伸びる布地)
- ③ Curve: 円弧ぬい
- ④ Topstitching: トップステッチ
- ⑤ Rolled Hem: 三つ巻き
- ⑥ Overedge Woven: ふちかがり (伸びない布地)
- ⑦ Overedge Stretch/Knit: ふちかがり (伸びる布地)
- ⑧ Overedge Heavy: ふちかがり (厚布)
- ⑨ Blind Hem: まつりぬい
- ⑩ Shell Tuck: シェルタック
- ⑪ Lapped zipper: ファスナー付け
- ⑫ Concealed zipper: コンシール® ファスナー付け※
- ⑬ Pouch zipper: ファスナー付け (小物)
- ⑭ Gathering: ギャザー
- ⑮ Easestitching: いせ込み
- ⑯ Basting: しつけ
- ⑰ Buttonhole: ボタンホール
- ⑱ Button: ボタン付け
- ⑲ Tacking: かんぬき
- ⑳ Eyelet: アイレット
- ㉑ Smocking: スモッキング
- ㉒ Fagoting: ファゴティング

※「コンシール」は YKK 株式会社の登録商標です。

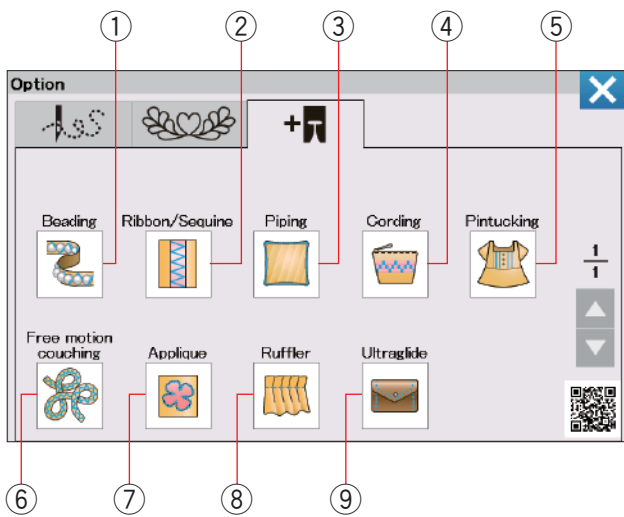
### キルト

キルトの模様グループでは 10 種類の用途ぬいから選択することができます。

キルトタブを押すと、キルトの用途選択画面が開きます。

10 種類のキルトの用途ぬいは以下となります。

- ① Patchwork Piecing: パッチワークピースング
- ② Free Motion: フリーモーション
- ③ Ruler Work: ルーラーワーク
- ④ Variable ZZ: バリアブル ZZ (可変ジグザグ)
- ⑤ Applique: アププリケ
- ⑥ Straight Stitch: 直線ぬい
- ⑦ Decorative Quilt Stitch: キルトかざりステッチ
- ⑧ Clasp Stitch: とじぬい
- ⑨ Sashiko: 刺し子風ステッチ
- ⑩ Hand-Look QU: 手ぬい風キルトステッチ



### オプション押さえの用途ぬい

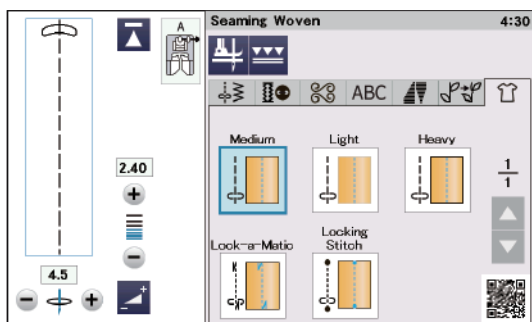
オプション押さえの用途ぬい画面には、オプション押さえを使う 9 種類のぬいがあります。

オプション押さえタブを押すと、オプション押さえの用途ぬい画面が開きます。

9 種類の用途ぬいは以下となります。

- ① Beading: ビーズ
- ② Ribbon/Sequine: リボン/シークイン
- ③ Piping: パイピング
- ④ Cording: コーディング
- ⑤ Pintucking: ピンタック
- ⑥ Free motion couching: フリーモーション カウチング
- ⑦ Applique: アップリケ
- ⑧ Ruffler: ラフラー
- ⑨ Ultraglidle: ウルトラグライド

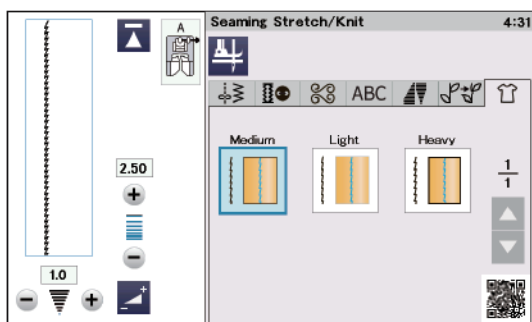
詳細は、オプション押さえの説明書をご覧ください。



### ● 用途ぬい (ソーイング)

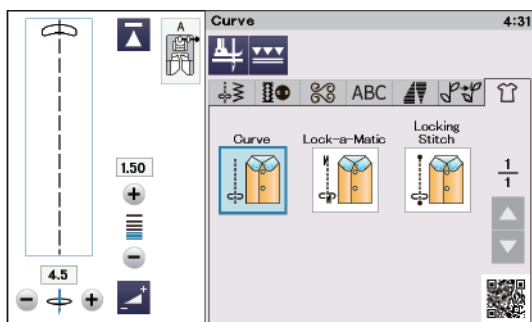
#### ★ Seaming Woven: 地ぬい (伸びない布地)

デニム、ブロード、シーチング、ローンなどの伸びない生地に適した 5 種類の模様が選べます。



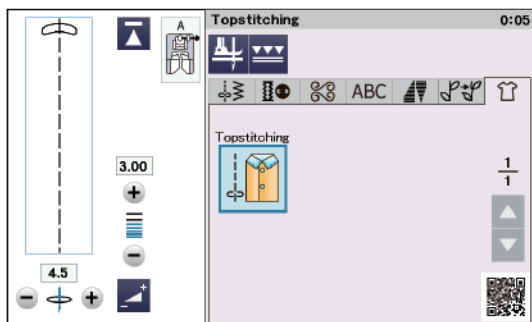
#### ★ Seaming Stretch/Knit: 地ぬい (伸びる布地)

ジャージー、ニット、トリコットなど伸縮する布地に適した 3 種類の模様が選べます。



#### ★ Curve: 円弧ぬい

曲線をぬい合わせる短めの 3 種類の直線ぬい模様が選べます。



#### ★ Topstitching: トップステッチ

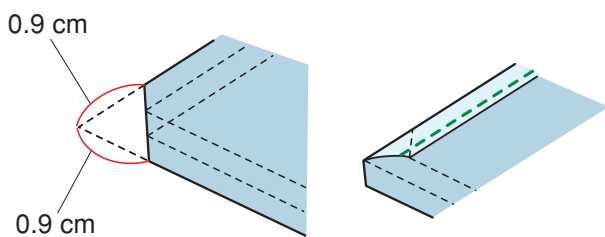
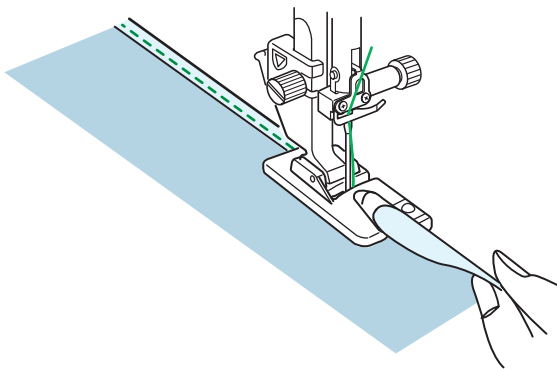
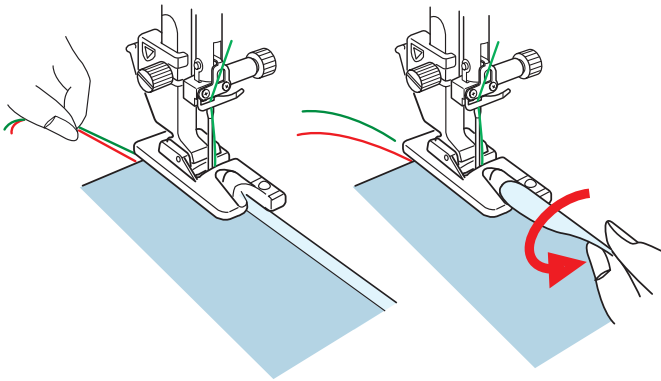
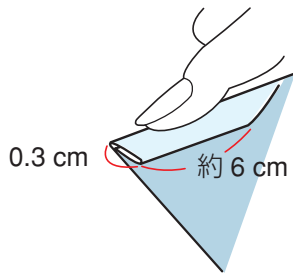
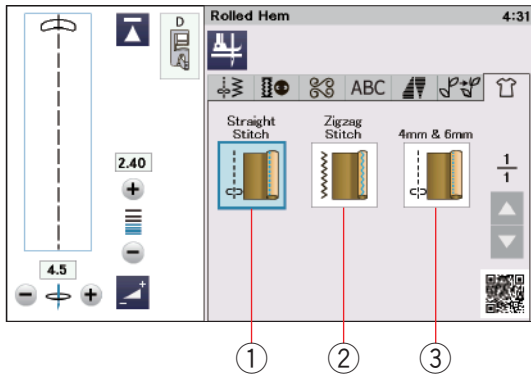
太めの糸を使用するトップステッチに適した、長い直線ぬい模様です。

## ★ Rolled Hem: 三つ巻き

① Straight Stitch: 直線三つ巻き  
直線ぬいで三つ巻きぬいをします。

② Zigzag Stitch: ジグザグ三つ巻き  
細いジグザグぬいで三つ巻きぬいをします。

③ 4 mm & 6 mm: 直線三つ巻き (4 mm & 6 mm)  
オプションの D1、D2 押さえを使用した三つ巻きぬいで  
す。



### ぬい方:

三つ巻き押さえ D を取り付けます。

布端の長さ約 6 cm を 0.3 cm の幅で 2 回折り、三つ折りにします。

※ 折り目がつきにくい布は、アイロンで折り目をつける  
とぬいやすくなります。

三つ折りにした布の端を、押さえのガイドに合わせて置  
きます。

はずみ車をまわして針をぬい始めの位置に落とします。

押さえをおろし、上糸と下糸を向こう側に引っ張りなが  
ら 1 cm ~ 2 cm ぬってミシンを止めます。

針が布にささった状態で押さえをあげ、布の三つ折りの  
部分を開いて、布端を押さえのうずの中に巻き込みます。

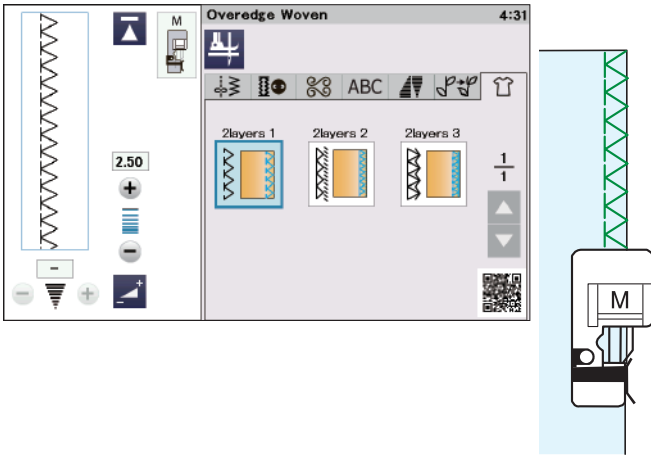
押さえをさげ、布端を立てて、左寄りに引きぎみに持  
ちあげながらぬいます。

### メモ:

三つ巻きぬいの重なる角の部分は、厚みをうすくする  
ため、図のように布端を 0.9 cm 切り落として折り合  
わせませす。

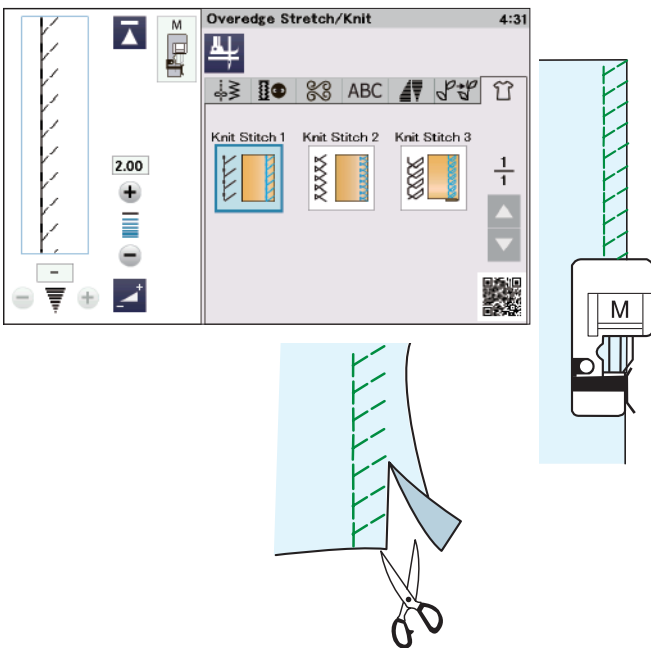
★ **Overedge Woven: ふちかがり（伸びない布地）**

2枚重ねた普通地をかがるのに使います。  
地ぬいをかねたかがりぬいで、たち目のほつれ止めに使  
用します。  
ぬいしろを割る必要がない場合に使用してください。



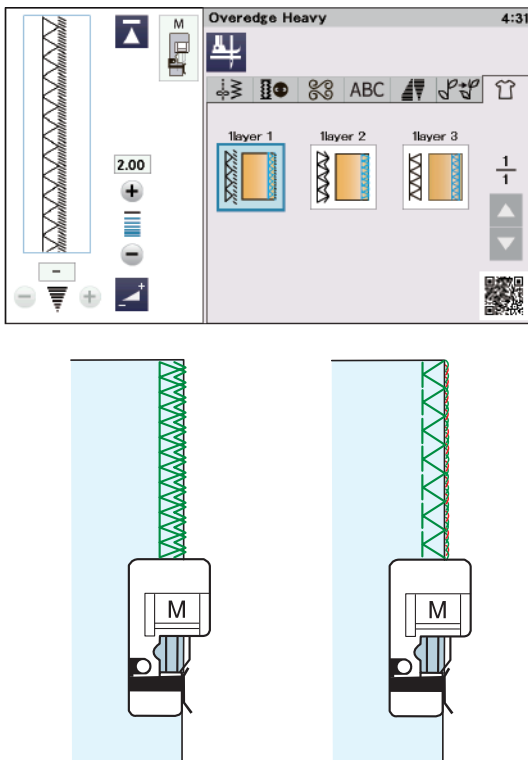
★ **Overedge Stretch/Knit: ふちかがり（伸びる布地）**

伸びる布地の端をかがるのに使います。  
基本押さえ A を使用する場合、布から適切なぬいしろを  
とってぬったあと、切りそろえるとよりきれいに仕上が  
ります。



★ **Overedge Heavy: ふちかがり（厚布）**

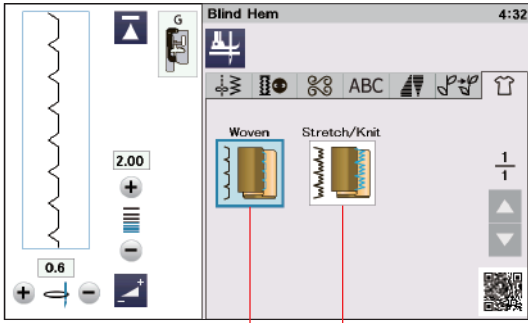
リネンやガーバンディのようなほつれやすい布端をしっ  
かりぬうのに適したぬいです。二重のかがりぬいがほつ  
れを防ぐため、同時に布端をかがります。



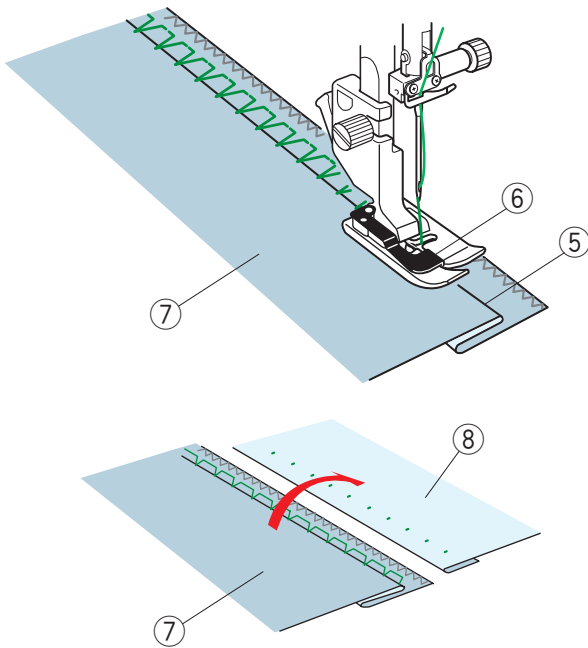
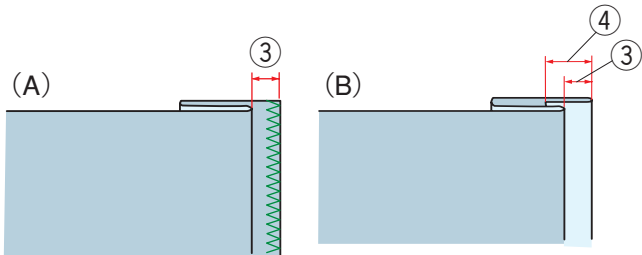
## ★ Blind Hem: まつりぬい

以下の2種類のまつりぬいから選択できます。

- ① **Woven:** 伸びない布地  
普通布にまつりぬいをします。
- ② **Stretch/Knit:** 伸びる布地  
伸びる布地にまつりぬいをします。



① ②



### ぬい方:

スカートやワンピースなどのすそをまつります。

※ 生地と同じ色の糸を使用してください。

まつりぬい押さえ G を取り付けます。

図のように布を折ります。

(A): 厚地、普通地

布を折るときは、裏を表にして下に折り込み、布端を約 0.4 cm ~ 0.7 cm はみ出させます。

※ ほつれやすい厚い生地は、たち目かがりで布端を処理してください。

③ 0.4 cm ~ 0.7 cm

(B): うす地

布の端を 1cm 折ります。

④ 1 cm

折り山の端が、押さえのガイドの左側に当たるように布を置きます。押さえをさげます。

針が左側に落ちるときに、折り山の端をさします。

必要であれば、ぬい目の幅調整キーで針位置を調整してください。

ガイドを折り山に当ててぬいます。

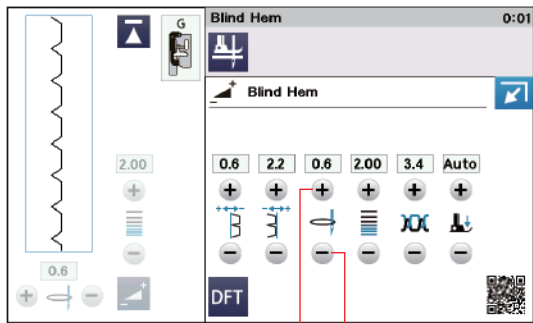
- ⑤ 折り山
- ⑥ ガイド
- ⑦ 布の裏側

ぬい終わったら布を表に広げます。

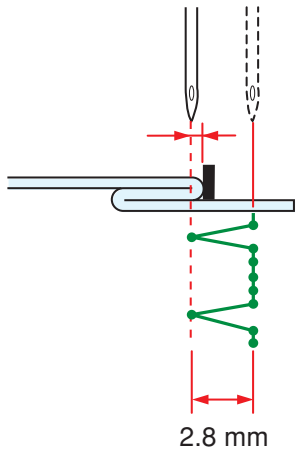
布の表側のぬい目はほとんど見えません。

- ⑦ 布の裏側
- ⑧ 布の表側

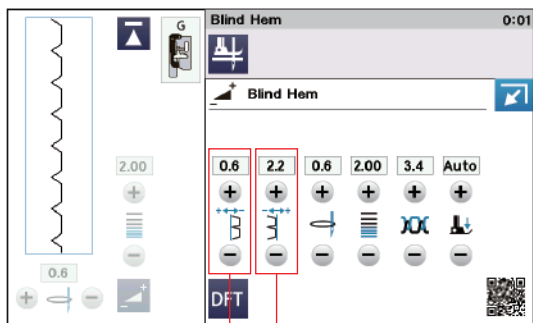




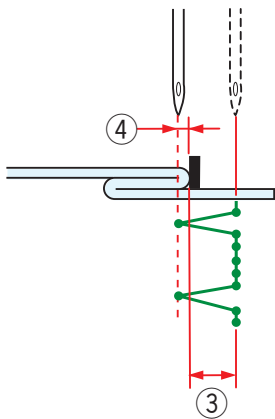
① ②



2.8 mm



① ②



③

## 針位置の調整

調整キーを押して調整画面を開きます。

「+」キー①を押すと、針位置が左に移動します。

「-」キー②を押すと、針位置が右に移動します。

ぬい目の幅を2.8 mmに保ちながら、針位置が変化します。

ガイドから左針位置の距離がミリメートル単位で表示されます。

### メモ：

右の針位置を調整するとぬい目の幅を調整できます。

## まつりぬいのぬい目の幅の調整

項目の「+」キー②を押して、ぬい目の幅③を広くします。

項目の「-」キー②を押して、ぬい目の幅③をせまくします。

### メモ：

項目の「+」「-」キー①を押して、左針位置④を移動します。

### ★ Shell Tuck: シェルタック

以下の3種類のまつりぬいから選択できます。

- ① Small: 小  
細いシェルタックです。
- ② Medium: 中  
中くらいの幅のシェルタックです。
- ③ Large: 大  
普通のサイズのシェルタックです。

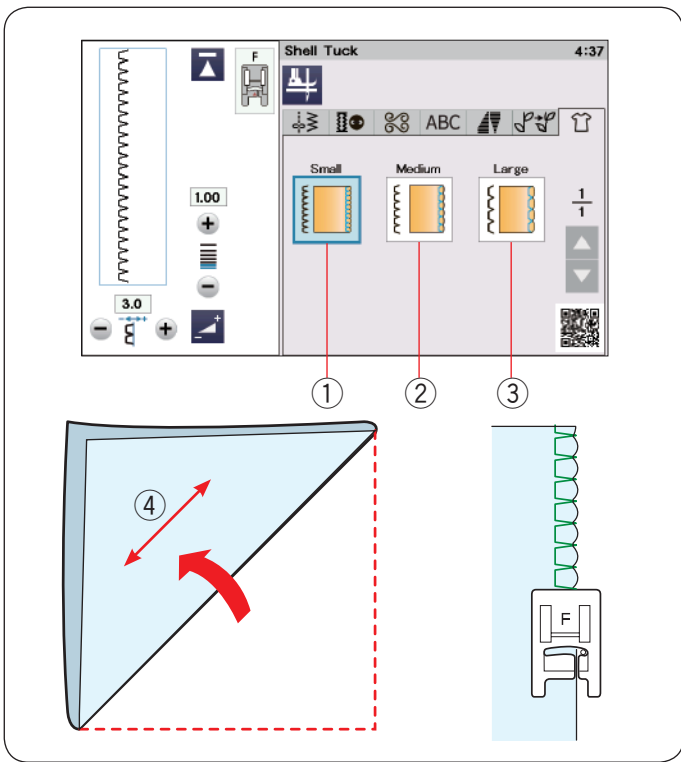
#### ぬい方:

トリコットなどのうすい布を使用します。  
布をバイアス④に2つ折りにします。

右の針位置が布の折り山の外側におりるようにしてぬいます。

シェルタックをいくつか並べてぬう場合、最低 1.5 cm あいだをあけてください。

④ バイアス方向



### ★ Lapped zipper: ファスナー付け

ファスナー付け (Lapped zipper) アイコンを押して、Lapped zipper 画面を開きます。

手順ごとにアイコンを押すと、手順に合わせてミシンの設定が自動的に変わります。

**メモ:** 上送りぬい切りかえキーを押すと、上送り VD ED 押さえ VD (先引き) と上送りファスナー 押さえ ED が画面に表示されます。これはオプション部品です。 ED は VD と一緒に使用してください。

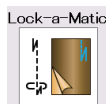
#### 布の準備

ファスナー寸法に 1 cm 加えたものがあき寸法になります。

あき止まりに印を付けます。

- ① ファスナー寸法
- ② あき寸法
- ③ 1 cm
- ④ あき止まり

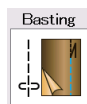
基本押さえ A を取り付けます。



#### 自動返しぬい

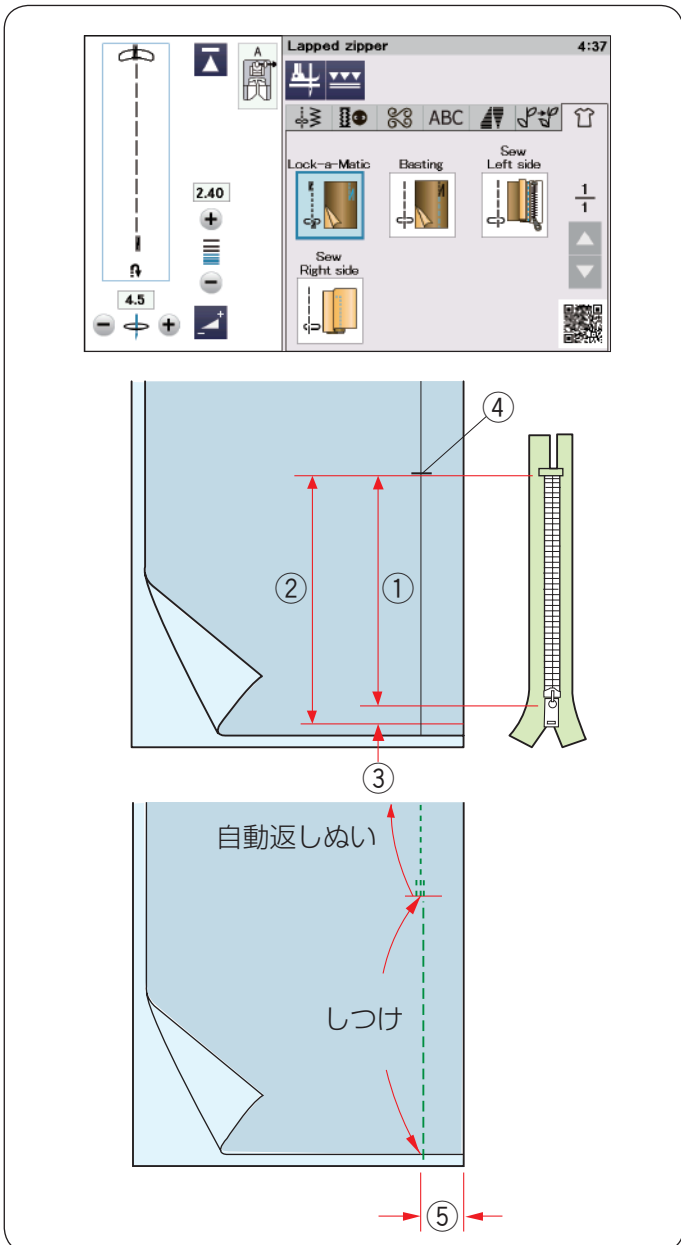
2 cm のぬいしろで、あき止まりまで地ぬいします。

- ⑤ 2 cm



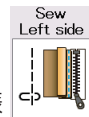
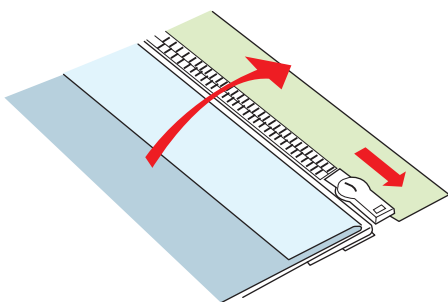
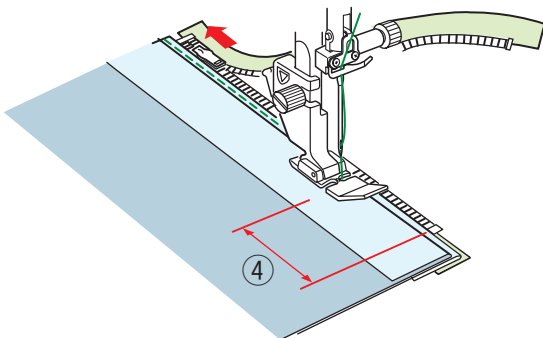
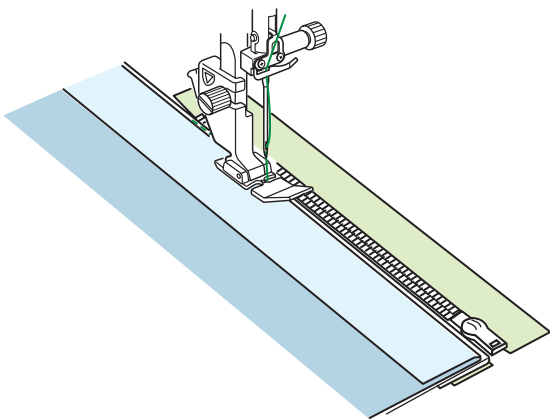
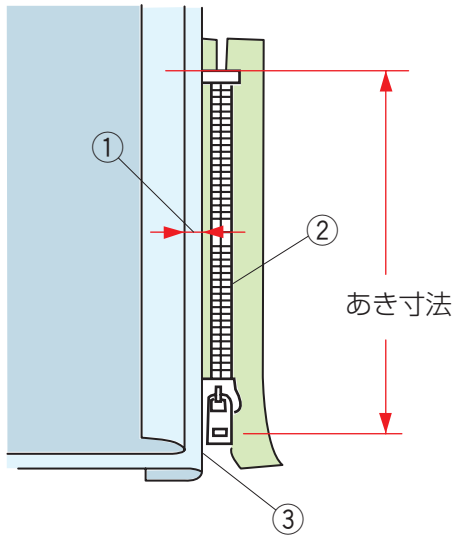
#### しつけ

あき部分にしつけぬいをします。



ぬいしろを割り、下の布のぬいしろを 0.3 cm 出してアイロンで折り目をつけ、折り山をむしのきわに当てます。

- ① 0.3 cm
- ② むし
- ③ 折り山



模様を選び、ファスナー押さえ E を取り付けます。

折り山のわきの布と台布をぬうように、押さえをあきどまりのいちばん上のところでさげます。

ファスナーのむしのきわを押さえの端に当てて、あきどまりからぬいます。

※ ぬい始めは数針返しぬいをします。

**注意：**

ファスナーをぬうときは、針がファスナーや押さえに当たらないように注意してください。  
針が当たると、けがの原因となります。

ファスナーの端から約 5 cm 手前でミシンを止めます。針を布にさした状態で押さえをあげ、スライダを押さえの向こう側にずらしファスナーを開きます。

押さえをさげて残りの部分をぬいます。

※ ぬい終わりは数針返しぬいをします。

- ④ 5 cm (2")

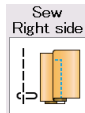
ファスナーをとじ、布の表が上になるように布を開きます。



### しつけ

基本押さえ A を取り付けます。  
開いた布と台布をしつけぬいで止めます。

① しつけ



### 右側をぬう

ファスナー押さえ E に交換します。  
上のあき止まりを 1 cm ほど返しぬいします。  
むしのきわを押さえの端に当て、布とファスナーの台布をぬいます。  
ファスナーを上側 5 cm ほど残したところでミシンを停止します。  
針を布にさした状態で押さえ上げをあげます。しつけ糸をほどきます。

② しつけぬい



### 注意:

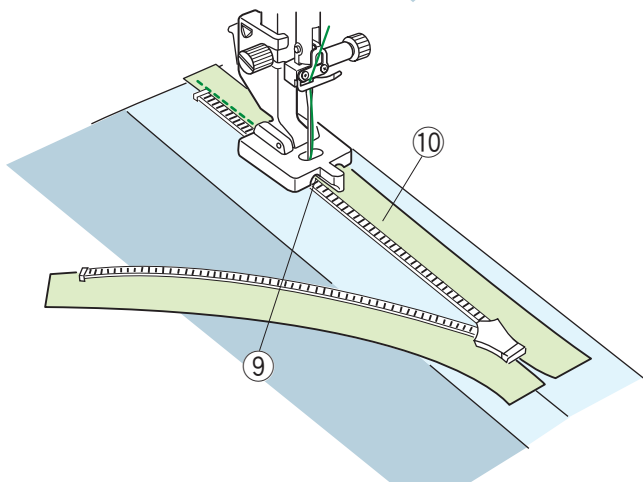
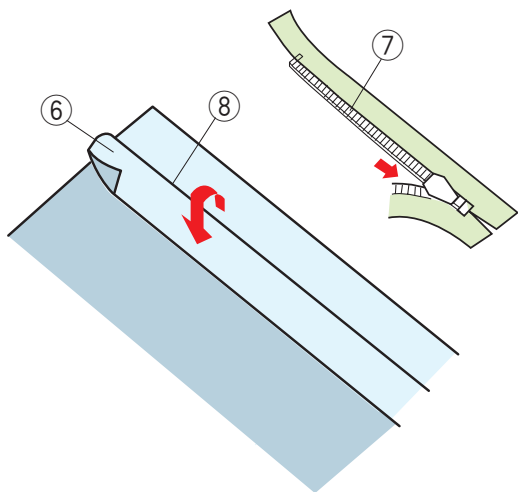
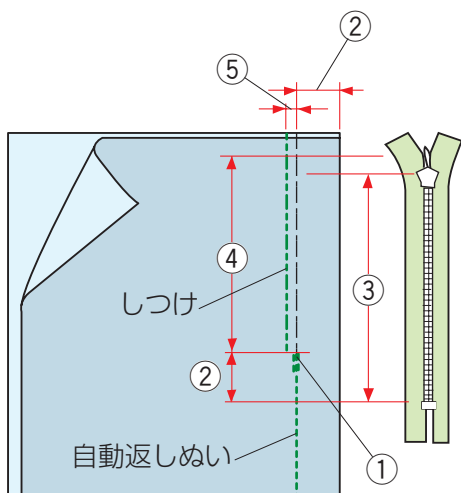
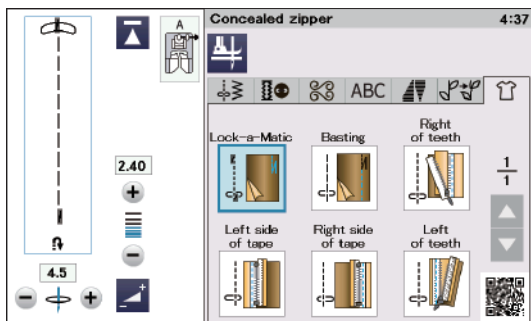
ファスナーをぬうときは、針がファスナーや押さえに当たらないように注意してください。  
針が当たると、けがの原因となります。

ファスナーを開き、スライダーを押さえの向こうにずらします。

押さえをさげ、折り山が均等になっていることを確認しながら残りの部分をぬいます。

しつけ糸を取り除きます。

① しつけ



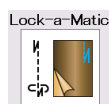
## ★ Concealed zipper: コンシール® ファスナー付け

コンシール® ファスナー付け (Concealed zipper) のアイコンを押して、コンシール® ファスナー付け画面を開きます。

コンシール® ファスナーはあき寸法より 2 cm くらい長いものを準備してください。

手順ごとにアイコンを押すと、手順に合わせてミシンの設定が自動的に変わります。

※「コンシール」は YKK 株式会社の登録商標です。



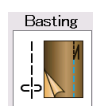
### 自動返しぬい

基本押さえ A を取り付けます。

布を中表に合わせて、あきどまりまで 2 cm のぬいしろでぬいます。

あきどまりで返しぬいボタンを押し、返しぬいをします。

- ① あき止まり
- ② 2 cm
- ③ ファスナー寸法
- ④ あき寸法



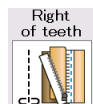
### しつけ

地ぬい線より 0.3 cm 内側にしつけぬいをします。

- ⑤ 0.3 cm

左側のぬいしろを、身頃側に折り返します。ファスナーを開き、裏返して右側のぬいしろに当てます。右側のむしを折り山に当てて、ピンで止めます。

- ⑥ 左側のぬいしろ
- ⑦ むし
- ⑧ 折り山



### コンシール® ファスナー右側

コンシール® ファスナー押さえ Z を取り付けます。

右のむしをたてて、押さえの左のみぞにむしが入るように押さえをさげます。

あき止まりまで布台と布をぬいます。

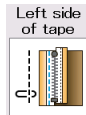
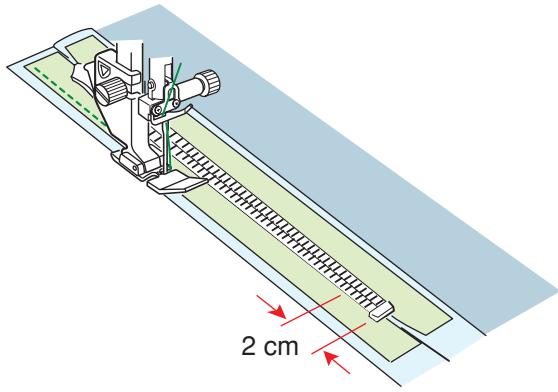
あき止まりまでぬったら、返しぬいをします。

- ⑨ 左のみぞ
- ⑩ 布台



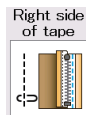
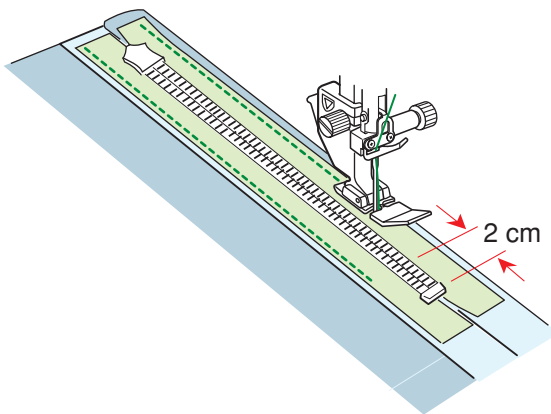
### 注意：

ファスナーをぬうときは、針がファスナーや押さえに当たらないように注意してください。針が当たると、けがの原因となります。



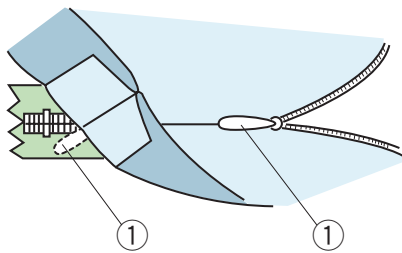
### 左側テープをぬいとめる

押さえをあげ、ファスナーを閉じます。  
 ファスナー押さえ E に交換します。  
 身頃を右側に折り返します。ぬいしろに左側の台布をぬい付け、ぬい終わり 2 cm 手前で返しぬいをします。



### 右側のテープをぬいとめる

身頃を左側に折り返します。  
 ぬいしろに右側の台布をぬい付け、ぬい終わり 2 cm 手前で返しぬいをします。



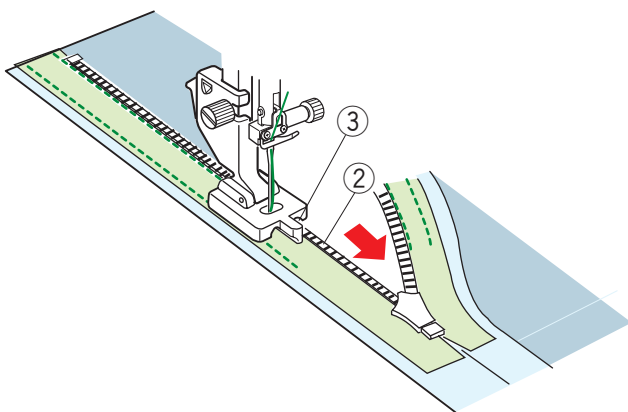
### コンシール® ファスナー左側

押さえをあげ、コンシール® ファスナー押さえ Z を取り付けます。

しつけ糸を取り除きます。

ファスナーを開き、持ち手を布と台布のあいだに入れ、スライダーを止めがねまでおろします。

① 持ち手

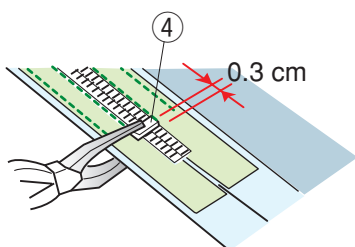


左のむしをたてて、押さえの右のみぞにむしが入るように押さえをさげます。

あき止まりまで布台と布をぬいます。あき止まりまでぬったら、返しぬいをします。

② むし

③ みぞ

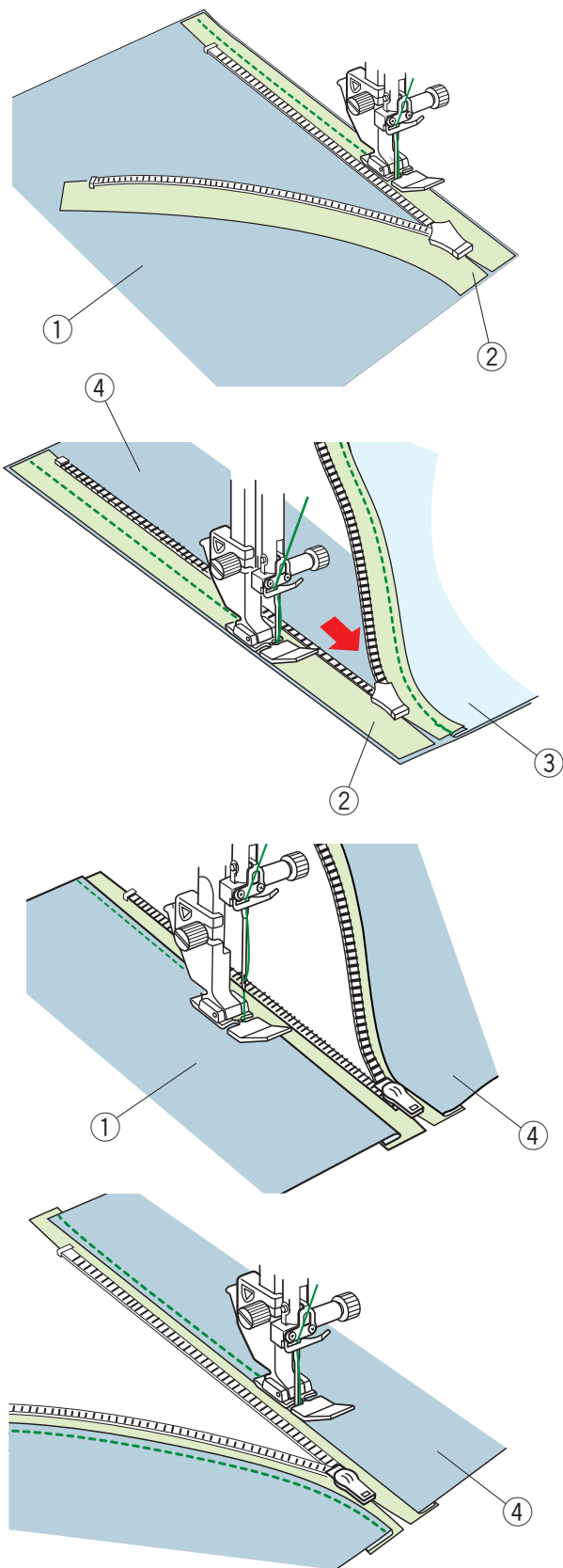
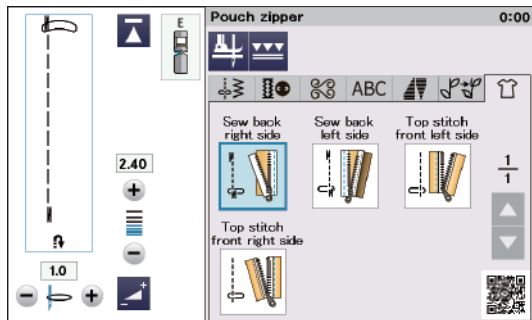


### ⚠ 注意:

ファスナーをぬうときは、針がファスナーや押さえに当たらないように注意してください。  
 針が当たると、けがの原因となります。

止め金をファスナーのあき止まりの位置より約 0.3 cm 上にペンチで固定します。

④ ストッパー

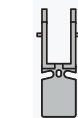


## ★ Pouch zipper: ファスナー付け (小物)

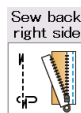
ファスナー付け (小物) (Pouch zipper) のアイコンを押して、ポーチファスナー付け画面を開きます。

布を 2 枚とファスナーテープを 1 本準備します。

**メモ:** 上送りぬい切りかえキーを押すと、上送りファスナー押さえ ED (先引き) ※が画面に表示されます。ファスナー押さえ E のかわりに上送りファスナー押さえ ED (先引き) を使用してください。



※ 上送りファスナー押さえ ED (先引き) と上送りホルダー (先引き) はオプション (別売) です。



### 裏から右側をぬう

ファスナー押さえ E を取り付けます。

ファスナーを開けます。

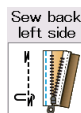
布の表面とファスナーテープの表面を重ね、右端がそろうように置きます。

押さえとファスナーテープの右端をそろえて置き、ファスナーに沿ってぬいます。

ファスナーテープ上のスライダの 5 cm 手前でファスナー押さえ E を止めます。ファスナーを閉めて残りをぬいます。

① 布 A の表側

② ファスナーテープの裏側



### 裏から左側をぬう

右側のぬいしろをうしろ側に折ります。

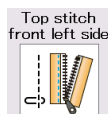
もう一枚の布の表面とファスナーテープの表面を重ね、左端がそろうように置きます。

ファスナーを開けて、押さえとファスナーテープの左端をそろえて置き、ファスナーに沿ってぬいます。

ファスナーテープ上のスライダの 5 cm 手前でファスナー押さえ E を止めます。ファスナーを閉めて残りをぬいます。

③ 布 A の裏側

④ 布 B の表側



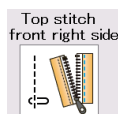
### トップステッチ左側

左のぬいしろをおります。

表側が上になるように布を平面に広げて、ファスナーを開けます。

むしに沿ってファスナー左側の折り山をぬいます。

ファスナーテープ上のスライダの 5 cm 手前でファスナー押さえ E を止めます。ファスナーを閉めて残りをぬいます。



### トップステッチ右側

ファスナーを開けます。むしに沿ってファスナー右側の折り山をぬいます。

ファスナーテープ上のスライダの 5 cm 手前でファスナー押さえ E を止めます。ファスナーを閉めて残りをぬいます。

## ★ Gathering: ギャザー

① 上糸と下糸を押さえの下からうしろ側に約 10 cm 引き出します。(32 ページ参照)

② 2本の直線ぬいを 0.6 cm 間かくでぬいます。

押さえ上げをあげて布を引き出し、上糸と下糸を約 5 cm 残して切ります。

※ 糸切りボタンで切らないでください。

③ ぬい始めの糸を結んでから、ぬい終わりの下糸を 2本一緒に引いて、布を縮め、糸を結びます。

④ ギャザーを整え、アイロンがけします。

⑤ ギャザーを布にぬい付けます。

用途ぬいメニューを終了します。

じつようぬい模様 U1 を選択します。

糸調子を「3.8」に、ぬいのあさを「2.40」に調整します。(初期設定)

布の裏側 ① をギャザーの下にしきます。

ギャザーの二本の直線ぬいのあいだに直線ぬいをぬいます。

2本の直線ぬいを取り除きます。

### メモ:

しつけを取ったときの針穴が気になる場合、でき上がり線の上側に 2本しつけをして、ギャザーを寄せます。

## ★ Easestitching: いせ込み

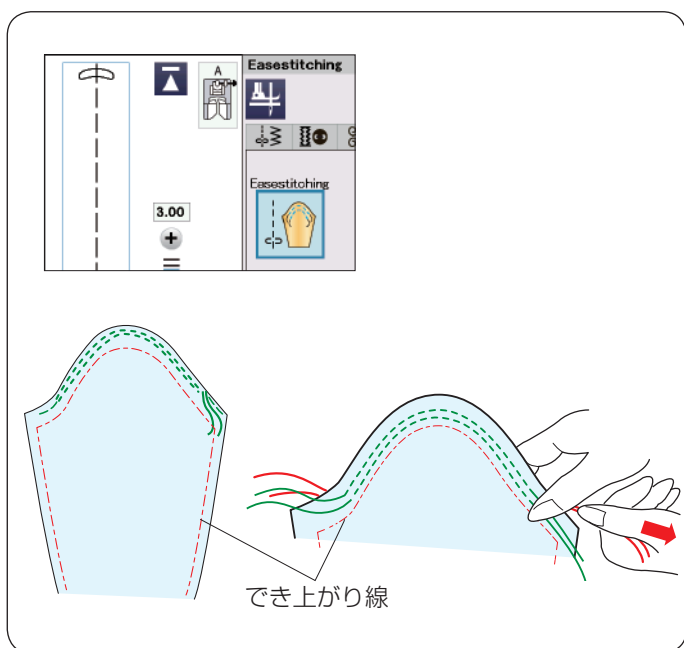
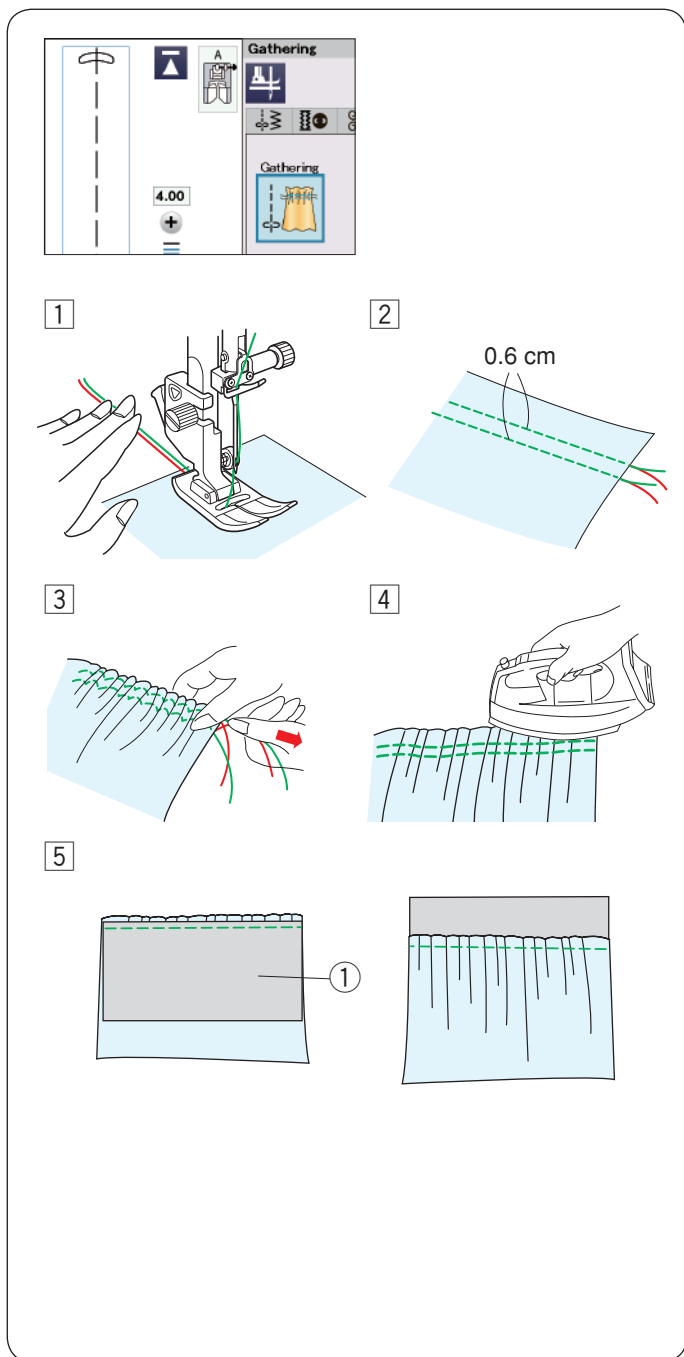
通常のギャザーに加え、いせ込みがあります。

上糸と下糸を押さえの下からうしろ側に 10 cm ほど引き出します。(32 ページ参照)

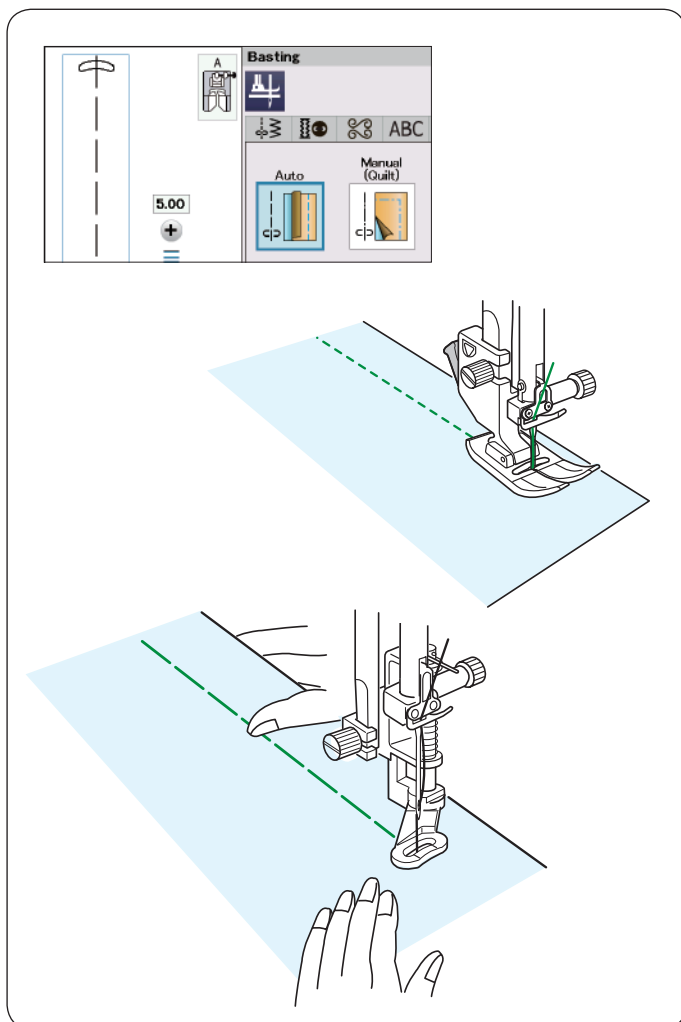
そでにそわせて 3 mm ほどの間かくで 2本線をぬいます。

布を軽くつまみ、上糸をそのままにして下糸を両側から引き、肩口の寸法に合わせてそでを引きしめてまるみを付けます。

※ ひだがよらないように注意して糸を引いてください。







### ★ Basting: しつけ

2種類のしつけぬいがあります。

#### Auto: オート

ファスナーの台布や衣服につかいます。  
直線ぬいと同等の方法で使用してください。

#### Manual (Quilt): マニュアル (キルト)

フリーキルト押さえ PD-H を取り付けます。

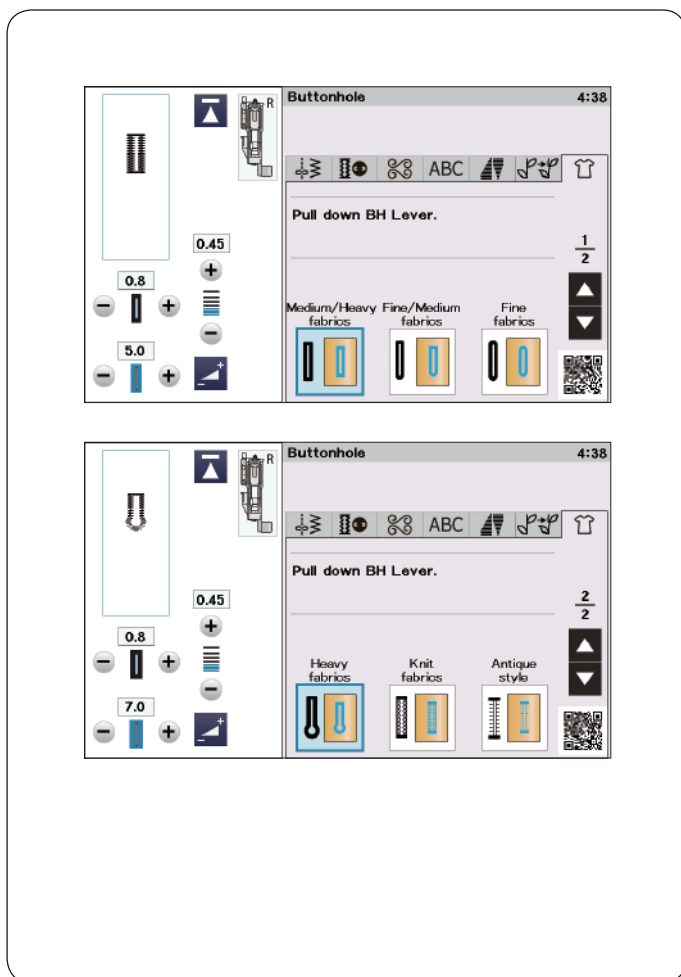
#### メモ:

フリーキルト押さえ PD-H を取り付けるには、23 ページをご覧ください。

#### ぬい方:

ぬのをピンと張り、フットコントローラーをふみます。  
ひと針ぬってミシンが自動的に止まります。

1 針ぬってミシンが停止したら、ぬい目をつまんで布を  
向こう側に必要な長さだけ引き出し、繰り返しぬいます。



### ★ Buttonhole: ボタンホール

53 ~ 61 ページの“ボタンホールの種類”をご覧ください。

#### Medium/Heavy fabrics: 普通地 / 厚地

54 ~ 57 ページの“ボタンホール 1: スクエアボタンホール”  
をご覧ください。

#### Fine/Medium fabrics: うす地 / 普通地

61 ページの“ボタンホール 3: 片ラウンドボタンホール”  
をご覧ください。

#### Fine fabrics: うす地

61 ページの“ボタンホール 4: 両ラウンドボタンホール”  
をご覧ください。

#### Heavy fabrics: 普通地 / 厚地

61 ページの“ボタンホール 5: キーホールボタンホール”  
をご覧ください。

#### Knit fabrics: ニット

61 ページの“ボタンホール 11: ニットボタンホール”  
をご覧ください。

#### Antique style: アンティークスタイル

61 ページの“ボタンホール 12: アンティークボタンホール”  
をご覧ください。

## ★ Button: ボタン付け

ボタンの付けは、普通のボタン付け (Regular) か根巻きボタン付け (Shank) を選びます。

ボタンを厚い布に取り付ける場合は、ボタン付けプレートを使用します。

ボタン付け (Button) を選択すると、自動的に送り歯が下がります。

### ボタン付け押さえ T

ロックキーを押してミシンをロックします。

押さえ上げで押さえをあげます。

押さえのうしろのピンを、押さえホルダーのうしろみぞにかけます。

- ① うしろのピン
- ② うしろのみぞ

押さえのうしろを指で軽くささえながら、押さえ上げをそっとさげて押さえを付けます。ロックキーを押してロックを解除します。

ボタン付けプレートを使ってボタン付けをするには、



(Shank) アイコンを選択します。

ボタンを布の上に置き、はずみ車をまわして、左側のボタン穴に針をおろします。

ボタン付けプレートをボタンの下に置きます。

押さえをさげ、ボタンを固定します。ボタンの方向をそろえます。

- ③ ボタン付けプレート

### メモ:

- ボタン付けプレートは両端を使用できます。
- ボタン付けプレートは、厚い方が 4.5 mm、うすい方が 3 mm になっています。
- それぞれの厚みを使い分けて、ボタンと布のあいだに根巻き用のスペースを作ることができます。
- 用途に合わせてお選びください。

はずみ車をまわして針を右側に移動させます。

「+」もしくは「-」ボタン④を押して針がボタンの右穴に入るように調整します。最大幅は 0.7 cm です。

ミシンが自動的に止まるまでぬいます。

布をミシンから取り外します。

糸を約 10 cm 残して切ります。糸切りボタンで切らないでください。

ぬい始めの余分な糸を切ります。

ぬい終わりの糸をボタン左の穴から引き出し、ボタンと布のあいだに出して下糸を引きあげます。

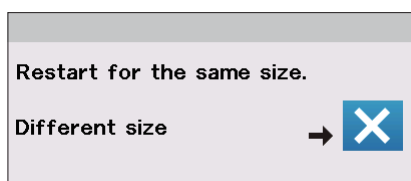
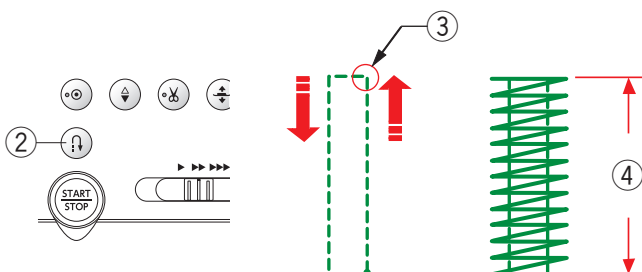
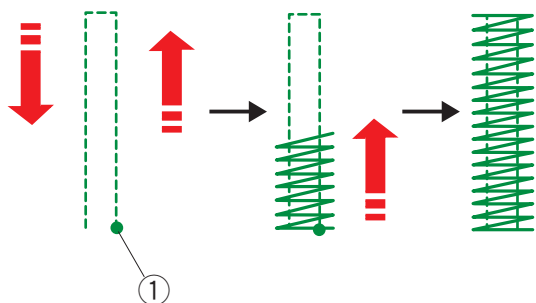
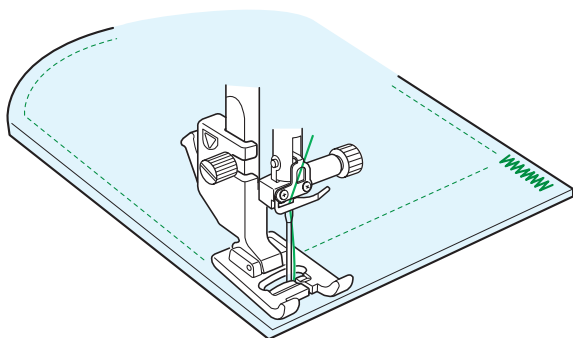
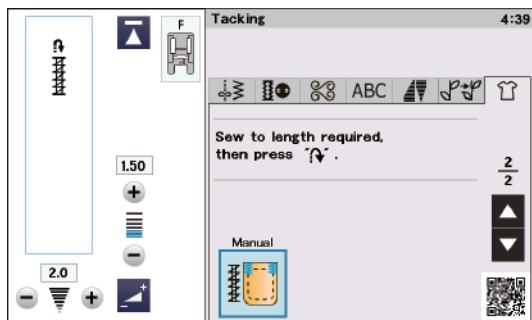
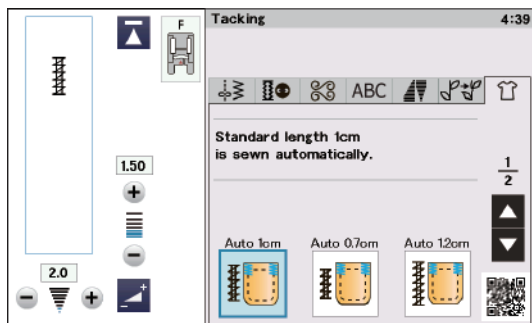
下糸を布とボタンのあいだに引き出します。

- ⑤ ぬい終わりの上糸
- ⑥ 下糸

上糸と下糸を浮かせた足の部分にそれぞれ糸をまき付けて結びます。

### メモ:

ボタンが厚すぎる場合は、ボタン付けプレートを使用することはできません。



## ★ Tacking: かんぬき

かんぬきはポケット口、又布やベルト通しなど補強が必要な場所に使います。

3種類のオートかんぬき止めか、マニュアルかんぬき止めがあります。

サテン押さえ F を取り付けます。

### 自動かんぬき止め

ぬい始めの位置に針をおろし、ミシンをスタートさせます。

選択した長さのかんぬきをぬい、ぬい終わると自動的にとまります。

① ぬい始めの位置

### マニュアルかんぬき止め

ミシンをスタートさせ、必要な長さ③までぬい、返しぬいボタン②を押します。これでかんぬきどめの長さ④が決まります。

ミシンが自動的に止まるまでぬいます。

③ 必要な長さ

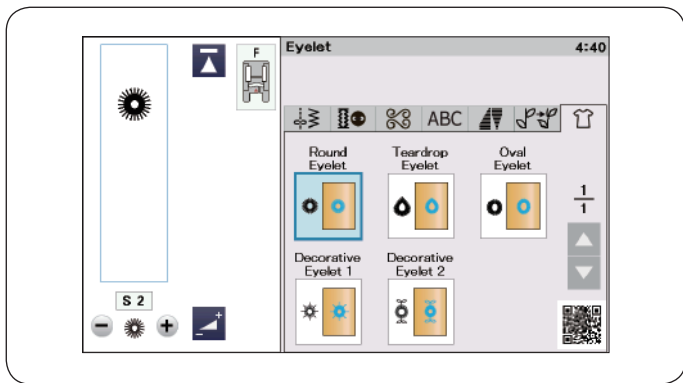
### メモ:

かんぬき止めの最大の長さは 1.5 cm です。

### 同じサイズのかんぬき止めをぬう場合

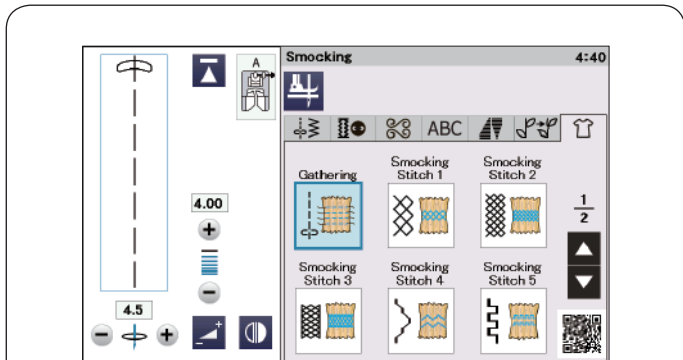
同じサイズのかんぬき止めをぬうには、ミシンを再スタートさせて自動的に止まるまでぬいます。

ちがうサイズでぬう場合は、X キーを押してください。



### ★ Eyelet: アイレット

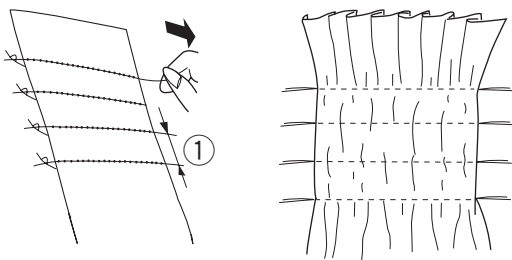
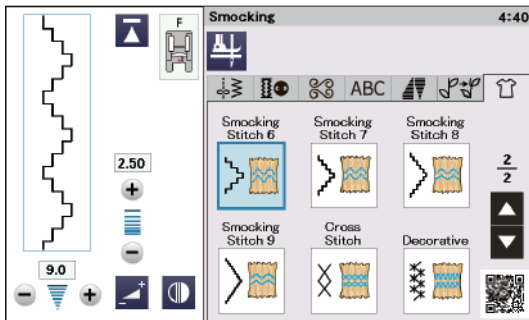
66 ページの「ボタンホール 18 ~ 22: アイレット」をご覧ください。



### ★ Smocking: スモッキング

やわらかく、うすい生地の布を使用してください。  
完成サイズの約 3 倍の幅の布を用意してください。

※ 目飛びを防ぐため、パープル針を使用してください。



### ギャザー

スモッキングをする場所に 1.5 cm の間かくで直線ぬいをします。

#### ① 1.5 cm

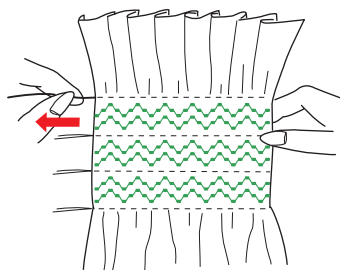
上糸と下糸を片側で結びます。

反対側から下糸を引っ張り、布を縮めます。

上糸と下糸を反対側で結び、ギャザーを均一に作ります。

#### メモ：

- ぬい始める前に、上糸と下糸をうしろに 10 cm ほど引き出してからぬいます。
- 糸を切るときは面板の糸切りを使用してください。

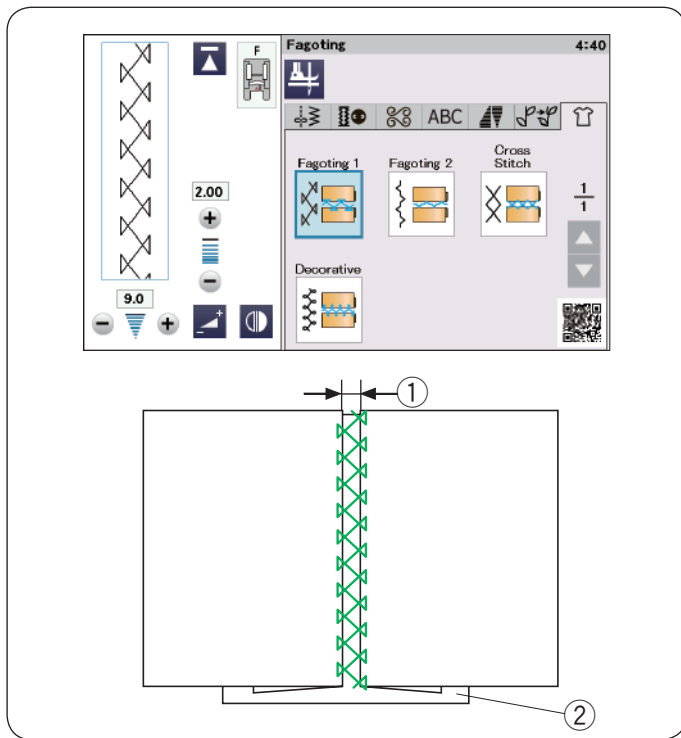


### スモッキングステッチ

スモッキングの模様を選択します。

直線ぬいと直線ぬいのあいだに模様をぬいます。

上糸と下糸を引き、直線ぬいの糸をぬき取ります



### ★ Fagoting: ファゴティング

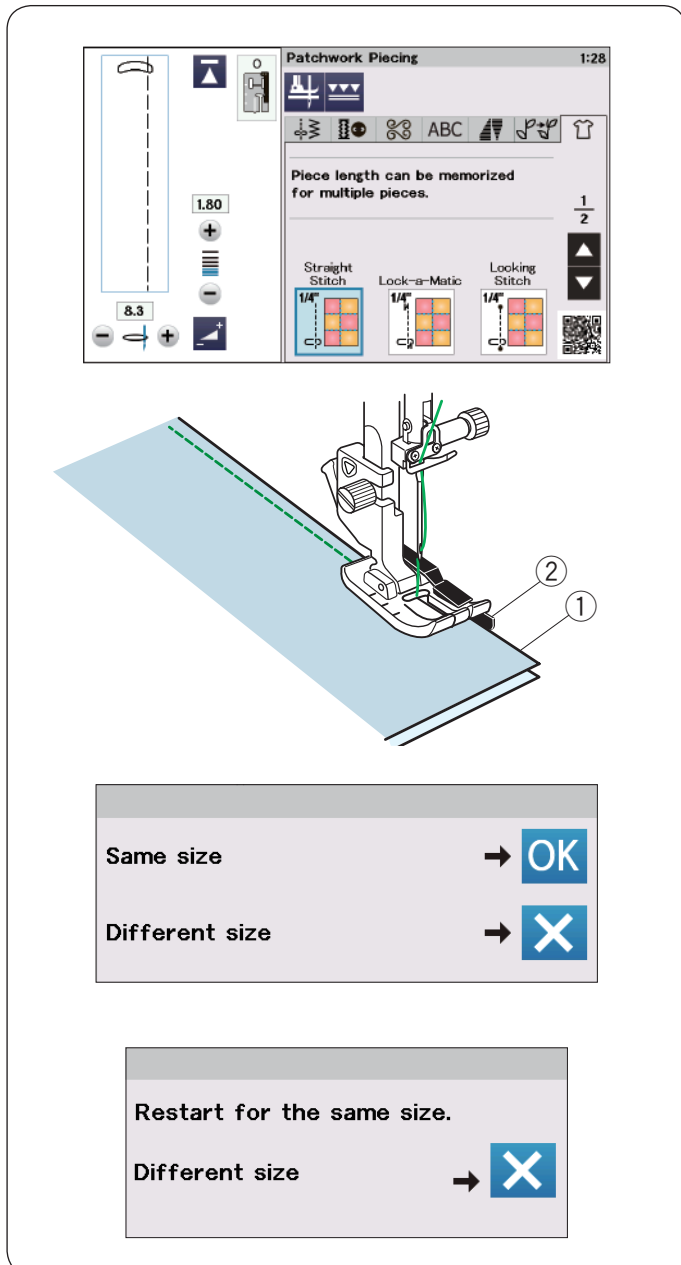
2つの布を間かくをあけてつなぎ合わせるぬい方です。布端から1.5 cm くらいのところで布を折り、ぬいしろを付けます。

布端と布端の間かくを0.3 cm くらいとり、うしろに当て紙を当てます。

- ① 0.3 cm
- ② 当て紙

間かくの中央を中心として、布端と布端に針が落ちるようにしてぬいます。

ぬい終わったら当て紙を取ります。



### ● 用途ぬい (キルト)

#### ★ Patchwork Piecing: パッチワークピースング

パッチワークのピースをぬい合わせるための6種類のぬいがあります。

ぬい目のあさはパッチワークに最適な1.8 mm に設定されていますが、「+」キーや「-」キーを押して調整できます。

パッチワーク押さえOを使うと、1/4" (6.5 mm) ※のぬいしろを正確にぬうことができます。

パッチワークに使用する布を中表に合わせます。

パッチワーク押さえOのガイドに沿わせるように布端を置き、ぬいます。

- ① 布端
- ② ガイド

※ ぬいしろは1/4" (6.5 mm) か7 mm を選択できます。ぬいしろ7 mm のアイコンは、次のページ (2/2) に表示されます。

ミシンを止めると、画面にメッセージが表示されます。

OK キーを押すとぬいの長さが記憶され、別のピースをぬうときに同じ長さでぬうことができます。

異なるサイズでぬうときは、X キーを押します。

記憶された長さでぬったあと、メッセージが表示されません。

同じ長さでぬう場合は、ミシンをスタートさせます。記憶した長さをぬったあと、自動的にとまります。

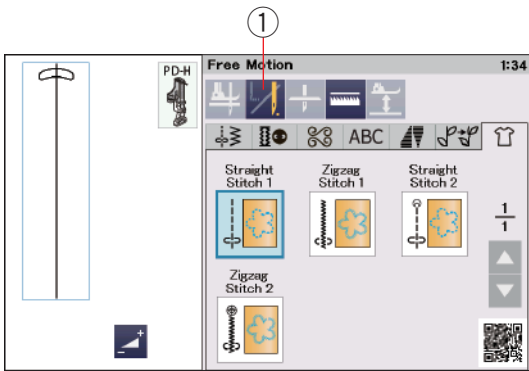
異なるサイズでぬうときは、X キーを押します。

## ★ Free Motion: フリーモーション

「Straight Stitch 1 (直線ぬい1)」と「Straight Stitch 2 (直線ぬい2)」は、直線ぬい用針板を使用することをおすすめします。(針板の交換方法は33ページをご覧ください。)通常もしくは厚手のキルトの場合は、「Straight Stitch 1 (直線ぬい1)」か「Zigzag Stitch 1 (ジグザグぬい1)」を選択し、フリーキルト押さえ PD-H を使用してください。(取り付け方は23ページを参照)

平たいところをぬうキルトでは「Straight Stitch 2 (直線ぬい2)」か「Zigzag Stitch 2 (ジグザグぬい2)」を選択し、フリーキルト押さえ QC、QO、QV のいずれかを使用してください。

フリーキルト押さえの取り付け方は、112ページをご覧ください。(ボタン付け押さえ T と同じ)



### 1 針停止ぬい

ミシンはひと針ぬったあと自動的に止まるので、下糸を上を引き出し、布の裏側にかたまるのを防げます。

上糸を持ちながら、ひと針ぬうとミシンが自動的に止まります。

上糸を引き、下糸を上にあげます。

引き出した上糸と下糸をぬいこまないように押さえながら数針ぬいます。

余った糸をはさみで切ります。

ぬいを再開すると、ミシンを止めるまでぬい続けることができます。

1 針停止ぬいなしでぬい始めたい場合、1 針停止ぬいキーを押して 1 針停止ぬいをオフにします。

1 針停止ぬいキーのアイコンが変化します。👉

1 針停止ぬいがオンになっている場合は、アイコンは👈になります。

① 1 針停止ぬいキー

### ぬい方：

中くらいのスピードで、両手で布をガイドしながらぬいます。

一針でガイドする布の距離は 3 mm 以下にします。

### フリーキルト押さえ高さの調整

「Straight Stitch 2 (直線ぬい2)」 「Zigzag Stitch 2 (ジグザグぬい2)」を選択しているとき、フリーキルト押さえ QC、QO、QV の高さは自動的に調整されます。

ただし、キルトの厚さによって高さを調整できます。

布を押さえの下に置き、押さえをさげます。

押さえ高さ調整キーを押すと、調整画面が開きます。「+」もしくは「-」キーを押して押さえの高さを調整し、OK キーを押して設定を登録します。

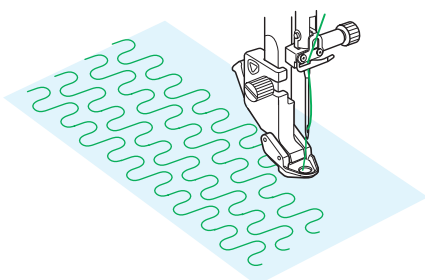
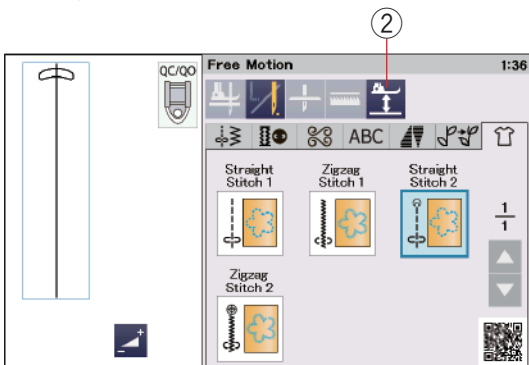
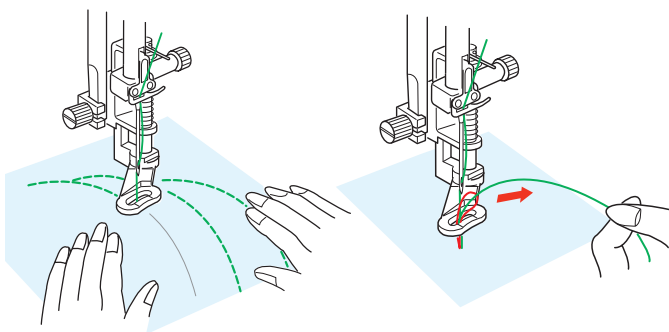
② 押さえ高さ調整キー

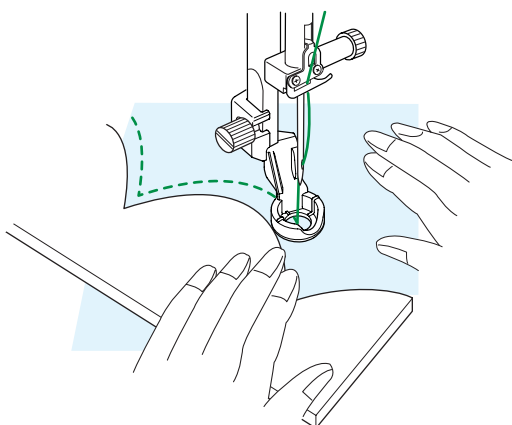
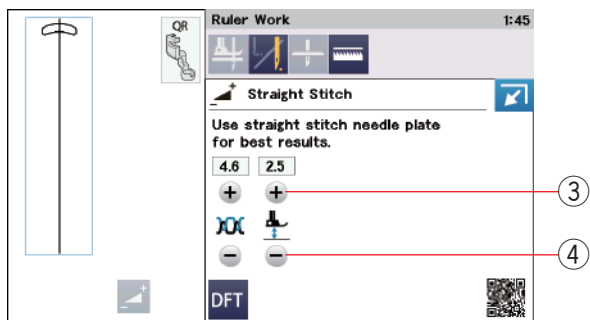
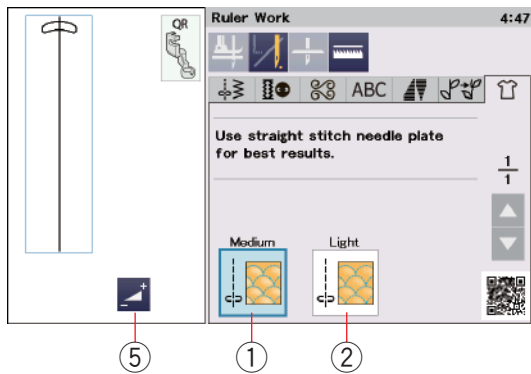
ぬっているときに布が弾む場合、押さえの高さをさげてください。

ぬっているときに押さえが布に引っかかる場合、押さえの高さをあげてください。

### メモ：

- フリーモーションキルトをぬうときは目飛びを防ぐため、パープル針を使用してください。
- フリーキルト押さえを使用するときは、布を前後に強く引っ張らないでください。





## ★ Ruler Work: ルーラーワーク

ルーラーワーク専用定規（市販品）に沿って押さえをガイドし、直線、曲線、繰り返し模様など、定規の形状に合わせた模様を作成します。

※ ルーラーワーク時は、直線ぬい針板でぬうことをおすすめします。（33 ページ参照）

※ ルーラーワーク時は、目とびを防ぐため、パープル針を使用してください。

ルーラーワーク模様選択画面を表示させ、ミシンにルーラーワーク押さえ QR を取り付けます。

ルーラーワーク押さえ QR の取り付け方は、22 ページをご覧ください。

布をルーラーワーク押さえ QR の下に置きます。

キルトの厚みに合うよう、押さえの高さを調整します。

通常の布、キルト用の厚い布を使用する場合は、「Medium」（普通地）① を選択してください。

よりうすい平らなキルトの場合は「Light」（うす地）② を選択してください。

調整キー⑤を押して調整画面を開き、「+」キー③か「-」キー④を押して押さえの高さを細かく調整することができます。

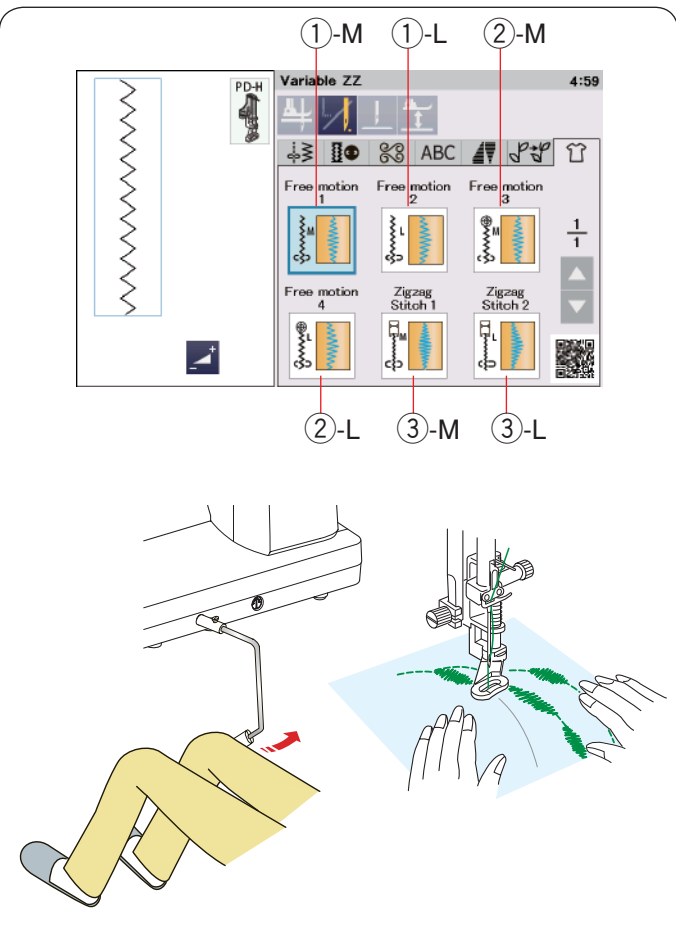
⑤ 調整キー

ルーラーワーク押さえ QR の端にルーラーワーク専用定規を当てます。

ルーラーワーク専用定規に沿ってルーラーワーク押さえ QR を当てながら布をガイドし、ぬいます。

### メモ：

ルーラーワークにはルーラーワーク専用定規が必要です。ハイシャンク、もしくはロングアームモデル用のルーラーワーク専用定規を使用してください。（厚さ：4.5 mm ～ 6.35 mm）



### ★ Variable ZZ: バリアブル ZZ (可変ジグザグ)

ジグザグぬいの幅をニーリフトで調整することができます。

フリーキルト押さえ PD-H またはフリーキルト押さえ PD-H (前あき) でぬう場合、①-M または ①-L の模様を選びます。

ぬのを両手で送りながらぬいます。

フリーキルト押さえ QV (透明) またはバリアブルジグザグ押さえ QZ (前あき) で、平らなキルトをぬう場合、②-M または ②-L の模様を選びます。

ぬのを両手で送りながらぬいます。

サテン押さえ F でぬう場合、③-M または ③-L の模様を選びます。

布は送り歯で送られ、ニーリフトでジグザクのぬい幅を調整できます。

必要であれば、芯地を布の裏に当てます。

布を両手で送りながら、ひざでジグザクのぬい幅を調整し、低速から中速でぬいます。

#### メモ:

ミシンを止めたとき、ニーリフトで押さえをあげることができます。

フリーモーションキルトをぬうときは目飛びを防ぐため、パープル針を使用してください。

### ジグザクのぬい幅の上限

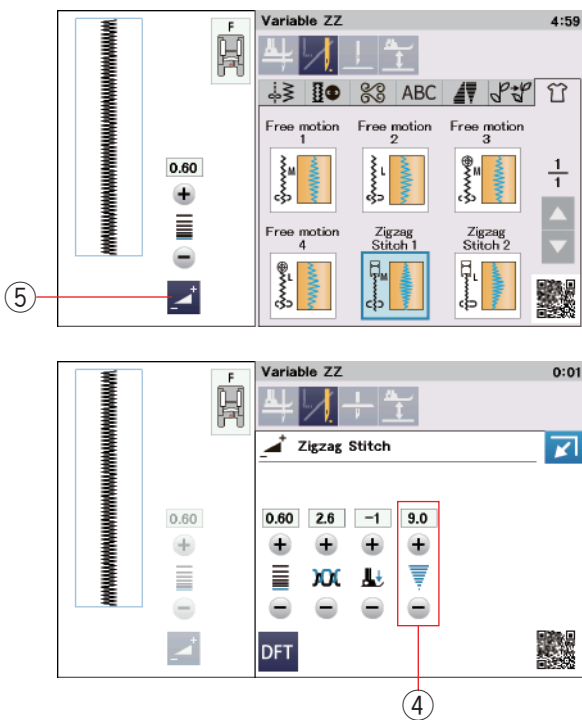
必要に応じてジグザクのぬいの幅の上限を設定することができます。

調整キー ⑤ を押して調整画面を開きます。

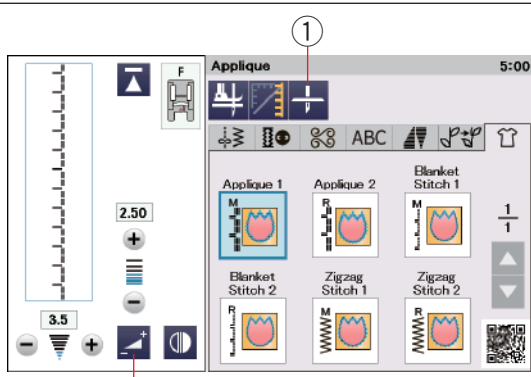
ぬい目の幅調整キー ④ の「+」か「-」キーを押して最大幅の値を変更します。

④ ぬい目の幅調整キー

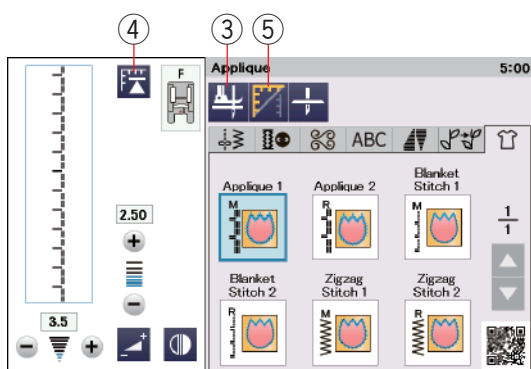
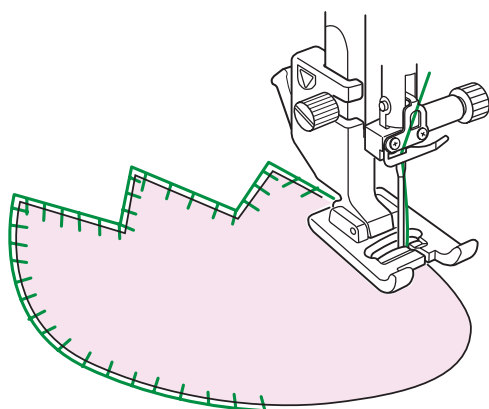
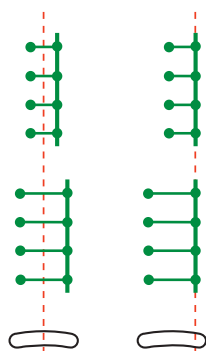
⑤ 調整キー



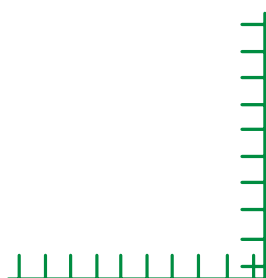




① 針停止位置キー  
M R



④ 模様頭出しキー  
⑤ 角ぬいキー



## ★ Applique: アップリケ

6種類のアップリケから選択できます。

針停止位置切りかえキーで、針停止位置を上か下か決められます。

① 針停止位置キー

アップリケの模様選択キーのアルファベットは、ぬい目の幅をかえたときの基準位置を示します。

M : 中針位置基準

R : 右針位置基準

基準位置は、調整キーを押して調整画面を開き、針位置調整キーの「+」、「-」キーで変更できます。

ぬい幅は変わりません。

② 調整キー

## アップリケのコーナーでの回転

アップリケできつめのコーナーをぬうときには、ピボットぬい設定をオンにすると、ミシンを止めたときに自動的に押さえがあがります。

ピボットぬい設定キーを押してピボットぬい設定をオンにしてください。

③ ピボットぬい設定キー

## メモ:

アップリケの外側に針を落としたときにミシンを止めてください。

## コーナーでの頭出し

別の方向でぬい始める場合は、模様頭出しキーを押します。

④ 模様頭出しキー

2種類の頭出しから選択可能です。角ぬいキーを押して通常頭出しか、角ぬいの頭出しを選択できます。模様頭出しキーのアイコンが変わり、どちらの頭出しが選択されたかが表示されます。

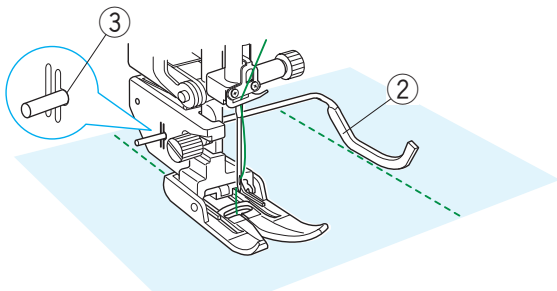
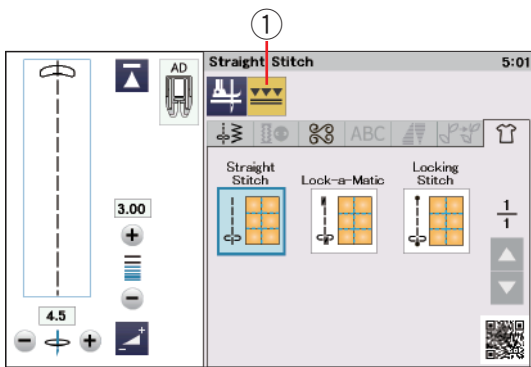
⑤ 角ぬいキー

## 通常頭出し

止めぬいをぬって、模様を最初からぬいます。

## 角ぬいの頭出し

止めぬいなしで、模様を最初からぬいます。



### ★ Straight Stitch: 直線ぬい（上送り押さえ使用）

ここで説明する直線ぬいは、上送り押さえを使用してキルトをぬい合わせるのに適しています。

上送り押さえを取り付け（22 ページ参照）、上送りぬい切りかえキーを押します。

① 上送りぬい切りかえキー

※ 基本押さえ A でキルティングガイドを使う場合は 74 ページをご覧ください。

### 上送り押さえ使用時のキルティングガイドの使い方

キルティングガイドを使うと、前にぬったぬい目と平行に等間かくでぬうことができます。

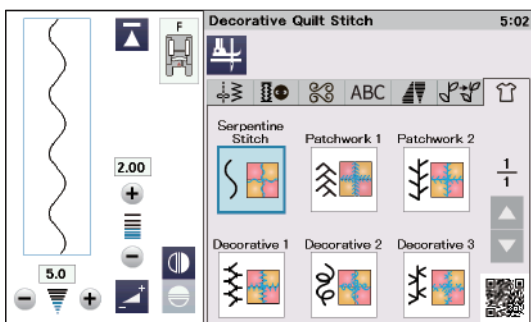
キルティングガイドを上送り押さえホルダーのうしろの取り付け穴に差し込みます。

キルティングガイドをスライドさせて、お好みの距離に調整してください。

② キルティングガイド

③ 取り付け穴

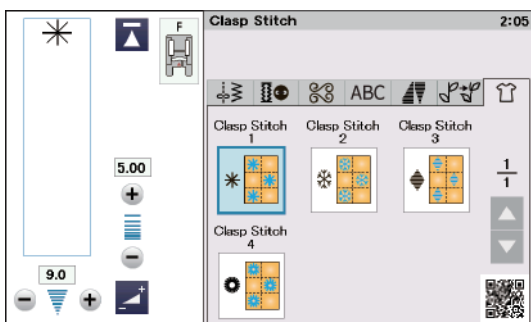
すでにあるぬい目にキルティングガイドを沿わせながら平行な直線をぬいます。



### ★ Decorative Quilt Stitch: キルトかざりステッチ

キルトかざりステッチでは、キルトやパッチワーク生地 のぬい目をかざりぬいでぬうことができます。

サテン押さえ F を取り付けます。

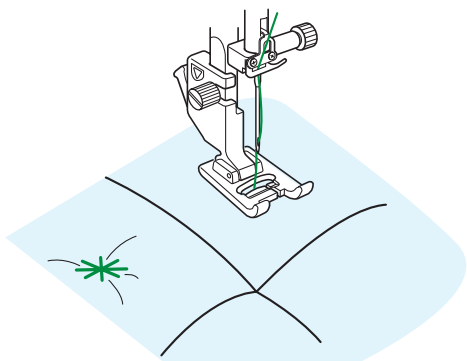


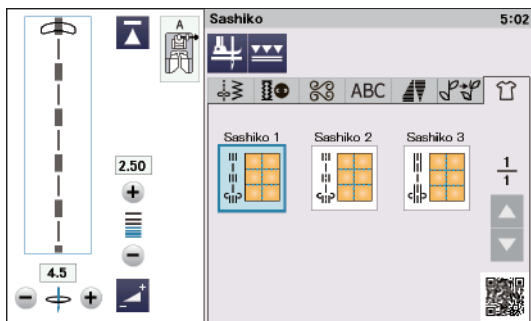
### ★ Clasp Stitch: とじぬい

厚みのあるキルト綿をとじるときに使います。

サテン押さえ F を取り付けます。

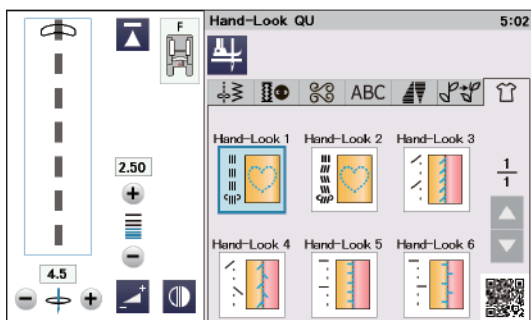
※ とじぬい模様が 1 つ完成すると、自動的に針が上の位置で停止します。





### ★ Sashiko: 刺し子風ステッチ

アウトラインを目立たせるためのステッチで、手ぬいの刺し子風キルトになります。



### ★ Hand-Look QU: 手ぬい風キルトステッチ

上糸に透明なナイロン糸を使用し、下糸には通常の糸を使用します。針は 14 番～ 16 番を使用します。

下糸が布表に引き出されて手ぬいのようなぬいになります。

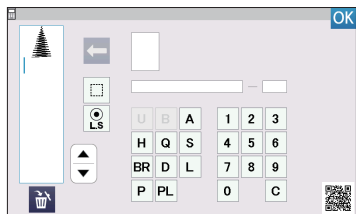
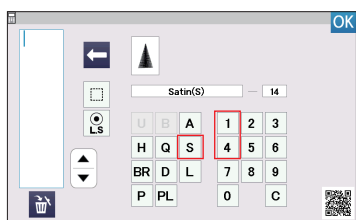
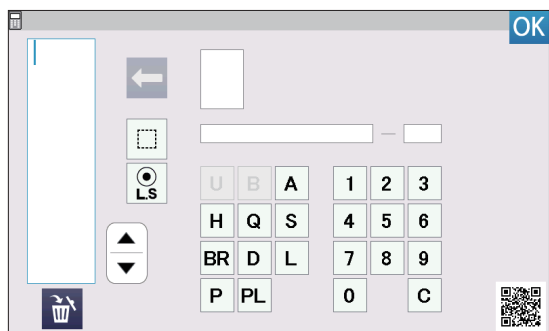
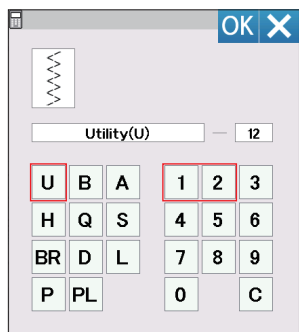
## ◎ 情報とミシンの設定

### ● ファンクションメニュー

ファンクションメニューキー①を押して、ファンクションメニューを開きます。

ファンクションメニューから以下の機能を選択できます。

- ② クイック模様選択 (Quick Stitch Select)
- ③ キルトブロックアドバイザー (Quilt Block Advisor)
- ④ 手動上送り設定 (Manual Dual Feed Setting)
- ⑤ ミシン情報 (Machine Information)



### ★ Quick Stitch Select (クイック模様選択)

模様グループの省略文字を入力することで、模様を直接選択することができます。(模様グループの省略文字については 34 ~ 35 ページを参照)

クイック模様選択 (Quick Stitch Select) ② の **>** キーを押して、クイック模様選択画面を開きます。

**例:** じつようぬい (U) の模様 12 を選択する場合

「U」を押してじつようぬいグループを選択します。  
「1」と「2」を押してお好みの模様番号を入力します。  
OK キーを押してクイック模様選択画面を閉じます。

模様組み合わせモード時にクイック模様選択 (Quick Stitch Select) ② の **>** キーを押すと、模様組み合わせモード用のクイック模様選択画面が開きます。

#### メモ:

模様組み合わせモード用のクイック模様選択画面を開いている場合、じつようぬいとボタンホールと特殊模様は選択できません。(「U」と「B」はグレーになり選択できません。)

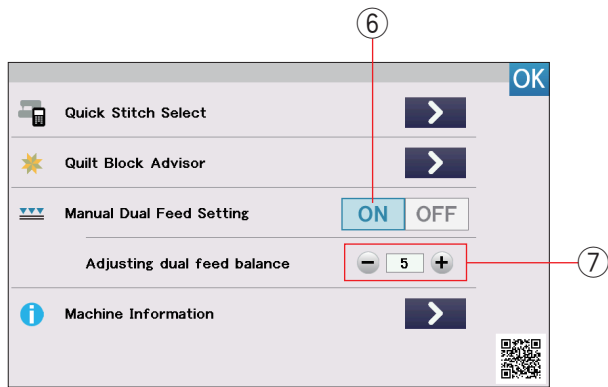
**例:** サテングループ (S) の模様 14 を選択する場合

「S」を押してサテングループを選択します。  
「1」と「4」を押してお好みの模様番号を入力します。  
**<** キーを押してサテン模様 14 を選択します。

OK キーを押してクイック模様選択画面を閉じます。

### ★ Quilt Block Advisor (キルトブロックアドバイザー)

75 ~ 76 ページをご覧ください。



### ★ Manual Dual Feed Setting (手動上送り設定)

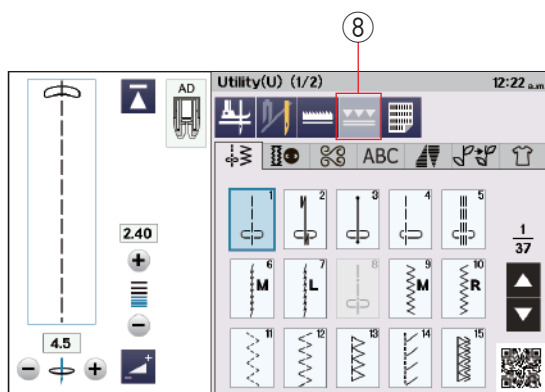
上送り押さえを使って U1 から U5、および Q1 から Q7 以外の模様をぬいたい場合、手動上送り設定 (Manual Dual Feed Setting) を「ON」⑥にします。

#### メモ：

手動上送りを使用してぬったときの結果は、ぬい条件で異なります。余った布などで必ず試しぬいをしてください。

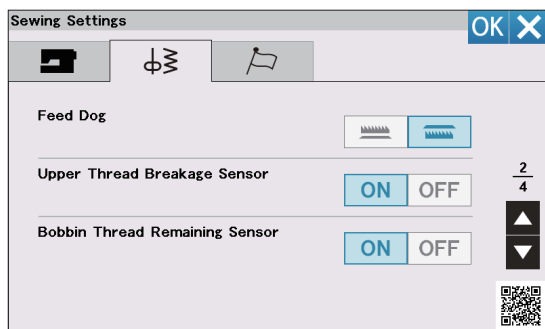
布の種類によって上送りの調整⑦が必要なことがあります。上送り調整については、41 ページをご覧ください。

手動上送りぬいが終わったら、手動上送り設定 をオフにします。



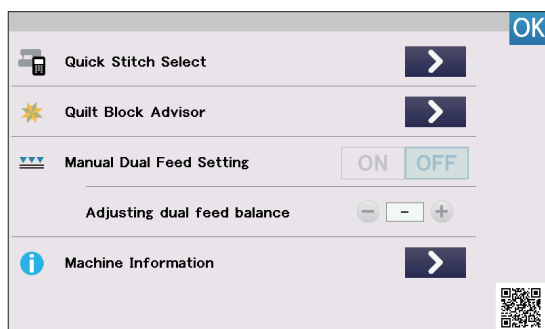
#### メモ：

- 手動上送り設定 (Manual Dual Feed Setting) を ON にしている場合、上送りぬい切りかえキー⑧はグレーになり選択できません。
- 模様 U8 と B14 など手動上送り設定に適さない模様は、グレーになり選択できません。



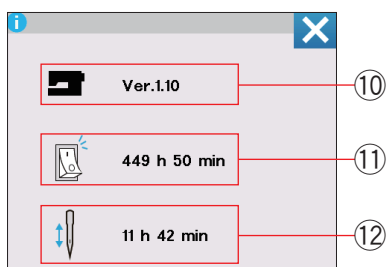
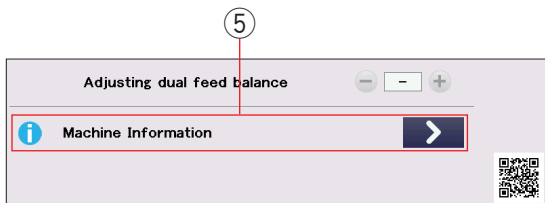
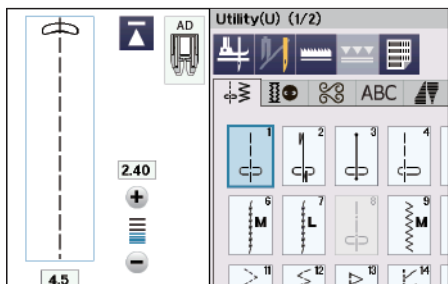
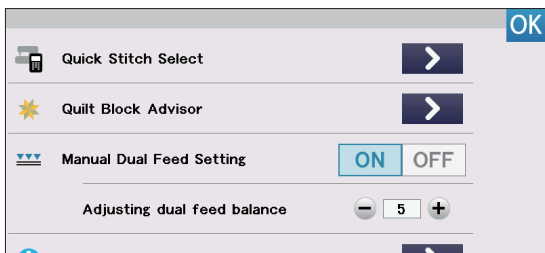
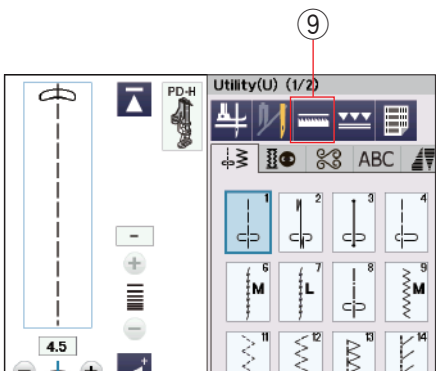
#### メモ：

- ぬい設定モード (Sewing Settings) の送り歯ドロップキー (Feed Dog) が ON になっている場合、手動上送り設定 (Manual Dual Feed Setting) はグレーになり選択できません。
- 送り歯をさげた状態で模様や用途選択が選択されている場合、手動上送り設定はグレーになり選択できません。



OK  
Dual feed sewing was canceled.

OK X  
Cancel Manual Dual Feed Setting  
and lower feed dog?



**メモ:**

通常ぬいで上送りぬいがオンになっている場合に、手動上送り設定 (Manual Dual Feed Setting) を「ON」にすると、手動上送り設定に切りかわります。

**メモ:**

- 手動上送り設定 (Manual Dual Feed Setting) が「ON」になっているとき、通常ぬいモードで送り歯ドロップキー ⑨ をオンにするとメッセージが表示されます。
- OK キーを押すと手動上送り設定がオフになり、送り歯がさがります。
- 送り歯ドロップキー ⑨ をオフにする場合、X キーを押します。

**メモ:**

通常ぬいモードで送り歯ドロップキー ⑨ がオンになっているとき、手動上送り設定 (Manual Dual Feed Setting) を「ON」にすると、上送りぬいのため、送り歯があがります。

**★ Machine information (マシン情報)**

ソフトウェアのバージョン、マシンの通電時間、マシン稼働時間を確認できます。

マシン情報 (Machine information) の **>** キー ⑤ を押して、マシン情報を表示させます。

- ⑩ ソフトウェアのバージョン
- ⑪ マシンの総通電時間
- ⑫ マシンの総稼働時間



## ● ミシンの設定

設定キーを押して、ミシン設定モードにします。  
お好みに合わせてミシンの設定を変更できます。

### ① 設定キー

ミシン設定のモードを下記 3 つのキーから選びます。

### ② ミシン設定モードキー

ミシン設定モードキーを押して、ミシン設定モードに入ります。

このモードでは、ミシンに関する設定を変更できます。  
(126 ~ 128 ページを参照)

### ③ 通常ぬい設定モードキー

通常ぬい設定モードキーを押して、通常ぬい設定モードに入ります。

このモードでは、通常ぬいに関する設定を変更できます。  
(128 ~ 130 ページを参照)

### ④ 言語設定モードキー

言語設定モードキーを押して、言語設定モードに入ります。  
このモードでは、画面メッセージに表示される言語を設定することができます。(130 ページを参照)

各モードでページを開くには、次ページキーを押すか、  
前ページキーを押します。

### ⑤ 前ページキー

### ⑥ 次ページキー

## ミシン設定の適用

設定を変更した場合、OK キーを押して新しい設定を適用します。

X キーを押すと、変更がキャンセルとなり、設定画面が終了します。

## ★ Machine Settings (ミシン設定モード)

### ① Buzzer Sound: 音量

キーを操作したときに鳴るブザーの音量を「+」キー、「-」キーで調整します。

「OFF」に設定したい場合、画面に「OFF」が表示されるまで「-」キーを押します。

### ② Screen Brightness: 画面のコントラスト

画面のコントラストを「+」キー、「-」キーで調整します。

### ③ Inch/mm: インチ/ミリ

画面に表示される数値の単位 (Inch/mm) を切りかえます。初期設定はミリです。

### ④ Bobbin winding speed: 下糸巻き速度

下糸巻きの最高速度を「+」キー、「-」キーで設定します。

次ページキーを押して、次のメニューに移動します。

### ⑤ Sewing Light: ライト

ライトは個別にオン/オフできます。

対応するライトのキーを押して、オンまたはオフにします。

ライトの明るさは、明るいか暗いかを選べます。

次ページキーを押して、次のメニューに移動します。

### ⑥ Date and Time Setting: 時間と日付設定

時計キー  を押して日付と時間を設定します。

「+」もしくは「-」キーを押して年、月、日、時間、分を設定します。時刻表示は 12 時間表示か 24 時間表示のどちらかを選ぶことができます。12 時間表示を選んだ場合、AM か PM も選べます。

⑦ 年

⑧ 月

⑨ 日

⑩ 時間

⑪ 分

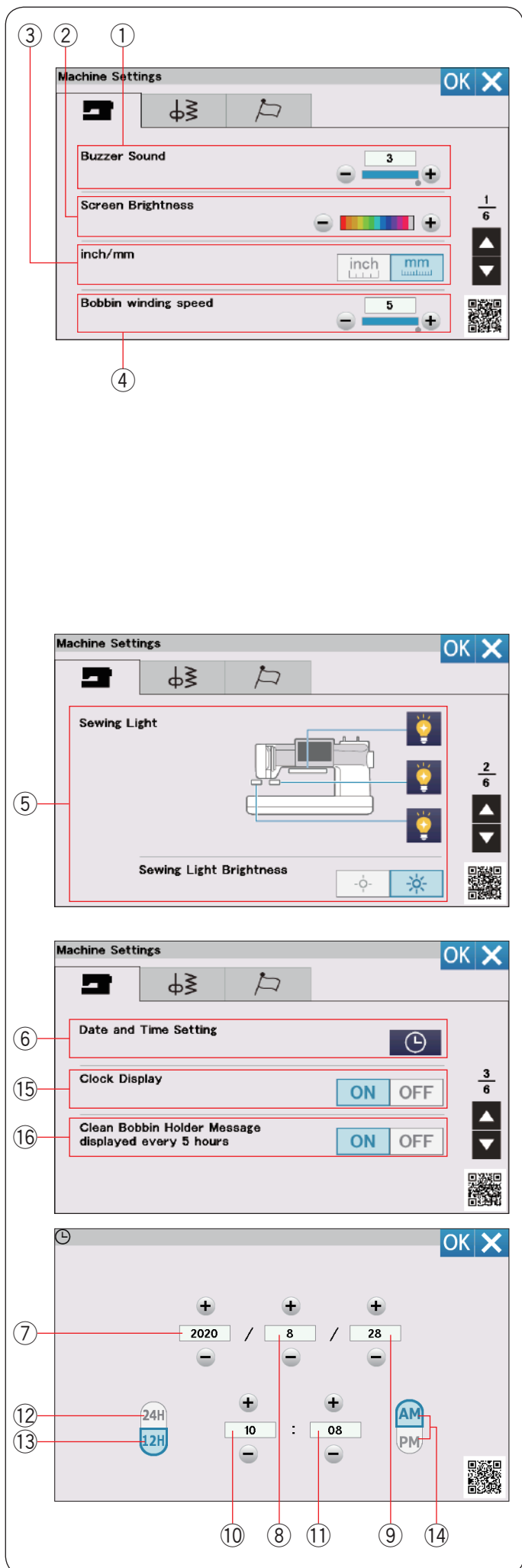
⑫ 24 時間表示

⑬ 12 時間表示

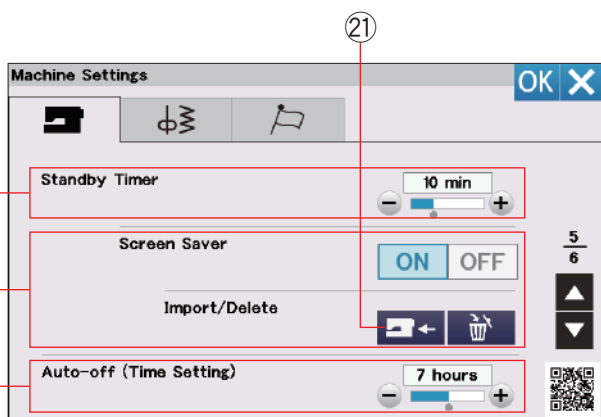
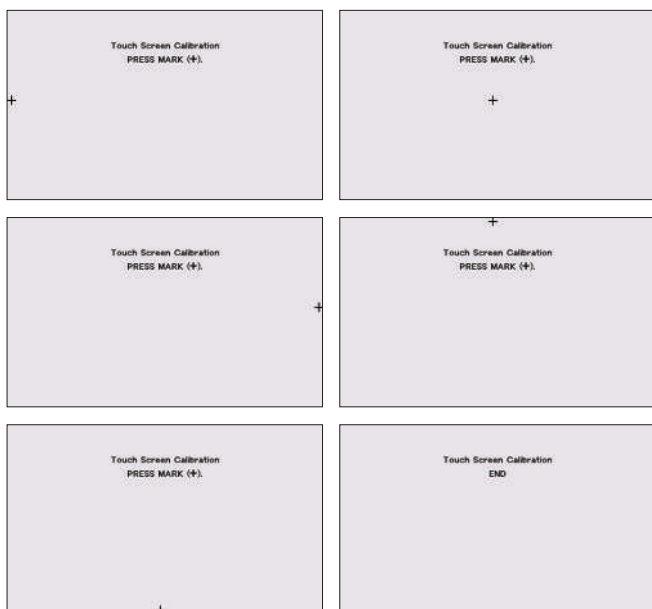
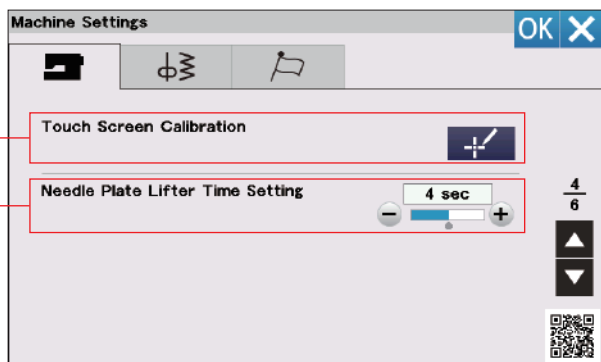
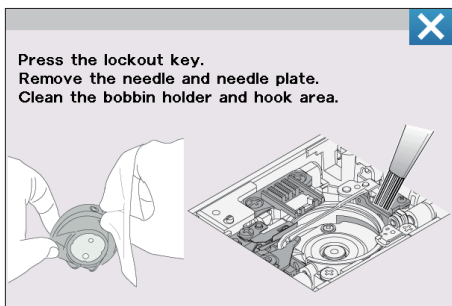
⑭ AM/PM

### ⑮ Clock Display: 時間の表示

時刻を画面上に表示するかを設定します。







### ⑩ Clean Bobbin Holder Message displayed every 5 hours:5 時間ごとの内がま掃除メッセージ表示設定

オンにすると、5 時間ごとに内がま、外がまの掃除をうながすメッセージ画面が表示されます。オフにすると、メッセージ画面は表示されません。次ページキーを押して、次のメニューに移動します。

### ⑪ Touch Screen Calibration: 画面キーの位置調整

画面上のキー表示の位置と実際のキーの位置がずれていて、うまく押せないと感じた場合などに調整します。



キーを押して調整モードに入ります。

「+」マークの中央をタッチペンで押していきます。最後の「+」マークを押すと、画面に「END」と表示され、位置調整画面が終了します。

### ⑫ Needle Plate Lifter Time Setting: 針板押しあげ時間の設定

針板を押しあげている時間を、2 ~ 6 秒のあいだで設定できます。

次ページキーを押して、次のメニューに移動します。

### ⑬ Standby Timer: 待機時間

電源を入れたままミシンを使用しない状態が続いた場合、一定時間が経過するとミシンのライトが消え、ミシンは待機状態となります。何らかの操作をすると、ライトと画面が再びオンとなります。

待機状態に入るまでの時間は、1 ~ 30 分のあいだで設定できます。

「OFF」に設定したい場合、画面に「OFF」が表示されるまで「+」キーを押し続けます。


### ⑭ Screen Saver: スクリーンセーバー

待機状態のあいだ、画面にスクリーンセーバーを表示するかどうかを「ON」/「OFF」キーで設定します。「ON」に設定すると、ミシンが待機状態になると画面にスクリーンセーバーが表示されます。

読み込みキーを押すと、USB メモリからスクリーンセーバーを読み込むことができます。

#### ⑮ 読み込みキー

PC Application Pack の CD-ROM に同梱のスクリーンセーバーツールを使用して、オリジナルのスクリーンセーバーを作成することができます。

削除キー  を押したり、内蔵メモリをフォーマットすると (128 ページ参照)、スクリーンセーバーのデータは削除されます。

### ⑯ Auto-off (Time Setting): 自動電源オフ (時間設定)

ミシンを使用しない状態で、設定した時間が経過するとミシンの電源が自動的に切れます。

自動で電源が切れる時間は、1 ~ 12 時間のあいだで設定できます。

「OFF」に設定したい場合、画面に「OFF」が表示されるまで「+」キーを押し続けます。

再度電源を入れるときは、電源スイッチをオンにしてください。

次ページキーを押して、次のメニューに移動します。

### ②③ Background Color: 背景色

画面の背景色をアイコンを押して選びます。

### ②④ Format: フォーマット

ミシンの内蔵メモリや、USB メモリが読み込めない場合、フォーマットしてください。

内蔵メモリをフォーマットする場合はミシンのアイコン、USB メモリフォーマットする場合は USB メモリアイコンを押し、フォーマット画面を表示させます。

「OK」キーを押してフォーマットします。

※ フォーマットすると、現在保存されている模様データがすべて消えます。

※ 本機で使用できる USB メモリのファイルシステムは FAT16 および FAT32 のみです。USB メモリが読み込めない場合は、ファイルシステムを確認してください。(140 ~ 141 ページ参照)

※ USB カードリーダー、および USB ハブは使用しないでください。

### ⚠ 注意:

画面に警告メッセージが出ているあいだ、電源を切ったり、USB メモリを抜いたりしないでください。データが消えるなど、損傷するおそれがあります。

### ②⑤ Reset All to Defaults: すべて初期状態にもどす

「YES」キーを押すと、全ての設定を初期の状態（工場出荷値）にもどします。

設定変更後は、ミシン設定画面の OK キーを押して変更した設定を適用します。

### ★ Sewing Settings (通常ぬい設定モード)

#### ① Thread Cut after Auto-Lock: オートストップ時の糸切り

「ON」に設定すると、ぬい終わりの止めぬいのあと、糸切りボタンを押さなくても自動で糸を切ることができます。

#### ② Needle Stop Position: 針停止位置

ボタンホール、特殊模様、文字ぬいなどをのぞいて、ミシンを停止したとき、常に針が下の位置にある状態で停止します。上位置停止キーで針停止位置を上位置に変更できます。

### メモ:

ピボットぬい設定をオンにしていると、「針停止位置」を上停止位置に設定しても針は下位置で止まります。

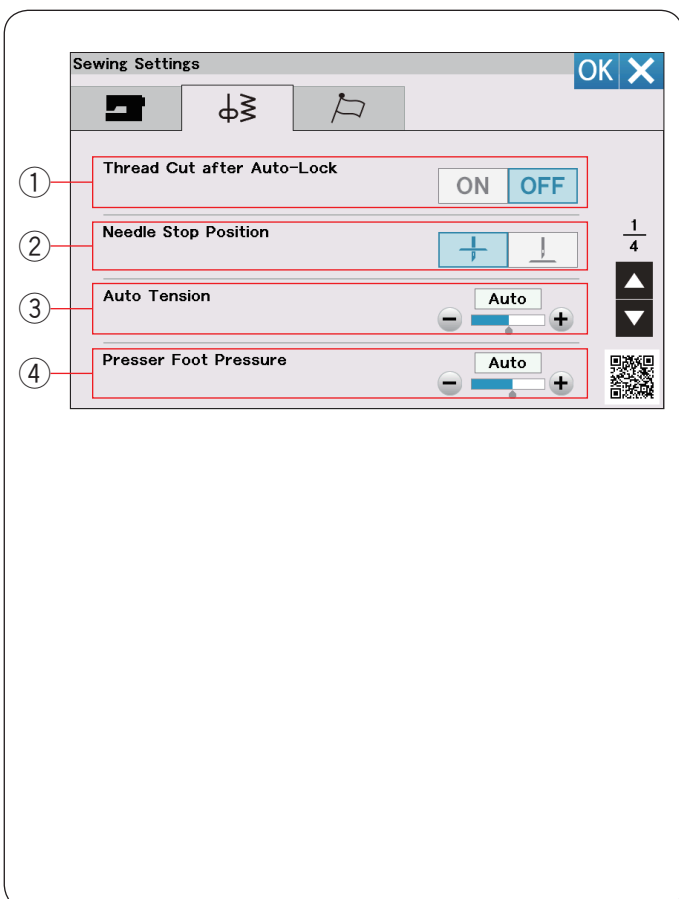
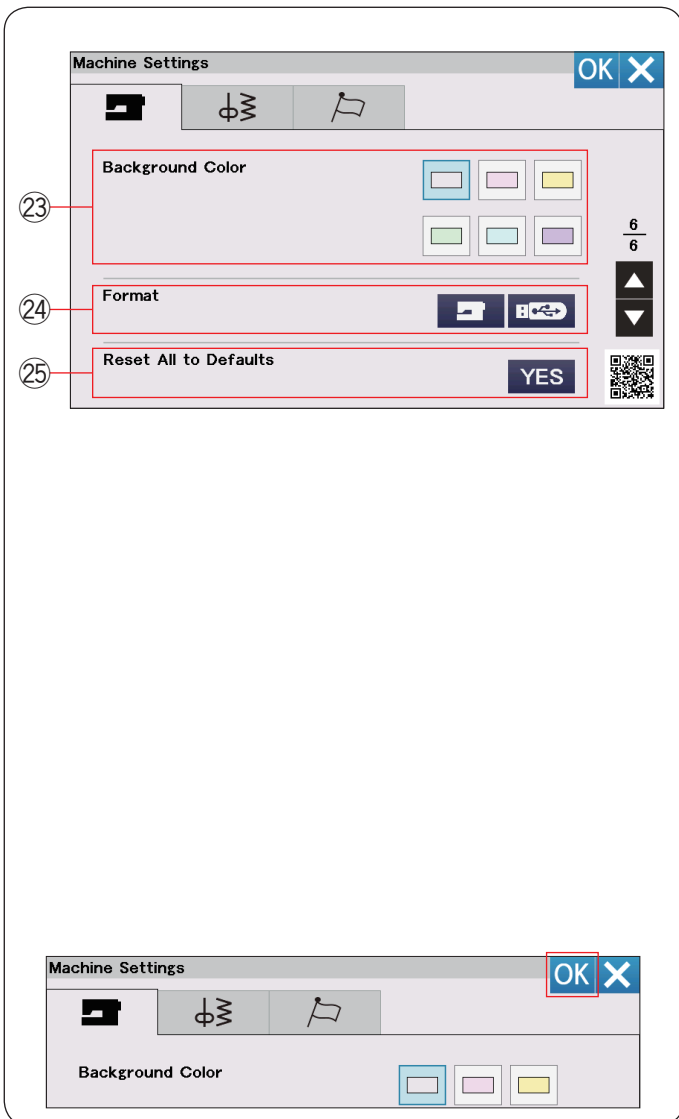
#### ③ Auto Tension: 自動糸調子

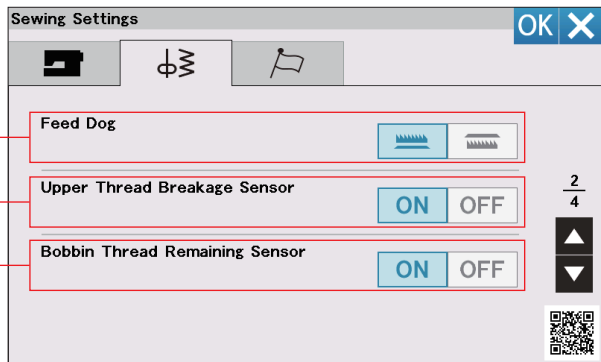
自動で設定される糸調子の値をすべての模様に対して、「+」、「-」キーで強くしたり、弱くしたりできます。

#### ④ Presser Foot Pressure: 押さえ圧

押さえ圧は適切になるよう自動で調整されますが、「+」、「-」キーで好みの押さえ圧に調整できます。

次ページキーを押して、次のメニューに移動します。





⑤

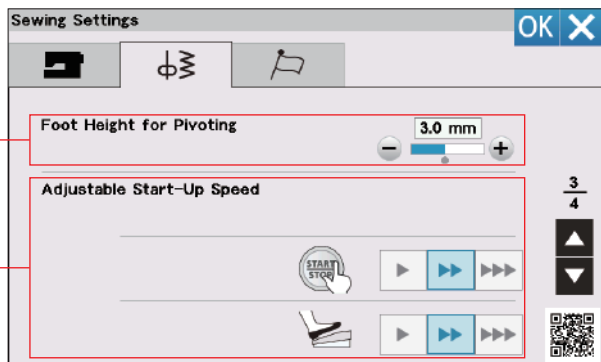
Feed Dog

⑥

Upper Thread Breakage Sensor

⑦

Bobbin Thread Remaining Sensor



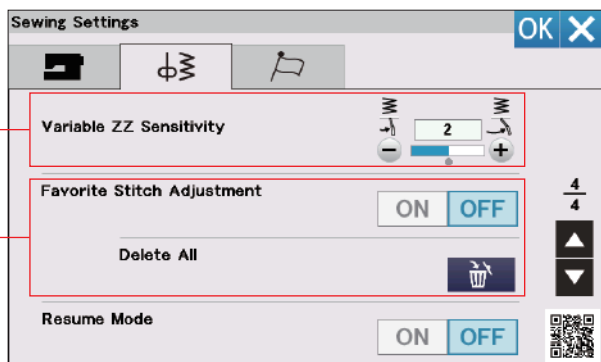
⑧

Foot Height for Pivoting

3.0 mm

⑨

Adjustable Start-Up Speed



⑩

Variable ZZ Sensitivity

2

⑪

Favorite Stitch Adjustment

Delete All

Resume Mode

### ⑤ Feed Dog: 送り歯

送り歯をさげた状態でかざりぬいや用途ぬいをしたい場合、送り歯ドロップキーを押して、送り歯をさげます。

### ⑥ Upper Thread Breakage Sensor: 上糸切れ検知

「ON」の場合、ぬい途中に上糸が切れた場合にミシンを自動で停止します。上糸切れ検知機能を切りたいときは「OFF」に設定してください。

### ⑦ Bobbin Thread Remaining Sensor: 下糸残量

「ON」の場合、下糸の残量が少なくなった場合にミシンを自動で停止します。下糸残量検知機能を切りたいときは「OFF」に設定してください。

次ページキーを押して、次のメニューに移動します。

### ⑧ Foot Height for Pivoting: 押さえ上げ高さ (ピボット)

ピボットぬい設定がオンの場合、ミシンを止めたときに押さえが自動的にあがります。

布の厚みに合わせて、押さえをあげたときの押さえの高さを「+」か「-」キーを押して調整できます。

### ⑨ Adjustable Start-Up Speed: スロースタート調整

ミシンをスタートさせたとき、ぬい始めの速度はゆっくり動き始めてから、徐々にスピードコントロールつまみで設定した速さになります。ぬい始めの速度を「遅い」、「普通」、「速い」キーを押して設定します。またスタート/ストップボタンとフットコントローラーの速度をそれぞれ個別に設定できます。

次ページキーを押して、次のメニューに移動します。

### ⑩ Variable ZZ Sensitivity: バリャブル ZZ 感度調整

バリャブル ZZ (可変ジグザグ) をぬうとき、ニーリフトで動く量を調整できます。


「1」に設定すると、ニーリフトを少し動かすだけで、針棒が動く設定に、「3」に設定すると、ニーリフトを大きく動かすと、針棒が動く設定になります。

「-」キーを押して感度をあげます。

「+」キーを押して感度を下げます。

### ⑪ Favorite Stitch Adjustment (ステッチの調整値を保存 (FS))

各模様ステッチ調整値を保存したい場合、「ON」にします。「OFF」にした場合、変更した全模様ステッチ調整値は初期の状態 (購入時の設定状態) にもどります。

削除キー  を押すとステッチ調整値は削除されます。

#### メモ:

ステッチ調整値の保存は、文字ぬいおよびユーザー作成模様以外のぬいに適用されます。

## ⑫ リジューム機能

電源を切る直前にぬった模様を記憶させたい場合、オンにします。

再びミシンの電源を入ると、確認メッセージが表示されます。OK キーを押すと電源を切る直前にぬった模様が表示されます。

### メモ：

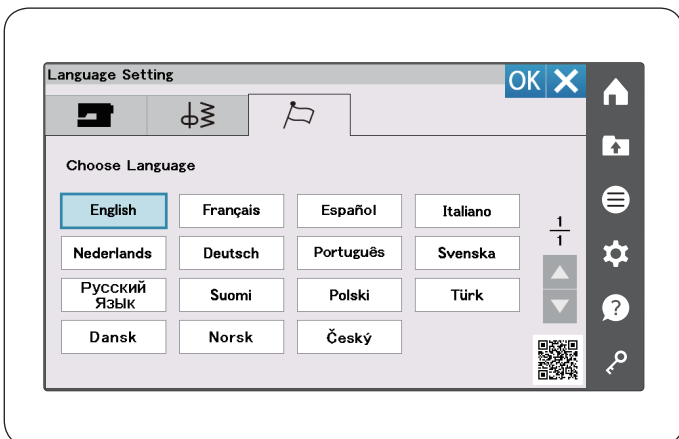
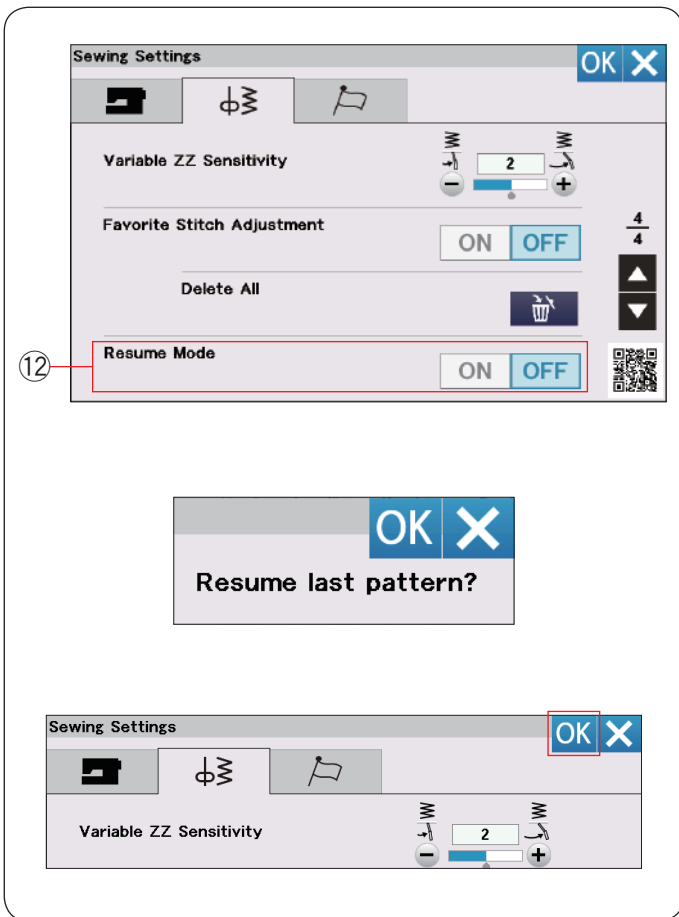
以下の条件では、最後にぬった模様の記憶が削除されます。

- ユーザー作成模様 (CS) を読み込みキーで読み込んだとき。
- ユーザー作成模様 (CS) を削除キーで削除したとき。
- 内蔵メモリをフォーマットしたとき。

設定変更後は、通常ぬい設定画面の OK キーを押して変更した設定を適用します。

## ★ Language Setting (言語設定モード)

お好みの言語を選択して、「OK」キーを押します。選択した言語でメッセージが表示されます。



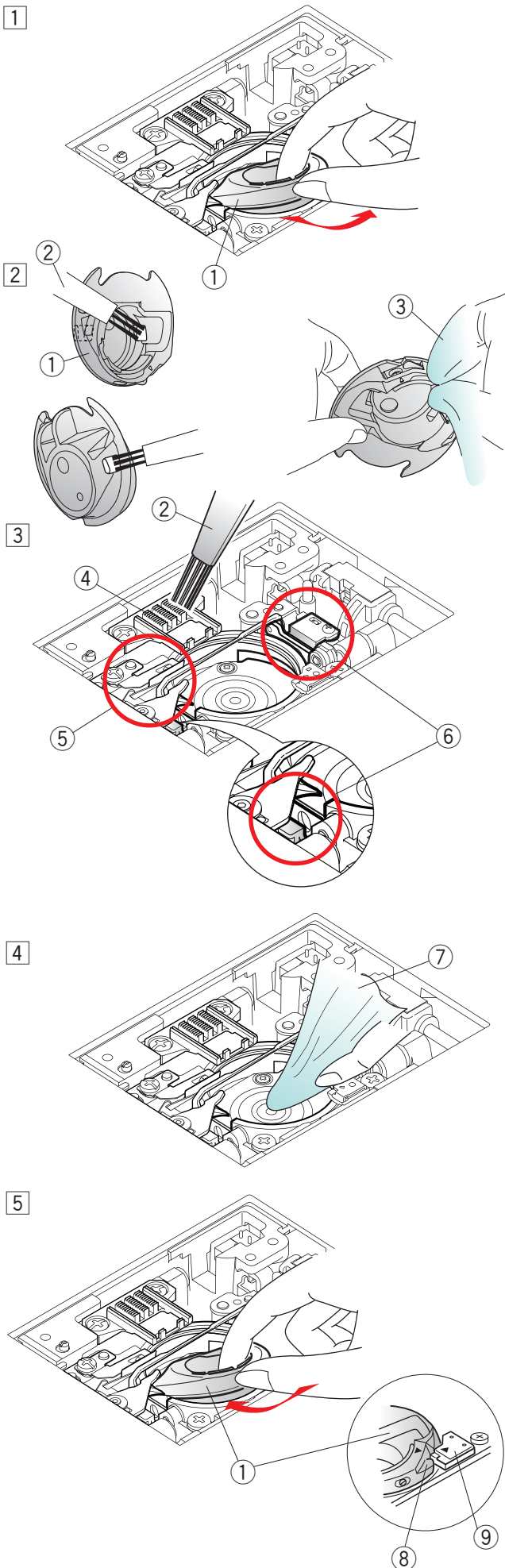
## ◎ ミシンのお手入れ

### ● かまと送り歯、糸切り部の掃除

最低月に一度はかまの掃除をしてください。

#### ⚠ 警告：

お手入れのときは、必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントからぬいてください。  
説明されている場所以外は、分解しないでください。  
感電・火災・けがの原因となります。



#### ① 針板を外します。(33 ページ参照)

電源スイッチを切り、コンセントを抜きます。  
針と押さえを外します。  
ポビンと内がまを取り出します。

① 内がま

#### ② 内がまをミシンブラシで掃除します。

外側と内側をやわらかい布でふいてください。

② ミシンブラシ

③ やわらかい布

#### ③ 送り歯、自動糸切り部と下糸検知センサーのまわりをミシンブラシで掃除します。

④ 送り歯

⑤ 自動糸切り部

⑥ 下糸検知センサー

#### ④ 外がまをやわらかい布でふきます。

⑦ やわらかい布

#### お願い

- ミシンの使用頻度が高い場合は、上記お手入れでは取りのぞけない部分に糸くずやほこりがたまり、ぬい不良の原因となります。定期的にミシン内部の掃除をすることをおすすめします。お買い上げの販売店にご相談ください。
- ミシンへの注油は出荷時に十分行っています。ご自身での注油は行わないでください。故障の原因となります。

#### ⑤ 内がまの凸部が外がまのストッパーに当たるように、内がまをさしこみます。

※ 内がまを取り付けたあと、はずみ車を手でゆっくり手前にまわし、外がまがスムーズにまわることを確認してください。

針板を取り付け、押さえと針を取り付けます。

⑧ 凸部

⑨ ストッパー

## ● 模様形の整え方

布の種類やぬい速度、重ねる布の数など、ぬいの条件によって模様形がくずれる場合があります。

必ず同じ布地で試しぬいをしてください。

かざりぬい、文字、数字、ボタンホールなどの形がくずれる場合、送り調整ねじをまわして調整してください。

- ① 送り調整ねじ
- ② 標準位置

### メモ：

- 左図のように指示線を垂直にした位置が、標準的な条件での模様を正しくぬえる目安の位置です。
- ぬい終わったら、送り調整ねじを標準位置にもどしてください。

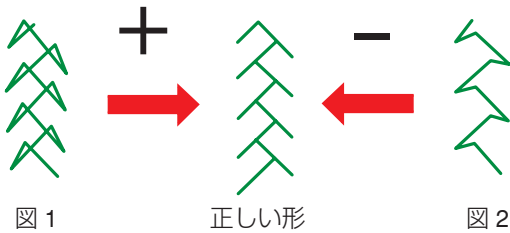
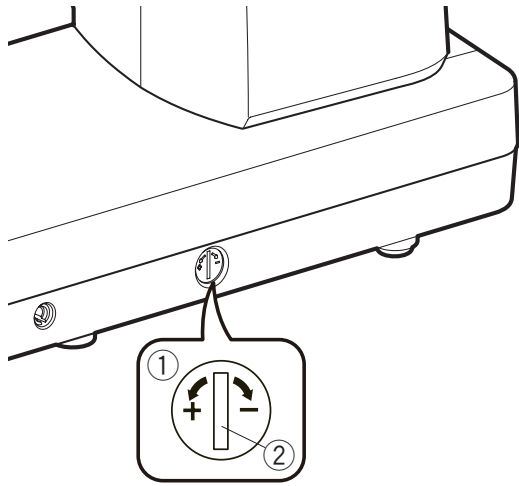


図 1

正しい形

図 2

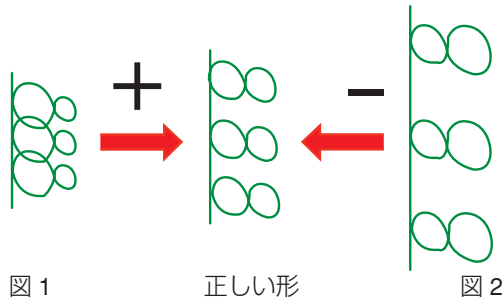


図 1

正しい形

図 2

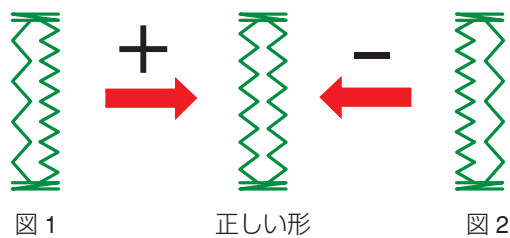


図 1

正しい形

図 2

### 【模様形の整え方】(キルト模様 23 の例)

- 図 1 のように模様がつまっているときは、送り調整ねじを「+」方向にまわします。
- 図 2 のように模様が伸びているときは、送り調整ねじを「-」方向にまわします。

### 【文字や数字の形の整え方】(数字 8 の例)

- 図 1 のように数字がつまっているときは、送り調整ねじを「+」方向にまわします。
- 図 2 のように数字が伸びているときは、送り調整ねじを「-」方向にまわします。

### 【ニットボタンホールの左右のぬい目のあらかさの整え方】

#### (ボタンホール 10 の例)

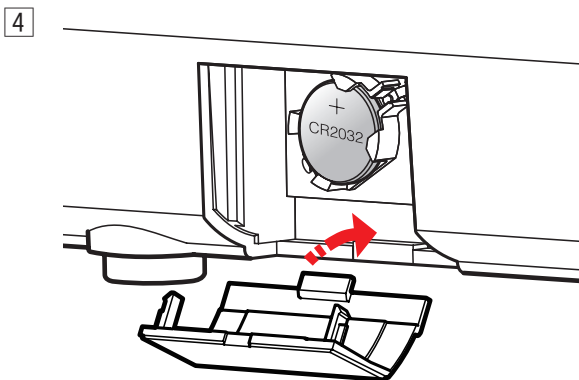
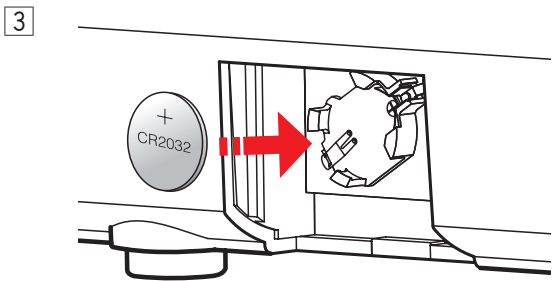
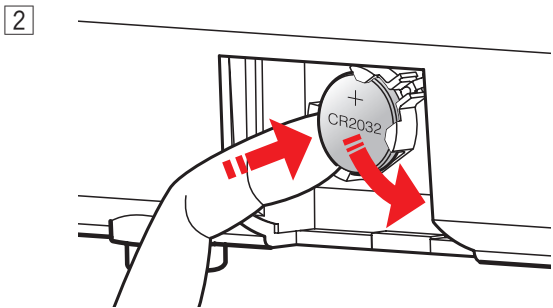
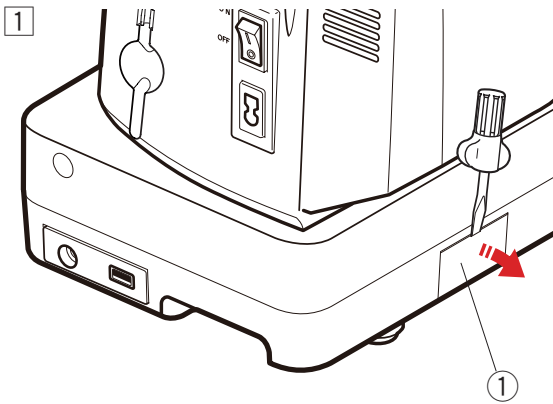
- 図 1 のように左側があらいつきは、送り調整ねじを「+」方向にまわします。
- 図 2 のように右側があらいつきは、送り調整ねじを「-」方向にまわします。

## ● 内蔵時計用ボタン電池の交換方法

電源を入れたとき、画面に表示される内蔵時計がいつも「0:00」を指す場合、ミシンのボタン電池を交換してください。

### ⚠ 警告：

- 取り扱いを誤ると、電池が爆発するおそれがあります。電池を充電したり、分解したり、燃やしたりしないでください。
- 電池を交換する前に電源を切ってください。
- ボタン電池は必ず「CR2032」を使用してください。「CR2032」以外の電池を使用すると、発火や爆発の原因となります。
- やけどするおそれがあります。小さなお子様がふれないようにしてください。
- 不要になった電池は、お住まいの自治体の取り決めにしたがって適切に廃棄してください。



① ドライバーでカバー①を外します。

① カバー

② ボタン電池を取り外します。

③ 「+」マークが表になるよう、ボタン電池「CR2032」を取り付けます。

④ カバーを取り付けます。  
ボタン電池を交換したあと、再び時計を設定します。  
(126 ページを参照)

## ● 針板交換方法（非常用）



### 注意：

ミシンの運転中に針板開放ダイヤルを絶対に回さないでください。

針板開放キー①を押しても針板が外れない場合、針板開放ダイヤルで針板を取り外すことができます。

① 針板開放ダイヤルキャップ②をドライバーで外します。

② 針板開放ダイヤルキャップ

② 針板開放ダイヤルをドライバーで時計回りにまわし、針板を取り外します。

③ 針板開放ダイヤル

③ 針板が固定されていないとの警告メッセージが表示されます。

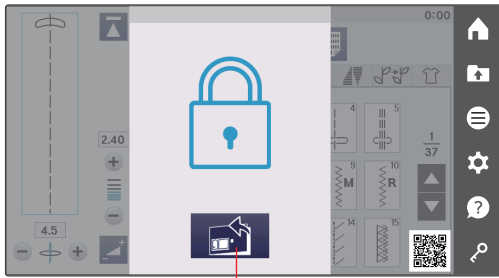
針板開放ダイヤルをドライバーで反時計回りにまわし、ダイヤルを設定位置に合わせます。

針板を取り付けます。

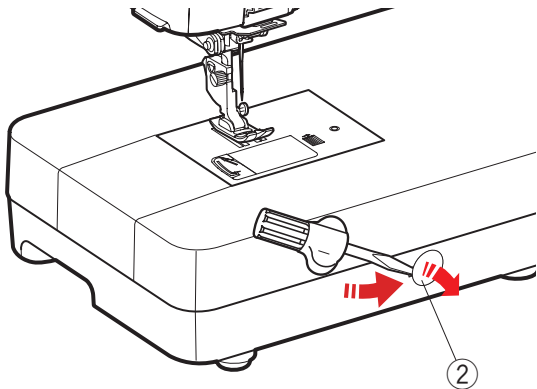
④ 設定位置

④ メッセージが表示されます。

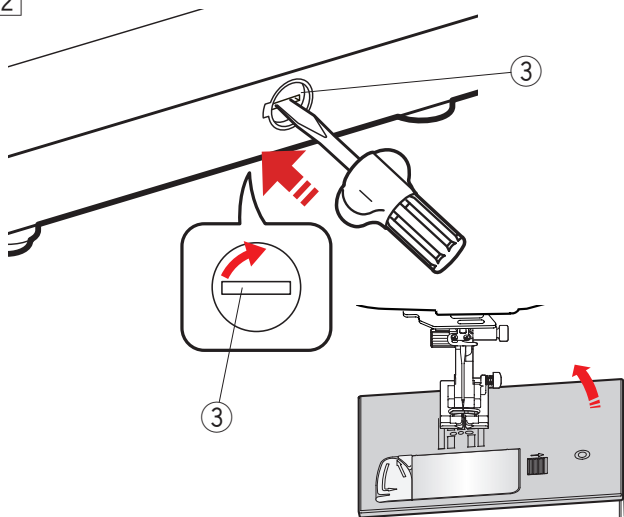
適切な押さえを取り付けたあと、OK キーを押します。



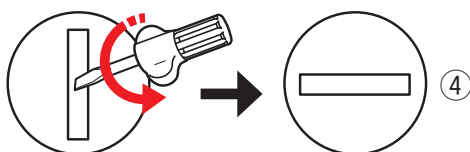
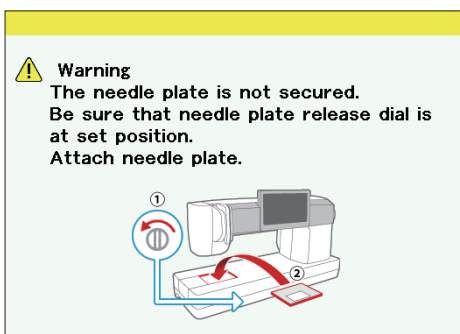
①



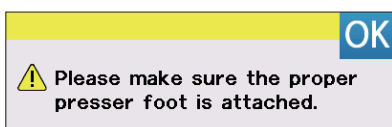
②



③



④





## ● メッセージ画面一覧

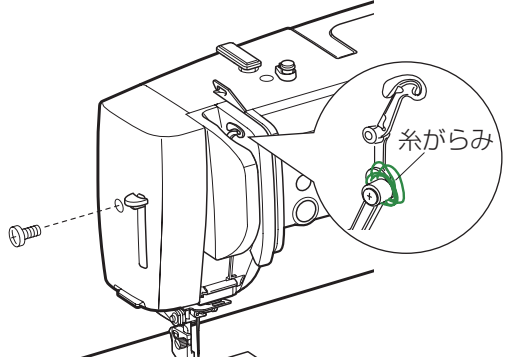
警告音とともにタッチパネルに表示が出た場合は、下の対処法にしたがってください。

メッセージ画面	原因	解決法
 <p>Remove Foot Control.</p>	フットコントローラーが接続された状態で、スタート/ストップボタンを使用したときに表示されます。	フットコントローラーを外し、スタート/ストップボタンを使用してください。
 <p>Warning</p>	フットコントローラーが故障しているときに表示されます。	お客様相談窓口（巻末に記載）もしくは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
 <p>Pull down BH Lever.</p>	ボタンホール切りかえレバー（BH Lever）をさげずにミシンをスタートさせると、少しだけぬってミシンが停止し、表示されます。	ボタンホール切りかえレバーをさげてミシンを再スタートさせてください。
 <p>Check the needle. Twin needle setting was canceled.</p>	2本針ぬいに対応していない模様を選択して2本針ぬい切りかえキーを押したときに表示されます。	2本針を1本針に交換し、OKキーを押してください。
 <p>Raise the Feed Dog and start.</p>	送り歯をさげた状態でミシンをスタートさせた。	送り歯をさげてぬいたい場合を除き、送り歯をあげてミシンをスタートさせてください。
 <p>Warning The needle plate is not secured.</p>	針板が外れているときに表示されます。  針板が正しい設定位置に取り付けられていないときに表示されます。	針板を取り付けます。 正しく取り付けられているかチェックしてください。  針板が設定位置にカチッと納まるよう、指で押してください。
 <p>Warning The needle plate is not secured. Be sure that needle plate release dial is at set position. Attach needle plate.</p>	針板開放ダイヤルをまわして針板を取り外したときに表示されます。	針板開放ダイヤルをまわし、セット位置にして、針板を取り付けます。
 <p>Warning Is something stuck in machine? Is cloth too thick? Is needle bent? Check the above and restart.</p>	ミシンのモーターに高い負荷がかかったときに表示されます。	15秒間待ち、再スタートしてください。天びん、内がま、糸切り装置周辺にからまった糸を取り除いてください。

● ミシンの調子が悪いときの直し方

調子が悪い場合	その原因	直し方
上糸が切れる	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 上糸のかけ方がまちがっているか、糸が必要以外のところからみついている。</li> <li>2. 上糸調子が強すぎる。</li> <li>3. 針が曲がったり、つぶれていたりする。</li> <li>4. 針の付け方がまちがっている。</li> <li>5. 針に対して糸が太すぎるか、細すぎる。</li> <li>6. 糸がかまなどにかからまっている。</li> <li>7. めい始めに上糸を引き出して、押さえで押さえていない。</li> <li>8. フリーモーションキルトで、布を動かすのが速すぎる。</li> <li>9. 糸こまに上糸がかからまっている。</li> </ol>	<p>29-30 ページ参照</p> <p>48 ページ参照 針を交換する</p> <p>23 ページ参照</p> <p>24 ページ参照</p> <p>131 ページ参照</p> <p>38 ページ参照</p> <p>116 ページ参照 糸こま押さえを使用する</p>
下糸が切れる	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 下糸の通し方がまちがっている。</li> <li>2. 内がまに糸くずがたまっている。</li> <li>3. ボビンに傷があり、なめらかに回転しない。</li> </ol>	<p>28 ページ参照</p> <p>131 ページ参照 ボビンを交換する</p>
針が折れる	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 針の付け方がまちがっている。</li> <li>2. 針が曲がったり、つぶれていたりする。</li> <li>3. 針止めねじのしめつけがゆるい。</li> <li>4. 布に対して針が細すぎる。</li> <li>5. 模様にあった押さえを使用していない。</li> <li>6. フリーキルト押さえ (QV、PD-H、QO、QC) を使用している場合に布を手前に引っ張っている。</li> </ol>	<p>23 ページ参照 針を交換する</p> <p>23 ページ参照</p> <p>24 ページ参照 模様にあった押さえに交換する</p> <p>116 ページ参照</p>
めい目がとぶ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 針の付け方がまちがっているか、針がまがっていたり、にぶっていたりする。</li> <li>2. 布に対して針と糸が合っていない。</li> <li>3. 伸縮性のある布やうすい生地など、めい目がとぶようなときに、付属のジャンメブルー針やパール針を使っていない。</li> <li>4. 上糸のかけ方がまちがっている。</li> <li>5. 品質の悪い針を使用している。</li> <li>6. 厚い布をぬうのにパール針を使用していない。</li> </ol>	<p>23 ページ参照</p> <p>24 ページ参照</p> <p>24 ページ参照</p> <p>29-30 ページ参照 針を交換する</p> <p>24 ページ参照</p>
めい目がしわになる	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 上糸調子が強すぎる。</li> <li>2. 上糸のかけ方がまちがっているか、糸が必要以外のところからみついている。</li> <li>3. 布に対して針が太すぎる。</li> <li>4. 布に対してめい目があらずすぎる。</li> <li>5. 押さえ圧が合っていない。</li> <li>6. うすい布や伸縮性のある布のとき、芯地を使っていない。</li> </ol>	<p>48 ページ参照</p> <p>29-30 ページ参照</p> <p>24 ページ参照 めい目を細かくする</p> <p>48 ページ参照 芯地を貼る</p>
布送りがうまくいかない	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 送り歯に糸くずがたまっている。</li> <li>2. めい目が細かすぎる。</li> <li>3. 送り歯があがっていない。</li> </ol>	<p>131 ページ参照 めい目をあらくする</p> <p>36 ページ参照</p>
めい目に輪ができる	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 上糸調子が弱すぎる。</li> <li>2. 布に対して針が太すぎるか細すぎる。</li> </ol>	<p>48 ページ参照</p> <p>24 ページ参照</p>
糸切りボタンでうまく糸が切れない	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 糸が太すぎる。</li> <li>2. 糸が自動糸切り部にかからまっている。</li> </ol>	<p>15 ページ参照</p> <p>131 ページ参照</p>
ボタンホールがうまくぬえない	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 布に対してめい目のあさが合っていない。</li> <li>2. 伸縮性のある布のとき、芯地を使っていない。</li> <li>3. ボタンホール切りかえレバーがさがっていない。</li> </ol>	<p>57 ページ参照 芯地を貼る</p> <p>55 ページ参照</p>

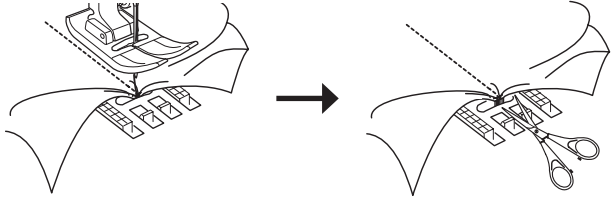
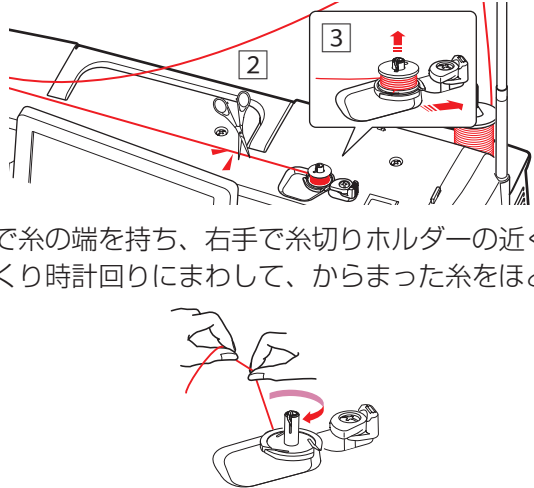
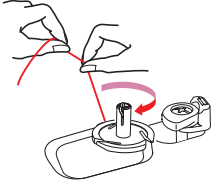
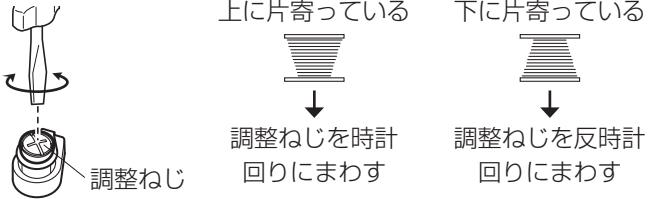
調子が悪い場合	その原因	直し方
音がうるさい	1. 糸が外がまにからまっている。 2. 糸くずが外がまや内がまにたまっている。 3. 送り歯にごみがたまっている。 4. 電源投入時、制御モーターからわずかな共鳴音が出る。	131 ページ参照 131 ページ参照 131 ページ参照 異常ではありません
ぬい目に下糸が出る	1. ボビンのセットがまちがっている。 2. 糸こまのセットがまちがっている。 3. 上糸のかけ方がまちがっている。 4. 上糸調子が強すぎる。 5. ジャノメのボビンを使用していない。	28 ページ参照 25 ページ参照 29-30 ページ参照 48 ページ参照 25 ページ参照
ぬい始めの糸がらみ	1. 上糸のかけ方がまちがっている。	29-30 ページ参照
うすい布、伸縮性の布の食い込み	1. 布に対して針と糸が合っていない。 2. 左針位置でぬっていない。	24 ページ参照 左針位置でぬう
上糸が抜ける	1. 上糸のかけ方がまちがっている。 2. ぬい始めに布に針をさしていない。	29-30 ページ参照 38 ページ参照
ぬい終わりに下糸が二重に出てくる	1. 針が上まであがっていない。	上下停針ボタンを押して針をあげる
かまに糸がからまる	1. 上糸のかけ方がまちがっている。 2. かまにキズがある。 3. 内がまの入れ方がまちがっている。	29-30 ページ参照 かまを交換する 131 ページ参照
フットコントローラーをふんでも動かない	1. フットコントローラーをふんだ状態で電源スイッチを入れた。	電源スイッチを入れてからフットコントローラーをふむ
糸通しができない	1. 針が上にあがっていない 2. 糸が糸通しのみぞに入っていない。 3. 針の付け方がまちがっているか、針が曲がっている。	31 ページ参照 31 ページ参照 23 ページ参照
模様がきれいにぬえない	1. ボビンのセットがまちがっている。 2. 上糸調子が強すぎる。 3. ぬい目があらずすぎる。 4. 指定の押さえを使用していない。 5. 布の種類や厚さ、ぬい速度などに対してミシンの送り調整が合っていない。 6. うすい布や伸縮性のある布のとき、芯地を使っていない。	28 ページ参照 48 ページ参照 47 ページ参照 指定の押さえを使用する 132 ページ参照 芯地を貼る
模様選択キーが反応しない	1. キーの位置が正しく調整されていない。	127 ページ参照
模様選択キーが選択不可 / グレーになっている	1. 直線ぬい用針板がミシンに取り付けられている。 2. 上送りぬい切りかえキーがオンになっている。 3. 2本針ぬい切りかえキーがオンになっている。	33 ページ参照 41 ページ参照 79 ページ参照
画面が見にくい	1. 画面の明るさが合っていない。	126 ページ参照
ぬい目の幅が7.0より大きく設定されているときに、上糸が布の裏に出てしまう	1. 糸調子が合っていない。	48 ページ参照

調子が悪い場合	その原因	直し方
ミシンが動かない	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 電源のつなぎ方がまちがっている。</li> <li>2. かまに糸やごみがたまっている。</li> <li>3. ボビンに糸がからまっている。</li> <li>4. 押さえ上げがさがっていない。</li> <li>5. 上糸が外れ、ボビンにからまっている（ガチャガチャ音がする）。</li> <li>6. 上糸が天びんから外れ、ほかの部品にからまっている。</li> </ol>  <ol style="list-style-type: none"> <li>7. フットコントローラーが接続された状態で、スタート/ストップボタンを押している。</li> </ol>	<p>10-11 ページ参照 131 ページ参照 ボビンの糸を確認する 19 ページ参照 からまっている糸を取る [からまっている糸の取り方]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 電源スイッチを切る</li> <li>② プラスドライバーでしめねじを外し、片方の手でささえながら面板を外します。 ※ プラスドライバーは標準付属に含まれていません。</li> <li>③ からまっている糸を取る</li> <li>④ 上糸をかけ直す (29-30 ページ参照)</li> <li>⑤ 面板をしめる</li> </ol> <p>11 ページ参照</p>
下糸検知センサーが作動しない (下糸がなくなっても警告音が鳴らず、ミシンが停止しない)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「Bobbin Thread Remaining Sensor (下糸残量)」が「OFF」になっている。</li> <li>2. 下糸検知センサーのまわりに糸くずがたまっている。</li> <li>3. ジャノメのボビンを使用していない。</li> </ol>	<p>129 ページ参照 131 ページ参照 25 ページ参照</p>
ボビンに十分な糸が巻かれているのに、「Bobbin thread is not sufficient. Bobbin winding is necessary. (下糸が不足しています。下糸巻きを行ってください。)」というメッセージが表示されてミシンが停止する	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 角板の近くを白色電球や LED ライトなどの強い光で照らしている。</li> </ol>	角板付近に強い光を当てない
USB メモリが機能しない	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. USB メモリのデータが壊れている。</li> <li>2. USB メモリのファイルシステムが本機に対応していない。</li> </ol>	<p>フォーマットをする (128 ページ参照) 140 ~ 141 ページ参照</p>

※ 静かな部屋で使うと「ウィーン」という小さな音がする場合があります。内部の制御モーターから発生しているもので、ぬい作業上はとくに問題はありません。

※ 長時間使うと操作ボタンやタッチパネル付近の温度が少し高くなります。内部の制御部の発熱によるもので、ぬい作業上はとくに問題はありません。

※ 外観の細い線のように見える部分は、樹脂を形成するときに発生するウェルドラインと呼ばれるものです。場所によっては目立つ場合もありますが、強度上とくに問題はありません。

調子が悪い場合	その原因	直し方
<p>布の裏で糸がからまる</p>	<p>1. 上糸のかけ方がまちがっている。</p>	<p>29-30 ページ参照</p> <p><b>[からまっている糸の取り方]</b></p> <p>① 電源スイッチを切る</p> <p>② 押さえ上げと針をあげ、ハサミで布の裏の糸を切る</p>  <p>③ 針板を外す (33 ページ参照)</p> <p>④ ボビン、内がまを外し、からまっている糸を取る (131 ページ参照)</p> <p>⑤ 内がま、ボビンをセットし、針板を取り付ける (28、33、131 ページ参照)</p> <p>⑥ 上糸をかけ直す (29-30 ページ参照)</p>
<p>ボビンにうまく下糸が巻けない・糸切りホルダーの下にからまる</p>	<p>1. 下糸のかけ方がまちがっている。</p> <p>2. ボビンの上または、下に巻きが片寄っている。</p>	<p>27 ページ参照</p> <p><b>[糸切りホルダーの下にからまっている糸の取り方]</b></p> <p>① ミシンを止める</p> <p>② 糸巻糸案内側の糸を切る</p> <p>③ ボビン押さえを右側に押して糸巻軸からボビンを外し、ボビンと軸のあいだで糸を切る</p>  <p>④ 左手で糸の端を持ち、右手で糸切りホルダーの近くの糸をゆっくり時計回りにまわして、からまった糸をほどく</p>  <p>⑤ 下糸を巻き直す (27 ページ参照)</p> <p>調整ねじをまわす</p> <p><b>注意：</b> 調整ねじをまわす範囲は 1 回転までにしてください。 部品が外れます。</p>  <p>上に片寄っている 調整ねじを時計回りにまわす</p> <p>下に片寄っている 調整ねじを反時計回りにまわす</p>

## ● USB メモリをフォーマットする

本機で使用できる USB メモリのファイルシステムは FAT16 および FAT32 のみです。

お使いの USB メモリがミシンで読み込めない場合、Windows 搭載のパソコンでフォーマットするか、読み取り可能なほかの USB メモリを使用してください。

※ フォーマットは、必ず Windows 11 もしくは Windows 10 搭載のパソコンで行ってください。

※ フォーマットの方法は、Windows 11 を使用して説明しています。

① タスクバーにある「エクスプローラー」① をクリックします。

「USB ドライブ」② を右クリックし、「フォーマット...」③ をクリックします。

② フォーマットダイアログが表示されます。

「ファイルシステム (F)」④ から「FAT16」または「FAT32」を選択します。

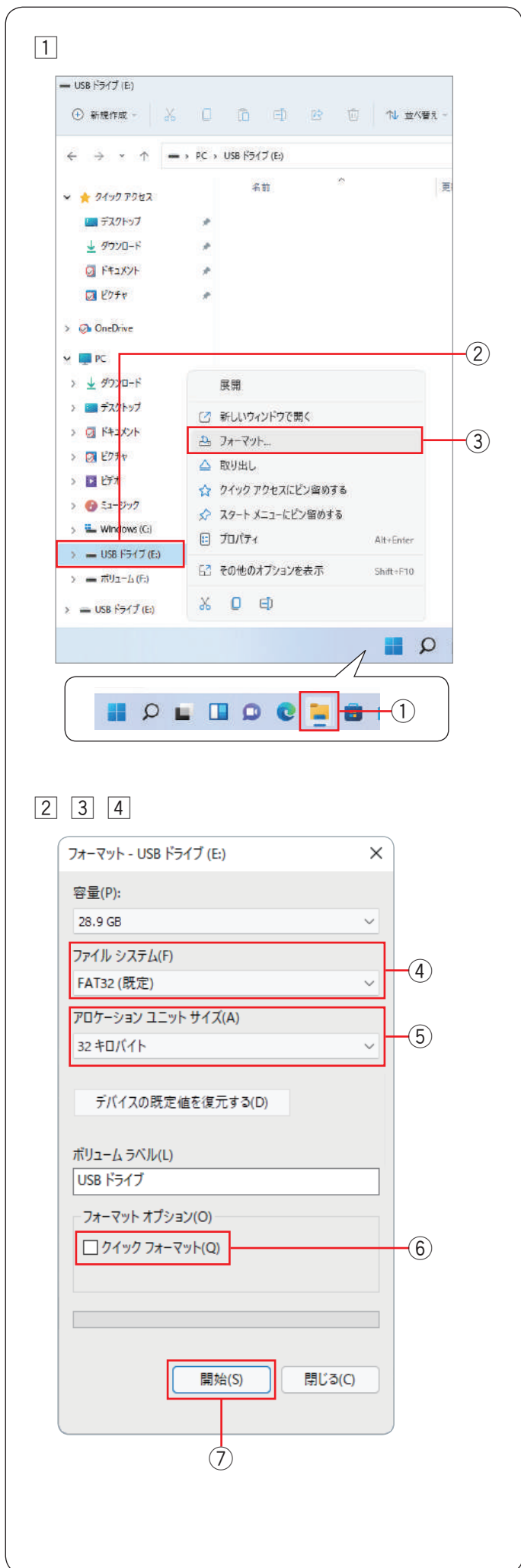
※ 「FAT16」または「FAT32」が選択できない場合は、ほかのパソコンを使用してください。

③ 「アロケーションユニットサイズ (A)」⑤ から、32 キロバイト以下のサイズを選択してください。

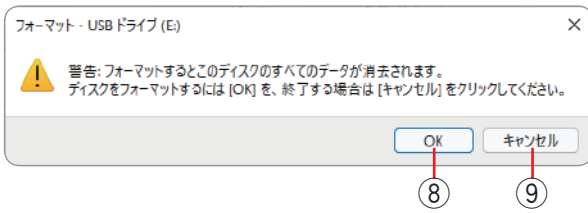
※ 「クイックフォーマット (Q)」のチェック⑥ は外してください。

④ 「開始 (S)」⑦ をクリックします。

※ Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。



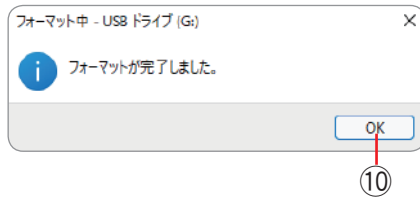
5



5 確認メッセージが表示されます。「OK」⑧をクリックしてフォーマットを開始します。

※ USB メモリに重要なデータが残っている場合は、「キャンセル」⑨をクリックします。データをほかの場所に保存し、手順①（前ページ参照）からやり直してください。

6

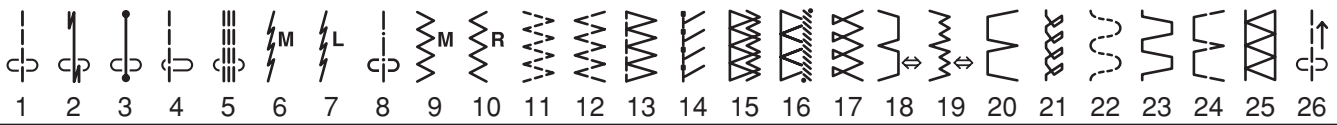


6 フォーマットが完了するとメッセージが表示されず。

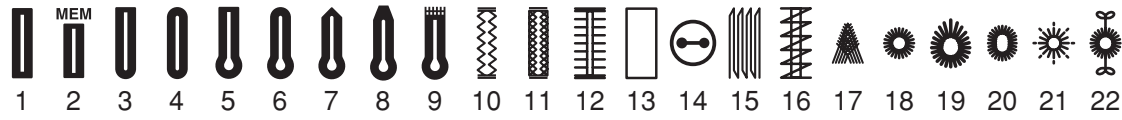
「OK」⑩をクリックします。

● 早見表

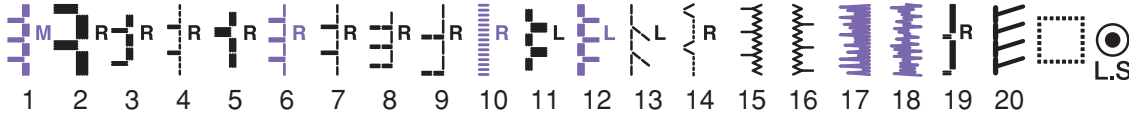
Utility (U): じつようぬい



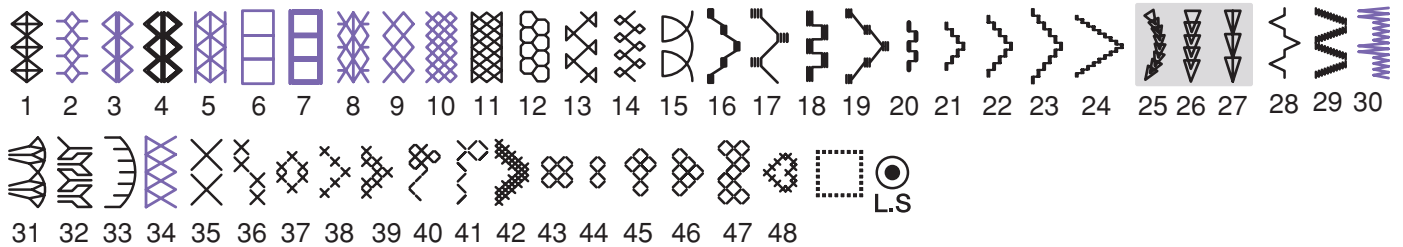
Buttonhole (B): ボタンホール



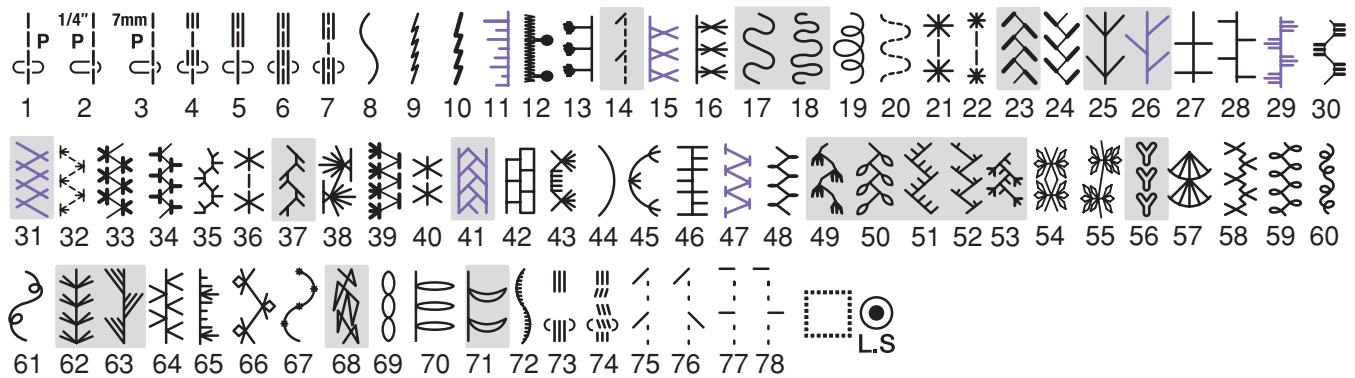
Applique (A): アプリケ



Heirloom (H): かざりもよう 1



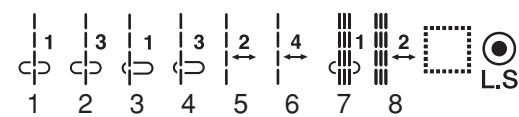
Quilt (Q): キルト



Satin (S): サテン



Bridge (BR): つなぎもよう



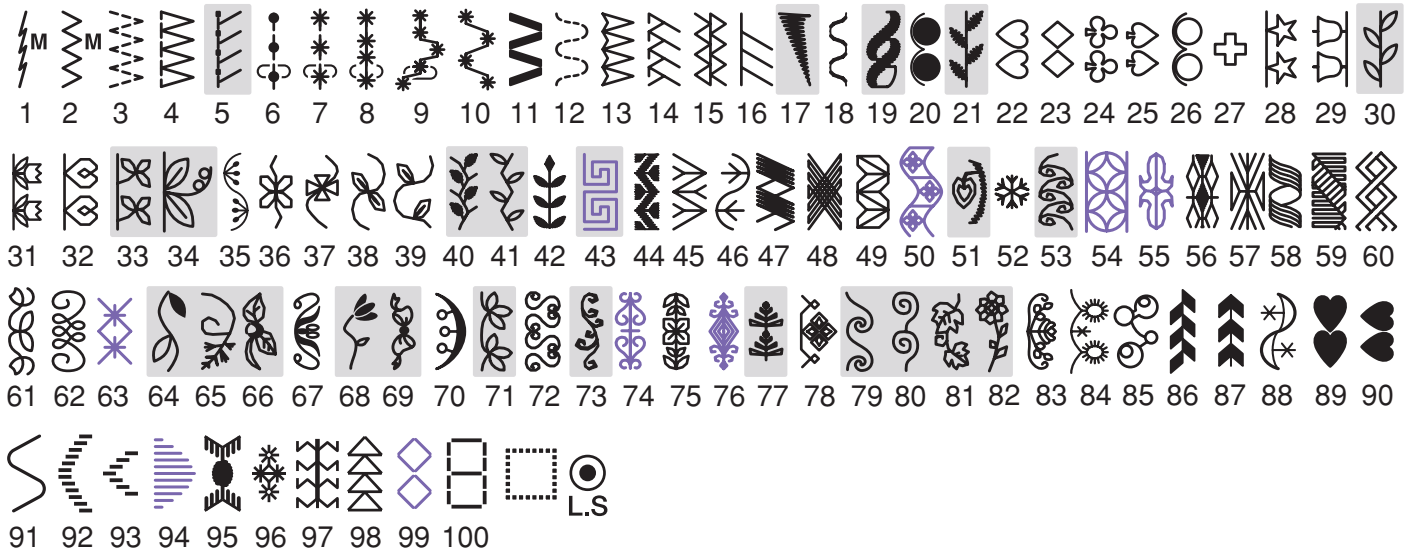
※ むらさき色で表示している模様は、テーパリングが可能です。

※ グレーで表示している模様は、上下反転ができます。(上下反転)



早見表

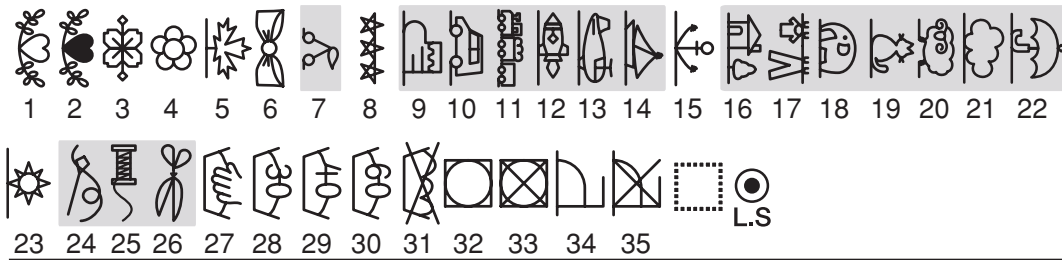
Decorative (D): かざりもよう 2



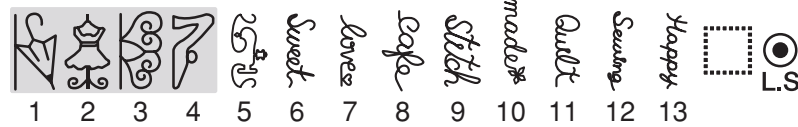
Long (L): ロングステッチ



Pictograph (P): ワンポイント



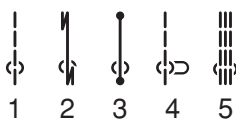
Play (PL): プレイ



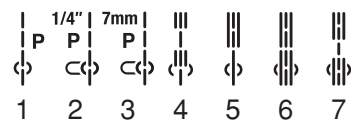
Straight stitch needle plate: 直線ぬい用針板

Utility (U) :

じつようぬい



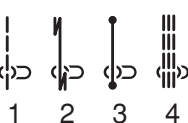
Quilt (Q): キルト



Professional grade needle plate: プロフェッショナル直線ぬい用針板 (左針位置専用)

Utility (U) :

じつようぬい



Quilt (Q): キルト



※ むらさき色で表示している模様は、テーパリングが可能です。

※ グレーで表示している模様は、上下反転ができます。(上下反転)

● 早見表 (文字ぬい)

ブロック体

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N					
O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	.	⋮	⋮	□			
a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n					
o	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	.	⋮	⋮	□			
1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	&	-	\$	@	.	·			
,	?	¿	!	¡	‘	’	<	>	(	)	-	+	=	/	//	%	~	:
À	Á	Â	Ã	Ä	Å	Æ	Ç	È	É	Ê	Ë	Ì	Í	Î	Ï	Ñ		
Ò	Ó	Ô	Õ	Ö	Ø	Ù	Ú	Û	Ü	ß	À	Ć	Ę	Ğ	İ	ı		
Ł	Ń	Ň	Œ	Ś	Ş	Ý	Ž	Ž	Ž									
à	á	â	ã	ä	å	æ	ç	è	é	ê	ë	ì	í	î	ï	ñ		
ò	ó	ô	õ	ö	ø	ù	ú	û	ü	ß	à	ć	ę	ğ	ı	ij		
ł	ń	ň	œ	ś	ş	ý	ž	ž	ž									

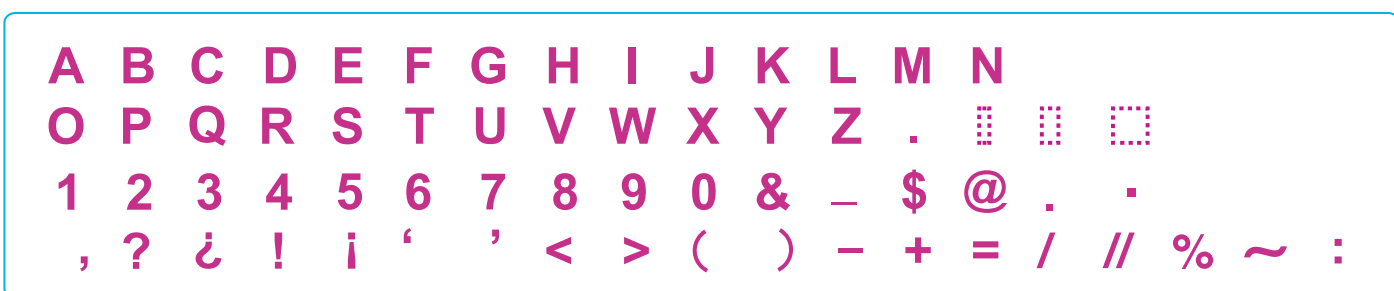
スクリプト体

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N					
O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	.	⋮	⋮	□			
a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n					
o	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	.	⋮	⋮	□			
1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	&	-	\$	@	.	·			
,	?	¿	!	¡	‘	’	<	>	(	)	-	+	=	/	//	%	~	:
À	Á	Â	Ã	Ä	Å	Æ	Ç	È	É	Ê	Ë	Ì	Í	Î	Ï	Ñ		
Ò	Ó	Ô	Õ	Ö	Ø	Ù	Ú	Û	Ü	ß	À	Ć	Ę	Ğ	İ	ı		
Ł	Ń	Ň	Œ	Ś	Ş	Ý	Ž	Ž	Ž									
à	á	â	ã	ä	å	æ	ç	è	é	ê	ë	ì	í	î	ï	ñ		
ò	ó	ô	õ	ö	ø	ù	ú	û	ü	ß	à	ć	ę	ğ	ı	ij		
ł	ń	ň	œ	ś	ş	ý	ž	ž	ž									

ブロードウェイ体



ブロック体 (9 mm)



キリル文字

А Б В Г Г Д Ѓ Ѕ Е Є Ё Ж З С И І Ї Й Ы Ј К Л Љ  
 М Н Њ О Ө П Р С Т Ћ У Ў Ф Х Ц Ч Ъ Ш Щ Ъ Ы  
 Ь Э Ю Я . : ; [ ]

а б в г г д ѓ ѕ е є ё ж з с и і ї й ы ј к л љ  
 м н њ о ө п р с т ћ у ў ф х ц ч ѡ ш щ ѡ ы  
 ь э ю я . : ; [ ]

1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 & \_ \$ @ . • , ? ¿ ! ¡ ‘ ’  
 < > ( ) - + = / // % ~ :

シンボル



♣ ヌモ ♣

ミシンの疑問やジャノメ最新情報はこちらからご確認できます。



ジャノメ HP  
FAQ ページ



ジャノメ公式  
Instagram



ジャノメ公式  
YouTube チャンネル

仕 様	
使用電圧	100 V 50 / 60 Hz
消費電力	80 W
外形寸法	幅 65.0 cm ×奥行 25.9 cm ×高さ 37.1 cm
質 量	17.3 kg
使用針	家庭用 HA × 1
最高ぬい速度	毎分 1300 針

仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

### 修理サービスのご案内

- お買い上げの際、販売店でお渡する保証書は内容をお確かめの上、大切に保管してください。
- 無料修理保証期間内およびそれ以降の修理につきましても、お買い上げの販売店が承りますのでお申し付けください。

### 修理用部品の保有期間

- 当社は動力伝達部品、および縫製機能部品を原則として製造打ち切り後 8 年間の基準として保有し、必要に応じて販売店に供給できる体制を整えています。

### 無料修理保証期間経過後の修理サービス

- 使い方ガイドブックにしたがって、正しいご使用とお手入れがなされていれば、無料修理保証期間を経過したあとも、修理用部品の保有期間内はお買い上げの販売店が有料で修理サービスをします。  
ただし、次のような場合は修理できないときがあります。
  1. 保存上の不備または誤使用により不調、故障または損傷したとき。
  2. 浸水、冠水、火災等、天災、地変により不調、故障または損傷したとき。
  3. お買い上げ後の移動または輸送によって不調、故障または損傷したとき。
  4. お買い上げ店または当社の指定した販売店以外で修理、分解、改造をしたために不調、故障または損傷したとき。
  5. 職業用等過度なご使用により不調、故障または損傷したとき。
- 長期間にわたってご使用された場合の精度の劣化は、修理によっても元通りにならないことがあります。
- 有料修理サービスの場合の費用は必要部品代、交通費、およびお買い上げ店が別に定める技術料の合計になります。

## お客様の相談窓口

修理サービスについてのお問い合わせやご不審のある場合は下記にお申しつけください。  
お問い合わせの際には、ミシン本体の正面、もしくは保証書にある商品名を控えてください。

### 株式会社ジャノメ

〒 193-0941 東京都八王子市狭間町 1463 番地

お客様相談室 TEL. 0120-026-557 (フリーダイヤル)  
042-661-2600

受付 平日 9:00 ~ 12:00 13:00 ~ 17:00  
(土・日・祝日・年末年始を除く)

メールでのお問い合わせは、ホームページ <https://www.janome.co.jp>  
問合せフォームをご利用ください。

